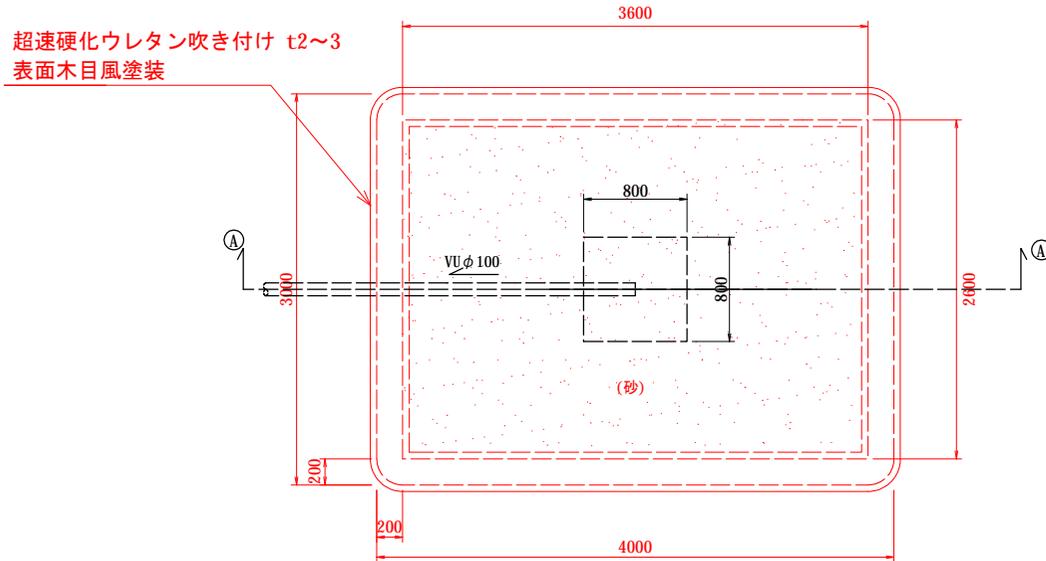
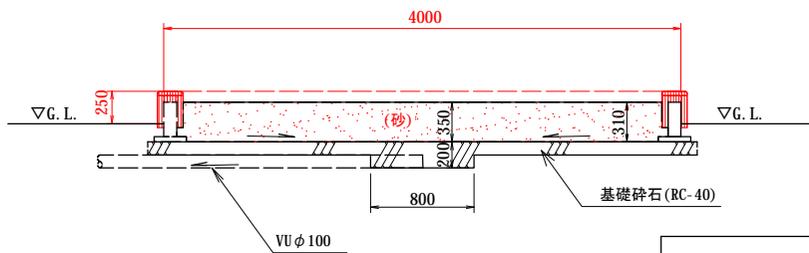


遊戯施設整備工構造図
(砂場) S-図示

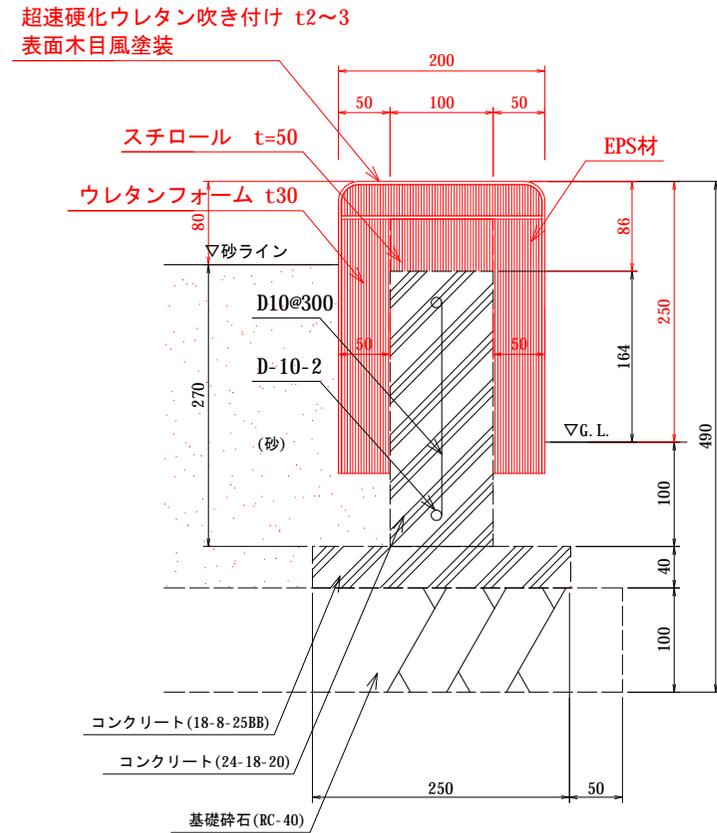


平面図
S=1:40



A-A断面図
S=1:40

仕様
・表面 超速硬化ウレタン吹き付け仕上げ



断面詳細図
S=1:5

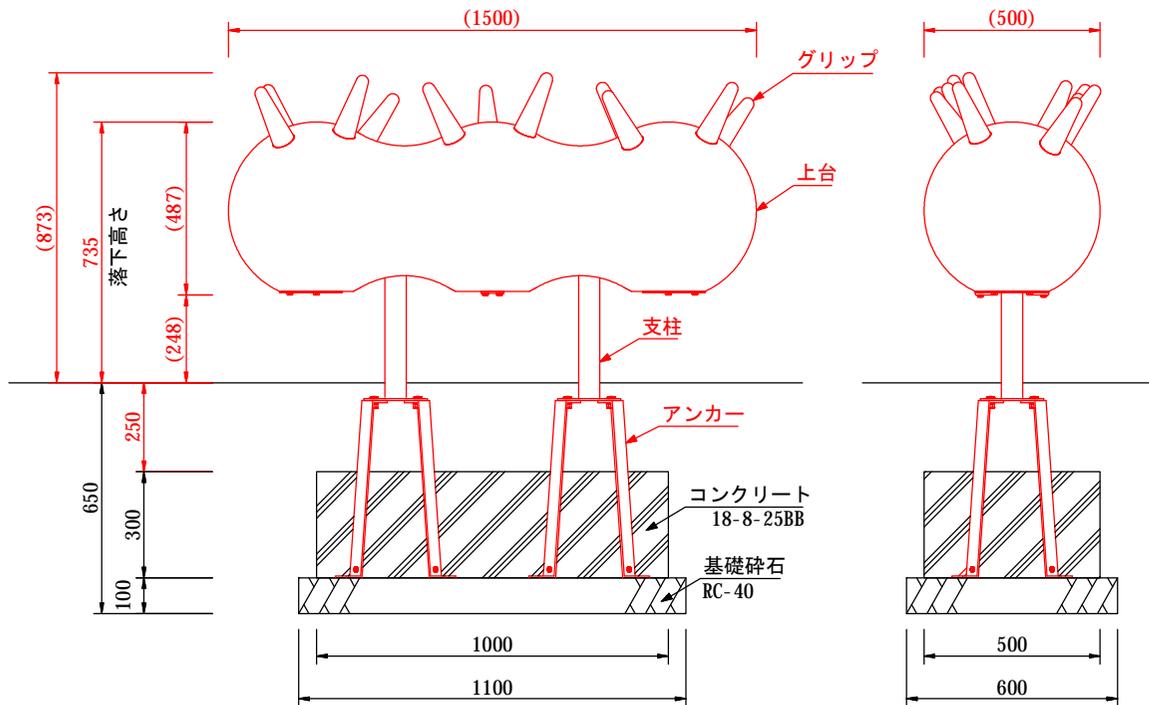
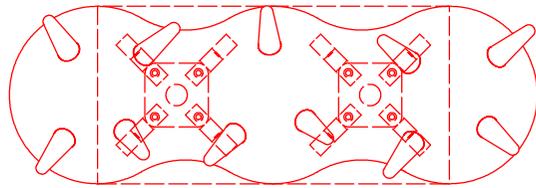
- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会 JPFA-SP-S:2014に準拠する。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会SPマークを表示する。

年度	令和2年度	番号	51/77
公園名	緑織公園		
工事名	桜木の置改修整繕(第2期工事)		
施行箇所	富田林市緑織地内		
図面名	遊戯施設整備工構造図(砂場)		
縮尺	図示		
大阪府富田林土木事務所			

遊戯施設整備工構造図

(揺動系遊具 1)

S=図示



外観図
S=1:5

- 上台 : FRP成形品 合成樹脂塗装 (ターコイズ)
- グリップ: EPDM成形品 (パープル)
- 支柱 : φ60.5x13.8 鋼管
溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- 機構部 : マルチリンク機構 (ストッパーゴム付)
- アンカー : t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ

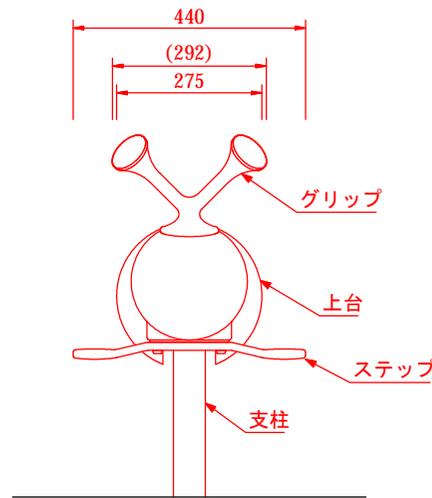
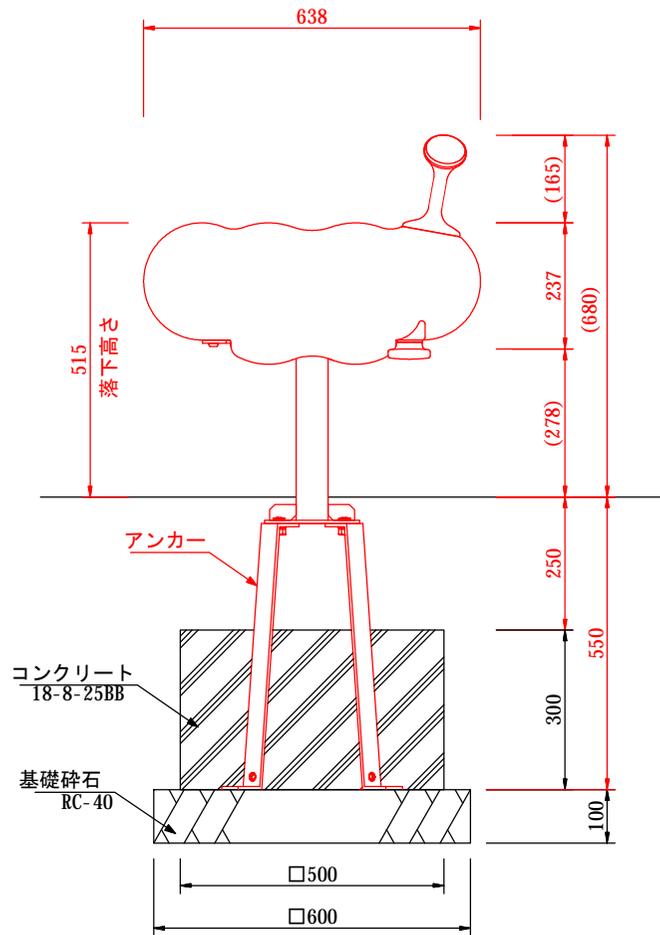
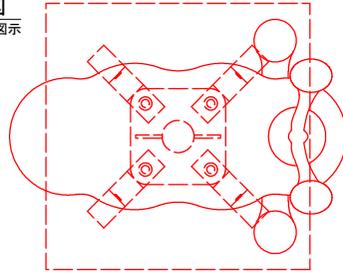
質量 : 72kg

設置上の注意

- ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
- ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
- ・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
- ・本製品はおおむね3才〜12才を対象とする。
- ・本製品はJPSA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

遊戯施設整備工構造図
(揺動系遊具 2)

S-図示



- 上台 : FRP成形品 合成樹脂塗装 (インディゴブルー)
- グリップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (オレンジ)
- ステップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (オレンジ)
- 支柱 : φ60.5Xt3.8鋼管
- 機構部 : 溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- アンカー : マルチリンク機構 (ストッパーゴム付)
- アンカー : t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ
- 質量 : 23kg

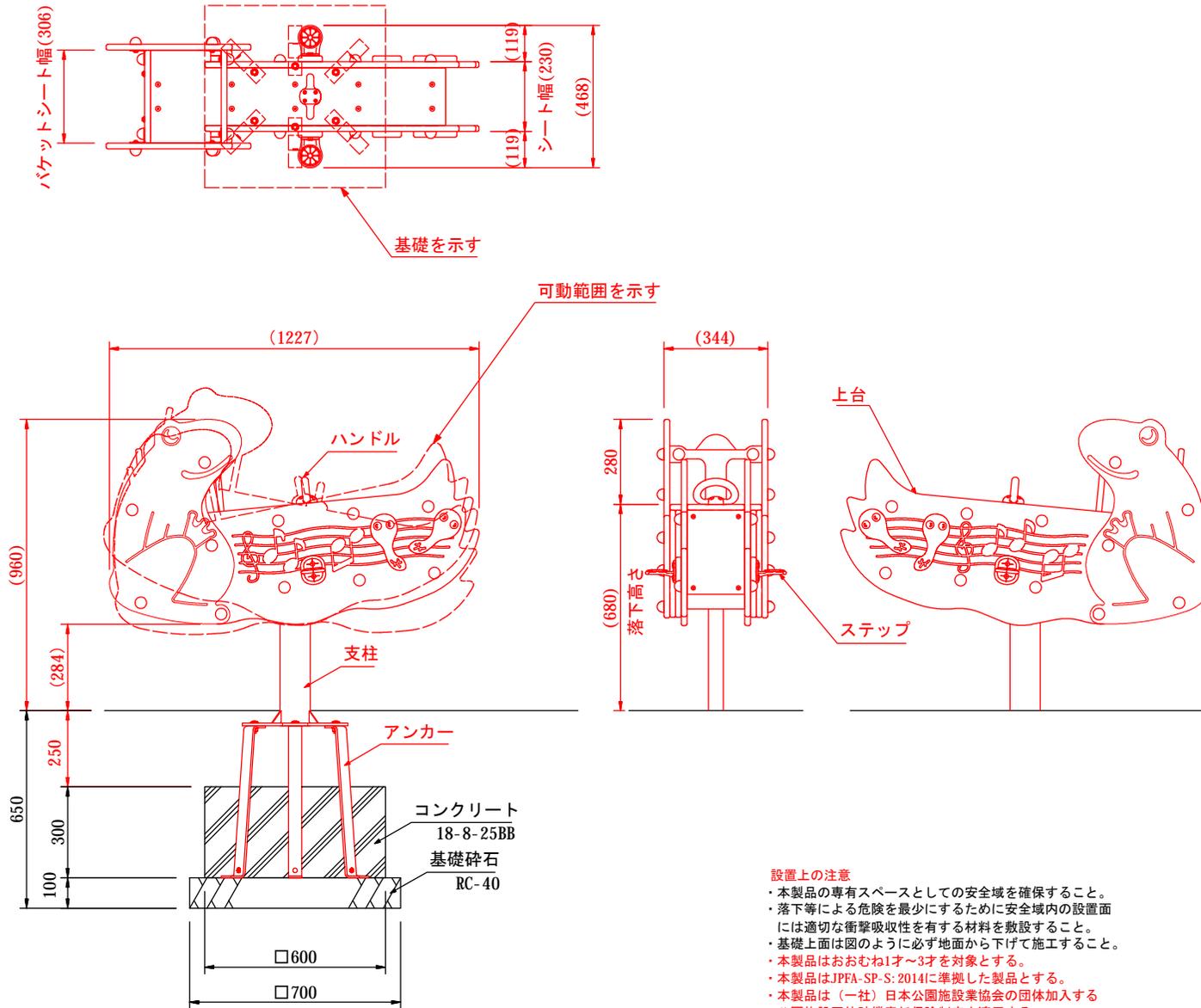
設置上の注意

- ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
- ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
- ・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
- ・本製品はおおむね3才～6才を対象とする。
- ・本製品はJPPFA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

遊戯施設整備工構造図

(揺動系遊具 3)

S-図示



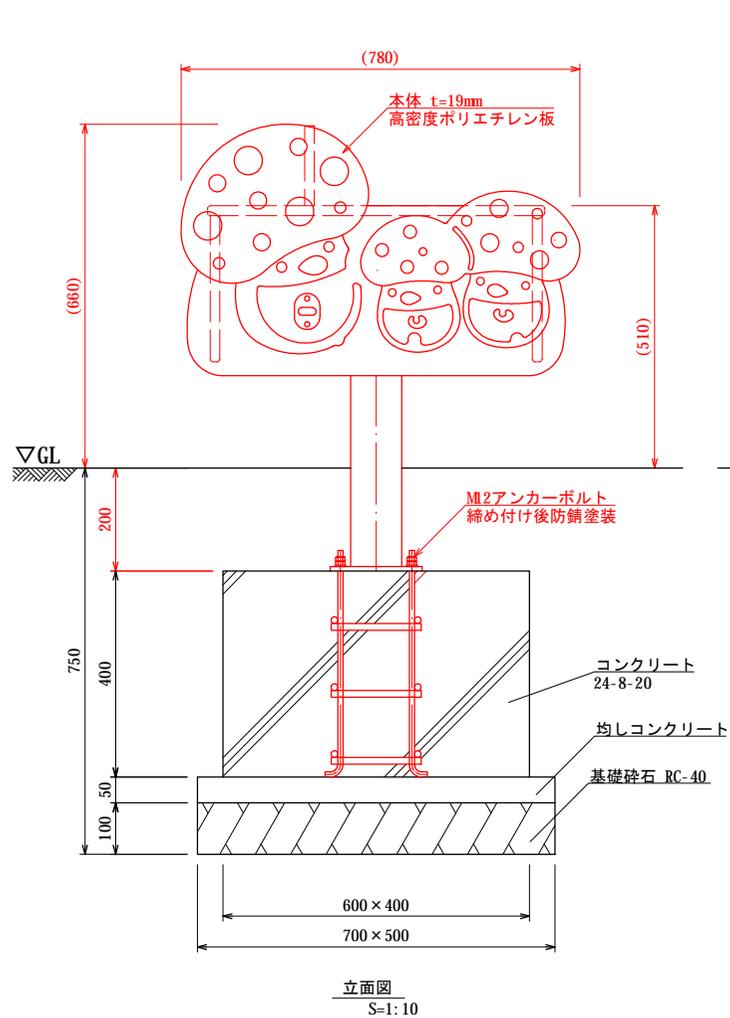
- 上台 : t19 HPEパネル
- ハンドル : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (イエロー)
- ステップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- 支柱 : 100×50×t3.2角鋼管
溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- 機構部 : マルチリンク機構
(セーフティカバー・ストッパーゴム付)
- アンカー : t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ
- 質量 : 75kg

設置上の注意

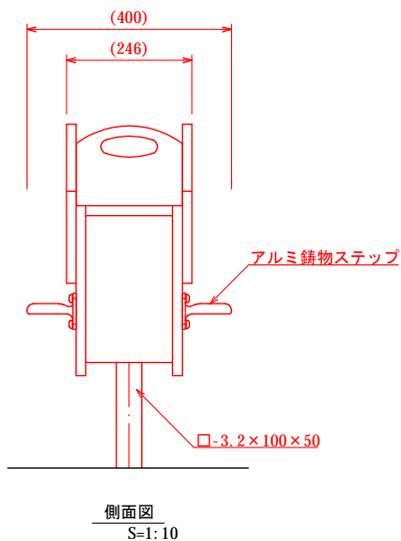
- ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
- ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
- ・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
- ・本製品はおおむね1才～3才を対象とする。
- ・本製品はJPFA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
- ・本製品は(一社)日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

外観図
S=1:15

遊戯施設整備工構造図
(揺動系遊具 4) S=図示



立面図
S=1:10



側面図
S=1:10

- ・カラーは、メーカー指定色とする。
- ・高密度ポリエチレン板の寸法は、内外寸法とする。
- ・支柱部は溶融亜鉛メッキとし、その他の鋼材は電気亜鉛メッキとする。
- ・設置する上で、安全領域を確保する事とする。
- ・遊具の対象年齢は、3～6才を対象とする。
- ・ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
- ・遊具の安全に関する規程JPPA-SP-S:2014に適合した製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 SPマーク表示認定企業の製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
- ・本製品の設計図面の変更、模倣を禁止する。

遊戯施設整備工構造図

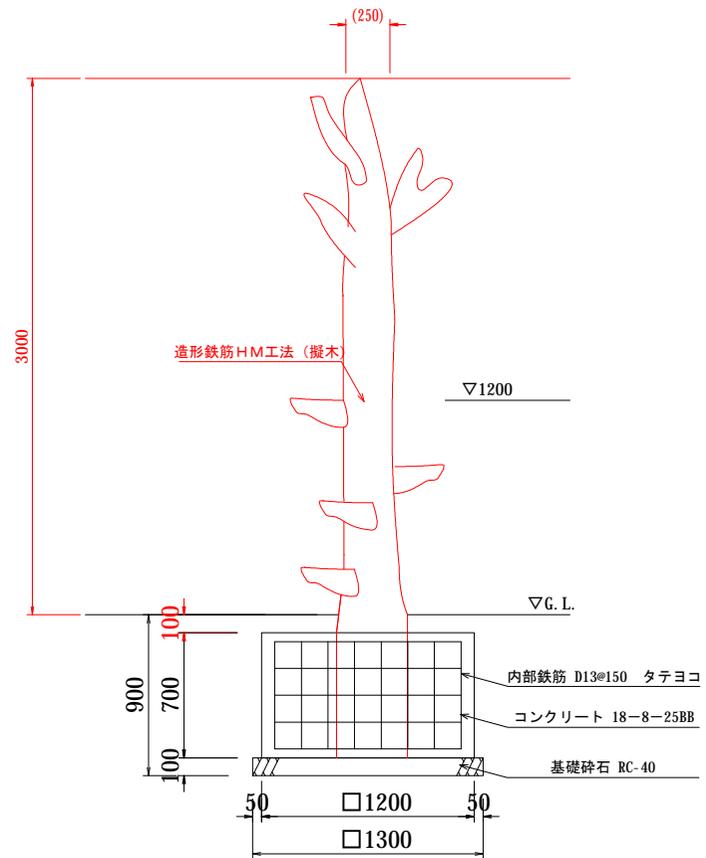
(木登りA)

S-図示



ステップ部平面図

S=1:30



(A)

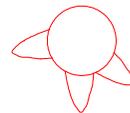
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

遊戯施設整備工構造図

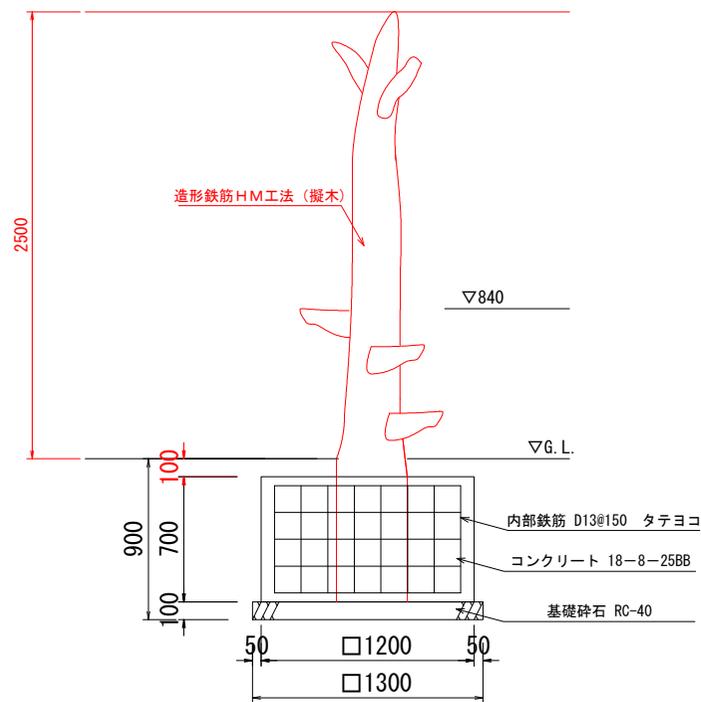
(木登りB)

S=図示



ステップ部平面図

S=1:30



(B)

立面図

S=1:30

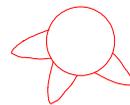
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

遊戯施設整備工構造図

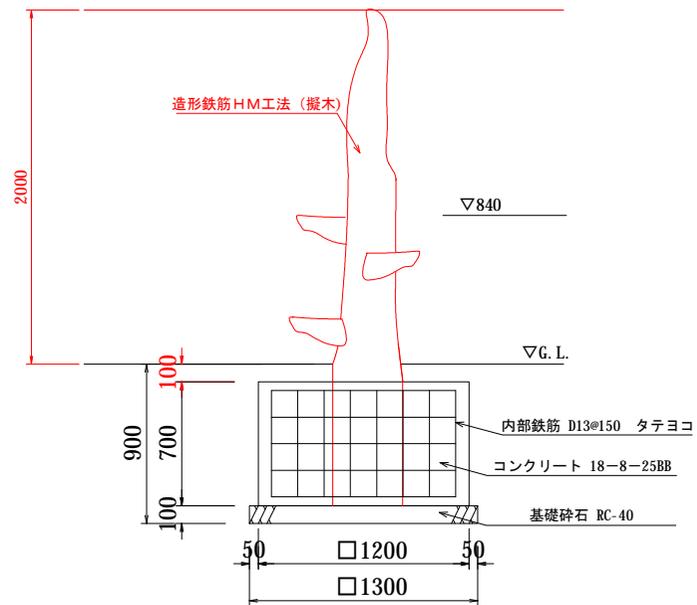
(木登りC)

S=図示



ステップ部平面図

S=1:30



(C)

仕様

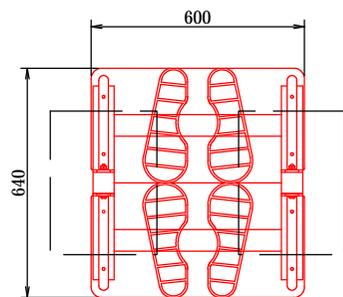
- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

遊戯施設整備工構造図

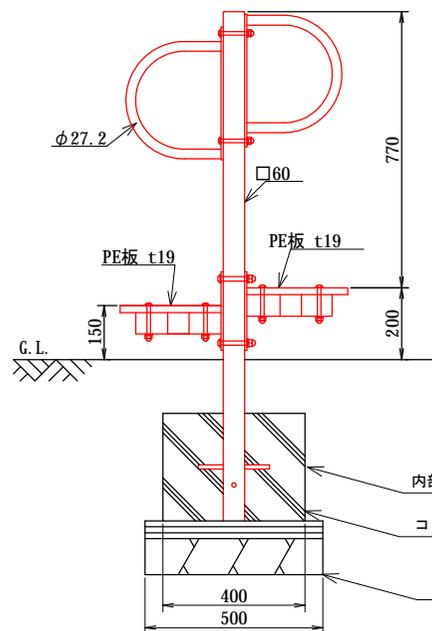
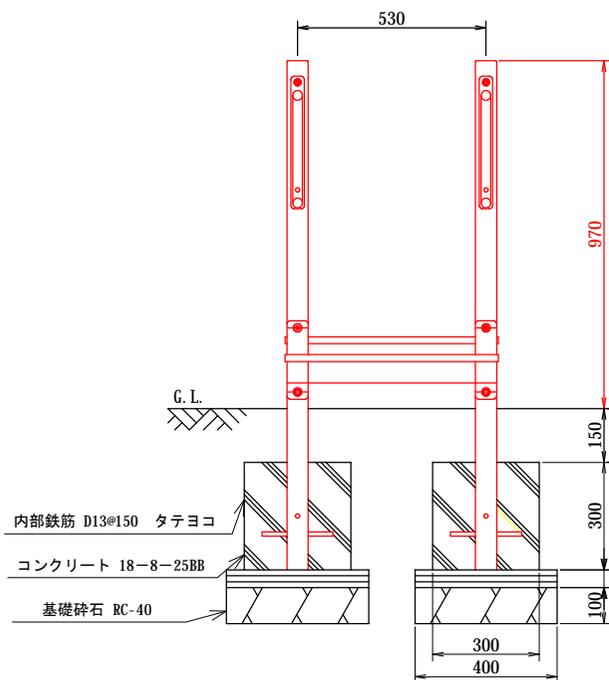
(健康遊具A・B・C・D)

健康遊具A

S=1:30



平面図



主要材料：スチール/ステンレス、ポリエチレン板
 設置寸法：W600 × D640 × H970

※ ステンレス仕様はミガキ（無塗装）とする。

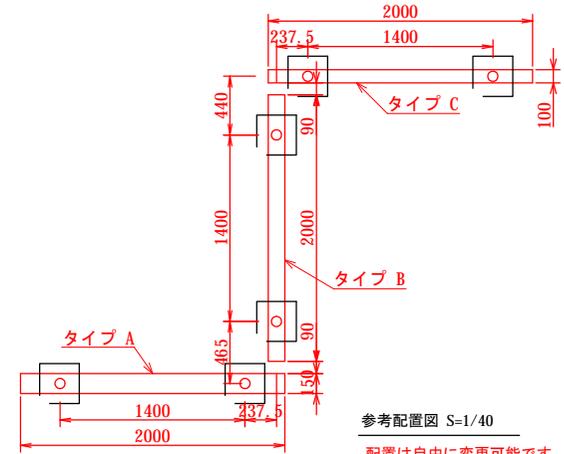
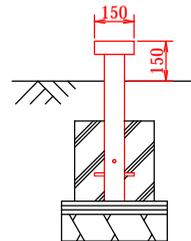
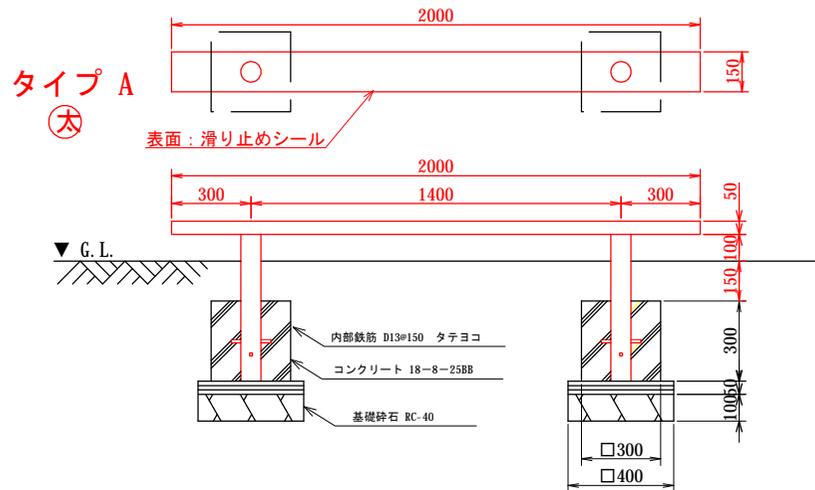
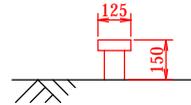
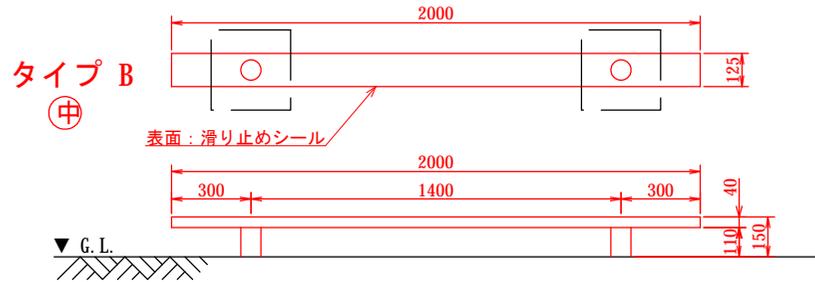
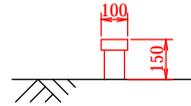
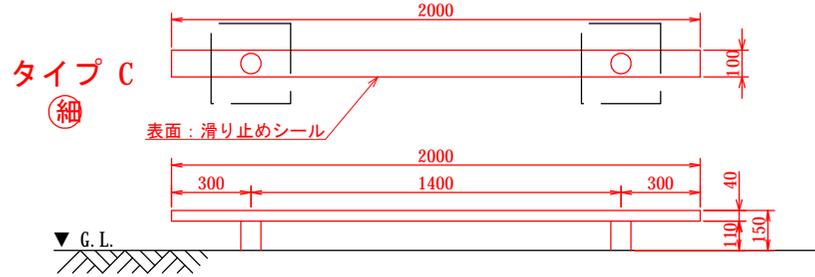
※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。

※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。

※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

遊戯施設整備工構造図
(健康遊具 A・B・C・D)

健康遊具B
S=1:20



主要材料：スチール/ステンレス
設置寸法：W2000 × D150 × H150 (大)
W2000 × D125 × H150 (中)
W2000 × D100 × H150 (細)

※ ステンレス仕様はミガキ（無塗装）とする。

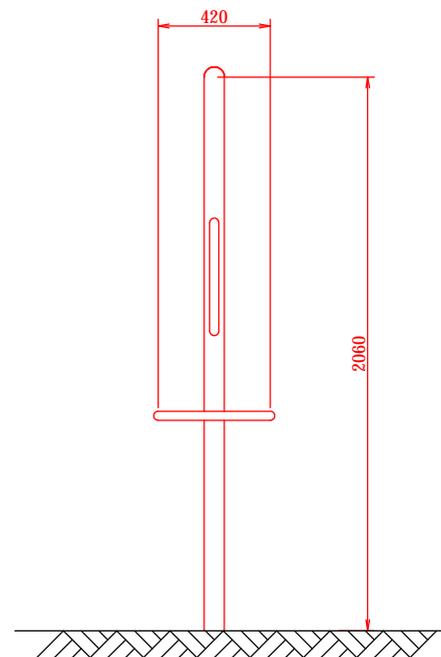
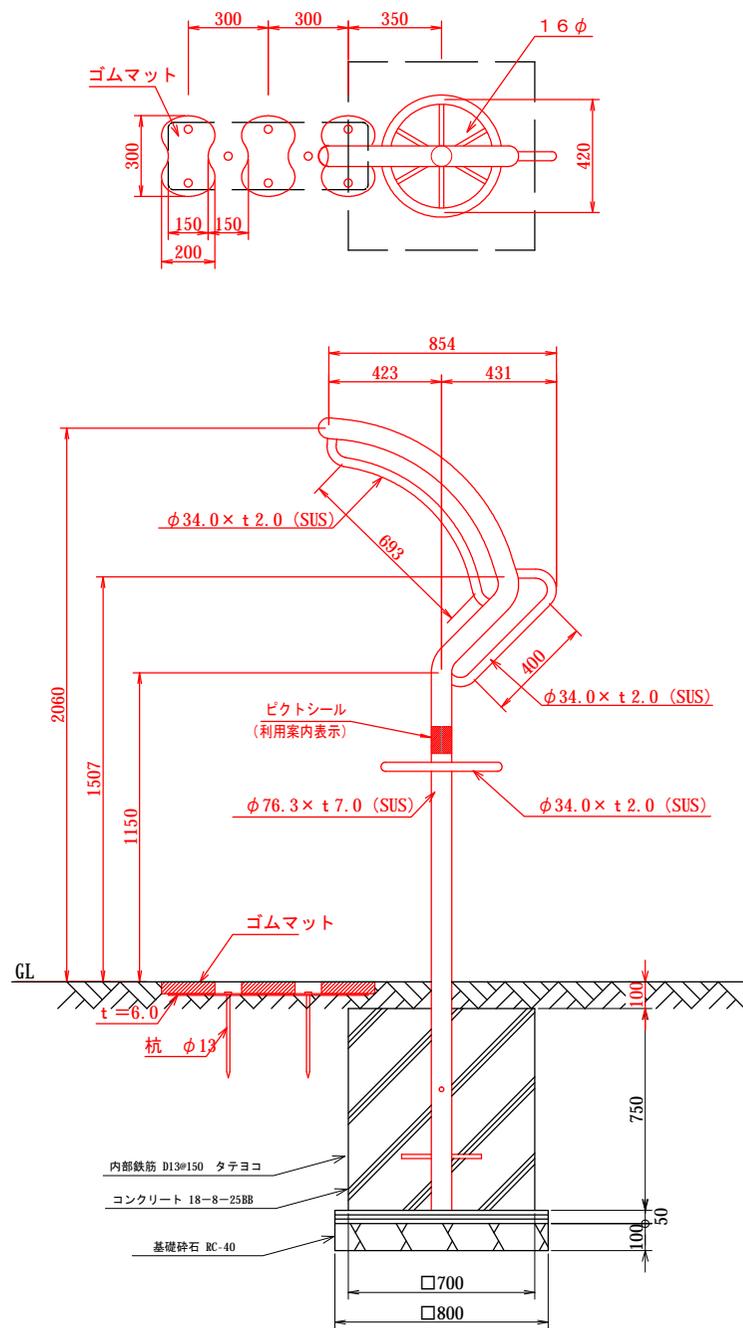
※ ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
※ (一社) 日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
※ (一社) 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

遊戯施設整備工構造図

(健康遊具A・B・C・D)

健康遊具C

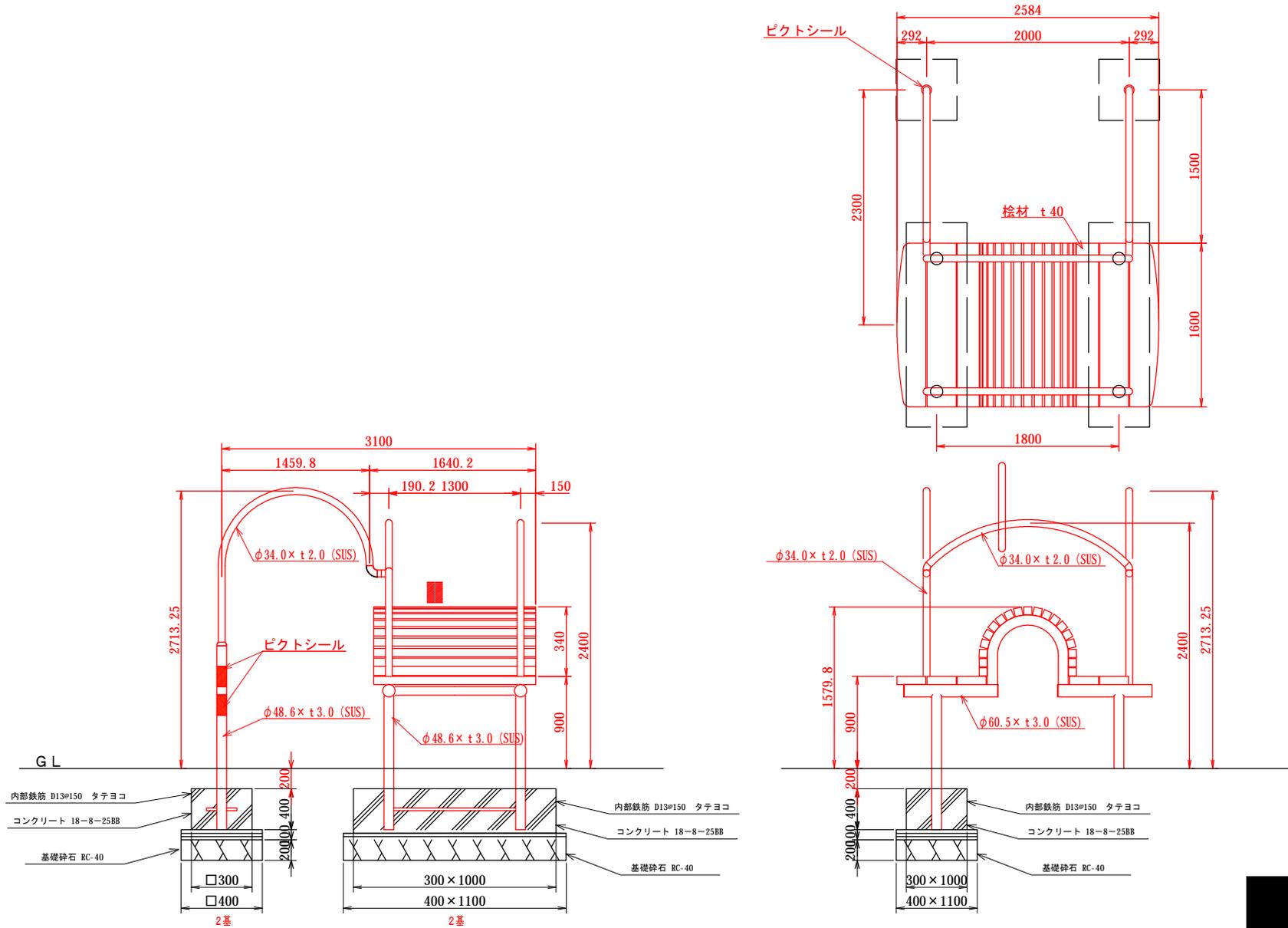
S=1:20



※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

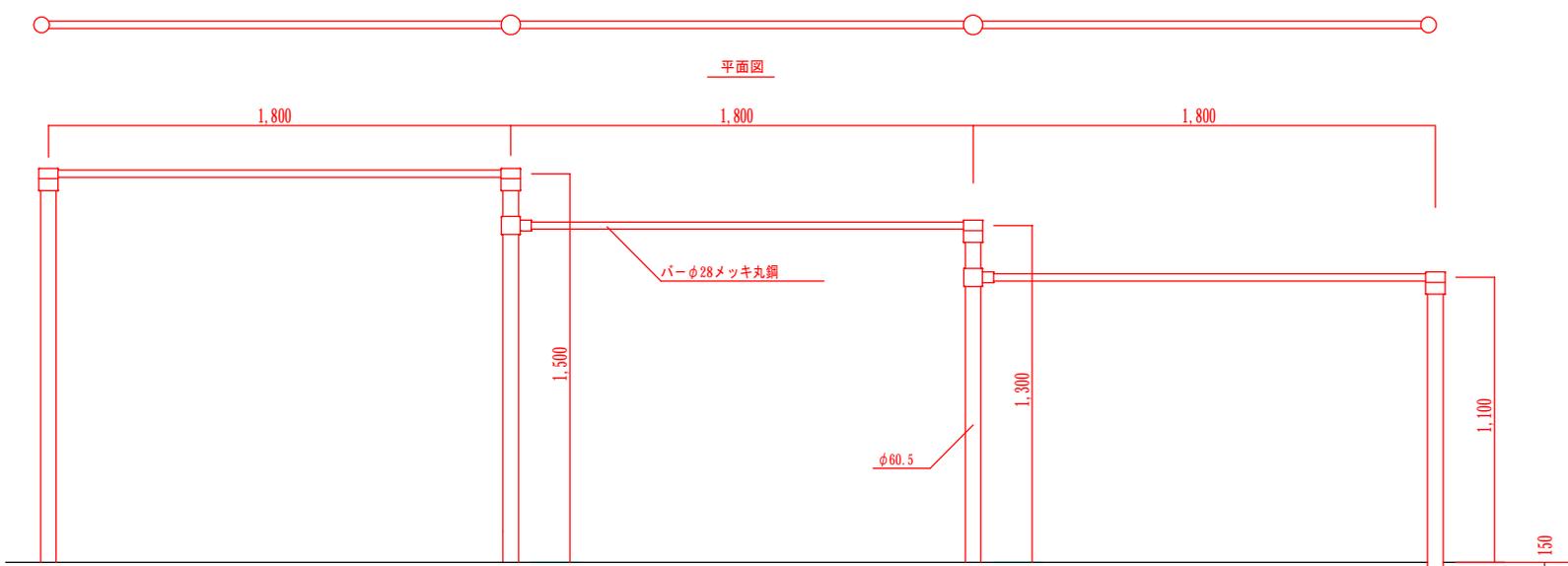
遊戯施設整備工構造図
(健康遊具 A・B・C・D)

健康遊具 D
S=1:40



※IS09001認証取得企業で品質管理された製品とする。
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

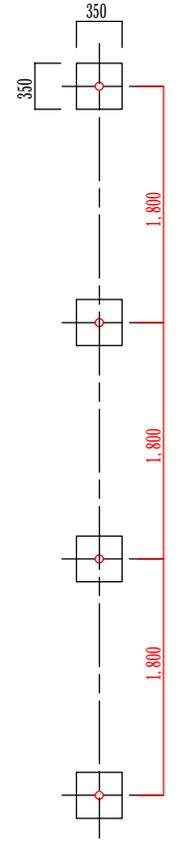
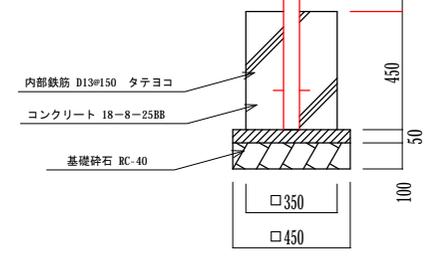
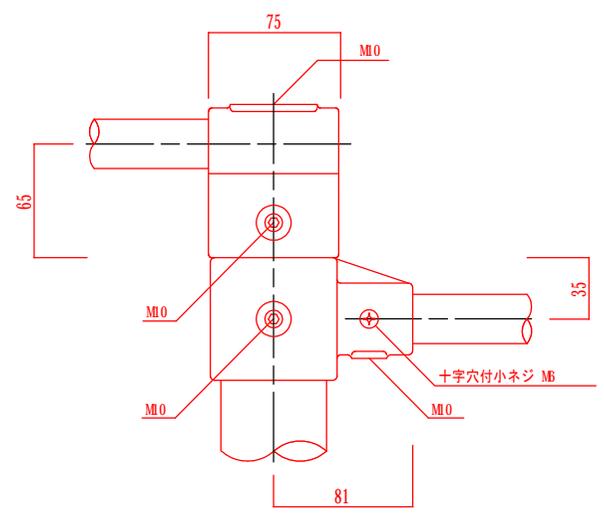
遊戯施設整備工構造図
(鉄棒3連) S-図示



平面図

指定外ボルトは六角穴付止めネジ使用とする。

立面図



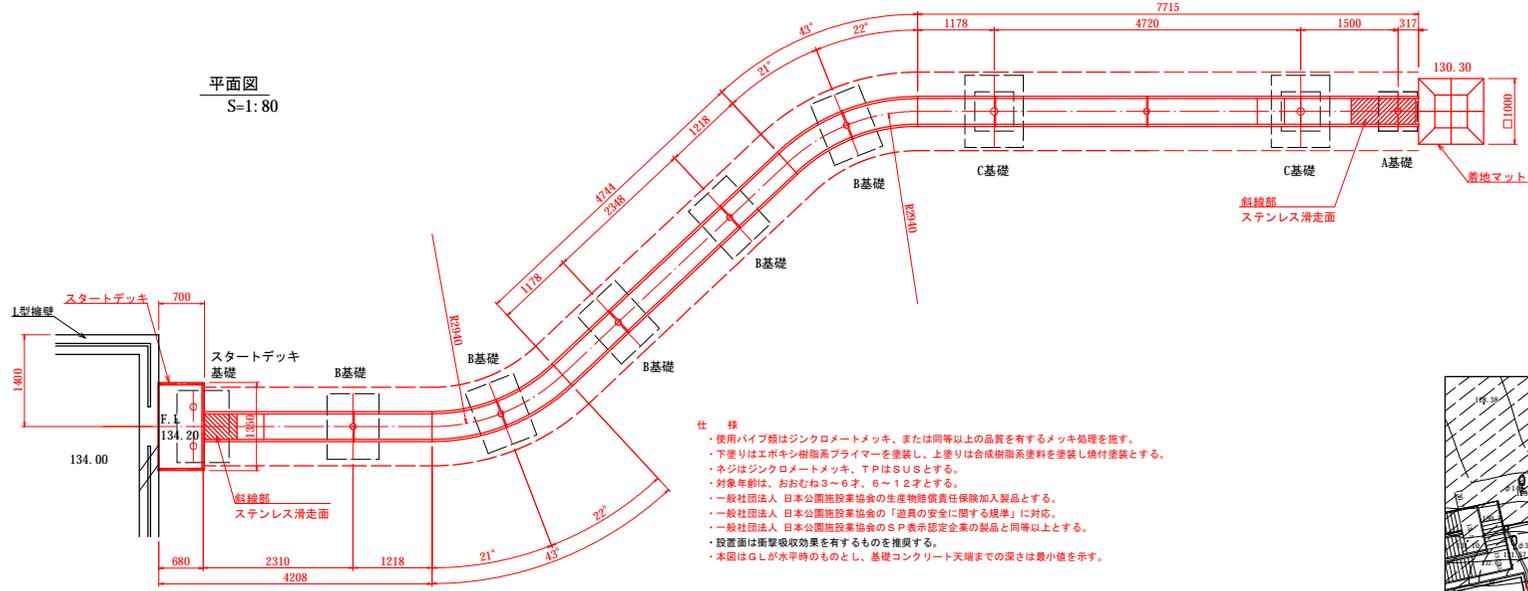
基礎伏図 S-1/40

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

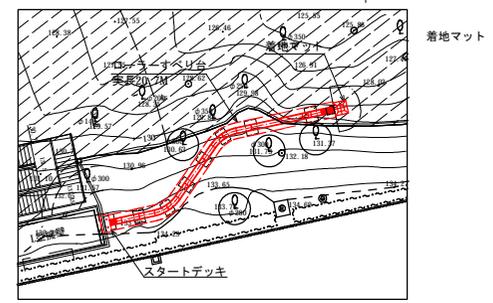
遊戯施設整備工構造図

(ローラーコースター (1)) S=図示

平面図
S=1:80

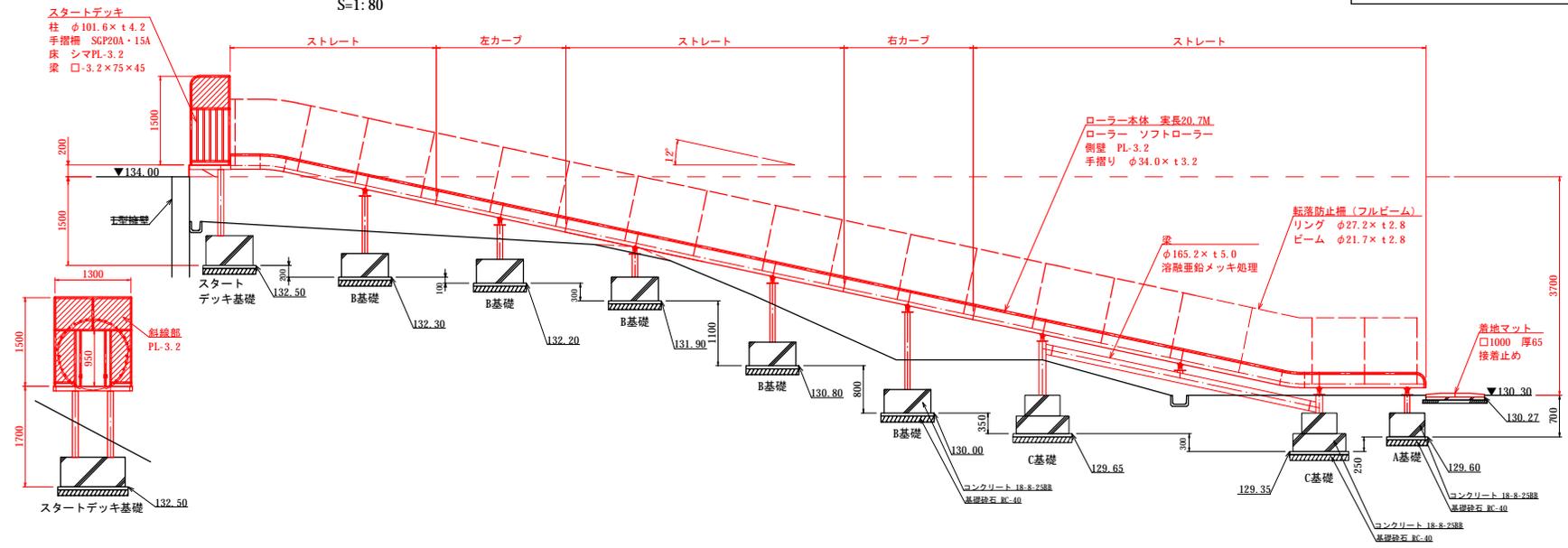


平面配置図
S=1:400



- 仕様
- ・使用パイプ類はジンクロメートメッキ、または同等以上の品質を有するメッキ処理を施す。
 - ・下塗りはエポキシ樹脂系プライマーを塗装し、上塗りは合成樹脂系塗料を塗装し焼付塗装とする。
 - ・ネジはジンクロメートメッキ、TPはSU Sとする。
 - ・対象年齢は、おおむね3~6才、6~12才とする。
 - ・一般社団法人 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険加入製品とする。
 - ・一般社団法人 日本公園施設業協会の「遊具の安全に関する規程」に対応。
 - ・一般社団法人 日本公園施設業協会のSP表示認定企業の製品と同等以上とする。
 - ・設置面は衝撃吸収効果を有するものを推奨する。
 - ・本図はGLが水平時のものとし、基礎コンクリート天端までの深さは最小値を示す。

側面展開図(センターライン)
S=1:80

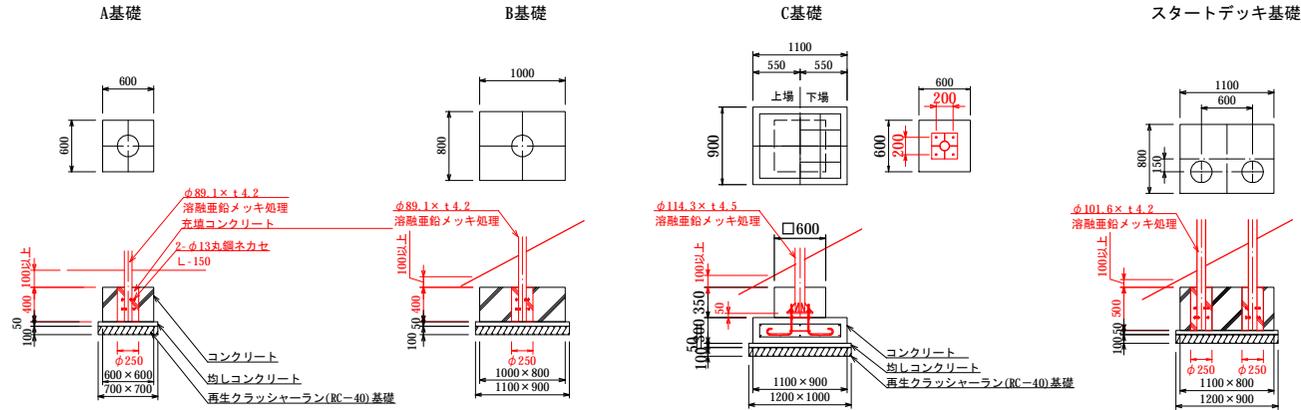


遊戯施設整備工構造図

(ローラーコースター (2)) S=図示

基礎詳細図

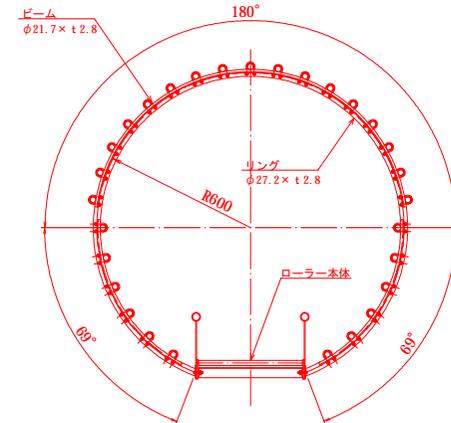
S=1:60



基準
 上場筋 タテ 3-D10・ヨコ 3-D10
 下場筋 タテ 5-D13・ヨコ 5-D13
 支柱
 $\phi 114.3 \times t 4.5$
 ベースプレート
 300×300×t16
 アンカーボルト
 4-M6ワット (フック付)

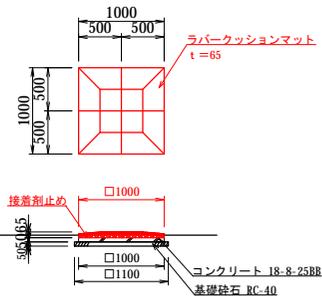
転落防止柵断面図

S=1:20



着地マット詳細図

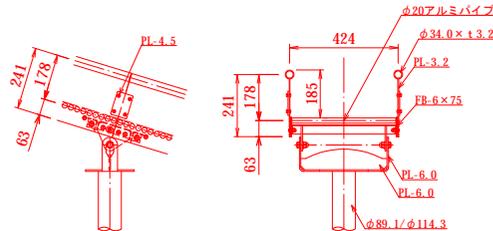
S=1:60



- * マットの基礎は、スライダ設置後に施工すること。
 ・ カラーは、メーカー標準色とする。
 ・ 一般社団法人 日本公園施設業協会、SPLマーク表示認定製品とする。
 ・ 一般社団法人 日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

ローラー断面詳細図

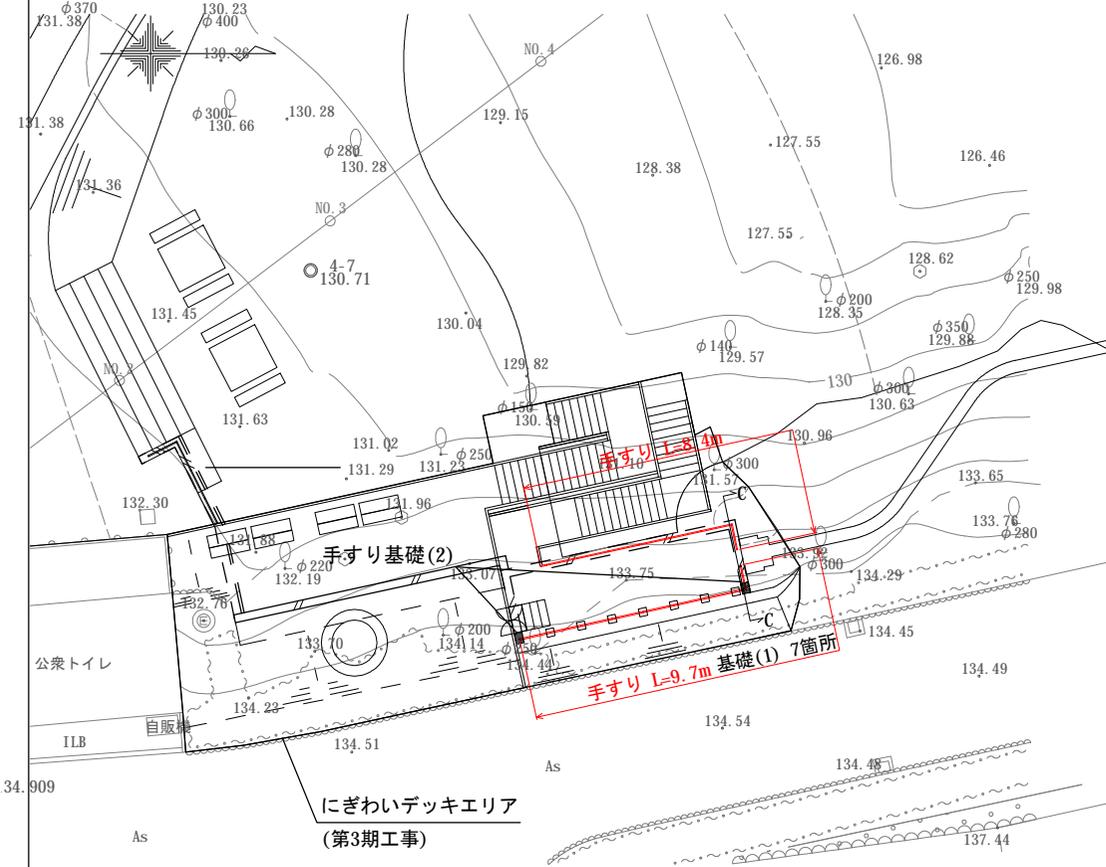
S=1:20



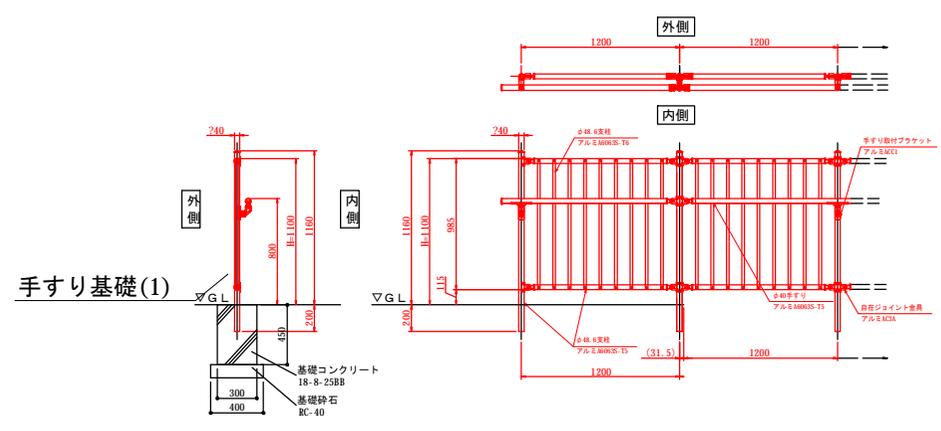
管理施設工構造図

(ローコースター-まち手すり) S=図示

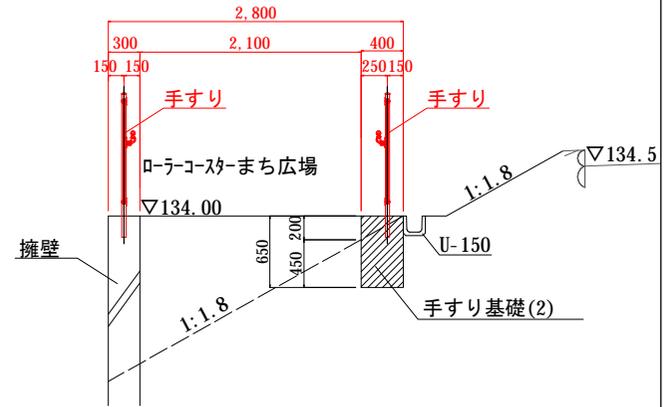
配置図 S=1:200



コース-まち手すり S=1:40



C-C断面図 S=1:50

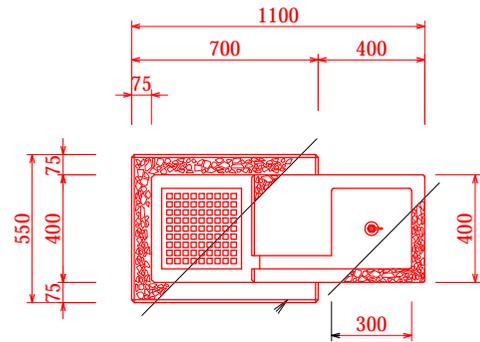


- 仕様
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S : 2014に準拠とする。
 - ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマークW表示認定企業の製品とする。

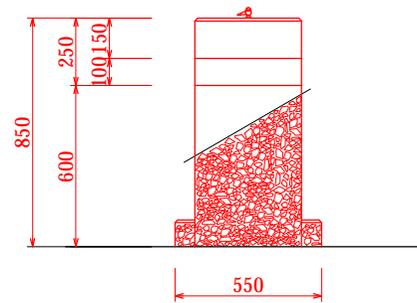
サービス施設工構造図

(水飲み)

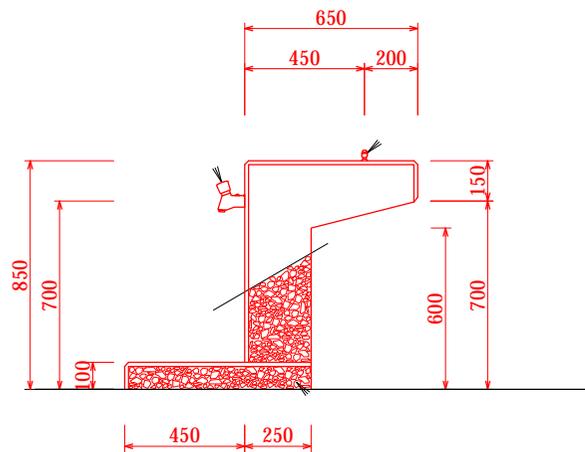
S-図示



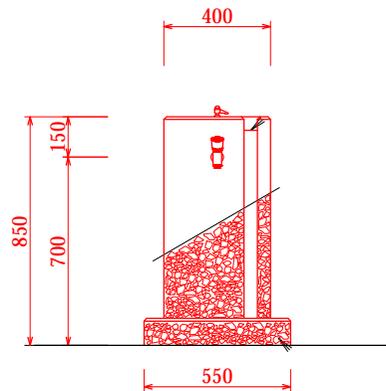
平面図
S=1:20



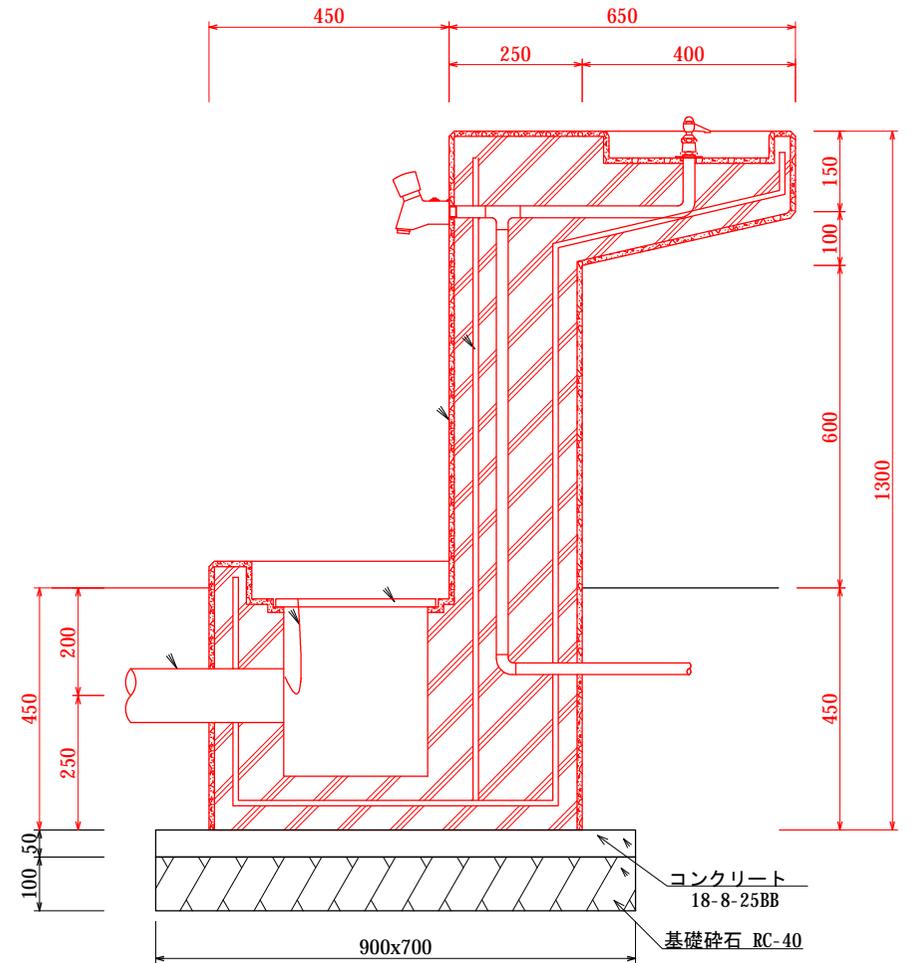
右側面図
S=1:20



立面図
S=1:20



左側面図
S=1:20



断面構造図
S=1:10

特記仕様

- 本体 鉄筋デザイン組コンクリート構造
- 鋼材 JIS規格品
- 仕上げ クラッシュタイル貼り仕上

- ・ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
- ・本製品の設計図面の変更、模倣を禁止する。

※凍結の恐れのある場所では、破裂の危険がありますので、別途水抜き栓を設置してください。
※給水管・配水管の向きは現場打ち合わせにて決定致します。

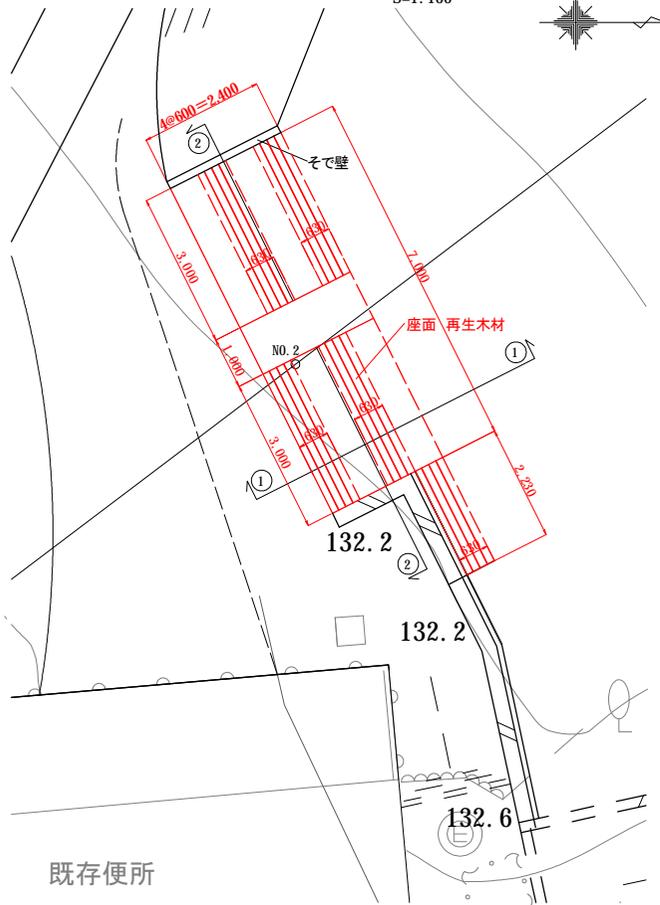
サービス施設工構造図

(観覧ベンチ)

S=図示

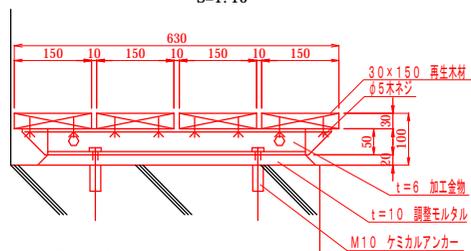
平面図

S=1:100



座面詳細図

S=1:10

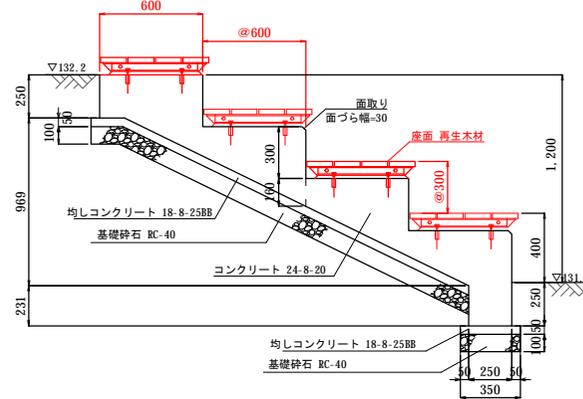


- 仕様
- 1) 再生木材は廃木粉50%+炭ポリエチレン45%配合とする。
 - 2) 特記なき限りボルト、ワッシャー類は溶融亜鉛メッキ仕上げ、鋼材類は錆止めの上、ウレタン塗装仕上げとする。
 - 3) 一般社団法人 日本公園施設業協会の賠償責任保険加入製品とする。

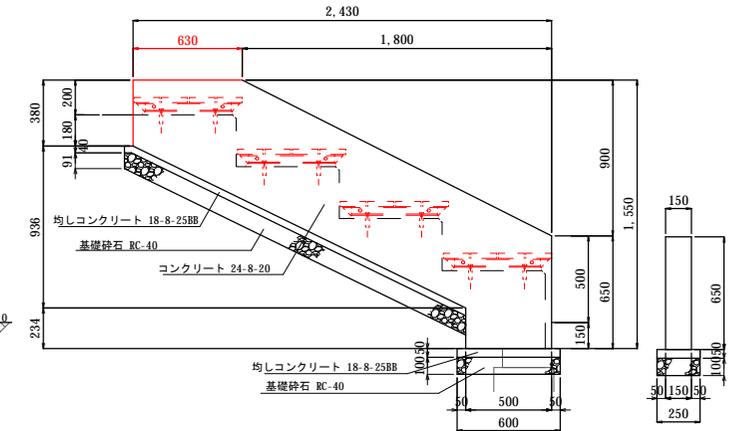
①-①断面図

S=1:20

観覧ベンチ

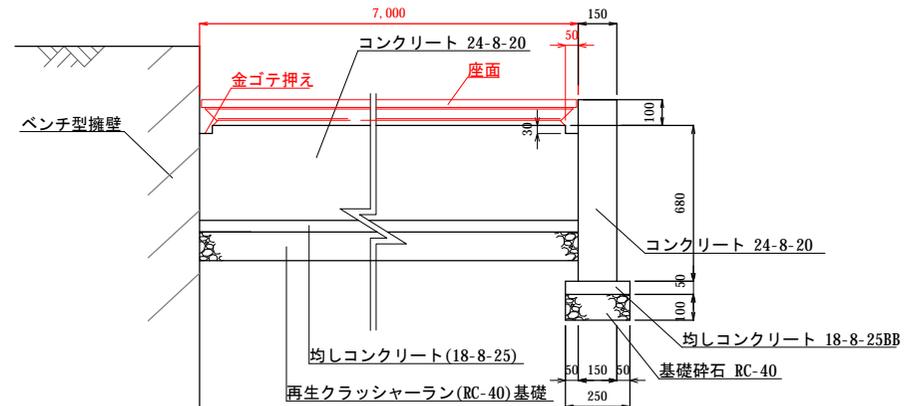


そで壁



②-②断面図

S=1:20

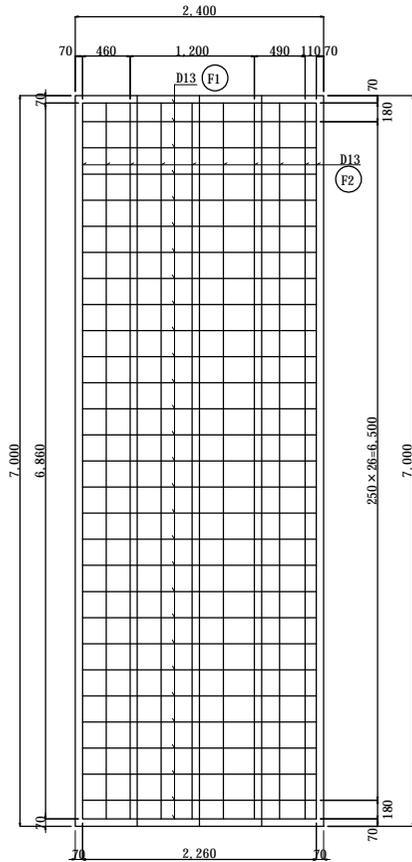


サービス施設工構造図

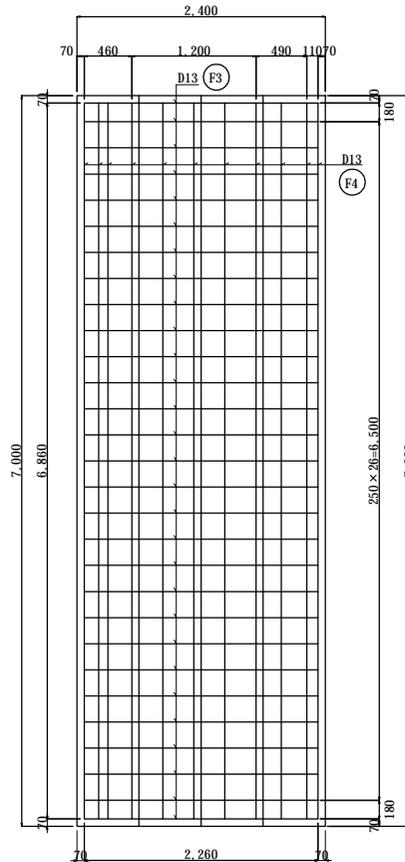
(観覧ベンチ 配筋図)

S=図示

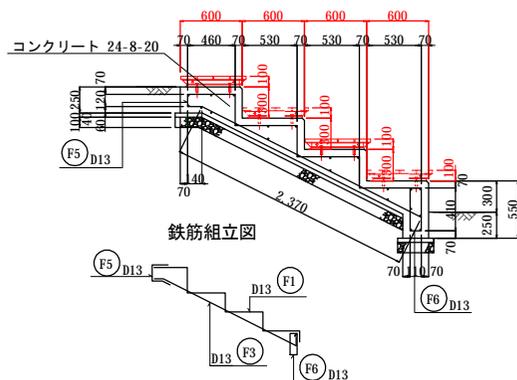
平面図上面
S=1:50



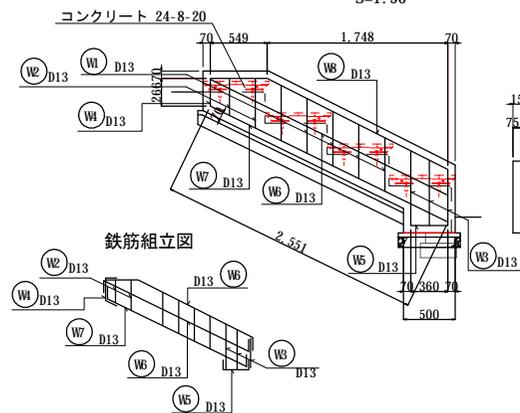
平面図下面
S=1:50



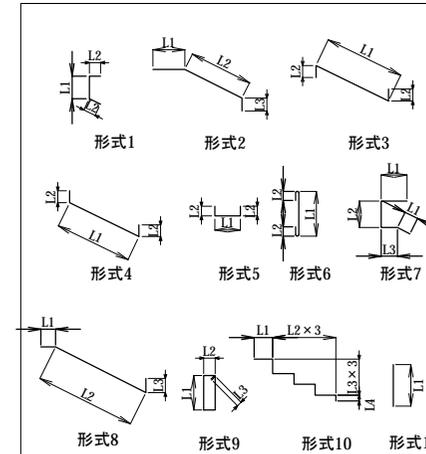
①-①断面面
S=1:50



②-②断面面
S=1:50



鉄筋加工表



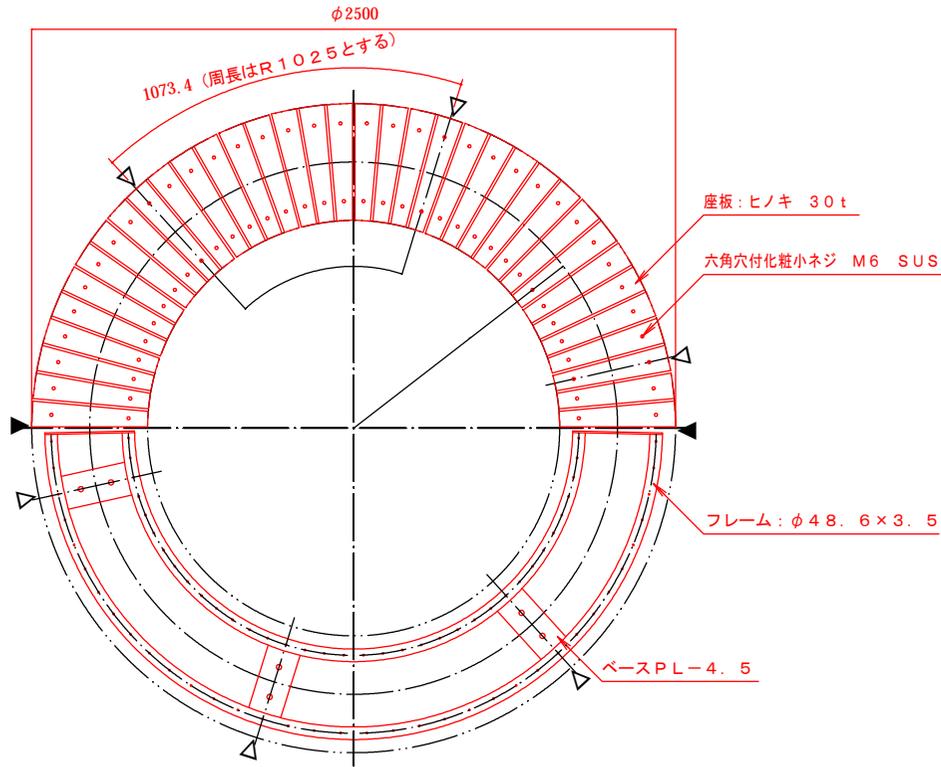
種別	形式	径	本数	長さ	L1	L2	L3	L4
W1	6	D13	5	537	525	60		
W2	6	D13	2	954	834(平均長)	60		
W3	6	D13	3	748	628(平均長)	60		
W4	1	D13	1	566	266	150		
W5	5	D13	1	660	360	150		
W6	3	D13	1	2851	2551	150		
W7	4	D13	1	2851	2551	150		
W8	2	D13	1	2653	549	1954	150	
F1	10	D13	29	3310	460	600	300	150
F2	11	D13	10	6860	6860			
F3	8	D13	10	2660	140	2370	150	
F4	11	D13	10	6860	6860			
F5	7	D13	29	560	150	120	140	
F6	9	D13	29	1220	410	110	90	

鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要	
		(mm)		(kg/m)	(kg)	(kg)		
W1	D13	537	5	0.995	0.534	3	}	
W2	D13	954	2	0.995	0.949	2		(平均長)
W3	D13	748	3	0.995	0.744	2		(平均長)
W4	D13	566	1	0.995	0.563	1	}	
W5	D13	660	1	0.995	0.657	1		
W6	D13	2851	1	0.995	2.837	3	}	
W7	D13	2851	1	0.995	28.010	28		
W8	D13	2653	1	0.995	2.640	3	}	
F1	D13	3310	29	0.995	3.293	96		
F2	D13	6860	10	0.995	6.826	68	}	
F3	D13	2660	10	0.995	2.647	26		
F4	D13	6860	10	0.995	6.826	68	}	
F5	D13	560	29	0.995	0.557	16		
F6	D13	1220	29	0.995	1.214	35	}	
						D13	352 kg	
						合計	352 kg	

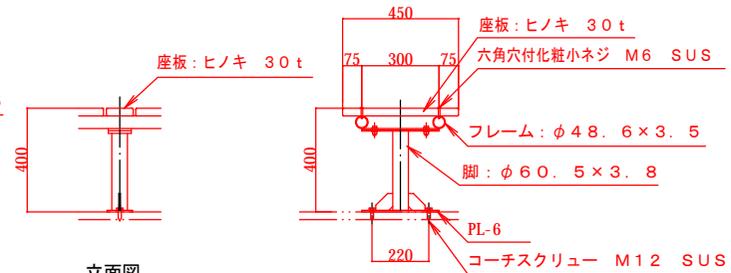
サービス施設工構造図
(サークルベンチ) S=図示

- ・木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉体塗装（ダークグレー）仕上げとする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。



平面図
S=1:20

▼ジョイント位置
▽脚位置



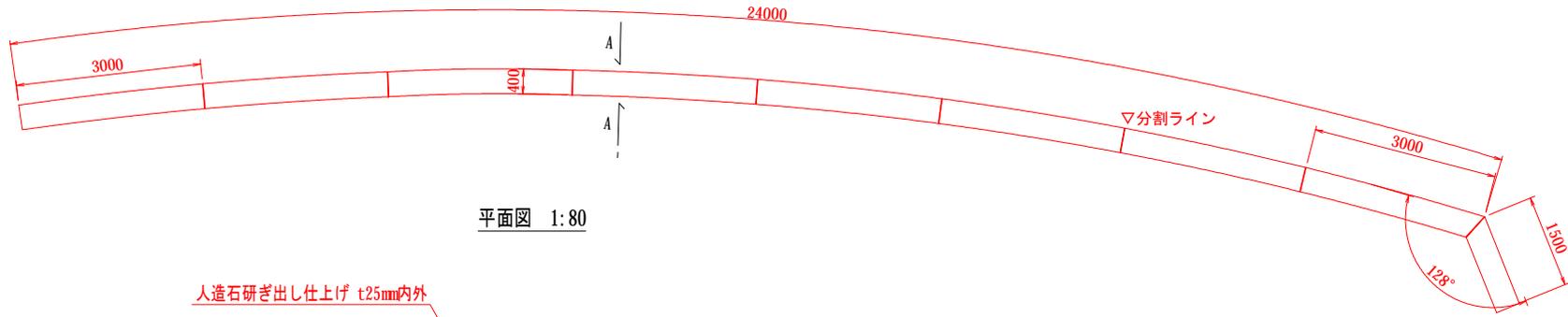
立面図
S=1:20

断面図
S=1:20

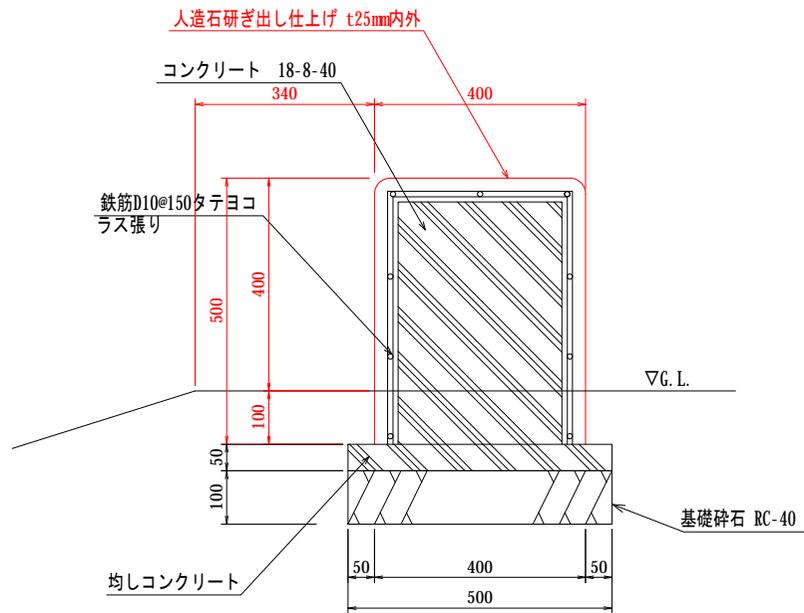
遊戯施設整備工構造図

(腰掛ベンチ)

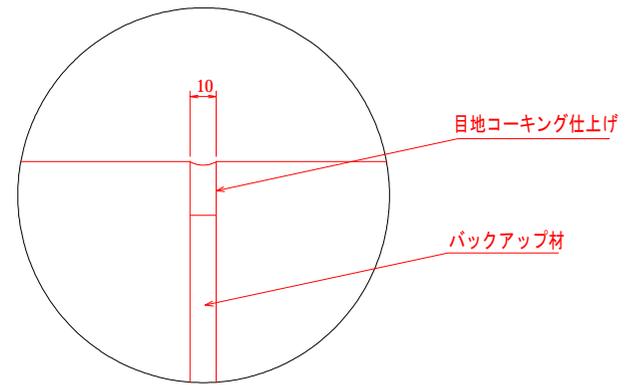
S-図示



平面図 1:80



A-A断面詳細図 1:80



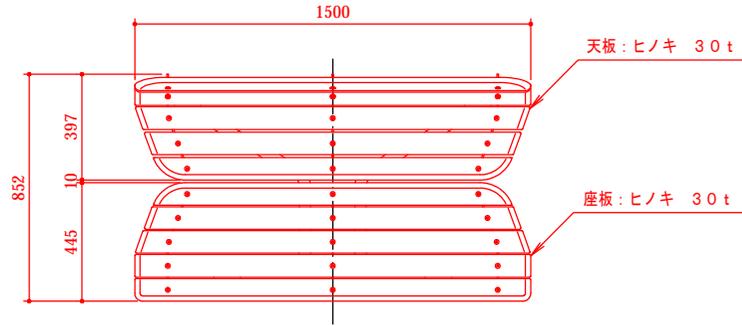
分割化ライン詳細図 1:2

仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SPLマークを表示する。

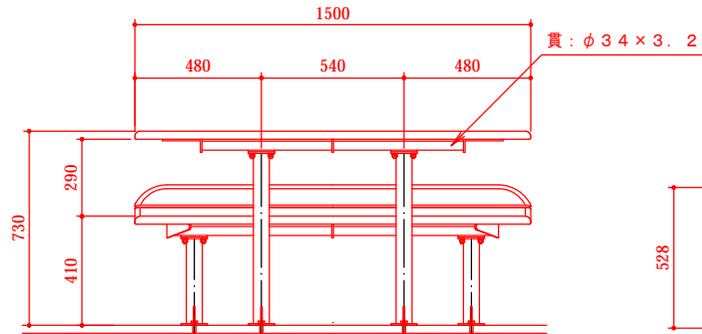
サービス施設工構造図

(カウンターベンチ) S=図示

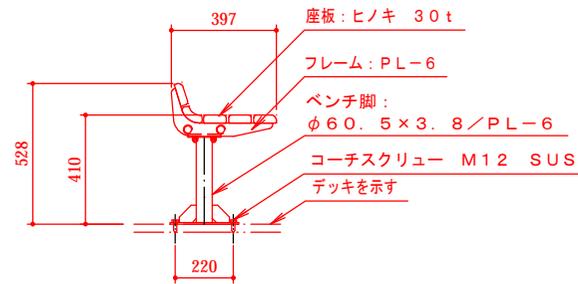


平面図
S=1: 20

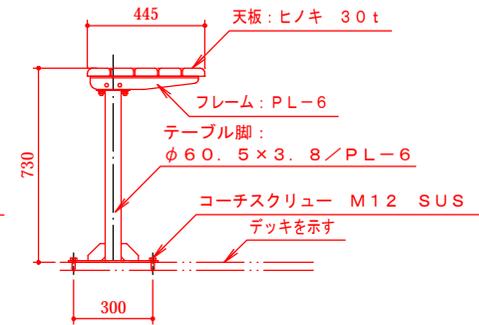
- ・木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉末塗装（ダークグレー）仕上げとする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001 認証取得企業製品とする。



立面図
S=1: 20

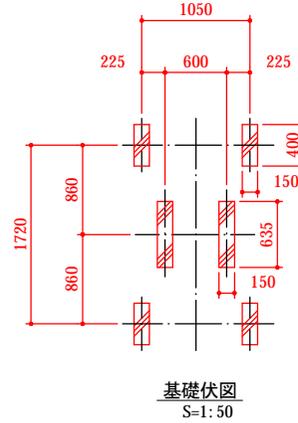
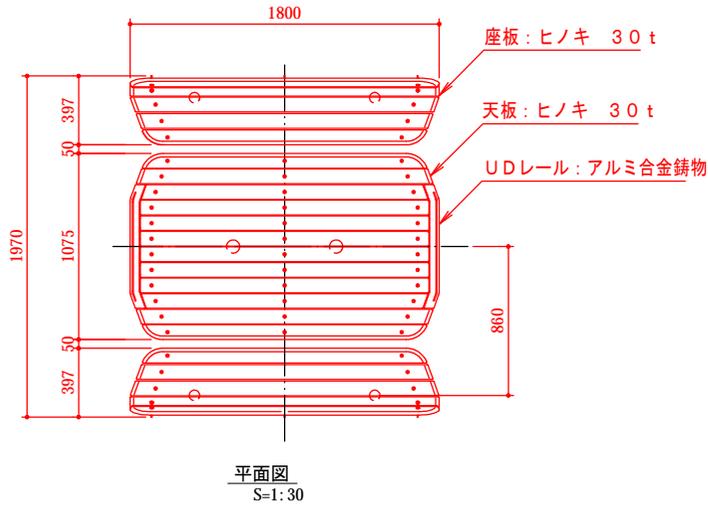


ベンチ側面図
S=1: 20

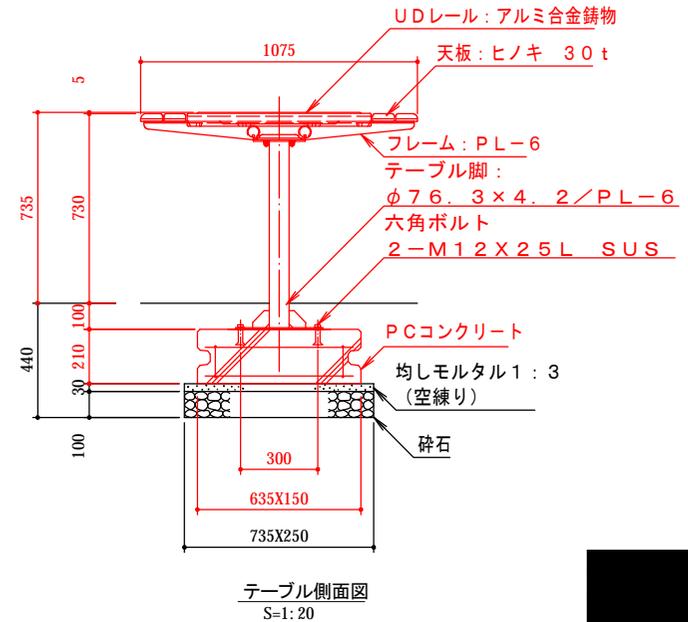
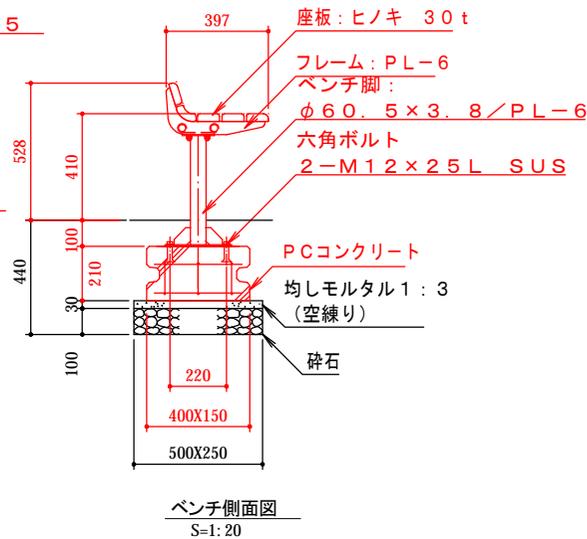
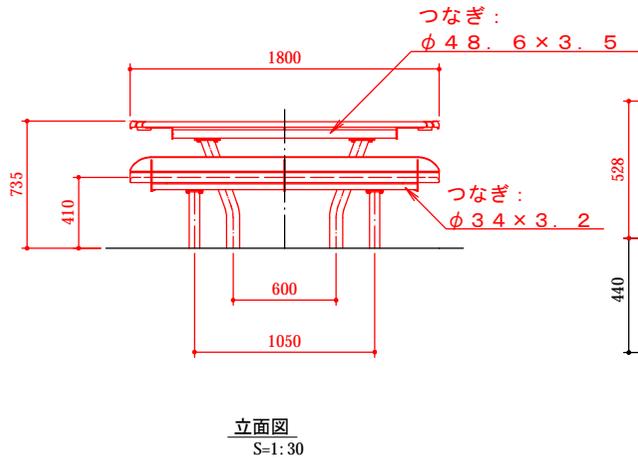


テーブル側面図
S=1: 20

サービス施設工構造図
(テーブルベンチ) S=図示

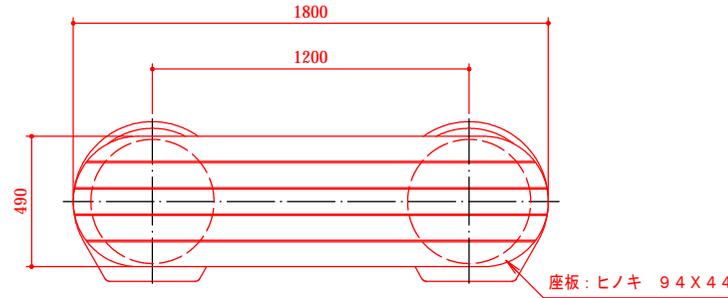


木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
木材角面は、全てR面取りとする。
鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉末塗装（ダークグレー）仕上げとする。
アルミ合金鋳物は、AC3Aとし、ウレタン樹脂塗料塗装（ダークグレー）仕上げとする。
本製品は、一般社団法人 本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。

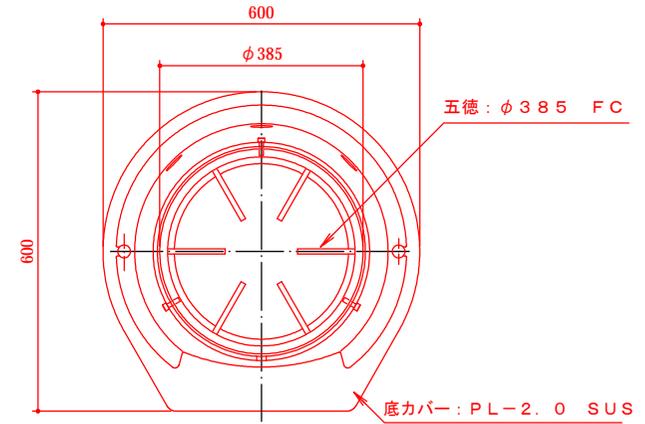


サービス施設工構造図

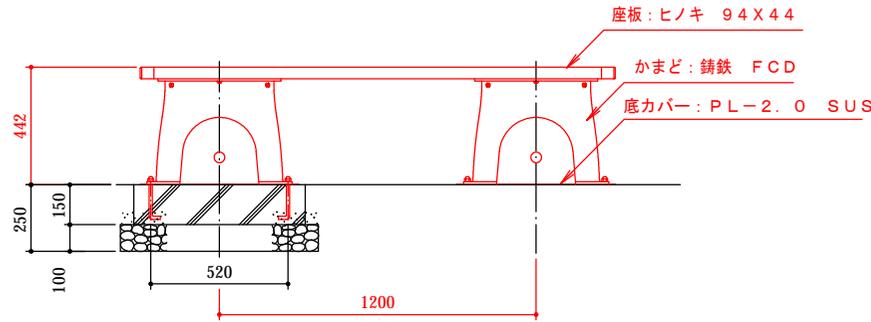
(かまどベンチ) S-図示



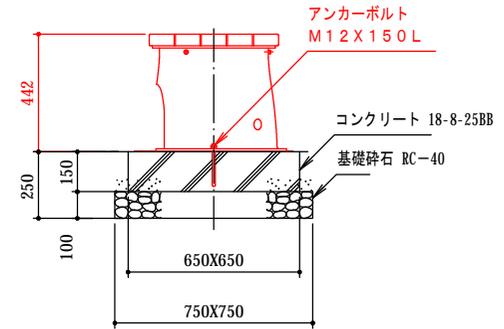
平面図
S=1:20



かまど使用時平面図
S=1:10



正面図
S=1:20



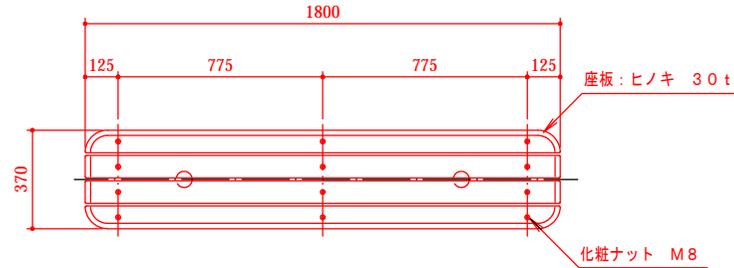
側面図
S=1:20

- ・木材は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ(一等材)とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料(色: チョコレート)塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・かまどは、鑄鉄FCDとし、ポリエステル粉体塗装(ダークグレー)仕上げとする。
- ・五徳は、鑄鉄FCとし、ポリエステル粉体塗装(ダークグレー)仕上げとする。
- ・底カバーは、ステンレス(SUS304)とし、2B材とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。

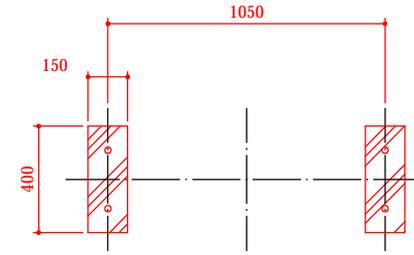
サービス施設工構造図

(ベンチ)

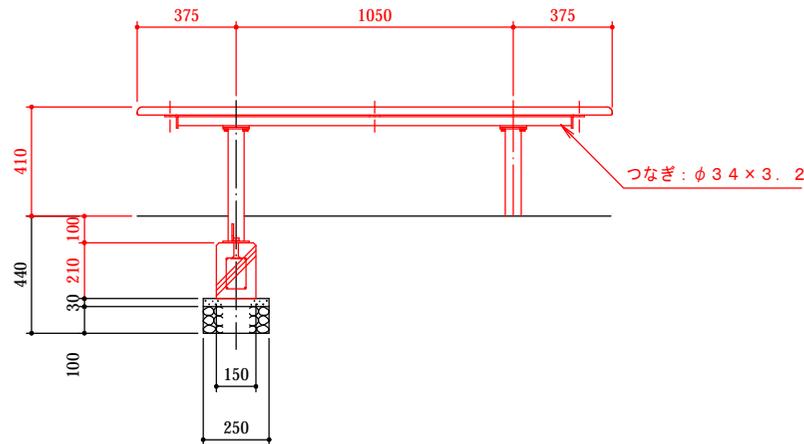
S=図示



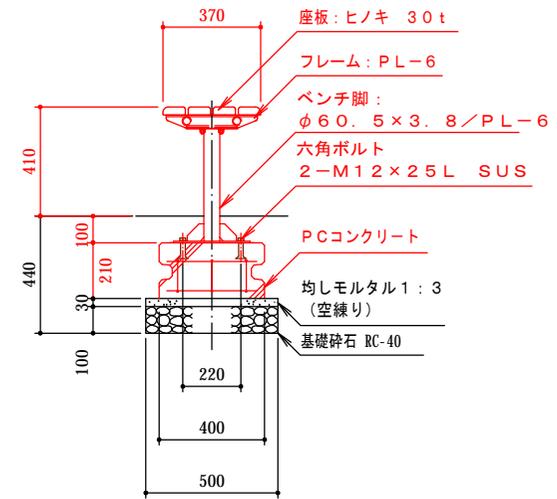
平面図
S=1: 20



基礎伏図
S=1: 20



正面図
S=1: 20



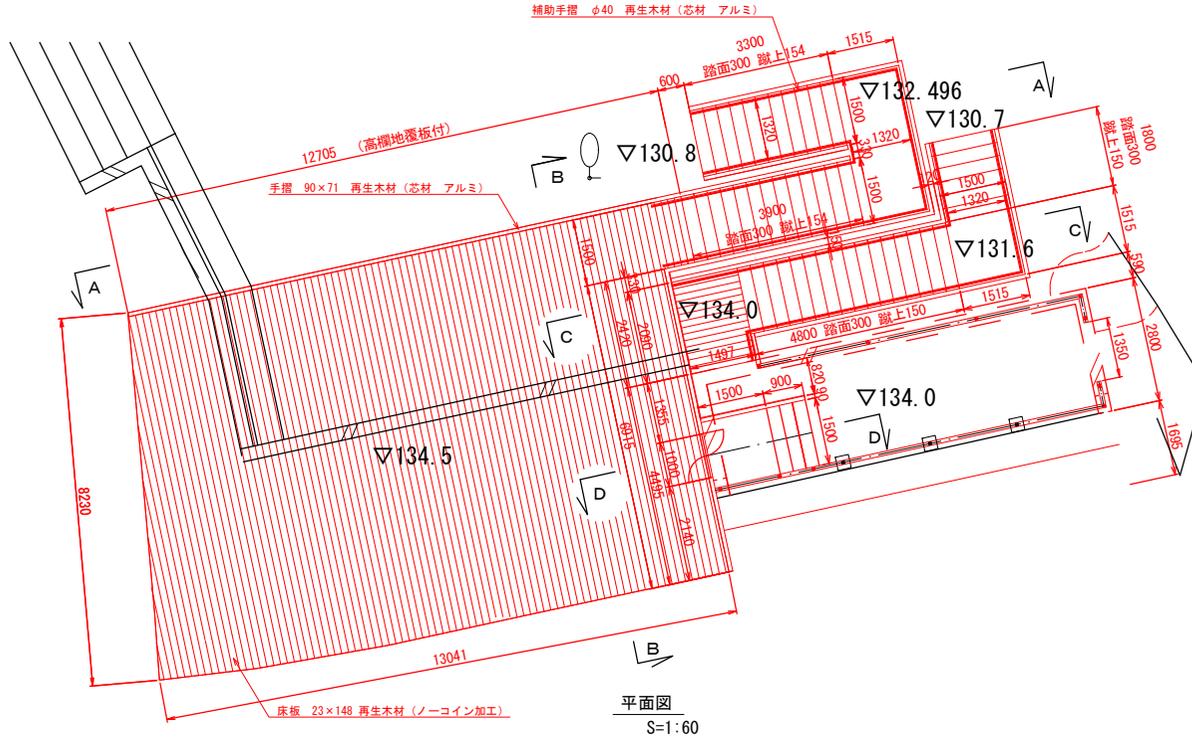
側面図
S=1: 20

- ・木材は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チヨコレート）塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉末塗装（ホワイト）仕上げとする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。

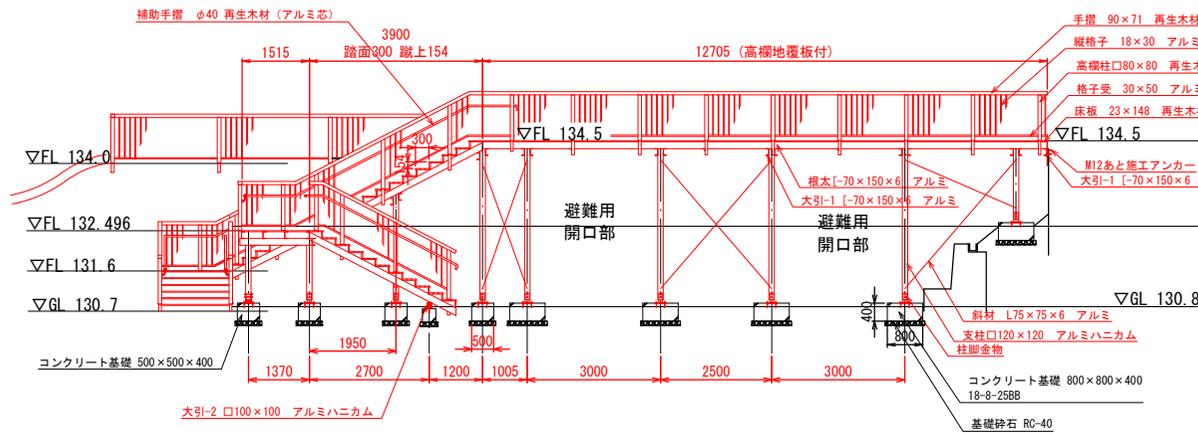
園路広場整備工構造図

(にぎわいデッキ(1))

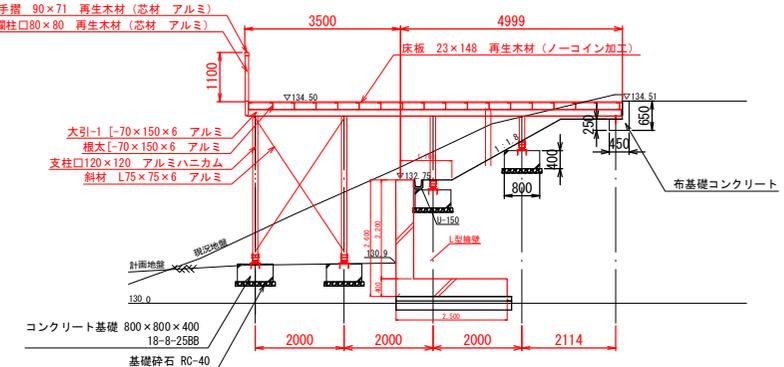
S=図示



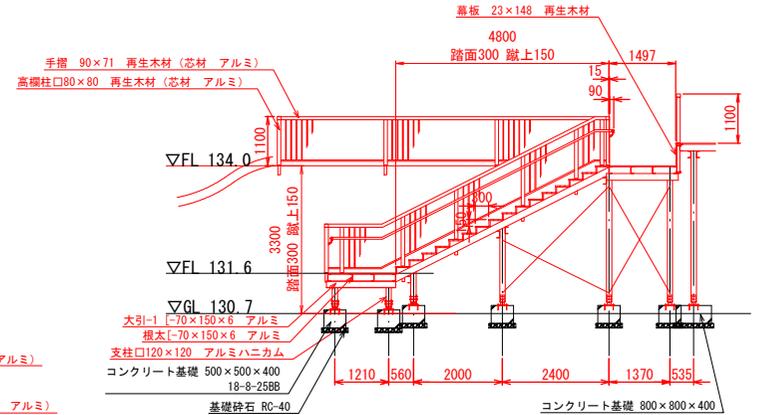
平面図
S=1:60



立面図(A-A)
S=1:60



断面図(B-B)
S=1:60



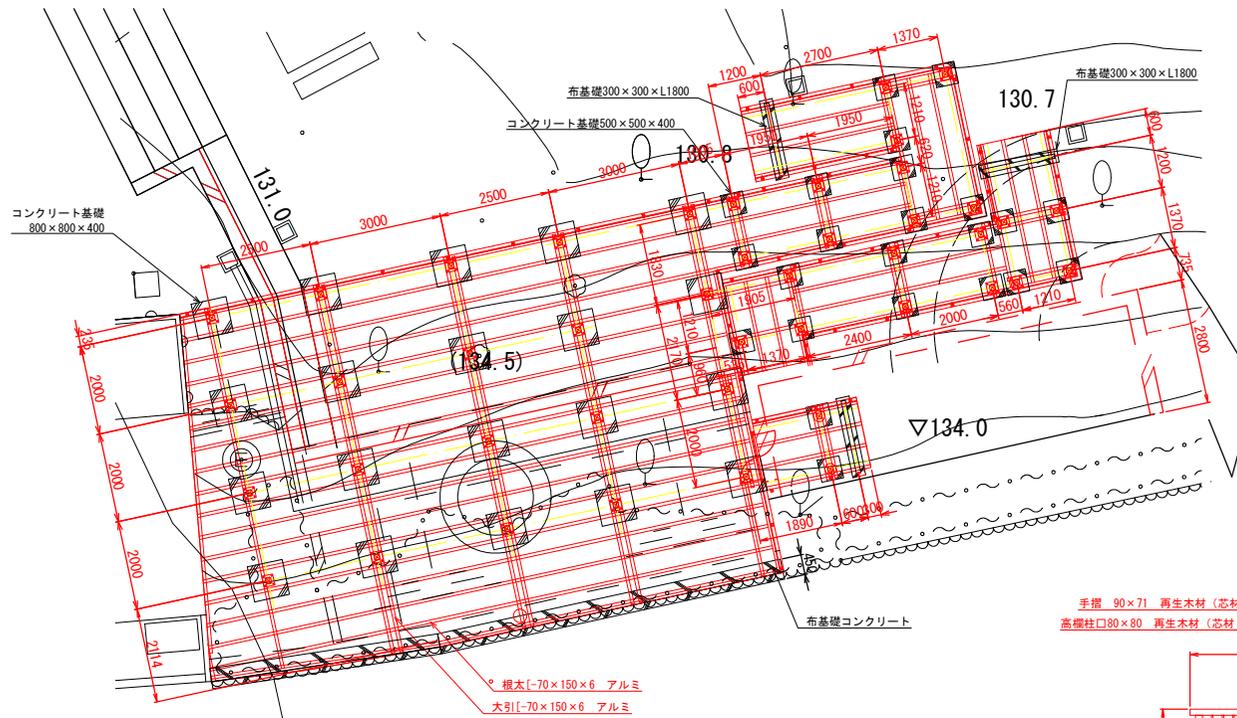
矢視図(C-C)
S=1:60

- 仕様
- 1) 再生木材は再生ポリエチレン45%、木粉比率50%以上の配合比率とする。
 - 2) 再生木材の比量は1.3以上とする。
 - 3) 構造材アルミ合金材質はA6063S-T5以上の強度を有するものとし、アルマイト処理(マットブラウン色)を施した材料とする。
 - 4) 特記なき限りポルト、ワッシャー類は溶融亜鉛めっき仕上げ、若しくは同等以上とする。(ビス類を除く)
 - 5) 図示された製品は賠償責任保険加入製品とする。
 - 6) 基礎工法(PIN FOUNDATION工法)はMETIS登録実業技術(国土交通省新技術)とする。
 - 7) 現地状況位置の地盤調査を実施して、監督員と協議の上、打込みピン長さ等を決定すること。
 - 8) (社)日本公園施設業協会SP、SPL表示認定企業の製造製品とする
 - 9) 支柱の長さは現地地盤により、変更することとする。

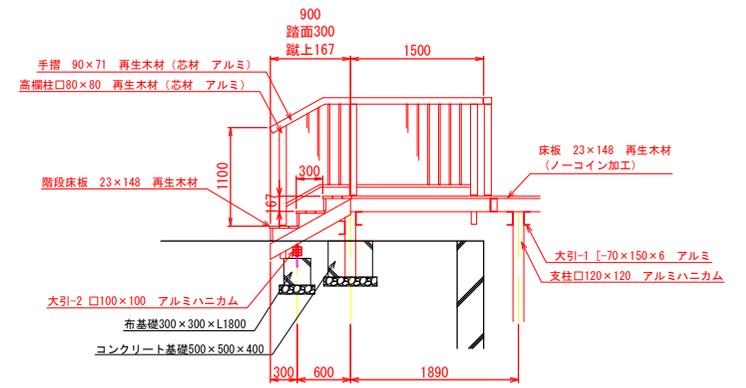
園路広場整備工構造図

(にぎわいデッキ(2))

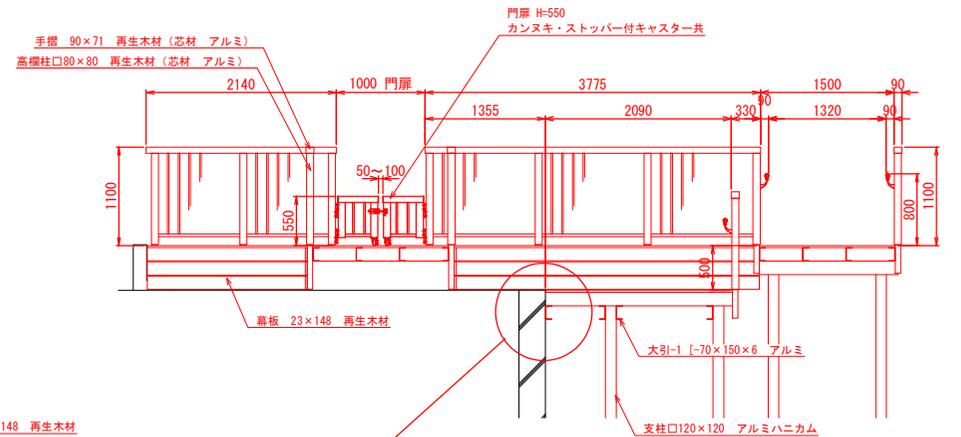
S=図示



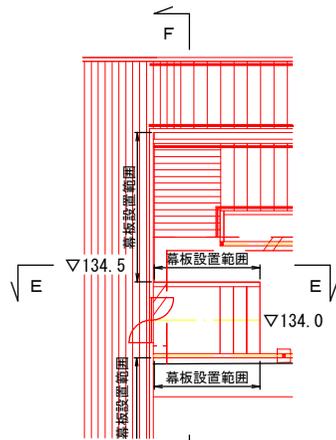
根太伏図
S=1:60



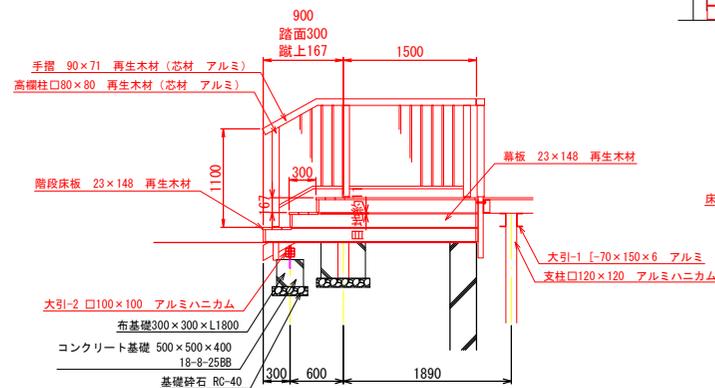
矢視図 (D-D)
S=1:60



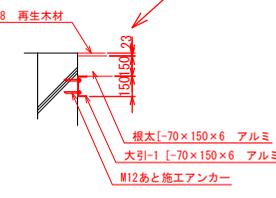
矢視図 (F-F)
S=1:30



接続部平面図
S=1:30



拡大図 (E-E)
S=1:30

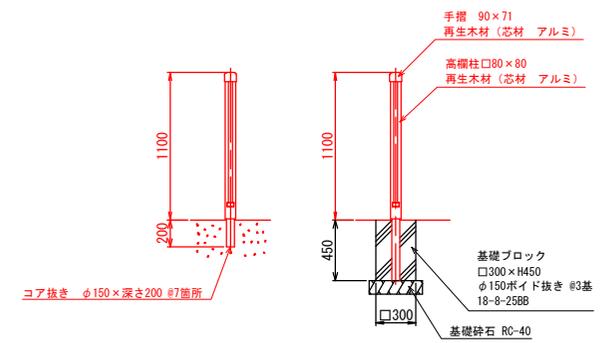
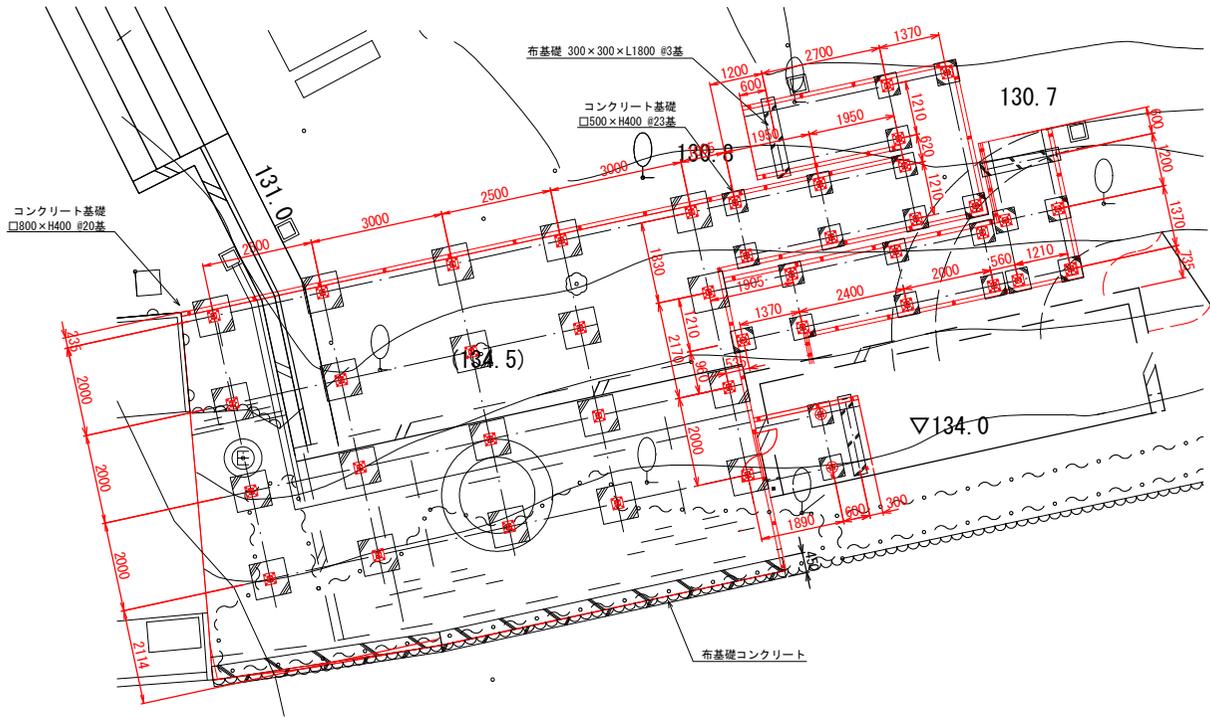


拡大図 (F-F)
S=1:20

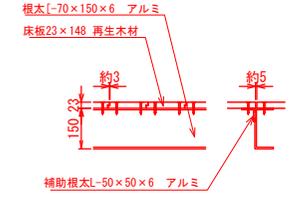
園路広場整備工構造図

(にぎわいデッキ(3))

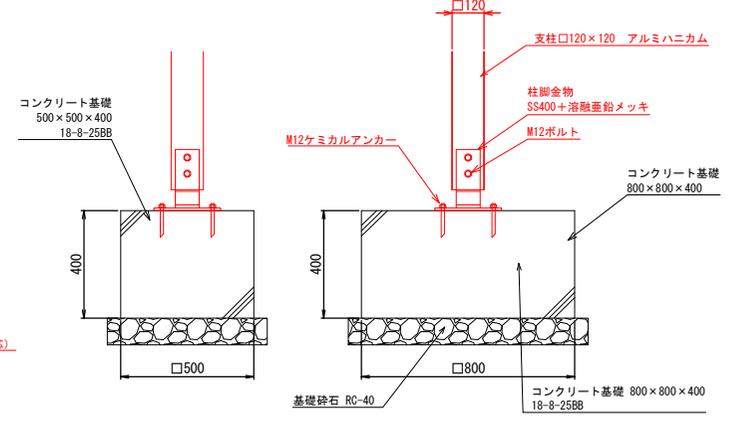
S=図示



高欄詳細図
S=1:20

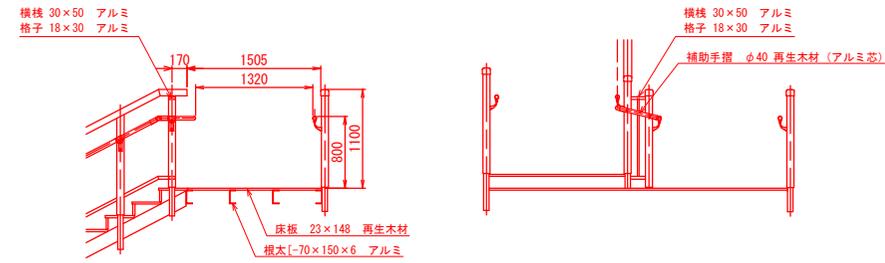


床版取付詳細図
S=1:10



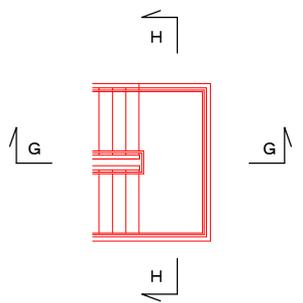
コンクリート基礎詳細図
S=1:10

基礎伏図
S=1:60



矢視図 (H-H)
S=1:30

矢視図 (H-H)
S=1:30

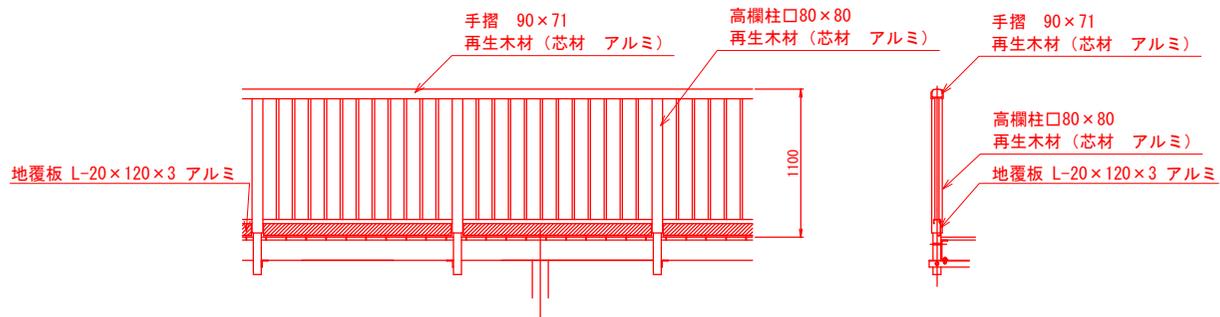


階段踊り場平面図
S=1:60

園路広場整備工構造図

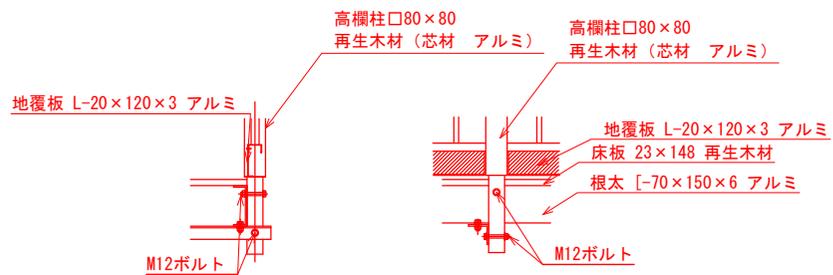
(にぎわいデッキ(4))

S=図示



高欄（地覆板）標準図

S=1:20



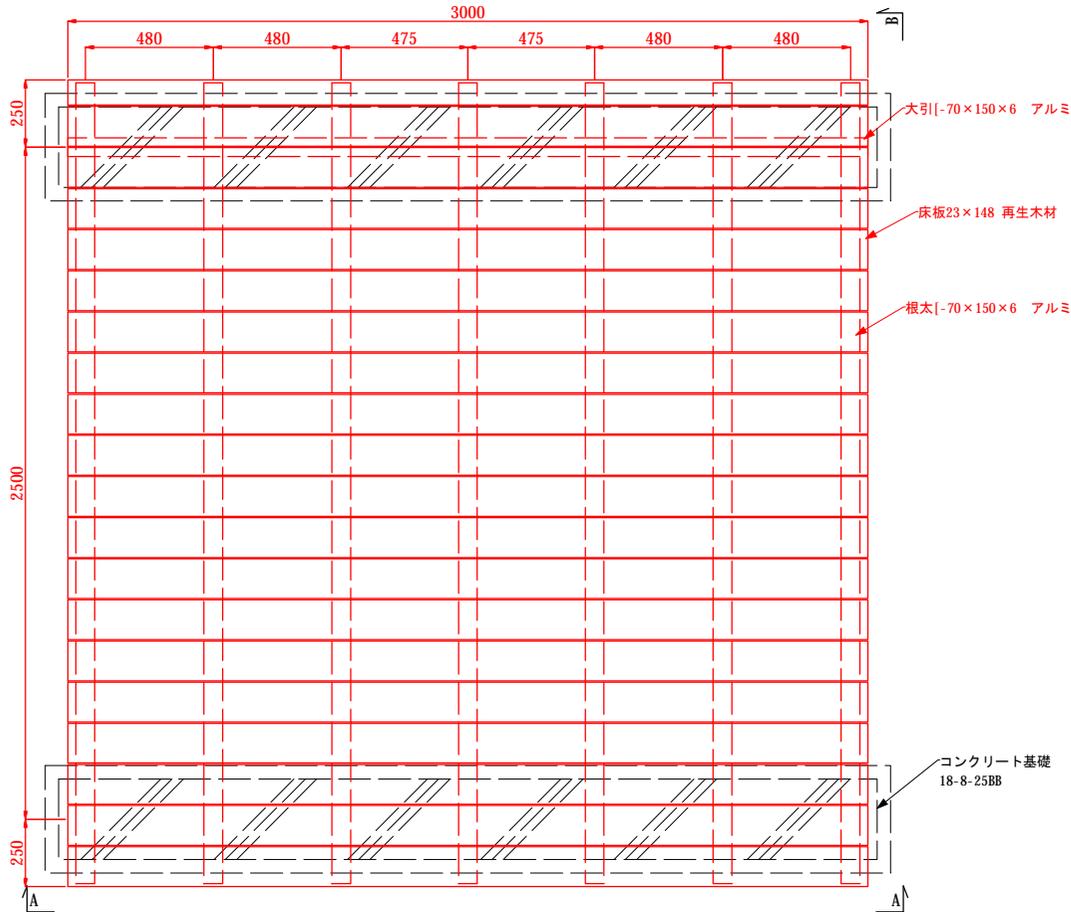
高欄・地覆板 取付詳細図

S=1:10

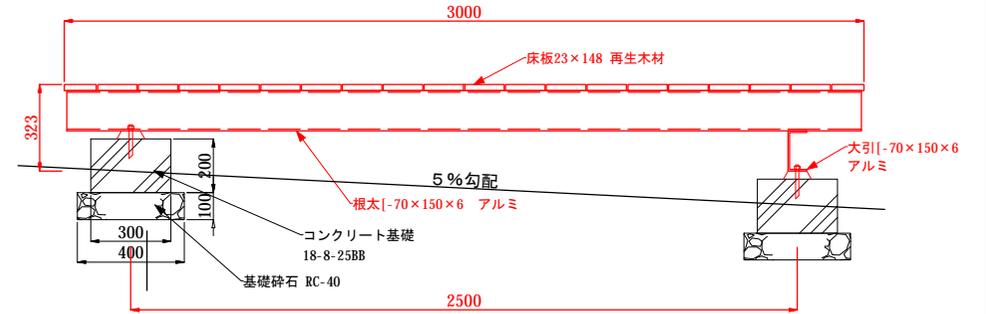
園路広場整備工構造図

(木製デッキ)

S=図示



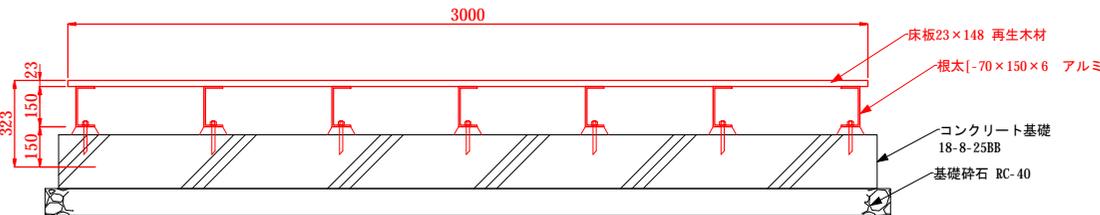
平面図
S=1:10



断面図 (B-B)
S=1:10

仕様

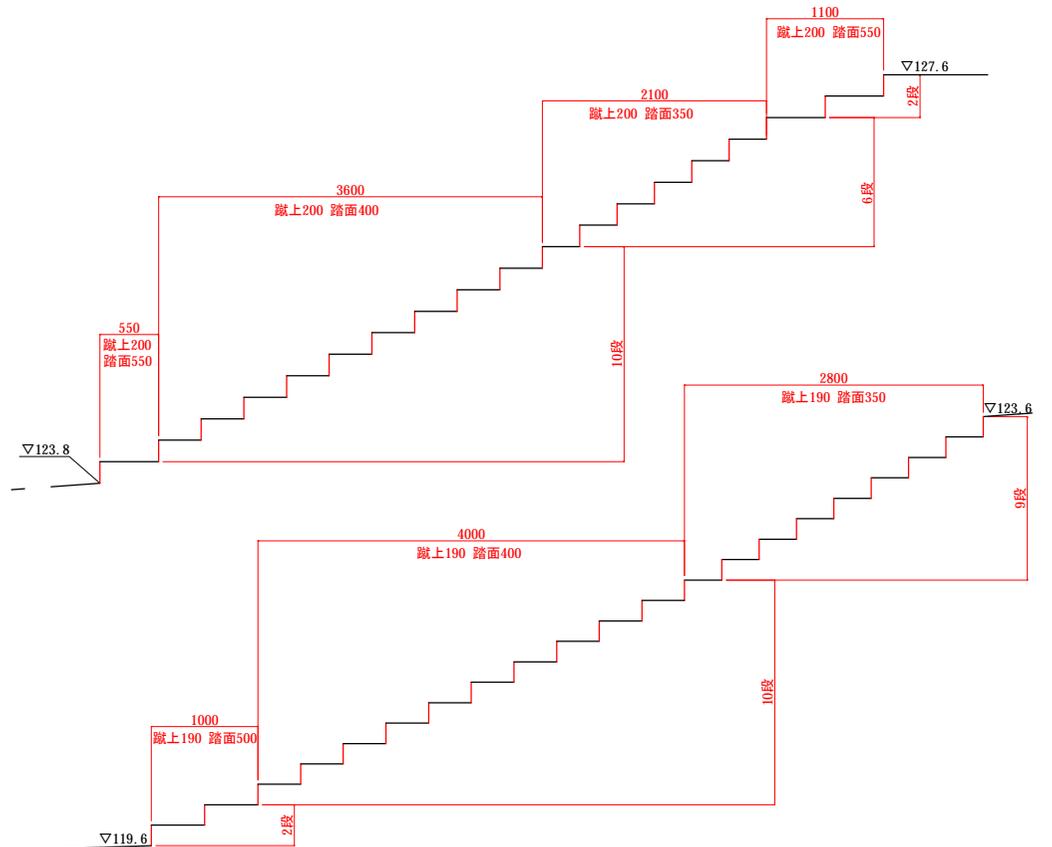
- 1) 再生木材は再生ポリエチレン45%、木粉比率50%以上の配合比率とする。
- 2) 再生木材の比重は1.3以上とする。
- 3) 構造材アルミ合金材質はA6063S-T5以上の強度を有するものとし、アルマイト処理(マットブラウン色)を施した材料とする。
- 4) 特記なき限りボルト、ワッシャー類は溶融亜鉛めっき仕上げ、若しくは同等以上とする。(ビス類を除く)
- 5) 打込みピンはSTK400 (一般構造用炭素鋼鋼管) + HDZ40 (亜鉛付着量)とする。
- 6) 柱脚プラケットはSS400 (一般構造用圧延鋼材) + HDZ55 + 塗装(19-20 Bこげ茶)とする。
- 7) 図示された製品は賠償責任保険加入製品とする。
- 8) (一社)日本公園施設業協会SP、SPI表示認定企業の製造製品とする。
- 9) 支柱の長さは現況地盤により、変更することとする。



断面図 (A-A)
S=1:10

園路広場整備工構造図
(擬木階段1) S-図示

擬木階段1
縦断面図 S=1:50

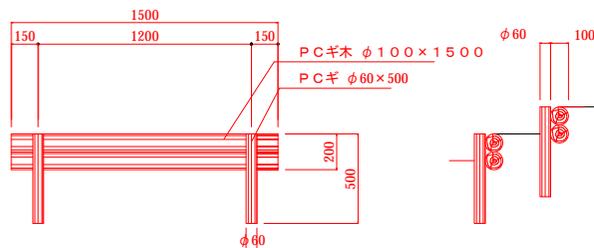


詳細図

S=1:30



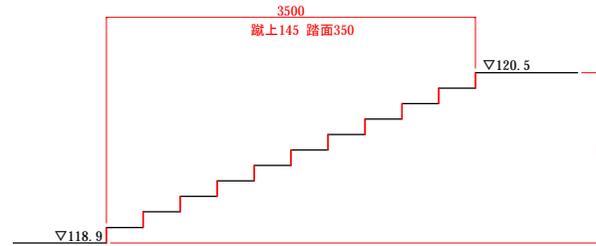
平面図



正面図

側面図

※ 表示寸法は標準寸法であり製作上収まり等により変更することがあります。

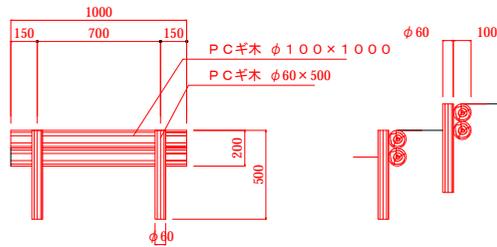


詳細図

S=1:30



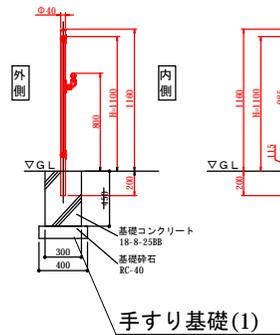
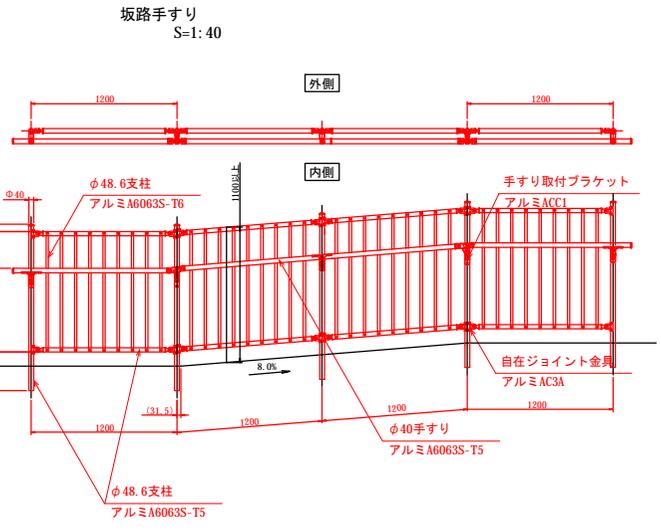
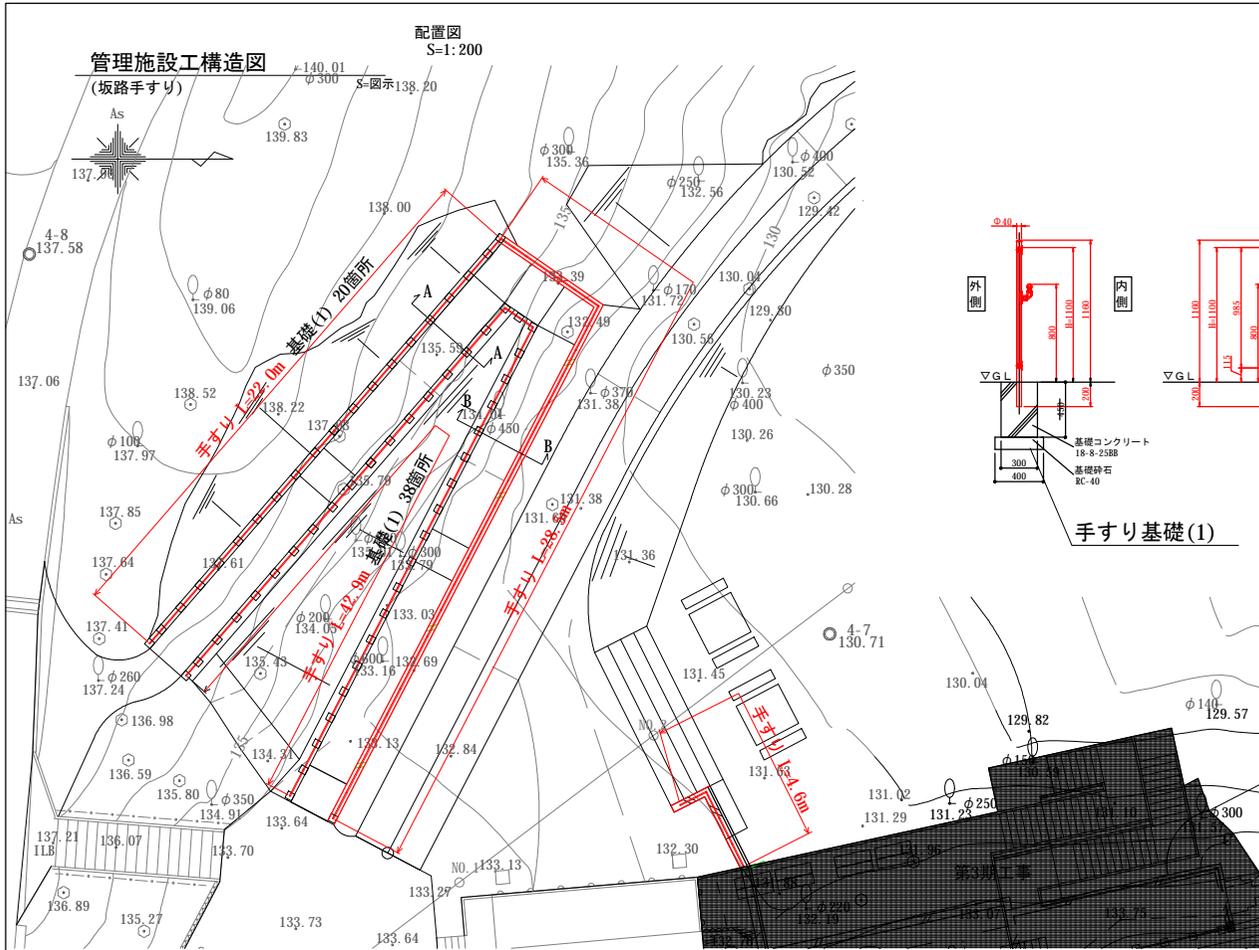
平面図



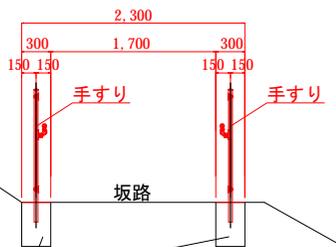
正面図

側面図

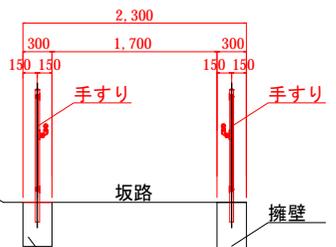
※ 表示寸法は標準寸法であり製作上収まり等により変更することがあります。



A-A断面図
S=1:50



B-B断面図
S=1:50

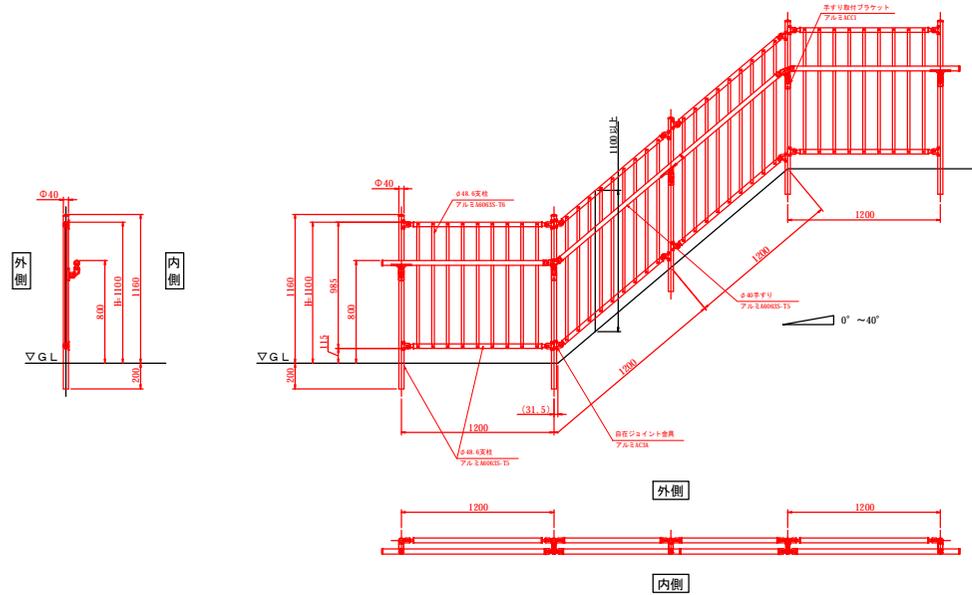


仕様

- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S：2014に準拠とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマーク№表示認定企業の製品とする。

管理施設工構造図
(エントランス手すり)

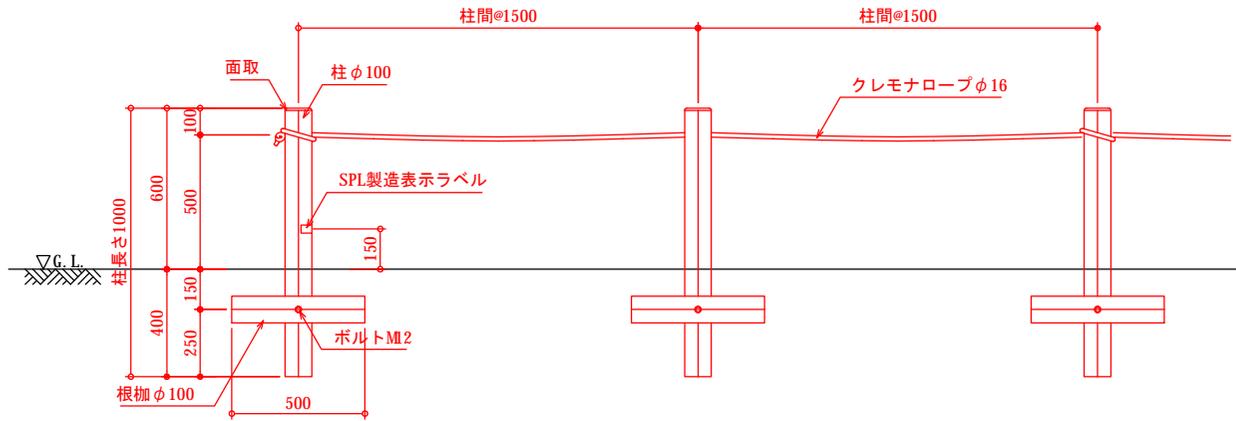
内観姿図・側面図・柱位置図
S=1:40



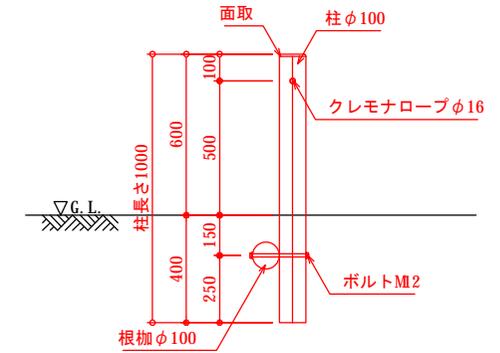
(参考図)

- 仕様
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S : 2014に準拠とする。
 - ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマークWo表示認定企業の製品とする。

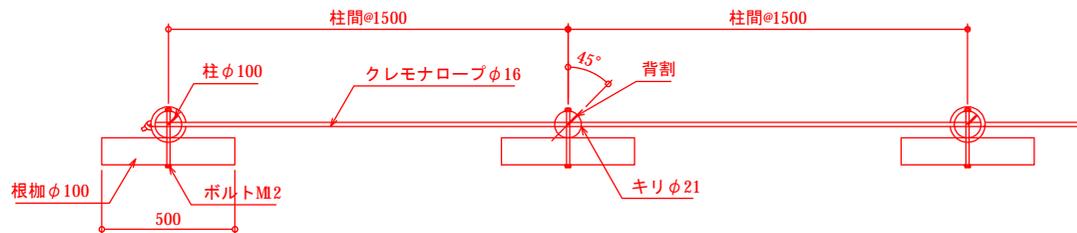
管理施設工構造図
(ロープ柵) S-図示



立面図
S=1:20



断面図
S=1:20



平面図
S=1:20

木材

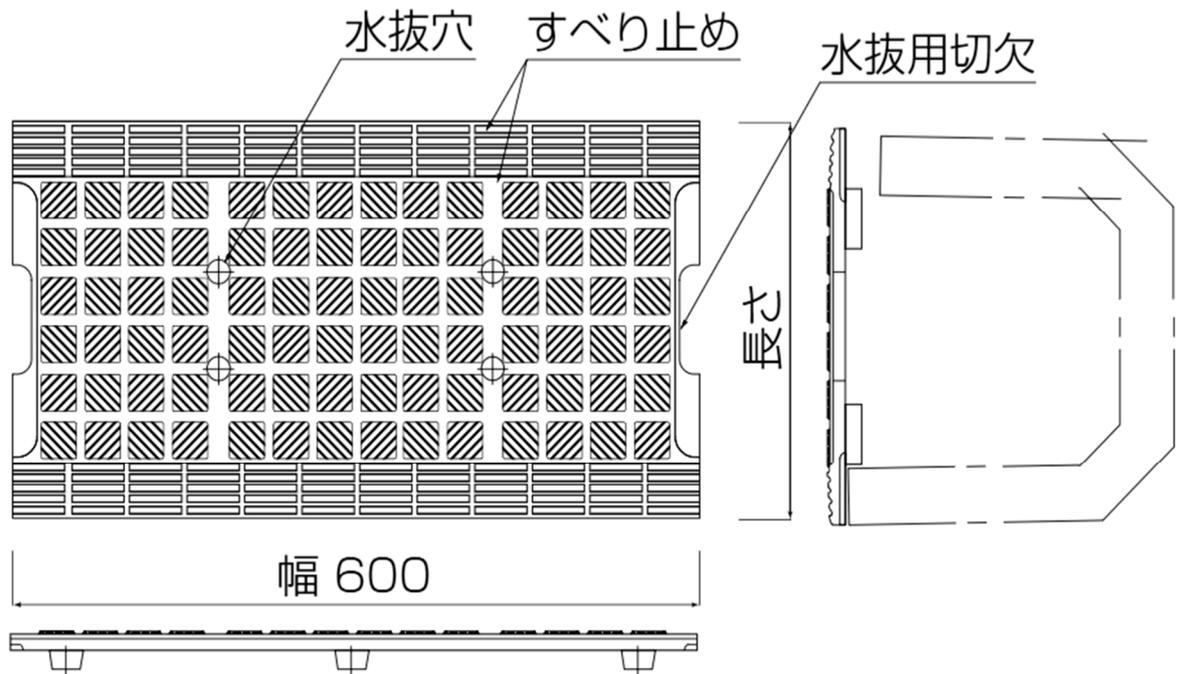
- ・木材は杉材（丸木材はD-リ-加工）を使用する。
- ・木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
- ・木材は全て加工後、AZNA ベツキ7HC030木材保存剤を加圧注入処理する。
- ・加圧注入方法はJIS A 9002による。
- ・本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
- ・木材の見え掛り部は面取を行なう。
- ・柱は背割を行なう。背割深さは木材の1/2までとする。
- ・柱の地際部は上下10cmの範囲にサンプレザ-08塗布とする。

ボルト類

- ・ボルトは図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
- ・製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。
- ・本製品は（一社）日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。
- ・本製品は（一社）日本公園施設業協会のSP表示認定企業にて製作とする。
- ・SPL製造表示ラベルの表示を行う。（1ヶ所）

側溝蓋（U-180用）

ソフトカバーゴム蓋



高耐久ポーラスアスファルト（13）仕様

○標準粒度範囲

混合物の種類		高耐久ポーラスアスファルト（13）
最大粒径		13mm
百分通 率過 （質 %量 ）	19.0mm	100
	13.2mm	90～100
	4.75mm	11～35
	2.36mm	10～20
	75 μ m	3～7
アスファルト量		4.0～6.0

○混合物性状

項目		目標値
突固め回数		50回
空隙率	%	20%程度
安定度	KN	4.9以上
フロー値	1/100cm	20～40
カンタプロ損失量	%	20以下
残留安定度	%	85%以上（96時間水浸）
塑性変形輪数	回/mm	5,000回以上
透水係数	mm/sec	1×10^{-2} 以上
浸透水量	ml/15秒	1,000以上

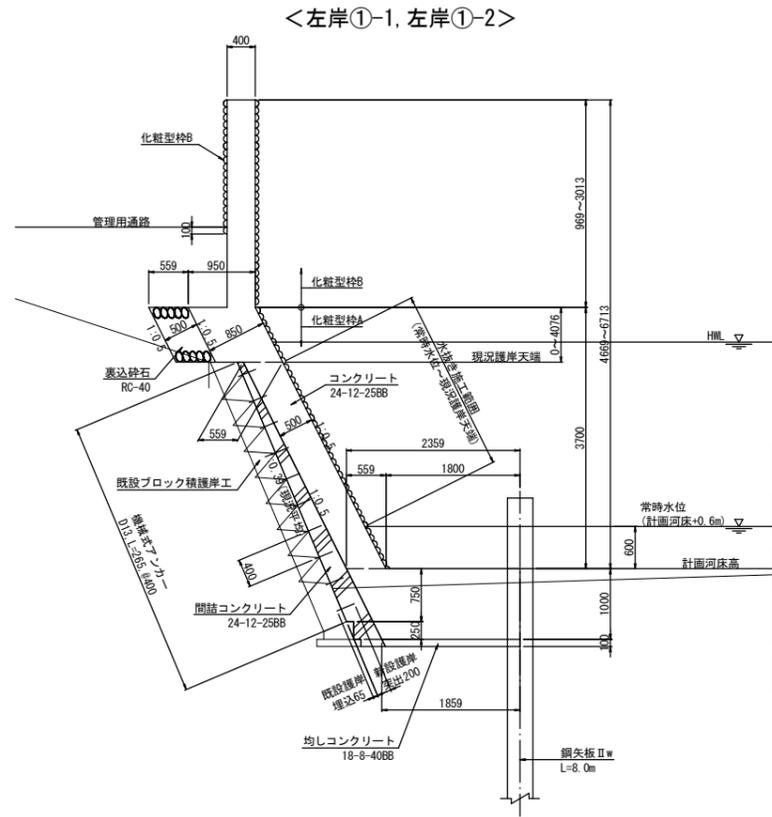
○アスファルトの性状

項目		基準値
針入度	1/10mm	40以上
軟化点	℃	80以上
伸度（15℃）	cm	50以上
薄膜加熱質量変化率	%	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	65以上
タフネス	N・m	20以上
引火点	℃	260以上

護岸工詳細図

もたれ式擁壁護岸工

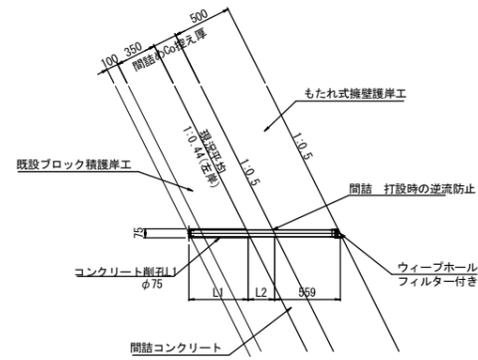
S=1:50



水抜き工 詳細図

S=1:30

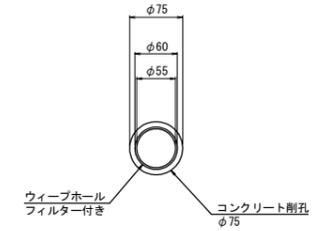
<左岸①, 右岸①> 控え500



※) 水抜き施工範囲(常時水位～現況護岸天端)に、1箇所/2m²とする。
 ※) 施工時に必要長の確認を行い、監督職員と協議を行う事。
 ※) 既設護岸削孔後 ウィーブホール設置後 護岸部コンクリートを打設する。

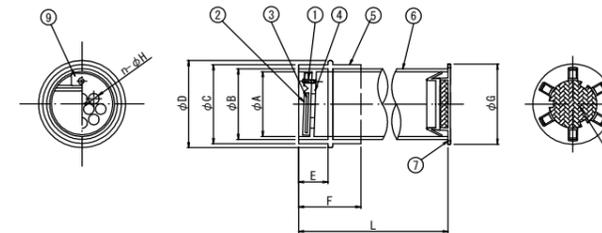
水抜き部正面図

S=1:5



ウィーブホール詳細図

S=1:3



水抜き寸法	A	B	C	D	E	F	G	L	n-H	孔口断面
φ50用	55	60	67	76	25	53	68	壁厚	7-8.5 1-21.6	764mm ²

番号	名称	数量	材質
1	ビス	1	SUS304
2	ゴム 弁	1	EPDM
3	インサート板	1	40, 50, 65-SUS304 25, 100-SPC
4	弁 座	1	ABS
5	ワッパ付ナット	1	ABS
6	本 体	1	H-PVC
7	フィルター	1	40, 65, 100-ABS 50, 100-PP
8	不織布	1	合成繊維
9	特殊産金	1	SUS304

年度		図面番号	/
河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	護岸工詳細図		
縮 尺	S=1:50, 30, 5	作成年月	
大阪府富田林土木事務所			

護岸工構造図 S=1:50(A3)
(鋼矢板新設区間)

笠コンクリート	ハットブロック
コンクリート被覆工	残存パネル

断面図

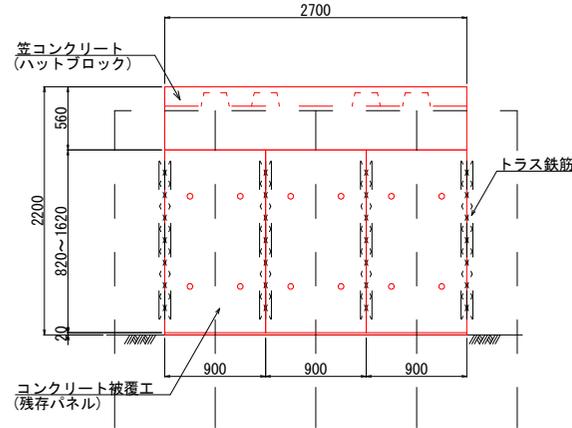
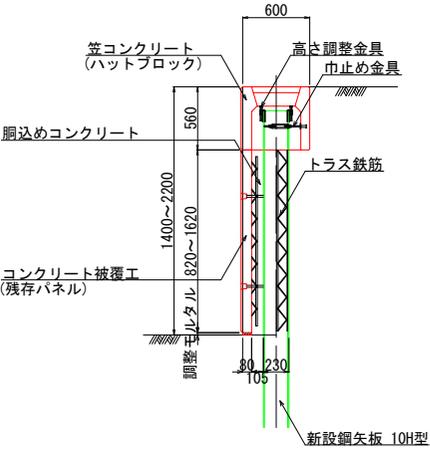
正面図

製品単体図

ハットブロック

残存パネル

川表 川裏

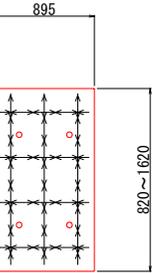
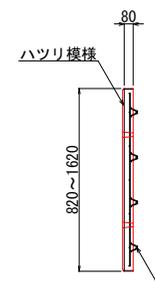
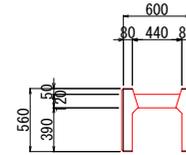


側面図

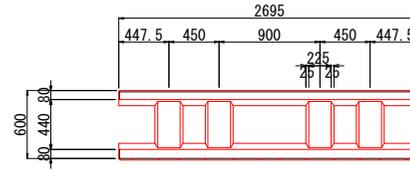
正面図

側面図

背面図



平面図



施工手順(案)

①セパレータ・トラス鉄筋溶接

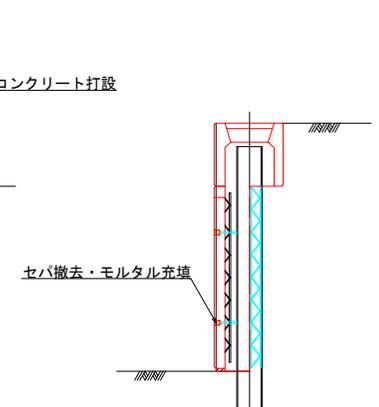
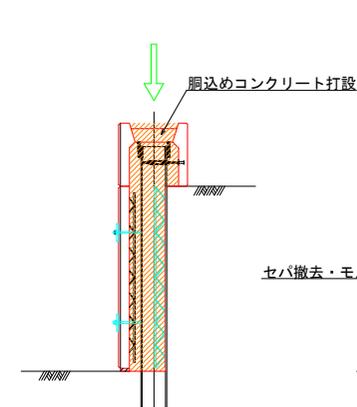
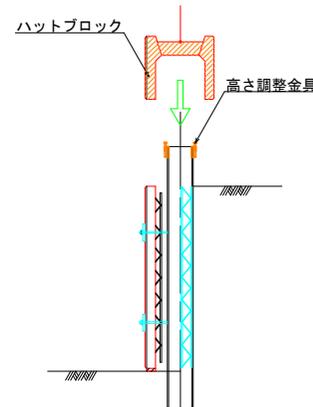
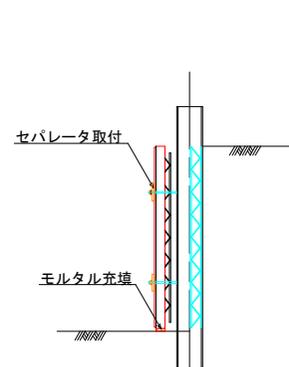
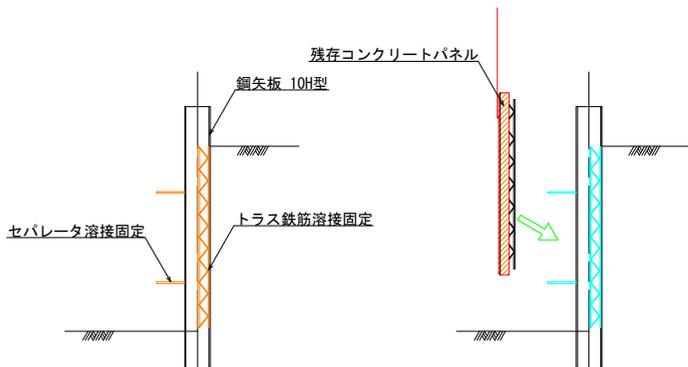
②残存パネル据付

③セパレータ取付

④ハットブロック据付

⑤コンクリート打設

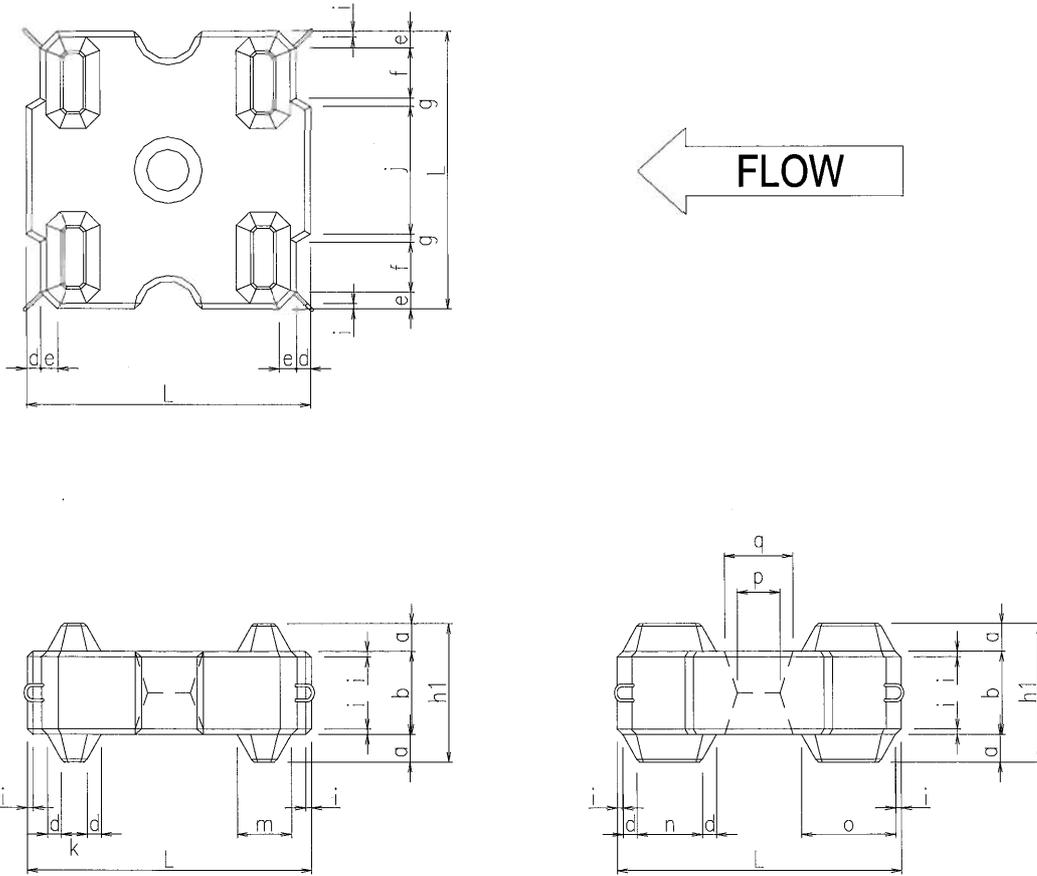
⑥モルタル充填 → 完成



リーフロックの安定検討 (I型 2.0t型)

【群体モデル】

1. 形状寸法図



○寸法表

単位:mm

呼び名	a	b	d	e	f	g	h1	l	j	k	L	m	n	o	p	q
2.0t型	145	435	73	87	261	44	725	29	666	130	1450	276	333	479	218	348

7.2 護床工の安定計算

護床工の安定検討として、流体力に掃流されないための護床工の必用重量を算定する。

根固工の必要質量の算定は、【建設省河川砂防技術基準(案)同解説 設計編 [I]】p. 43「滑動・転倒-層積み」モデルに基づき行なう。

滑動および転倒に対する安定条件より、根固工の必要質量は次式により与えられる。

$$\begin{aligned}
 W > \alpha \cdot \left(\frac{\rho_w}{\rho_b - \rho_w} \right)^3 \cdot \frac{\rho_b}{g^2} \cdot \left(\frac{V_d}{\beta} \right)^6 \\
 &= 0.54 \times 10^{-3} \times \left(\frac{1000}{2300 - 1000} \right)^3 \times \frac{2300}{9.8^2} \times \left(\frac{4.800}{2.0} \right)^6 \\
 &= 1.125 \text{ (kN)} = 0.115 \text{ (t)}
 \end{aligned}$$

ここに W : ブロックの必要質量(空中) (t)
 V_d : 設計流速 (4.800 m/s) ※
 ρ_w : 水の密度 (1000 kg/m³)
 ρ_b : コンクリートの密度 (2300 kg/m³)

表 1-9 異型コンクリートブロックの係数 a の参考値⁴⁾

ブロック種別	模型ブロックの比重	a	β
対称突起型	$\rho_b/\rho_w = 2.22$	1.2	1.5
平面型	$\rho_b/\rho_w = 2.03$	0.54	2.0
三角錐型	$\rho_b/\rho_w = 2.35$	0.83	1.4
三点支持型	$\rho_b/\rho_w = 2.25$	0.45	2.3
長方形	$\rho_b/\rho_w = 2.09$	0.79	2.8

出典：建設省河川砂防技術基準(案)同解説 設計編 [I] P44

※：護床工設置箇所における最大流速を示す。

以上の計算結果では、流速に対して安定するための必用重量は0.115tとなる。

しかし、護床コンクリートブロック重量については、一般的には周辺で使用されている護床工の重量を考慮して設定している。

本設計区間下流部の多段式落差工で使用されている護床コンクリートブロック重量は、現地調査より2tonと想定できる。

したがって、本設計における護床コンクリートブロック重量は2tonとする。

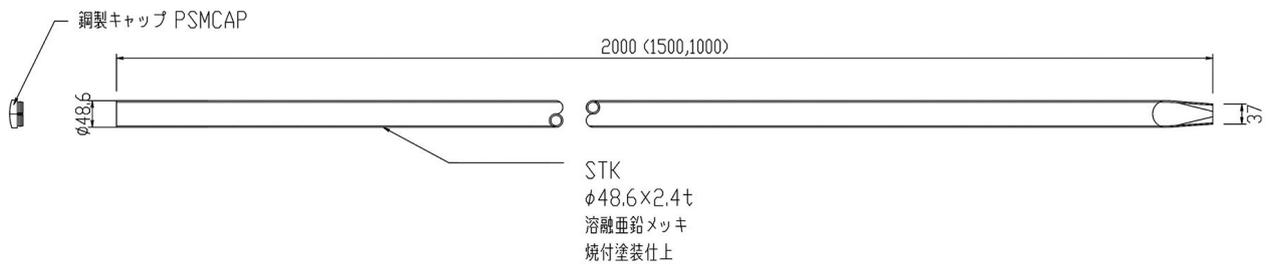
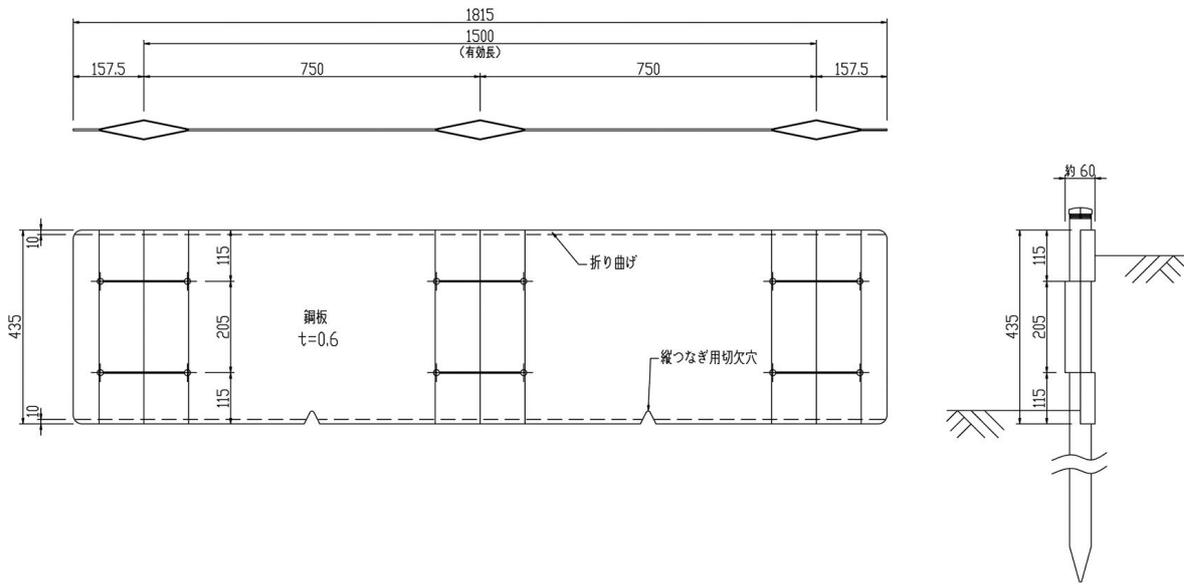
参考として、流速と護床ブロック重量との一般的な目安を下表に示す。

	高水時断面平均流速		
	2 m/s 未満	2~4 m/s 未満	4 m/s 以上
ブロック重量	0.5~2 t	1~4 t	2 t 以上
根固工の 天端幅	2~10 m	4~12 m	5 m 以上

(注) 1. ブロックの重量は、河幅の小さい場合は小さい値を採用する。
2. 乱積の場合の法勾配は標準的に1:1.5である。

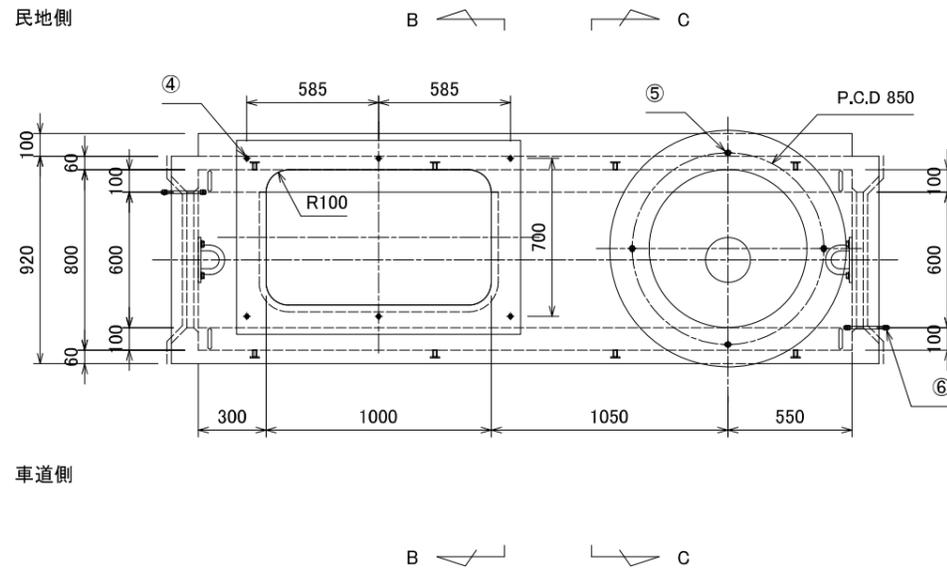
出典：災害手帳(平成 17 年度版)

鋼板矢板



E3柵構造図 S=1:15

平面図



符号	名称	数量	規格	備考
①	本体	1	レジンコンクリート	
②	吊下げフック	4	SS400垂鉛メッキ	φ16
③	後付けブーリングボルト	2	SS400垂鉛メッキ	φ25
④	機器据付用インサート	6	SUS304	M12
⑤	鉄蓋用インサート	4	SUS304	M16
⑥	アース端子	2	銅棒	φ12
⑦	インサートナット	24	SUS304	M12×30

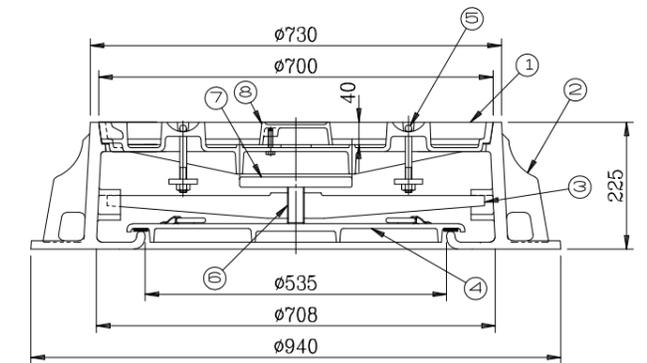
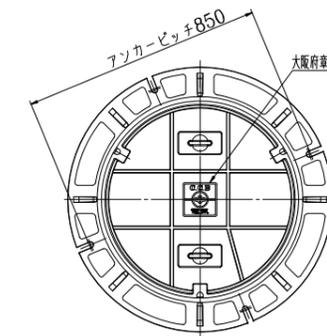
A

設計条件

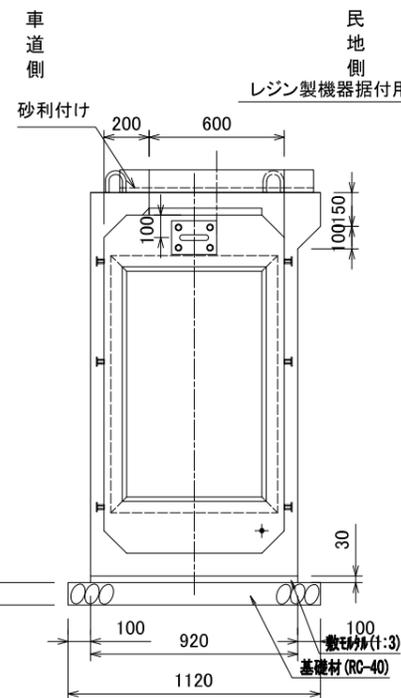
設計荷重	活荷重	245kN (1輪 50kN)
	衝撃	i = 0.1
構造形式	工場製品 レジンコンクリート製箱型構造	
内空寸法	800 ^W × 2900 ^L × 1500 ^H	
土の単位重量	$\gamma_s = 19\text{kN/m}^3$	
土圧係数	Ka = 0.5	
使用材料	レジンコンクリート	設計基準曲げ強度 $\sigma_{bk} = 18.0\text{MPa}$

※註記

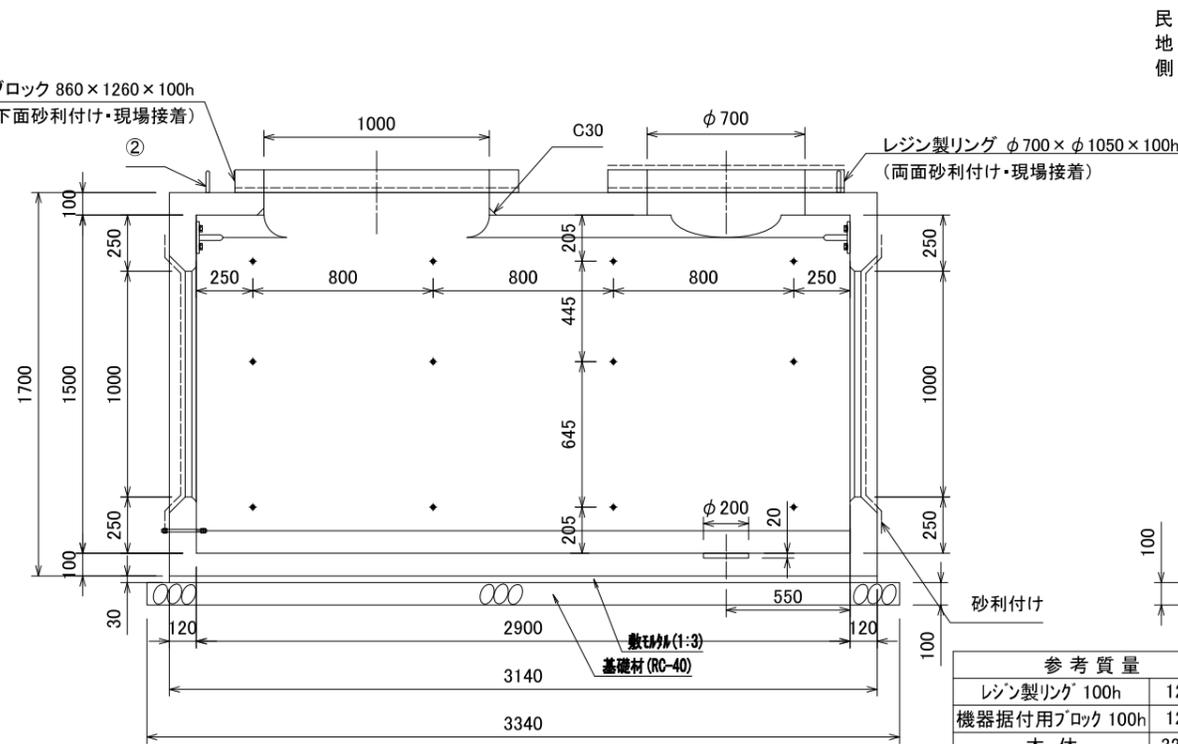
地下水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。



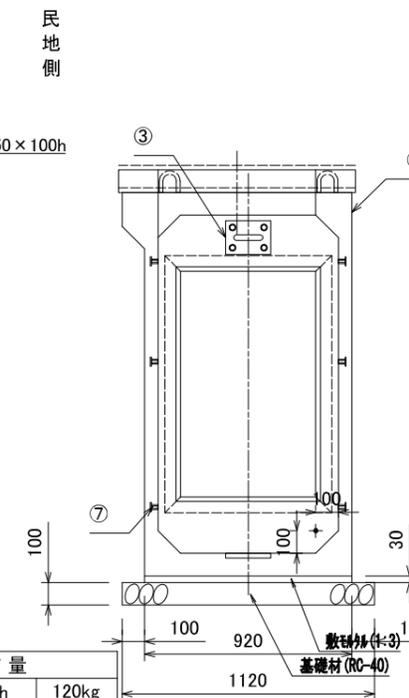
B-B断面図



A-A断面図



C-C断面図



参考質量	
レジン製リング 100h	120kg
機器据付用ブロック 100h	120kg
本体	3210kg
合計	3450kg

設計重量
 鋼材: 36kg (完成後 64kg)
 土砂: 137kg
 中置: 22kg

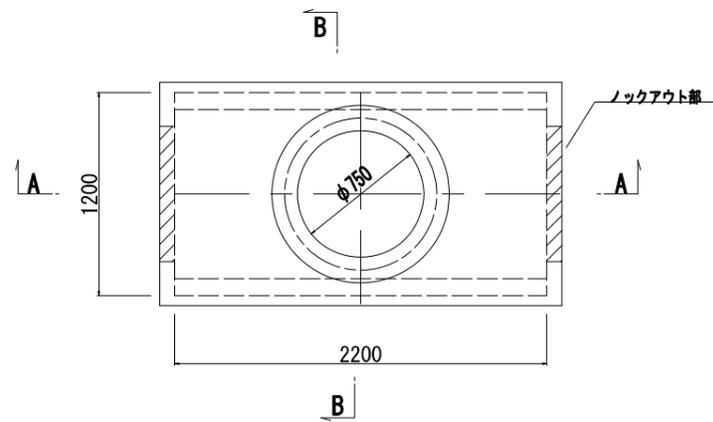
品名	部	名	材	質	備	考
8	マーク章	FC0500	1			
7	懸付ハンドル	FC200	1			
6	懸付ボルト	ステンレス	1			
5	吊り上げ用把手	SS400	2			巻起めつき
4	中置	FC0500	1			パッケージ付
3	押入金物	FC0500	1			
2	受枠	FC0600	1			
1	蓋	FC0700	1			

RT-S1柵構造図

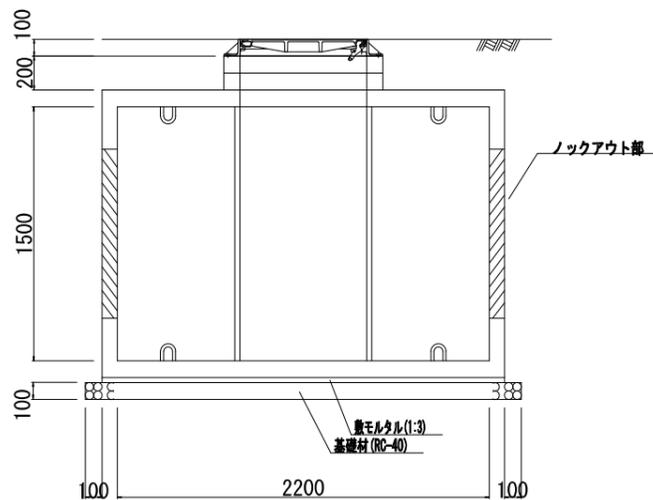
RT柵S1型 S=1/20

鋳鉄蓋円形750 (車道用) S=1/10

平面図



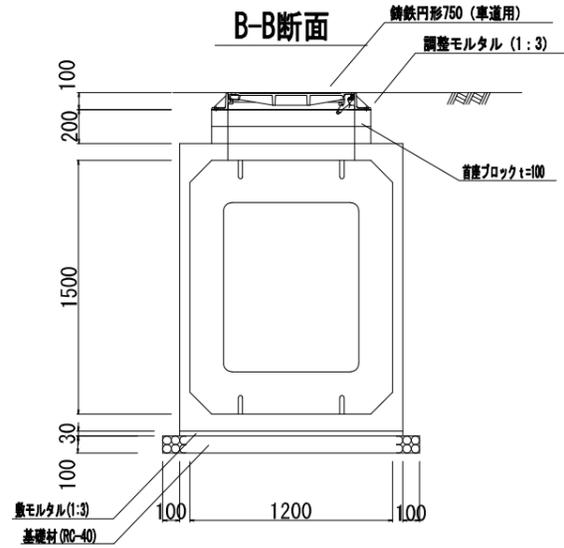
A-A断面



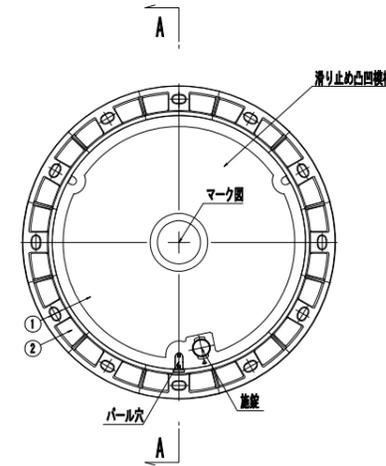
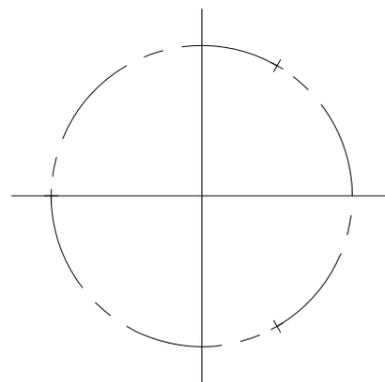
設計条件(車道)	
設計荷重	活荷重 T-25 (P=50kN)
	衝撃係数 i=0.4
内空寸法	1200W x 2200L x 1500H

※注記
地下水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

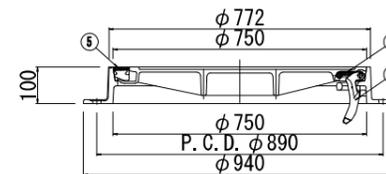
B-B断面



首座ブロック (車道用) S=1/10



A-A断面

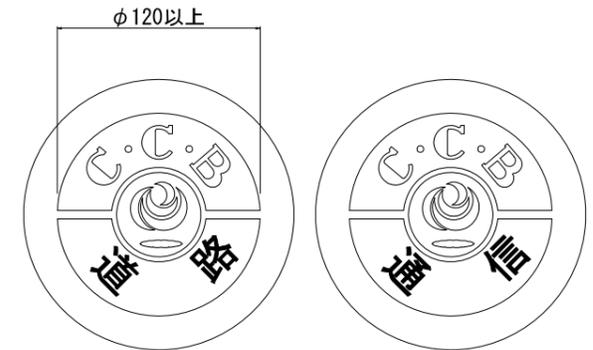


設計条件(車道)	
設計荷重	活荷重 T-25 (P=50kN)
	衝撃係数 i=0.4
	設計荷重 55kN

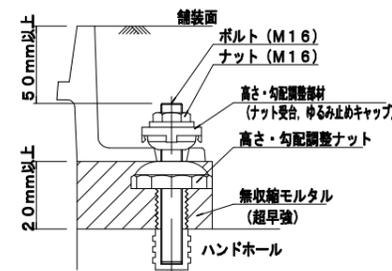
※アンカー穴寸法はアンカーピッチが
ズレた場合を考慮し、クリアランスをとること。
※施錠部は、下表の機能を有する構造とするが、
細部の形状寸法は制約しない。
※落下防止対策として、片側継ぎ構造とするが、
細部の形状寸法については制約しない。
※鋳鉄蓋表面には、管理ナンバープレート(10桁)
を設置するものとする。
※T柵の場合、シリンダー錠の有無については、
入線企業者と協議を行うこと。
※磁石帯等に設置する場合は、充填材料について、
管理者と協議を行うこと。
※柵本体と蓋は、ボルト・ナット等で固定すること。

品番	名称	材質	個数	備考
①	蓋	FCI700以上	1	
②	受枠	FCI500以上	1	
③	蝶番金物	FCI400以上	1	
④	蝶番押え	-	1	
⑤	ゴム栓	CR	1	
⑥	回転カム	FCI又はSUS	1	
⑦	シリンダー錠	ステンレス	1	φ24X28
⑧	錠ホルダー	ステンレス	1	7桁以内加工
⑨	マグネットキャップ	ステンレス	1	
⑩	ゴムキャップ	CR又はEPM	1	

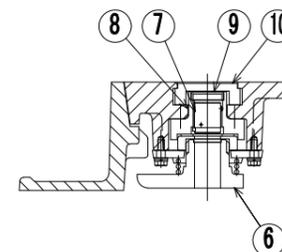
マーク図 S=1/2



鉄蓋固定構造図



施錠部構造図

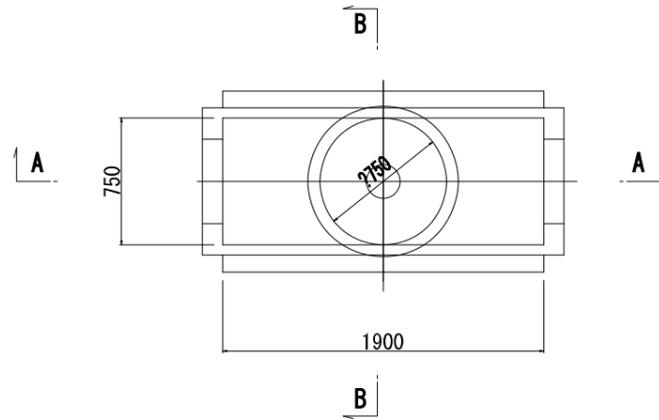


R-A1柵構造図

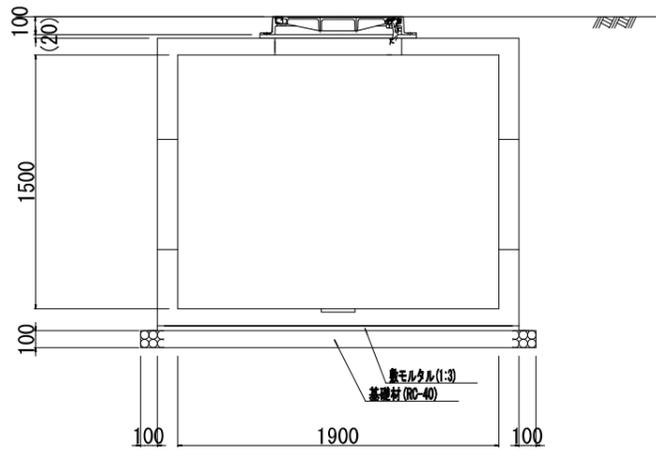
R柵A1型 S=1/20

鑄鉄蓋円形750 (歩道用) S=1/10

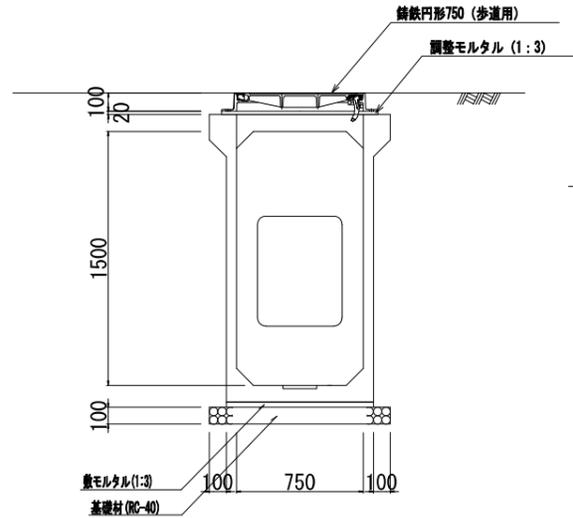
平面図



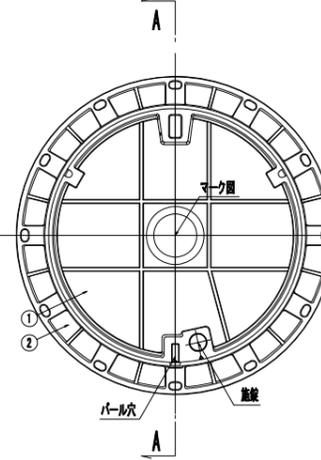
A-A断面



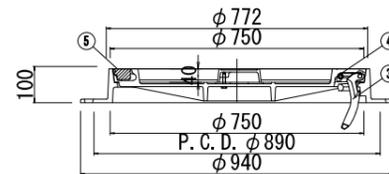
B-B断面



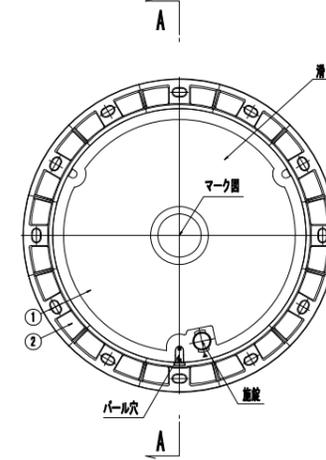
A1型(化粧蓋)



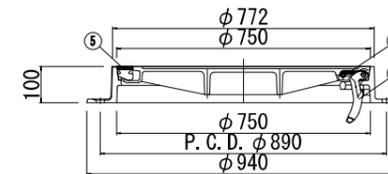
A-A断面



A2型(黒蓋)



A-A断面



設計条件 (歩道)

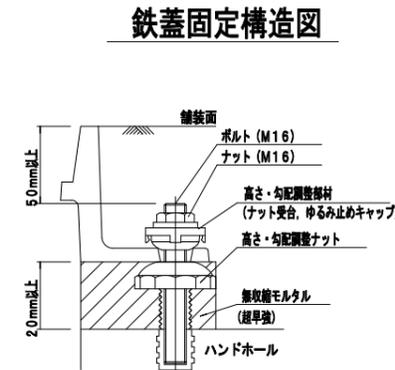
設計荷重	活荷重	T-25 (P=50kN)
	衝撃係数	i=0.1
	設計荷重	55kN

※アンカー穴寸法はアンカーピッチがスリした場合を考慮し、クリアランスをとること。
 ※施錠部は、下表の機能を有する構造とするが、細部の形状寸法は制約しない。
 ※落下防止対策として、片側施錠構造とするが、細部の形状寸法については制約しない。
 ※鑄鉄蓋表面には、管理ナンバープレート(10桁)を設置するものとする。
 ※T柵の場合、シリンダー錠の設置の有無については、入替企業者と協議を行うこと。
 ※施錠部等に設置する場合は、充填材料について、管理者と協議を行うこと。
 ※柵本体と蓋は、ボルト・ナット等で固定すること。

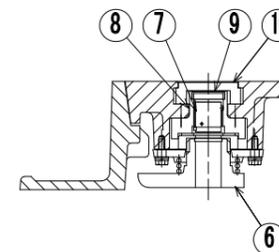
品番	名称	材質	個数	備考
①	蓋	FC700以上	1	
②	受枠	FC650以上	1	
③	蝶番金物	FC600以上	1	
④	蝶番押え	-	1	
⑤	ゴム栓	CR	1	
⑥	回転カム	FC又はSIS	1	
⑦	シリンダー錠	ステンレス	1	φ24X28
⑧	錠ホルダー	ステンレス	1	カギ取脱加工
⑨	マグネットキャップ	ステンレス	1	
⑩	ゴムキャップ	CR又はEPDM	1	

マーク図 S=1/2

鉄蓋固定構造図



施錠部構造図



設計条件 (歩道)

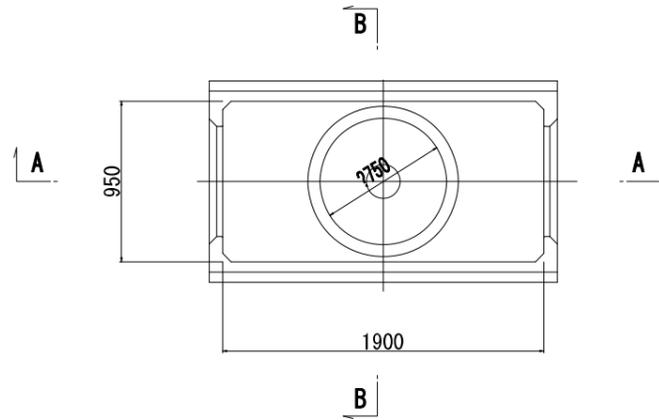
設計荷重	活荷重	T-25 (P=50kN)
	衝撃係数	i=0.1
内空寸法		750W x 1900L x 1500H

※注記
 地下水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

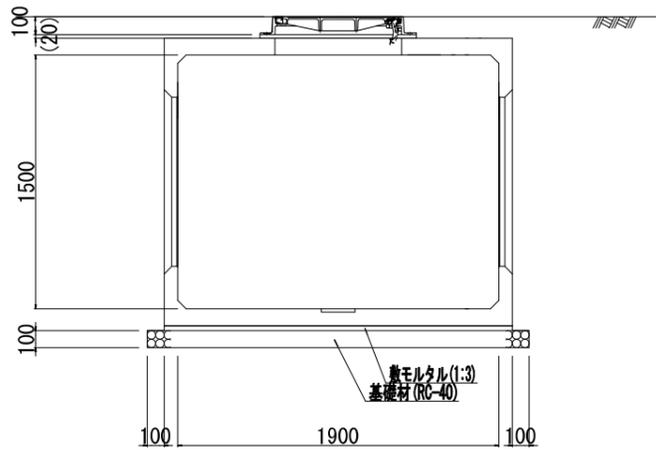
T-A 1 柵構造図

T柵A1型 S=1/20

平面図



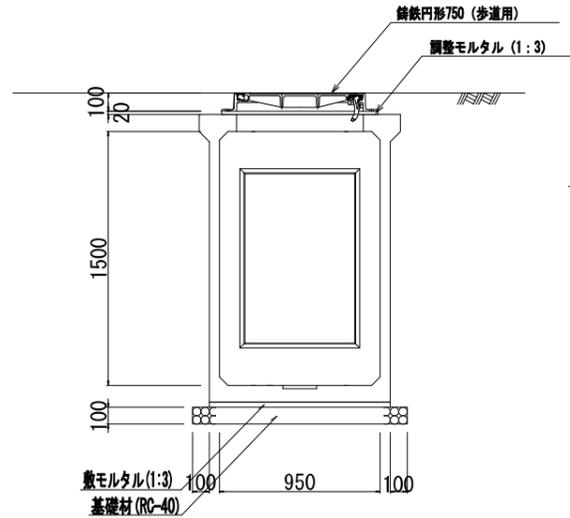
A-A断面



設計条件(歩道)		
活荷重	T-25 (P=50kN)	
設計荷重	衝撃係数	i=0.1
内空寸法	950W x 1900L x 1500H	

※注記
地下水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

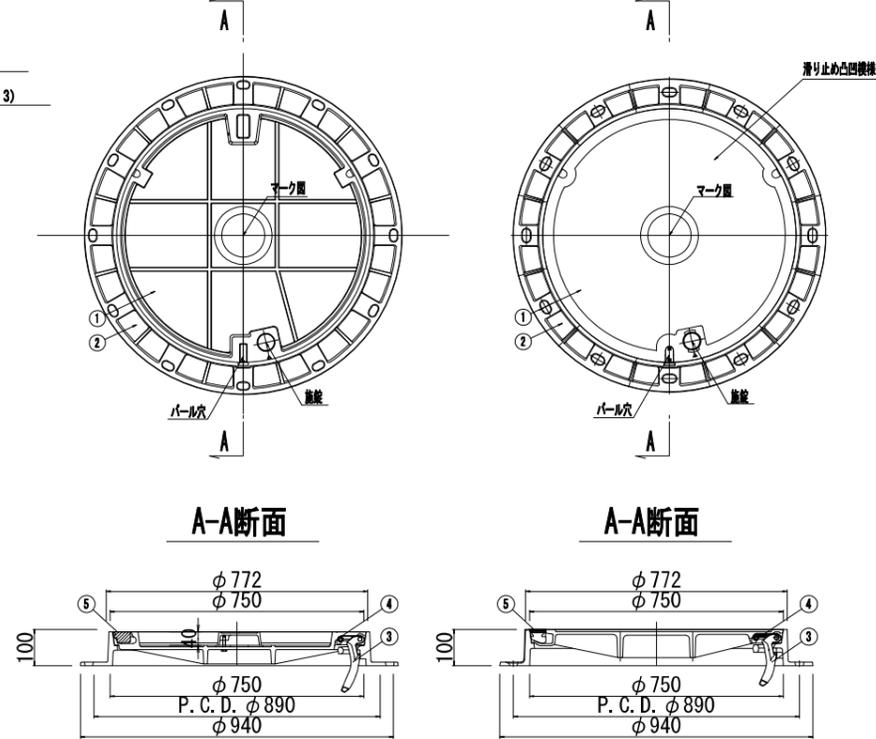
B-B断面



铸铁蓋円形750 (歩道用) S=1/10

A1型(化粧蓋)

A2型(黒蓋)



設計条件(歩道)		
活荷重	T-25 (P=50kN)	
設計荷重	衝撃係数	i=0.1
設計荷重	55kN	

※アンカー穴寸法はアンカーピッチが
ズレた場合を考慮し、クリアランスをとること。
※施錠部は、下表の機能を有する構造とするが、
細部の形状寸法は制約しない。
※落下防止対策として、片側施錠構造とするが、
細部の形状寸法については制約しない。
※铸铁蓋表面には、管理ナンバープレート(10桁)
を設置するものとする。
※T柵の場合、シリンダー錠の設置の有無については、
入替企業者と協議を行うこと。
※施錠部等に設置する場合は、充填材料について、
管理者と協議を行うこと。
※柵本体と蓋は、ボルト・ナット等で固定すること。

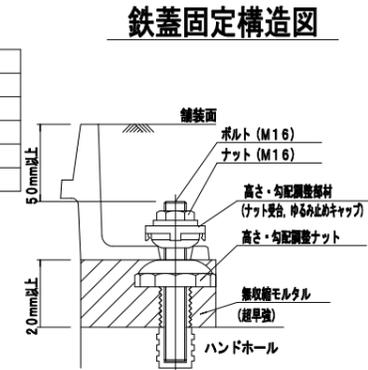
品番	名称	材質	個数	備考
①	蓋	FC700以上	1	
②	受枠	FC500以上	1	
③	蝶番金物	FC400以上	1	
④	蝶番押え	-	1	
⑤	ゴム栓	GR	1	
⑥	回転カム	FCD又はSUS	1	
⑦	シリンダー錠	ステンレス	1	φ24X28
⑧	錠ホルダー	ステンレス	1	7カギ用/付加工
⑨	マグネットキャップ	ステンレス	1	
⑩	ゴムキャップ	GR又はEPDM	1	

マーク図 S=1/2

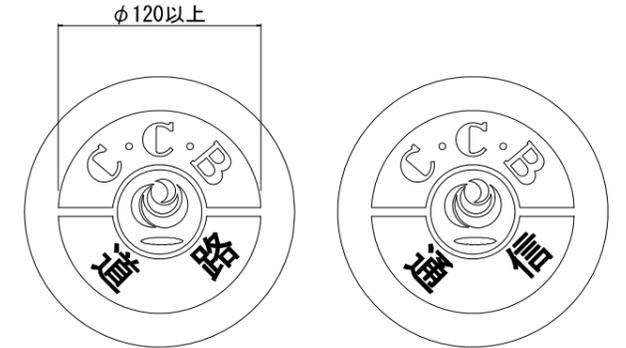
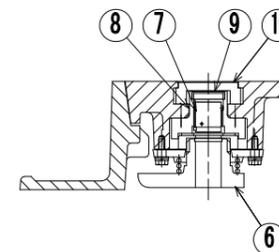
設計条件

活荷重	245kN (1輪 50kN)
衝撃	i = 0.1
内空寸法	800 x 2900 x 1500
土の単位重量	$\gamma_s = 19kN/m^3$
土圧係数	$K_a = 0.5$
使用材料	設計基準曲げ強度 $\sigma_{bk} = 18.0MPa$

鉄蓋固定構造図



施錠部構造図

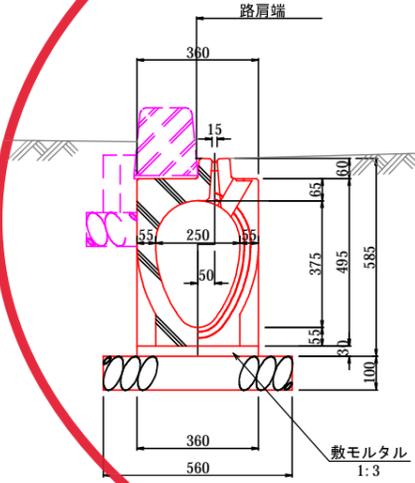


道路附属施設工構造図(2) S=1:20

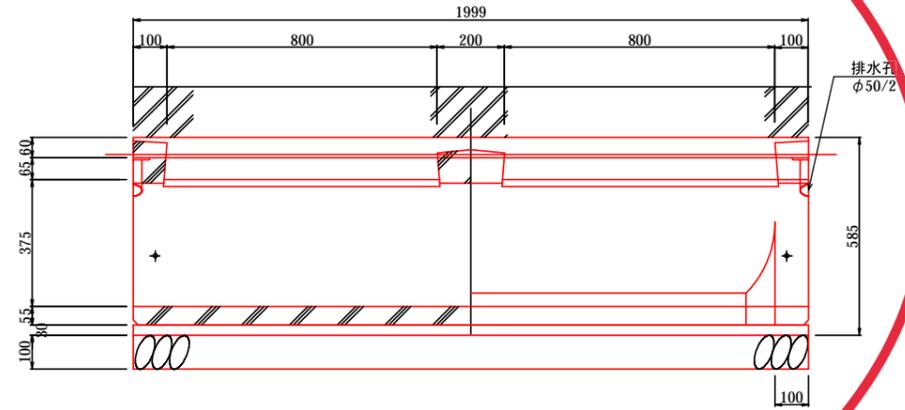
【参考図】

円形街渠

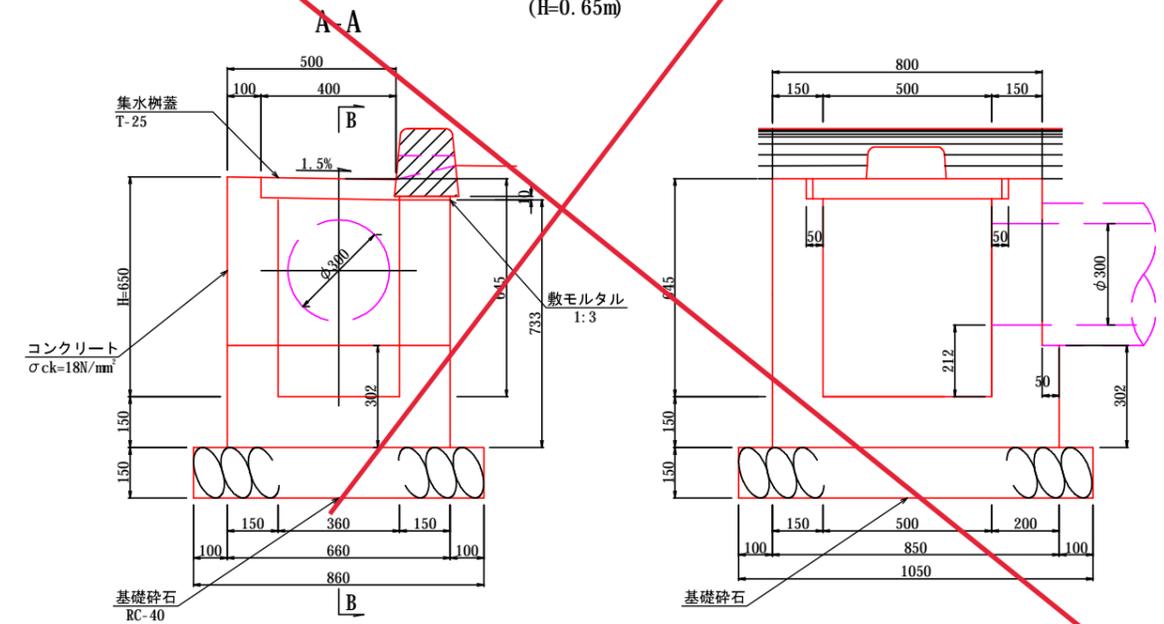
断面図



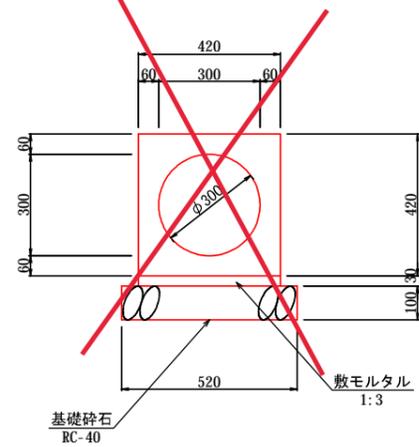
正面図



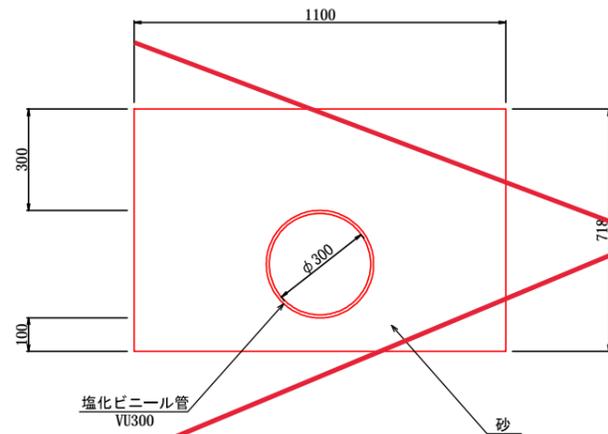
街渠樹A
(H=0.65m)



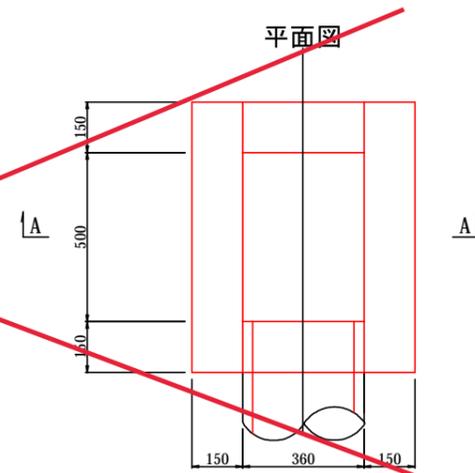
CSB管 φ300



塩ビ管VU φ300



平面図

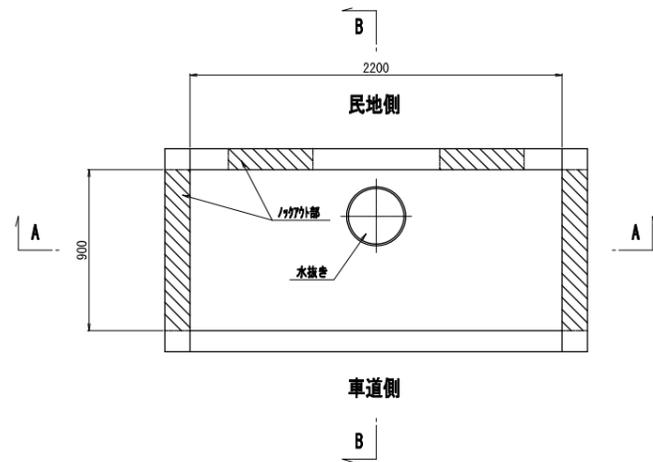


E 2 柵構造図

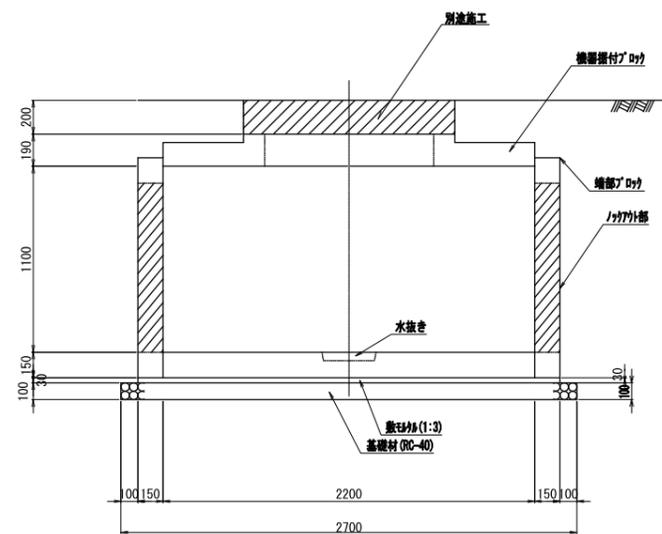
S=1/20

E柵2型 S=1:20

平面図

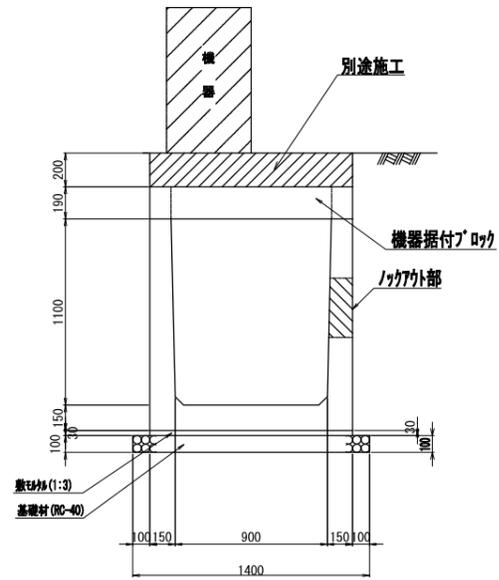


A-A断面

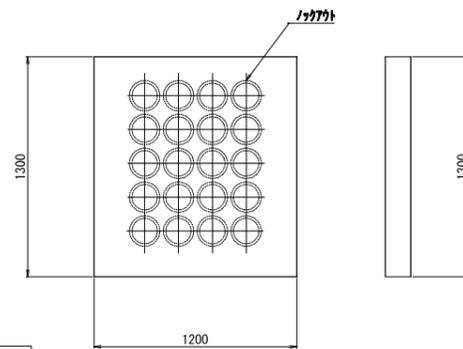


※柵の内寸法は、呼称寸法とする。

B-B断面

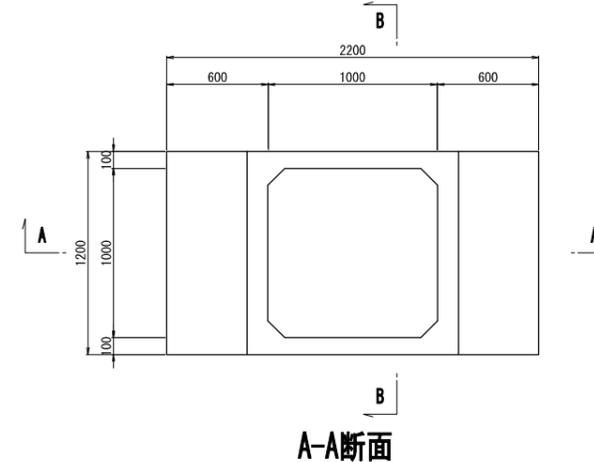


端部ブロック

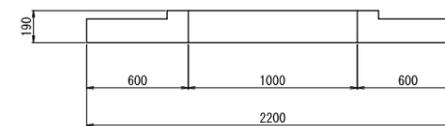


機器据付ブロック (E柵2型用)

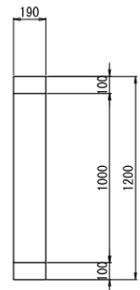
平面図



A-A断面

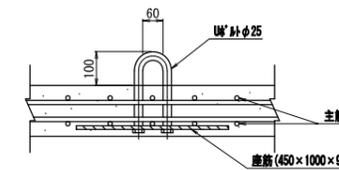


B-B断面



ケーブル引込金具詳細図

S=1:10

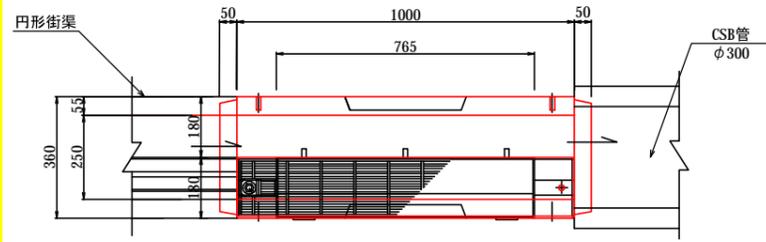


設計条件	
活荷重	T-25 (P=50kN)
衝撃係数	i=0.1
許容応力度	
設計基準強度	$\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$
コンクリート 曲げ圧縮応力度	$\sigma_{cm} = 11\text{N/mm}^2$
せん断応力度	$\tau_a = 0.5\text{N/mm}^2$
鉄筋 引張応力度	$\sigma_{sm} = 180\text{N/mm}^2$

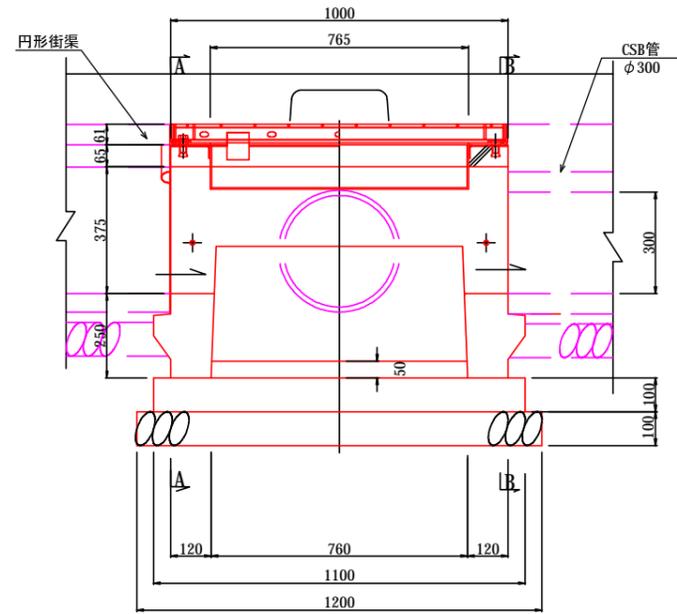
道路附属施設工構造図(3) S=1:20

【参考図】

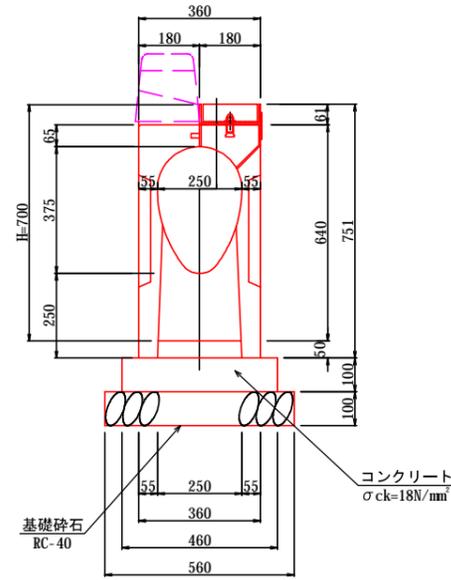
円形街渠柵A-1
(H=0.70m)



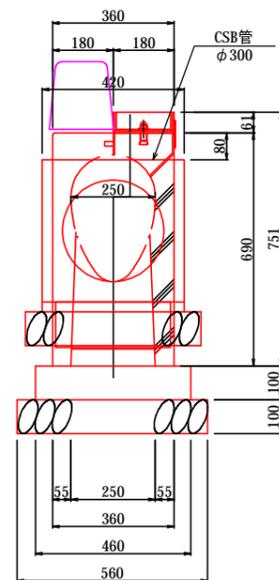
正面図



A-A

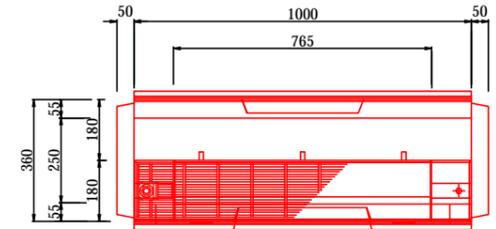


B-B

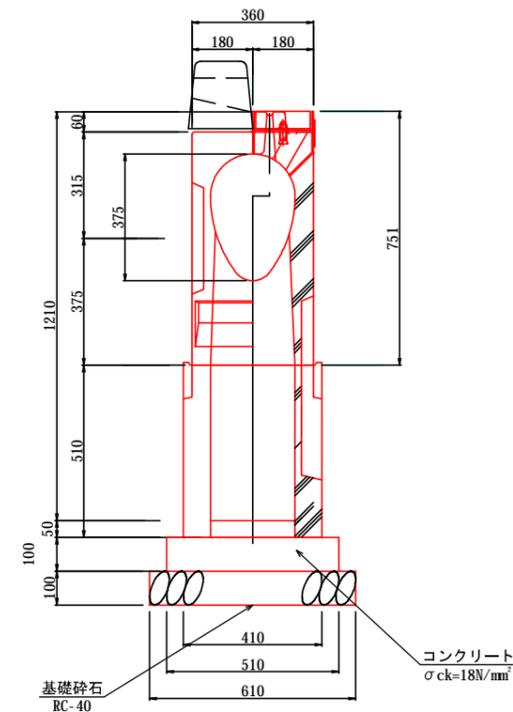


円形街渠柵A-2
(H=1.21m)

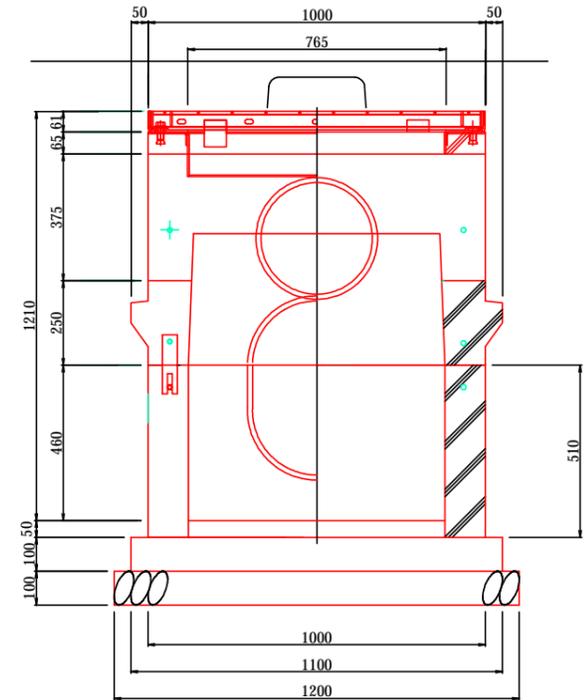
平面図



断面図

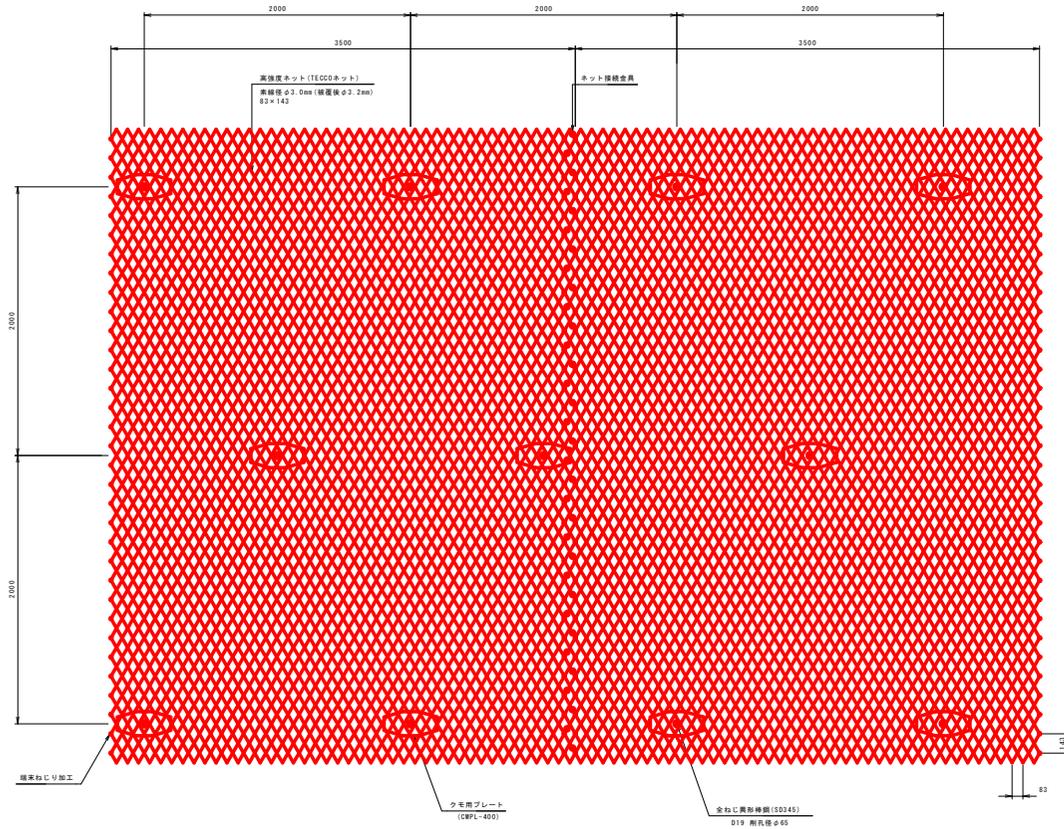


正面図

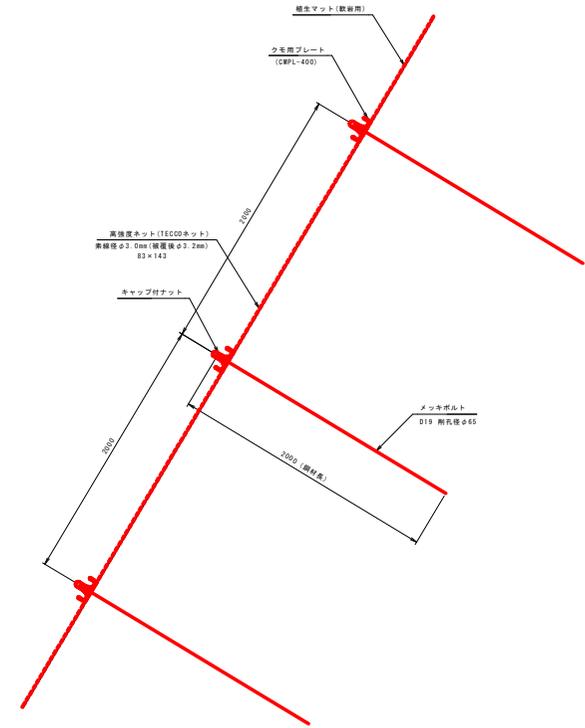


高強度ネット斜面安定工(B)構造図

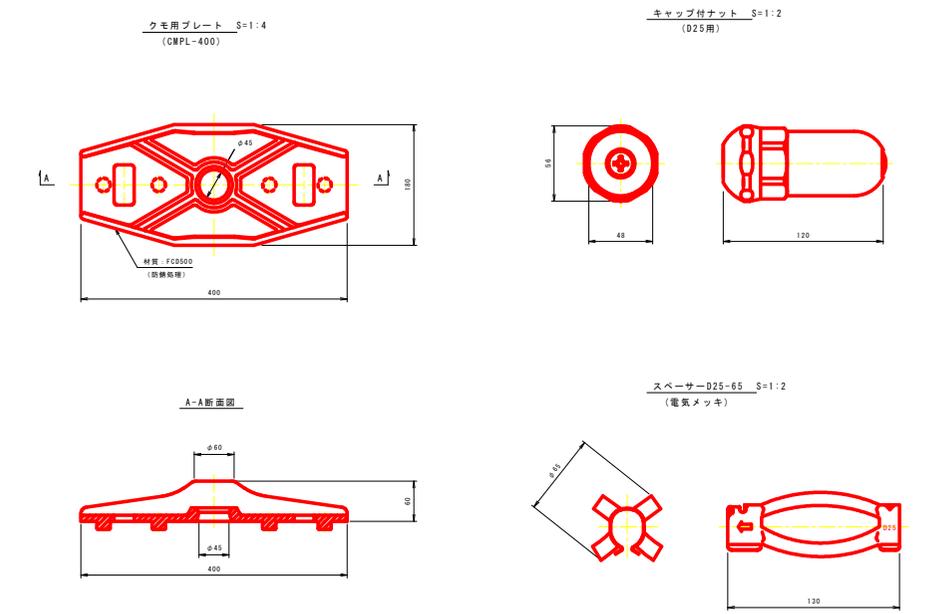
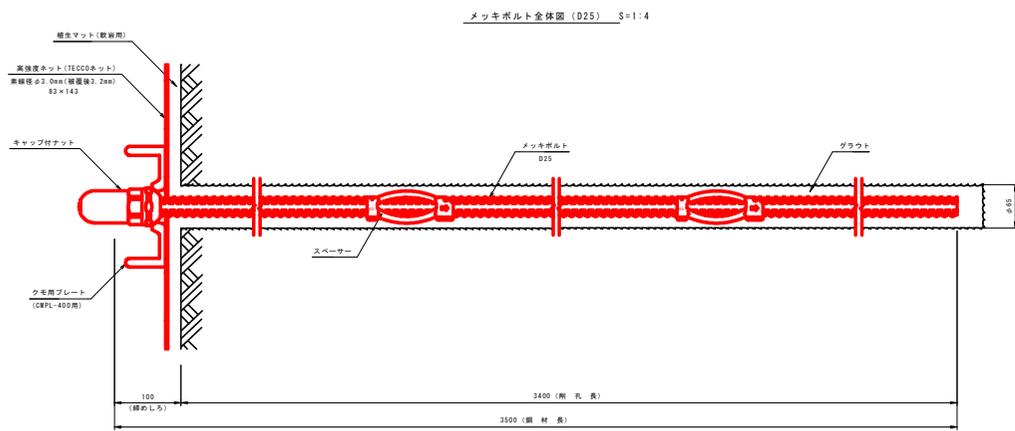
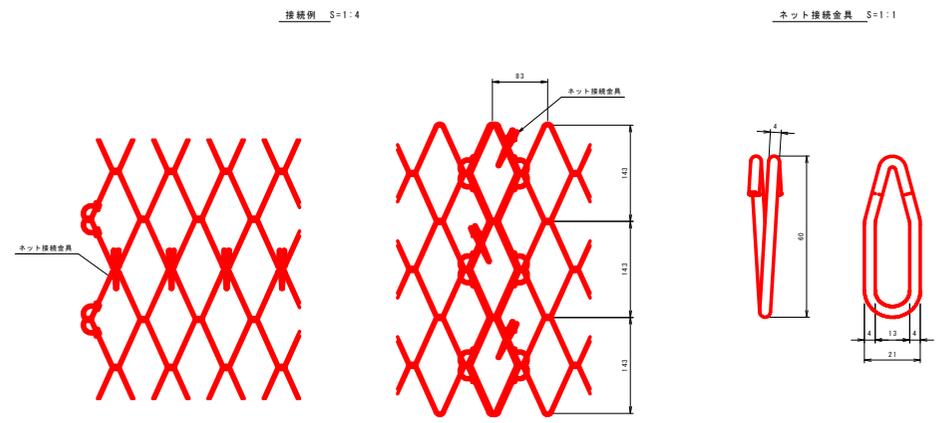
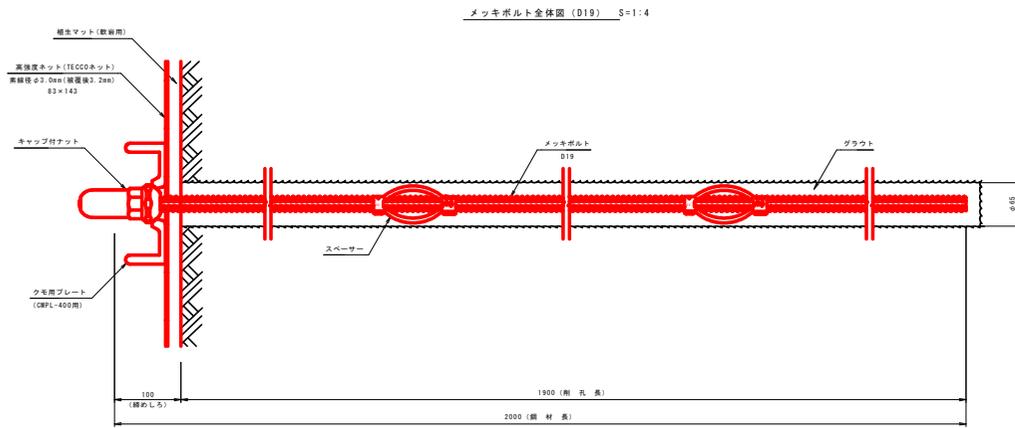
展開図 S=1:20



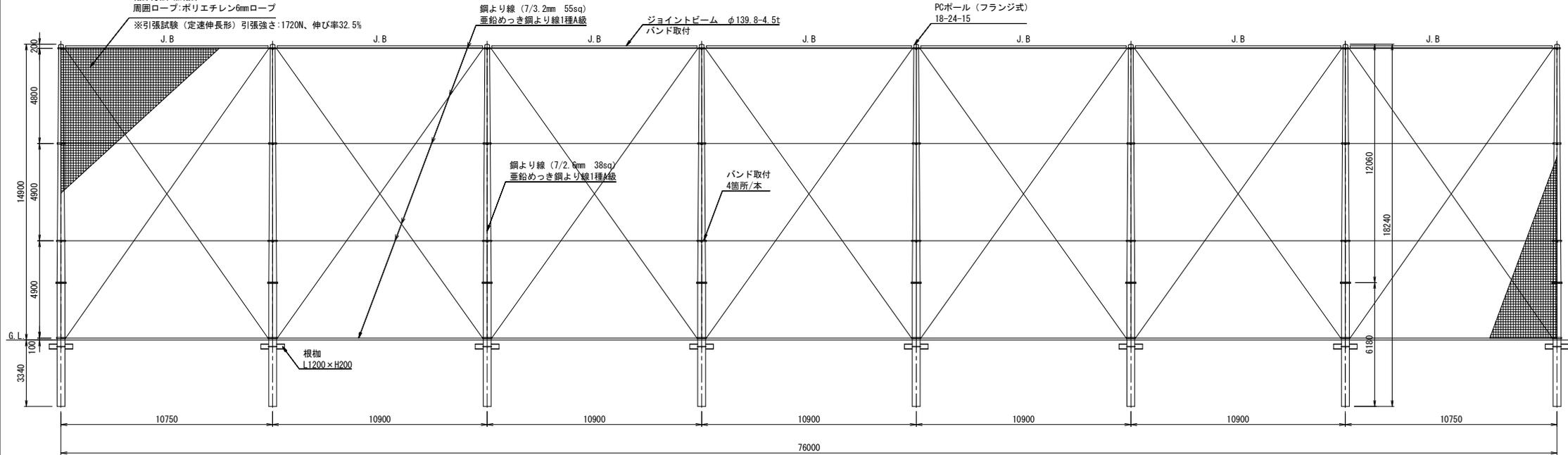
標準断面図 S=1:20



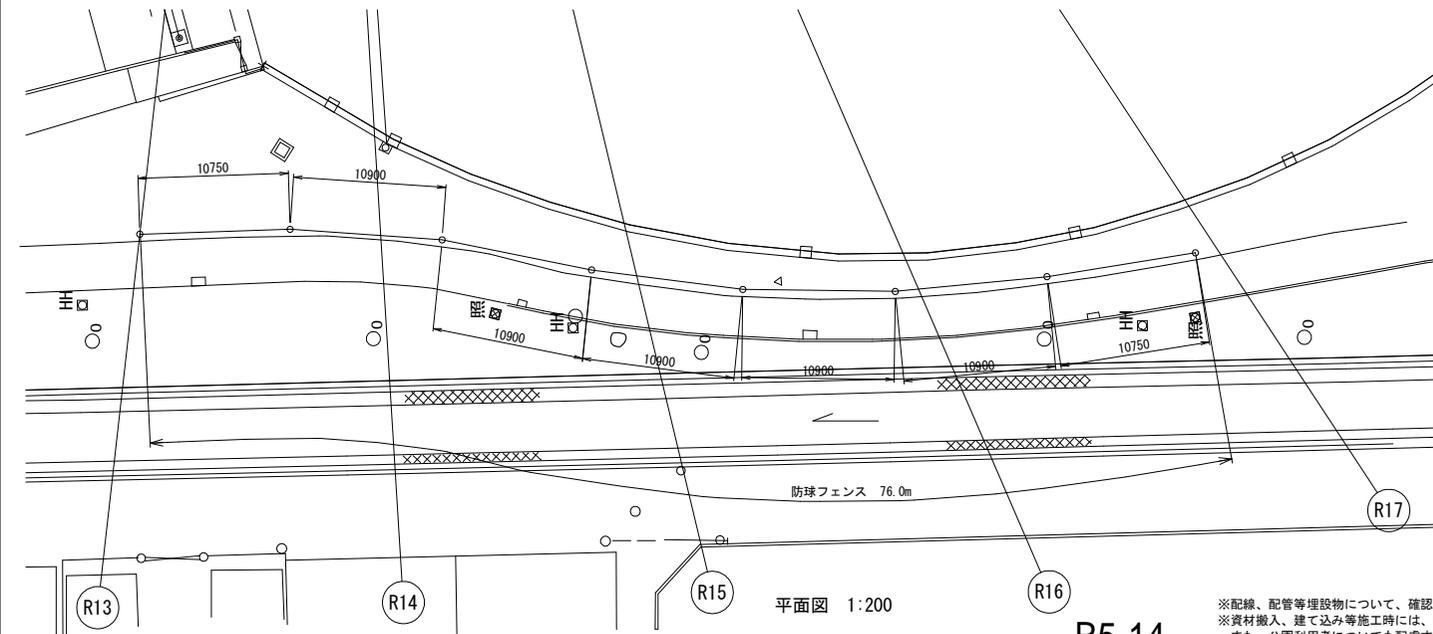
高強度ネット斜面安定工(B)詳細図



防球ネット
 素材:再生ポリエステル
 規格:1100T (1000d) /18本
 糸径:φ1.7
 網目:40mm×40mm
 色:グリーン
 結節方法:無結節
 周囲ロープ:ポリエチレン6mmロープ
 ※引張試験(定速伸長形) 引張強さ:1720N、伸び率32.5%

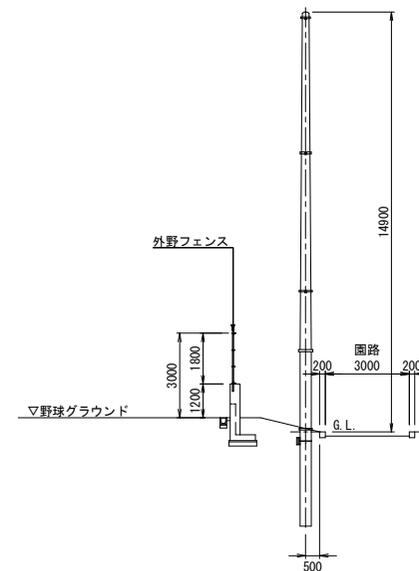


詳細図 1:100



平面図 1:200

R5_14

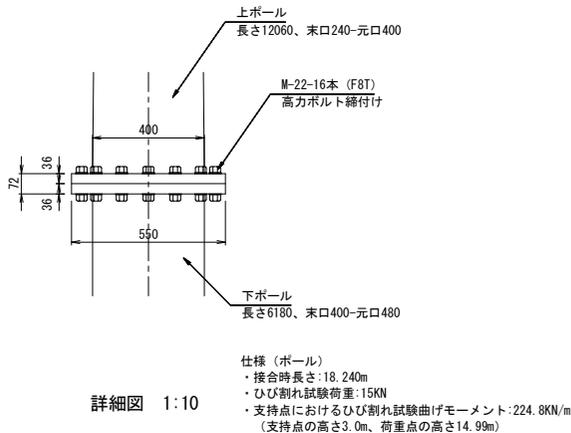


側面図 1:100

- 構造設計
- ・地上部:建築基準法、同施行令
 - ・基礎:電気設備、電気技術規定
 - ・土質:軟弱土質 (C) を想定

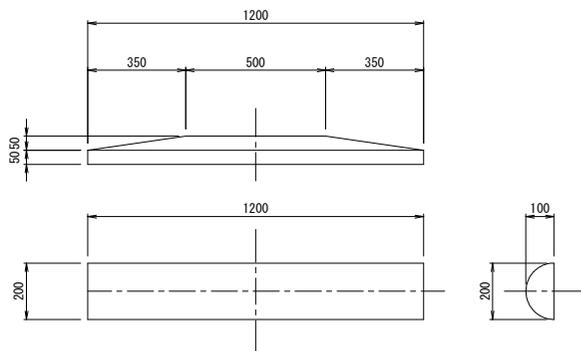
※配線、配管等埋設物について、確認し注意して掘削すること。
 ※資材搬入、建て込み等施工時には、周辺の既設構造物に留意すること。
 また、公園利用者についても配慮すること。

フランジハイボール

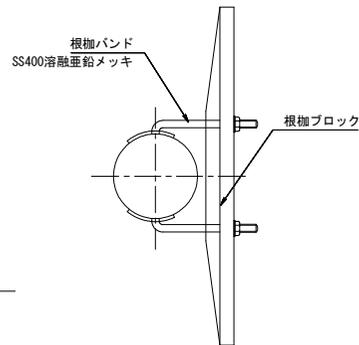


詳細図 1:10

根枷

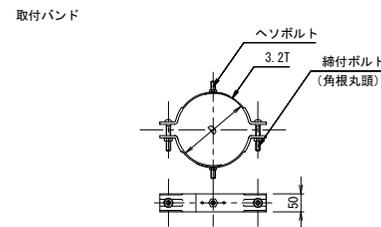
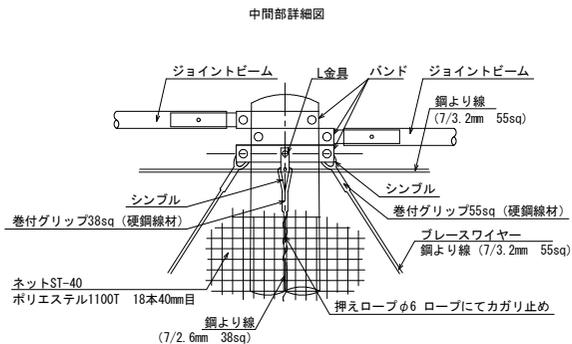
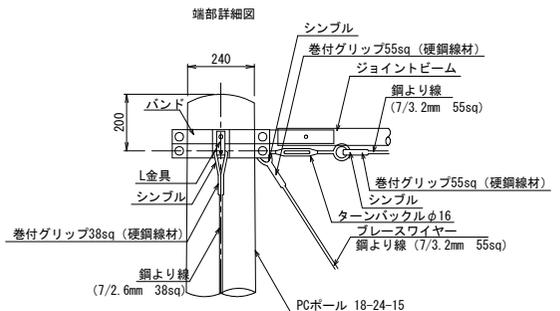


詳細図 1:10



平面図 1:10

柱バンド取付



ターンバックル

D	A	B		C
		最大	最小	
M12	200	390	255	20
M16	250	490	300	25

詳細図

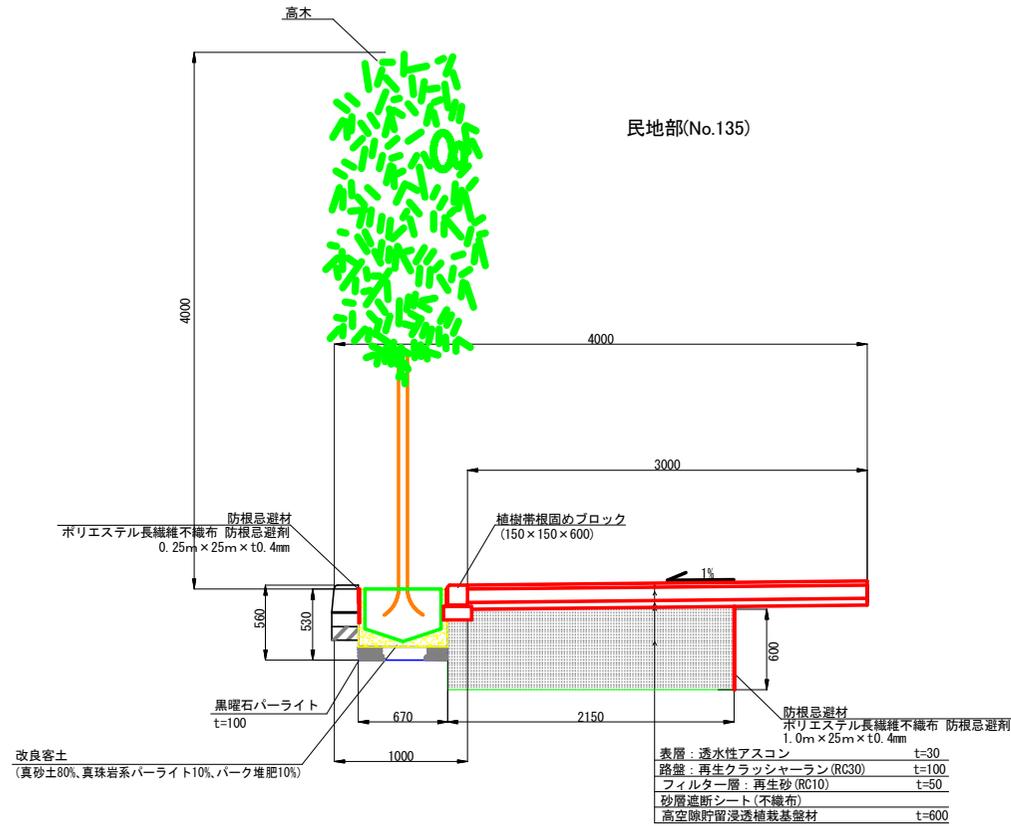
適用範囲 (D)	締付ボルト	ヘソボルト
130~180	BN 16×120	BN×50
170~250	BN 16×120	BN×50
240~320	BN 16×120	BN×50
310~390	BN 16×120	BN×50

詳細図

詳細図 1:10

標準横断図(2)

S=1:20



鉢容量及び植穴容量

形状	幹 周 (cm)	鉢 径 (cm)	鉢の深さ (cm)	鉢穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	許容量 (m ³)	鉢穴容量 (m ³)
高	10未満	33	25	69	37	0.017	0.09
	10以上 15 "	38	28	75	40	0.028	0.14
	15 " 20 "	47	33	87	46	0.061	0.27
	20 " 25 "	57	39	99	53	0.11	0.44
	25 " 30 "	66	45	111	59	0.17	0.65
	30 " 35 "	71	48	117	62	0.21	0.76
木	35 " 45 "	90	59	141	75	0.4	1.34
	45 " 60 "	113	74	171	90	0.74	2.28
	60 " 75 "	141	91	207	109	1.32	3.7
	75 " 90 "	170	108	243	128	2.08	5.45

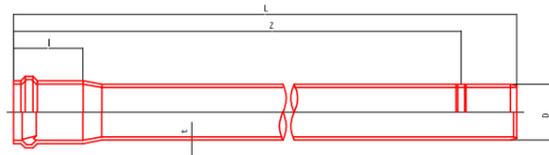
鉢容量及び植穴容量

形状	樹 高 (cm)	鉢 径 (cm)	鉢の深さ (cm)	鉢穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	許容量 (m ³)	鉢穴容量 (m ³)
中	30未満	15	8	29	23	0.001	0.015
	30以上 50 "	17	10	33	26	0.002	0.022
	50 " 80 "	20	12	37	28	0.004	0.030
木	80 " 100 "	22	13	41	31	0.005	0.040
	100 " 150 "	26	16	46	35	0.008	0.057
	150 " 200 "	30	19	54	40	0.013	0.090
	200 " 250 "	35	23	61	46	0.022	0.133
	250 " 300 "	40	26	69	51	0.032	0.188

管路材詳細図(1)

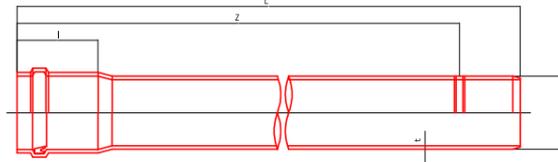
VP(フリーアクセス)・ボディ管・ECVP

共用FA管 (VP管 直管)



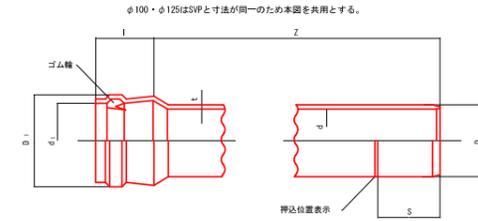
呼び径	単位: mm				
	長さ l (最大)	外径 D	厚さ t (最小)	有効長 Z	全長 L
150	225	165	8.9	5,000	5,165

ボディ管 (VP管 直管)



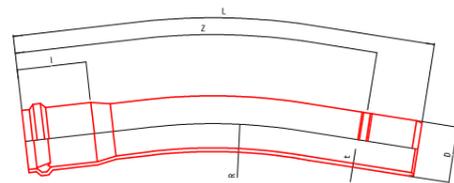
呼び径	単位: mm				
	長さ l (最大)	外径 D	厚さ t (最小)	有効長 Z	全長 L
200	250	216	10.3	2,500 5,000	2,690 5,190
250	270	267	12.7	2,500 5,000	2,710 5,210

ゴム輪受口片受直管 (ECVP)



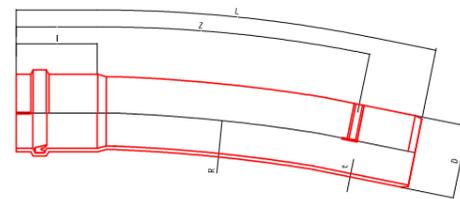
呼び径	D		D1 (参考値)	d (参考値)	d1±0.5 (参考値)	l±5	s±5	Z+10/-20	t
	基本寸法	平均許容差							
75	89.0	±0.3	120.7	77	90.2	120	120	5,000	5.9 ± 0.4
100	114.0	±0.4	150.0	100	115.5	130	132	5,000	7.1 ± 0.5
125	142.5	±0.5	182.4	125	144.2	135	138	5,000	8.5 ± 0.5
150	170.5	±0.6	213.0	150	172.3	142	145	5,000	10.0 ± 0.6

共用FA管 (VP管 曲管)



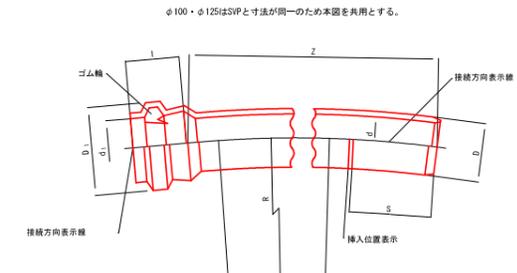
呼び径	単位: mm					
	受口長 l (最大)	外径 D	厚さ t (最小)	曲率半径 R	有効長 Z	全長 L
150	225	165	8.9	5,000 10,000	1,000	1,165

ボディ管 (VP管 曲管)



呼び径	単位: mm					
	長さ l (最大)	外径 D	厚さ t (最小)	曲率半径 R	有効長 Z	全長 L
200	250	216	10.3	5,000 10,000	1,000	1,190
250	270	267	12.7	5,000 10,000	1,000	1,210

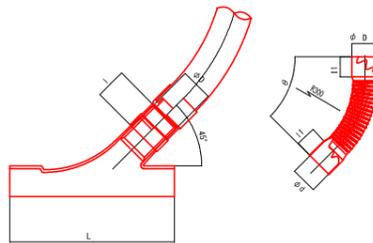
ゴム輪受口片受曲管 (ECVP)



呼び径	D		D1 (参考値)	d (参考値)	d1±0.5 (参考値)	l±5	s±5	Z+10/-20	t	R (R≠R0)
	基本寸法	平均許容差								
75	89.0	±0.3	120.7	77	90.2	120	120	5,000	5.9 ± 0.4	5,000
100	114.0	±0.4	150.0	100	115.5	130	132	5,000	7.1 ± 0.5	10,000
125	142.5	±0.5	182.4	125	144.2	135	138	2,000	8.5 ± 0.5	10,000
150	170.5	±0.6	213.0	150	172.3	142	145	2,000	10.0 ± 0.6	10,000

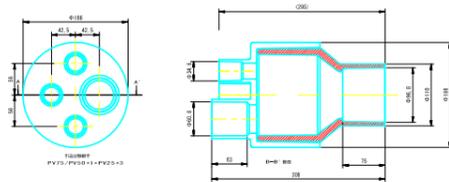
注: 外径は、差込み長さ時にのみ適用します。

共用FA分岐管

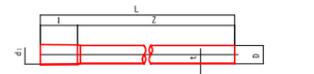


呼び径	本体部				曲管部				
	D(基本寸法)	l(参考)	t(参考)	L(参考)	θ(参考)	R(参考)	d(参考)	D1(参考)	l1(参考)
150×50	60	65	5.0	440	65°	300	60.8	60	63
150×75	96	-	6.5	486	45°	300	96.8	96	75

引込分散継手

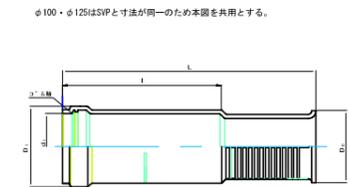


さや管 (SU管 直管)



呼び径	単位: mm					
	受口内径 d1	受口長 l	外径 D	厚さ t	有効長 Z	全長 L
30	34.6	110	34	2.0	5,000	5,110
50	54.6	110	54	2.0	5,000	5,110

ダクトスリーブ (ECVP)

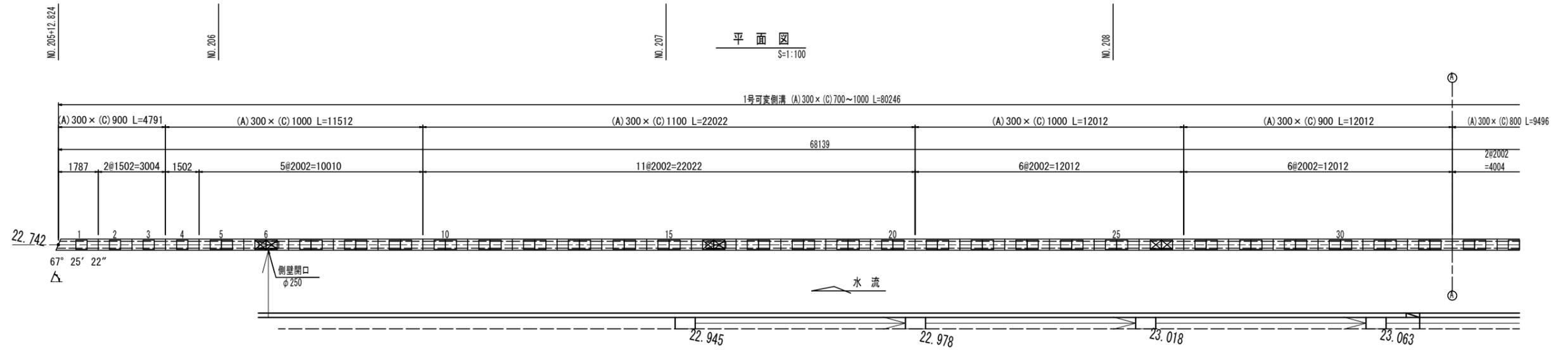


呼び径 (参考値)	単位: mm			
	l	t	L	φ
100	117.0	10.0	400.0	100.0

注: 許容差無記入箇所は実用上差し支えない範囲とする。

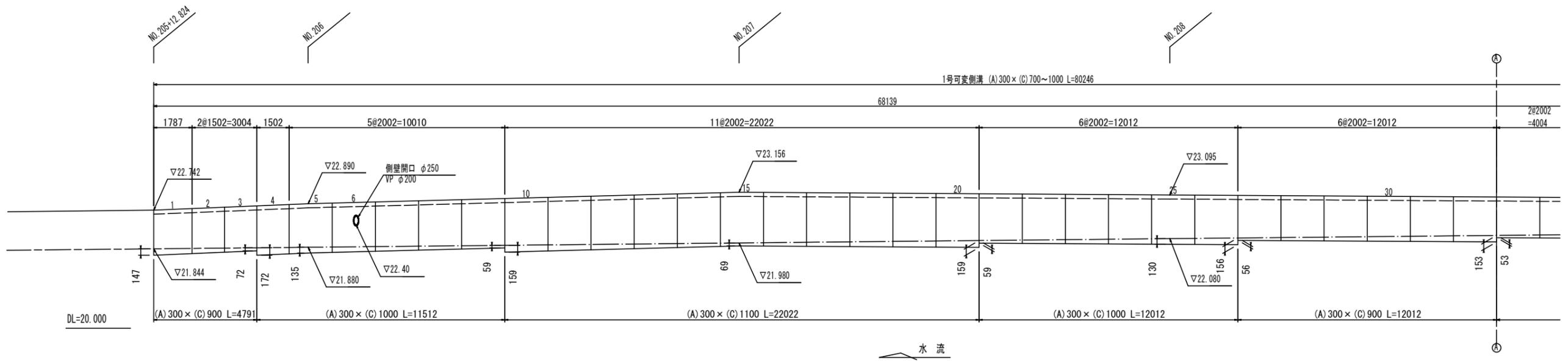
可变側溝割付図(1)

1号 (1/2)



側面図

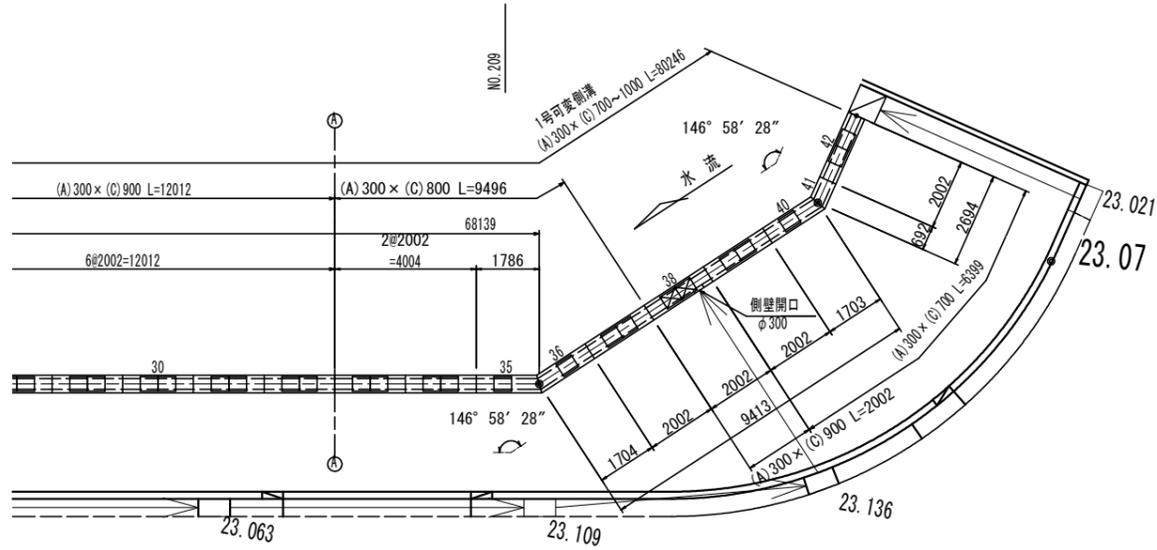
H=1:100
V=1:50



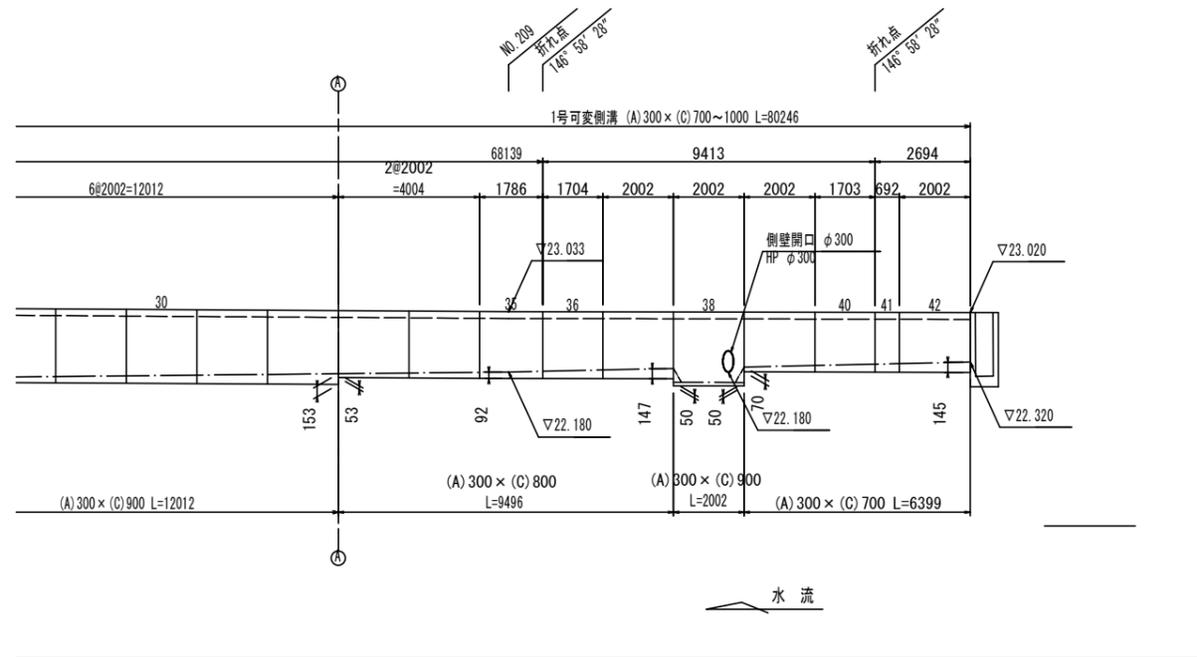
可変側溝割付図(2)

1号(2/2)

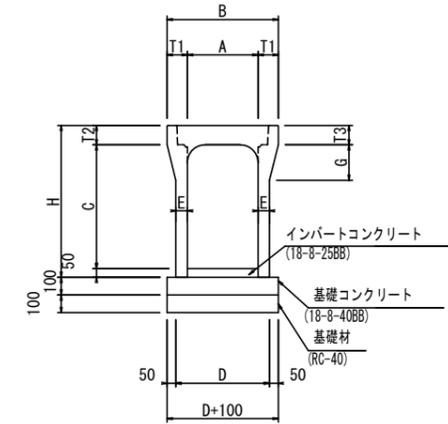
平面図
S=1:100



側面図
H=1:100
V=1:50



標準断面図
S=1:20



寸法表-可変側溝

サイズ A × C	寸法仕様 (mm)							
	H	T1	T2	T3	B	D	E	G
300 × 700	845	100	95	95	500	430	65	140
300 × 800	945	100	95	95	500	430	65	140
300 × 900	1045	100	95	95	500	450	75	150
300 × 1000	1145	100	95	95	500	450	75	150
300 × 1100	1245	100	95	95	500	450	75	150

製品数量表

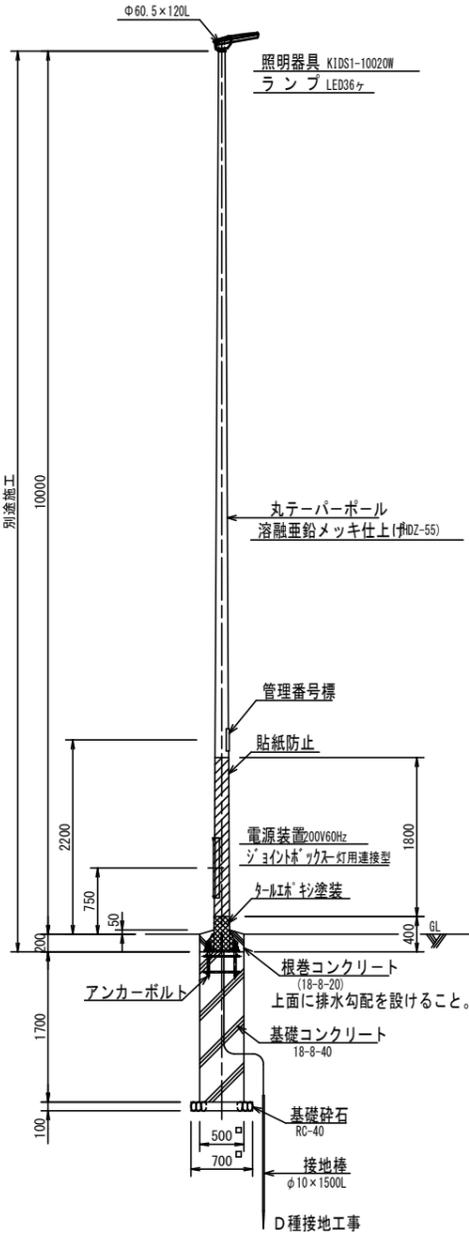
製品番号	サイズ (A) × (C) × (L)	規格	数量	参考質量	摘要
1号自由勾配側溝					
	300 × 700 × 2000	標準	2	620 kg	
40	× 1627 1775	斜切	1	560 kg	斜切・短切用 蓋1枚
41	× 616 764	斜切	1	250 kg	斜切・短切用 蓋掛け無
	800 × 2000	標準	3	680 kg	
35	× 1710 1858	斜切	1	660 kg	斜切・短切用 蓋1枚
36	× 1628 1776	斜切	1	620 kg	斜切・短切用 蓋1枚
	900 × 2000	標準	6	830 kg	
38	× 2000	側壁開口	1	820 kg	φ300
2.3	× 1500	短切	2	650 kg	斜切・短切用 蓋1枚
1	× 1681 1889	斜切	1	780 kg	斜切・短切用 蓋1枚
	1000 × 2000	標準	10	900 kg	
6	× 2000	側壁開口	1	890 kg	φ250
4	× 1500	短切	1	700 kg	斜切・短切用 蓋1枚
	1100 × 2000	標準	11	970 kg	
合計			42本		
	グレーチング 300用	歩道用	8	12 kg	
	コンクリート蓋 300用	歩道用	67	32 kg	

※製品1本につき2mmの延び考慮。

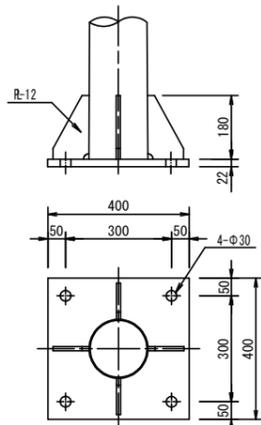
照明柱構造図

照明柱詳細図 S=1/40

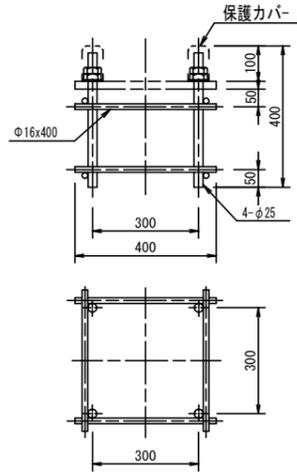
車道照明



ベースプレート詳細図 S=1/10

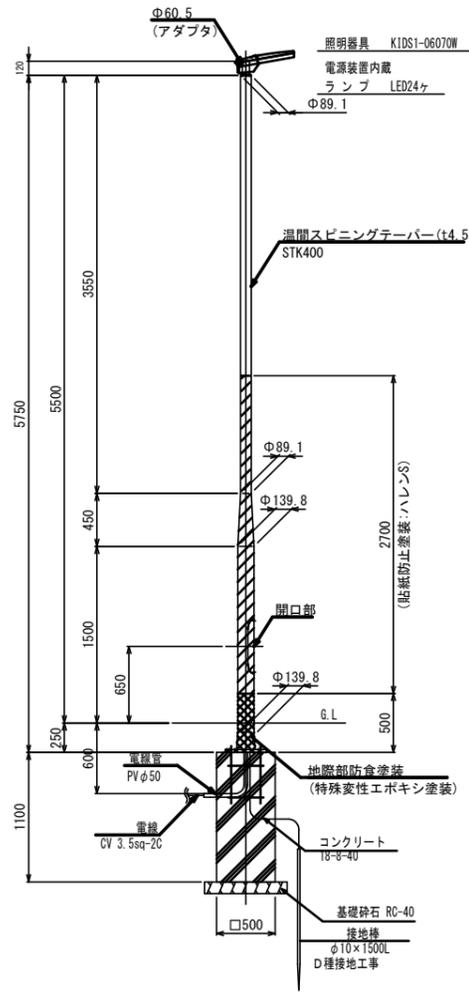


アンカーボルト詳細図 S=1/10

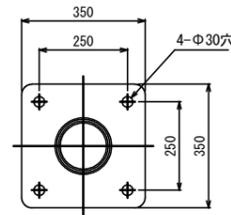


照明柱詳細図 S=1/30

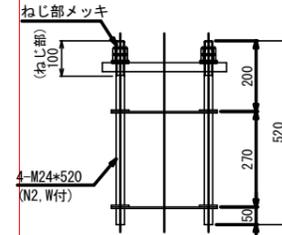
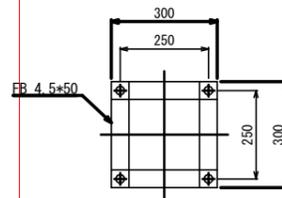
歩道照明



柱脚部詳細 S=1/10

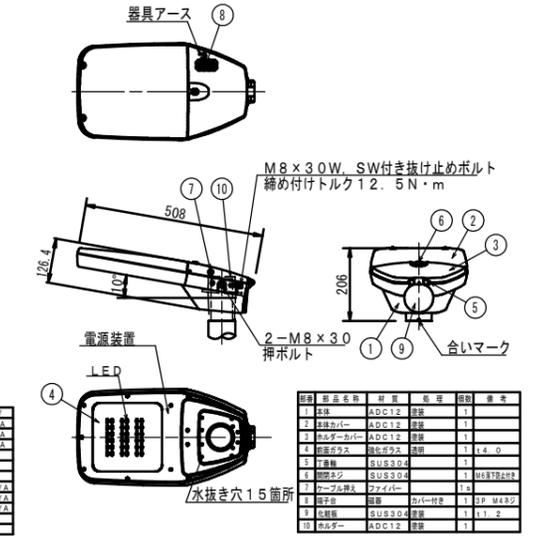


アンカーフレーム詳細 S=1/10



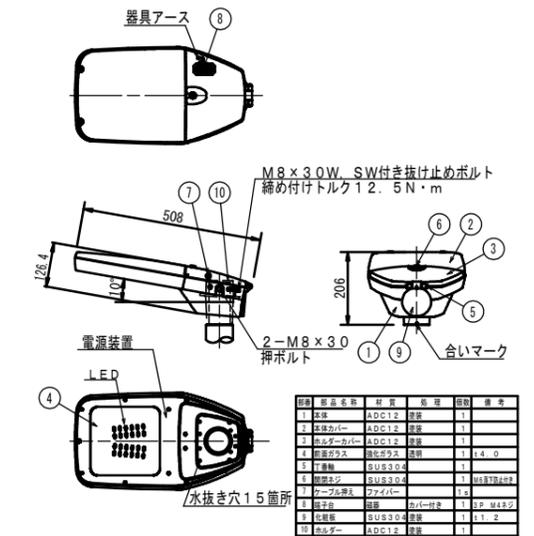
LED照明器具参考図 S=1/10

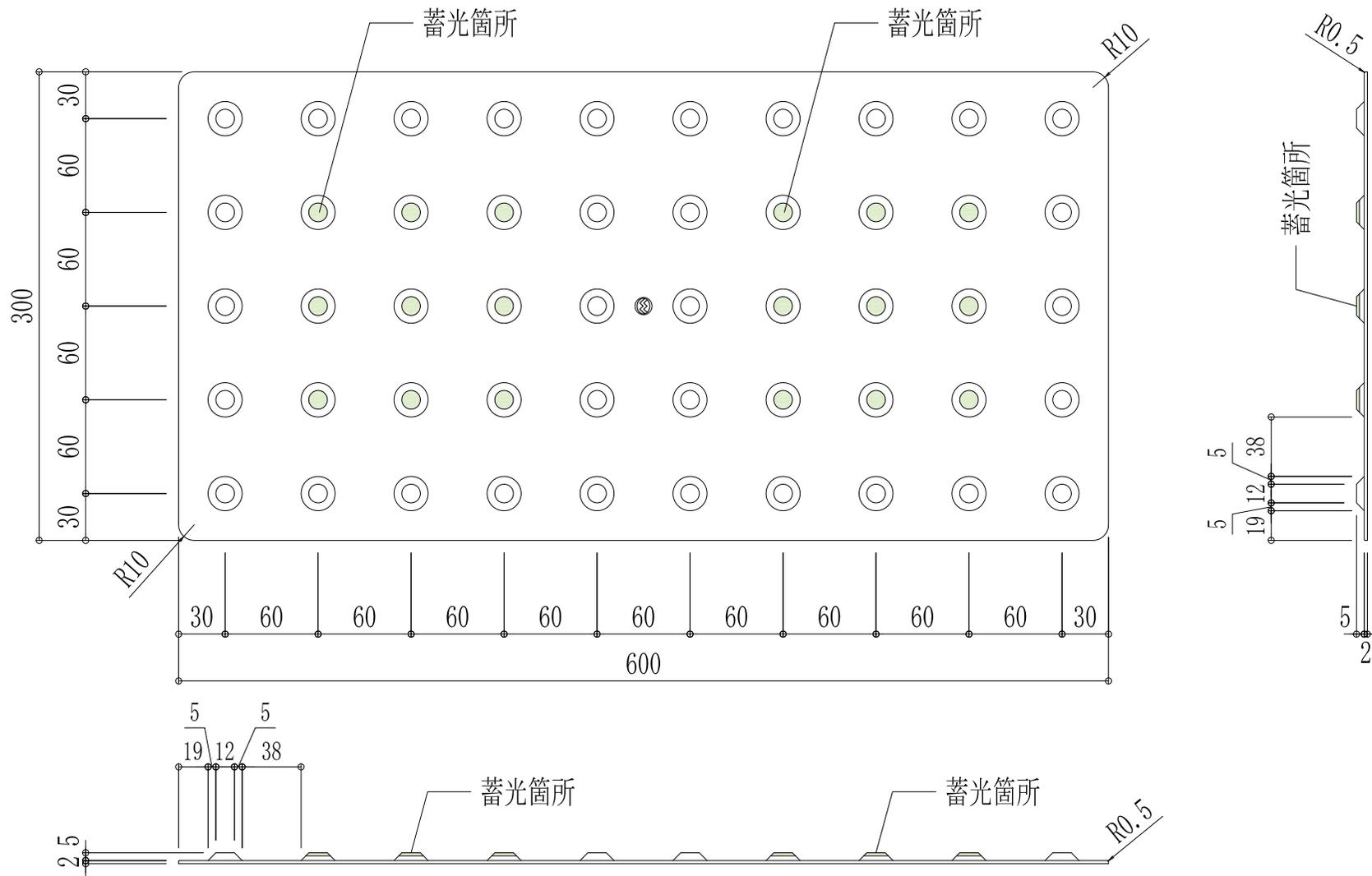
器具形式: KIDS1-10020W 適合ランプ: LED36粒
局部照明用



LED照明器具参考図 S=1/10

器具形式: KIDS1-06070W 適合ランプ: LED24粒
歩道照明用





※ 四辺R0.5

< 屋外標識 JIS Z 9098規格値 >

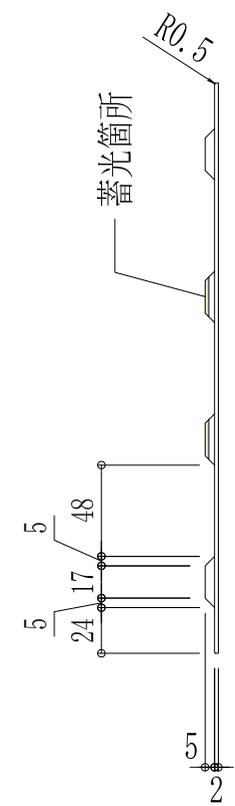
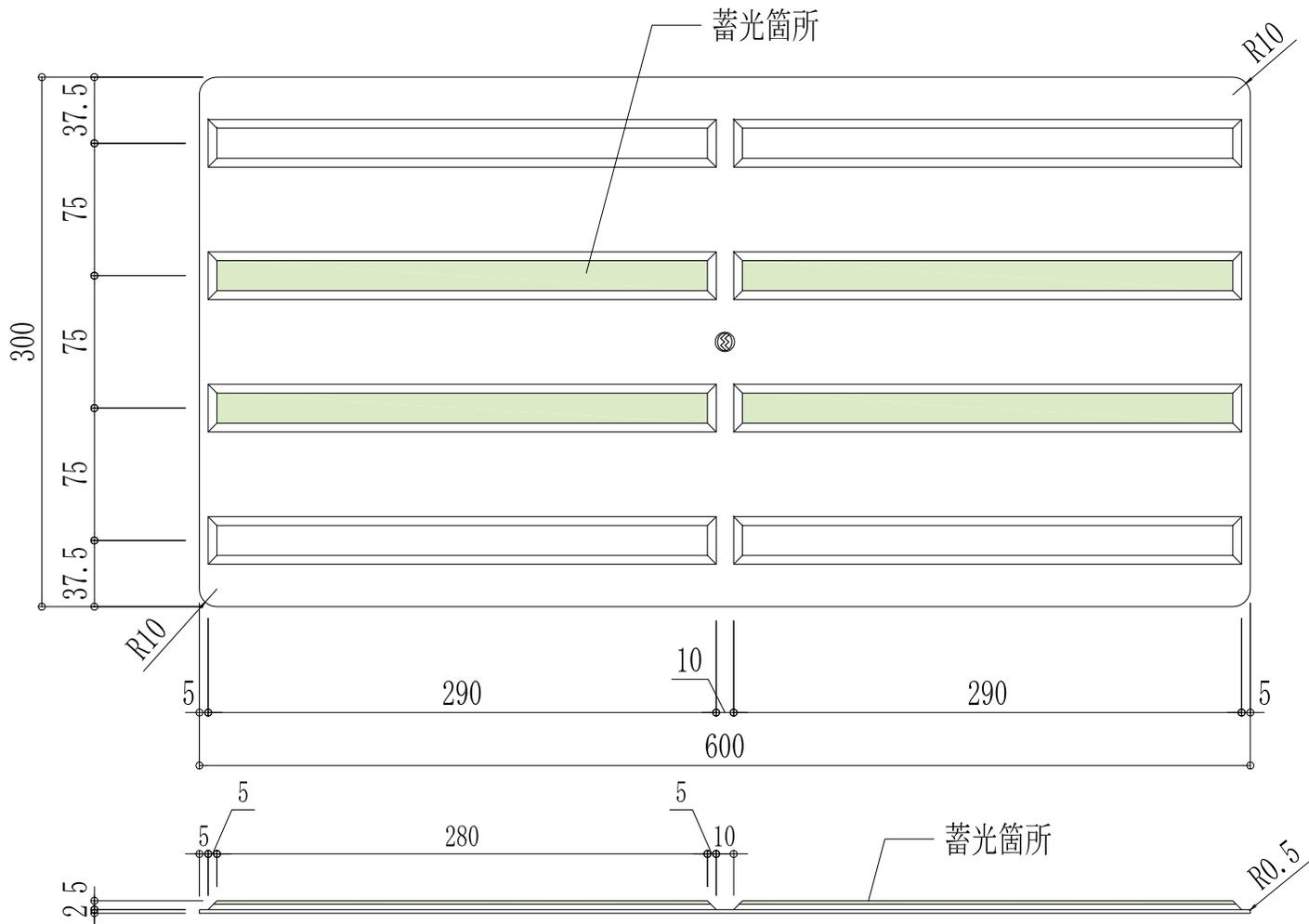
区分	励起時間	720分後輝度
II 類	60分	10mcd/m ² 以上
I 類	60分	3mcd/m ² 以上、10mcd/m ² 以上

照射条件：キセノンランプ紫外線強度400 μW/cm²で60分間照射

< MブレイルLシリーズの輝度—屋外標識 JIS Z 9098 >

輝度 [mcd/m ²]				区分
20分後	60分後	120分後	720分後	
180	59.2	28.7	3.6	I 類

※ 本試験結果は測定値であり、保証値ではありません。



※ 四辺R0.5

＜ 屋外標識 JIS Z 9098規格値 ＞		
区分	励起時間	720分後輝度
II 類	60分	10mcd/m ² 以上
I 類	60分	3mcd/m ² 以上、10mcd/m ² 以上

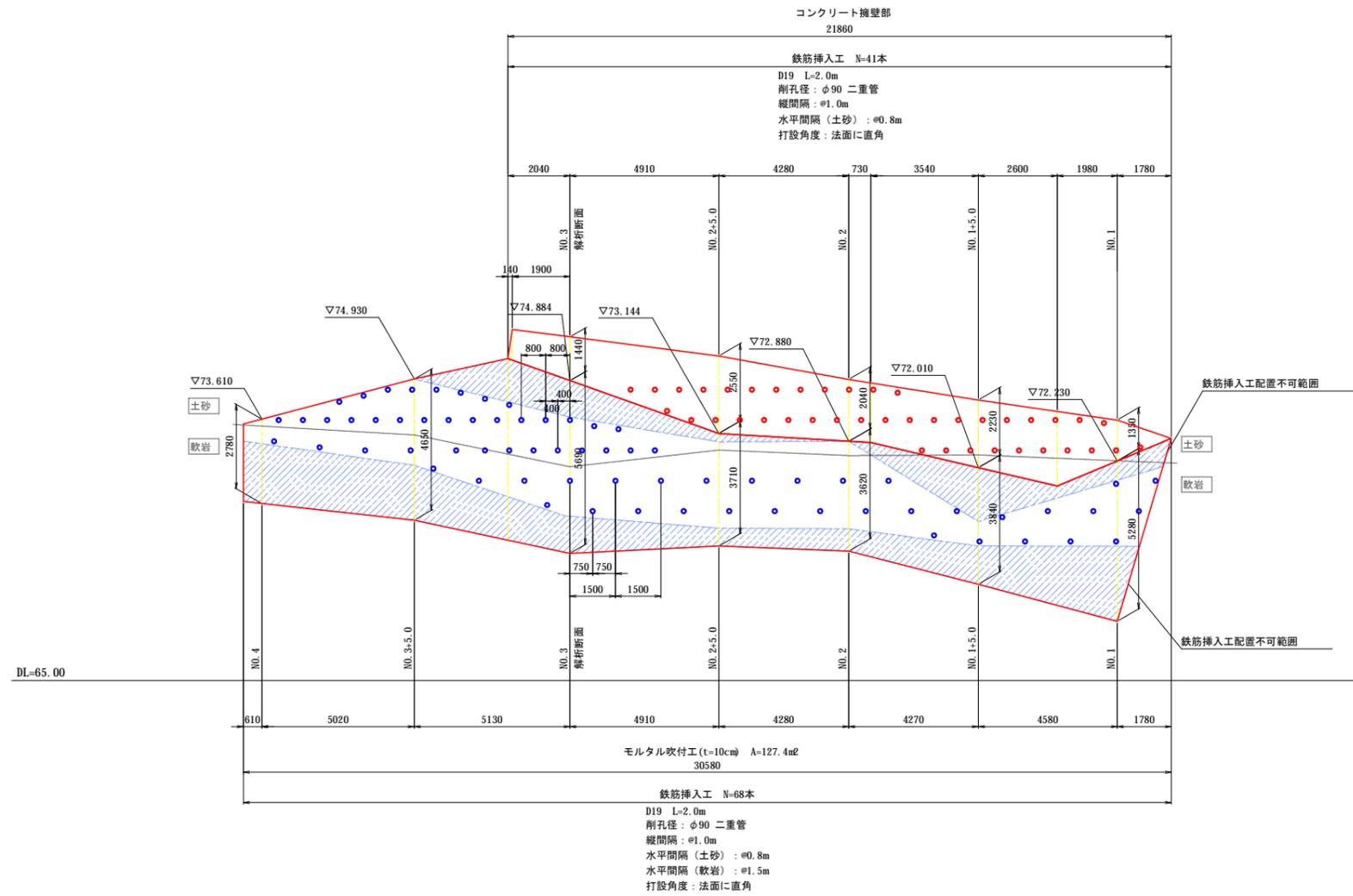
照射条件：キセノンランプ紫外線強度400 μW/cm²で60分間照射

＜ MブレイルLシリーズの輝度—屋外標識 JIS Z 9098 ＞				
輝度 [mcd/m ²]				区分
20分後	60分後	120分後	720分後	
180	59.2	28.7	3.6	I 類

※ 本試験結果は測定値であり、保証値ではありません。

鉄筋挿入工展開図

S=1/100



数量表（コンクリート擁壁部）

1式当り

名称	規格	単位	数量	備考
鉄筋挿入工	● D19 L=2.0m(余長0.1m含む)	本	41	SD345
削孔長	φ90 二重管（コンクリート）	m	26.6	
	φ90 二重管（土砂）	m	38.6	
	φ90 二重管（軟岩）	m	12.7	
	合計	m	77.9	
グラウト材	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	0.7	

数量表（モルタル吹付部）

1式当り

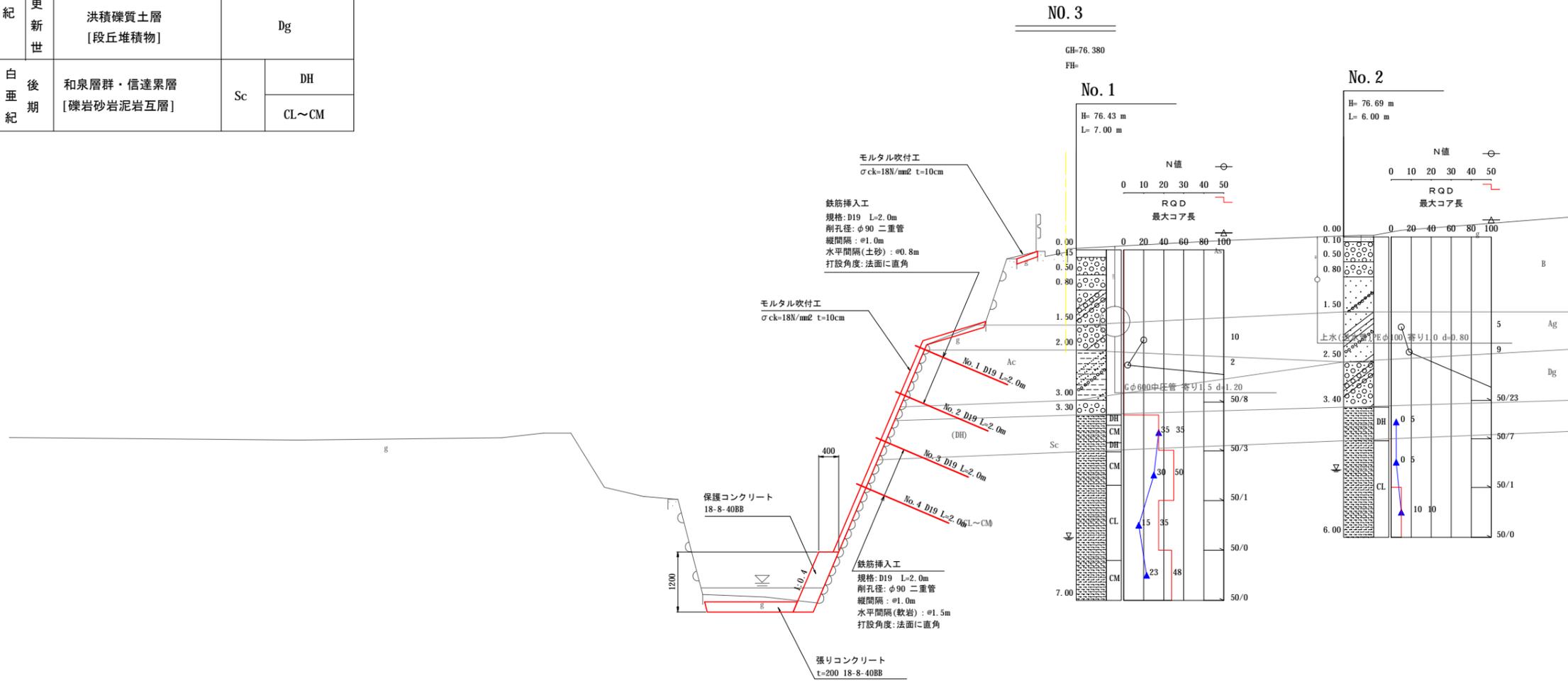
名称	規格	単位	数量	備考
鉄筋挿入工	● D19 L=2.0m(余長0.2m含む)	本	68	SD345
削孔長	φ90 二重管（コンクリート）	m	0.0	
	φ90 二重管（土砂）	m	25.8	
	φ90 二重管（軟岩）	m	96.6	
	合計	m	122.4	
グラウト材	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	1.1	
法面面積		m ²	127.4	求積
モルタル吹付工	t=10cm (ラス網含む)	m ²	127.4	

地層記号凡例

地質時代	地層名	地層記号
現世	盛土	B
第四紀	沖積礫質土層	Ag
	沖積粘性土層	Ac
	洪積礫質土層 [段丘堆積物]	Dg
白亜紀	和泉層群・信達累層 [礫岩砂岩泥岩互層]	DH
		CL~CM

標準断面図

S=1/50



鉄筋挿入工 設計条件

項目	モルタル吹付部	備考	
補強材の許容引張り応力度	(N/mm) ²	200.0	
グラウトの設計基準強度	(N/mm) ²	24	
補強材と注入材の許容付着応力	(N/mm) ²	1.6	
周面摩擦抵抗の安全率		2.0	
法面の低減係数		0.4	
補強材の引張力の低減係数		0.7	
削孔径	(mm)	90	
地山と注入材の周面摩擦抵抗値	(N/mm) ²	0.064	B
		0.064	Ag
		0.010	Ac
		0.360	Dg
		0.800	DH
	0.800	CL~CM	

確認試験荷重

補強材	モルタル吹付部	備考
	Td(kN/本)	
NO. 1	0.936	
NO. 2	36.022	
NO. 3	36.022	
NO. 4	36.022	

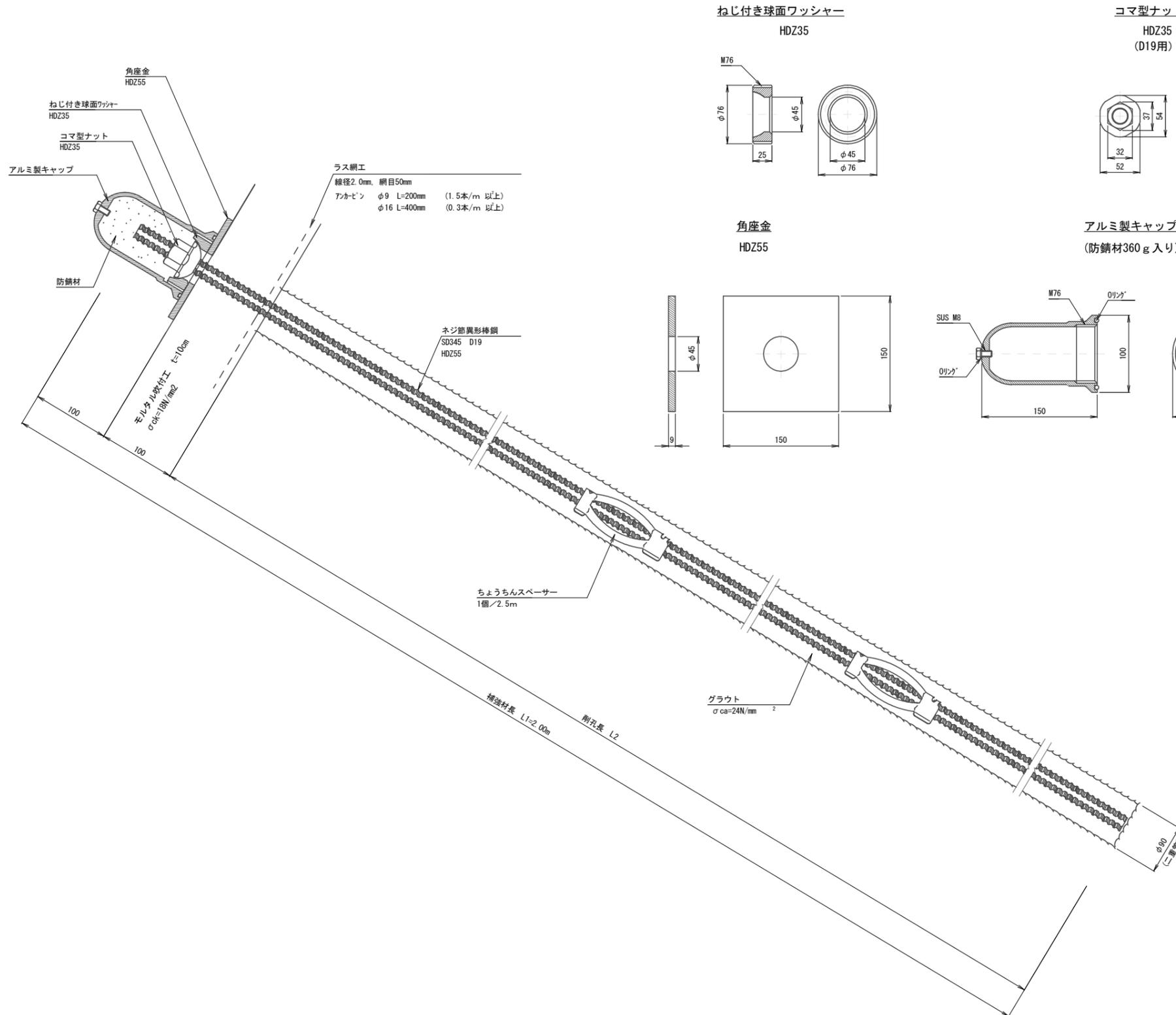
※Td: 1本当りの設計引張り力(kN/本)

DL=65.000

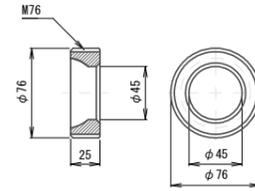
鉄筋挿入工構造図

S=1/3

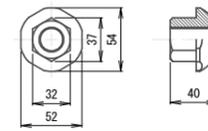
断面図



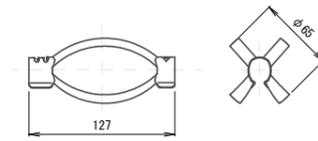
ねじ付き球面ワッシャー
HDZ35



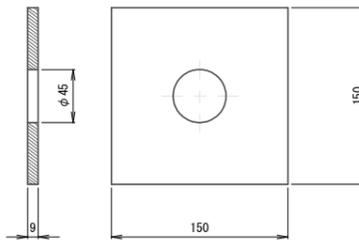
コマ型ナット
HDZ35
(D19用)



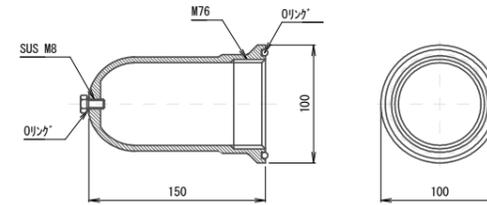
ちょうちんスペーサー
電気メッキ
(D19用)



角座金
HDZ55



アルミ製キャップ
(防錆材360g入り)

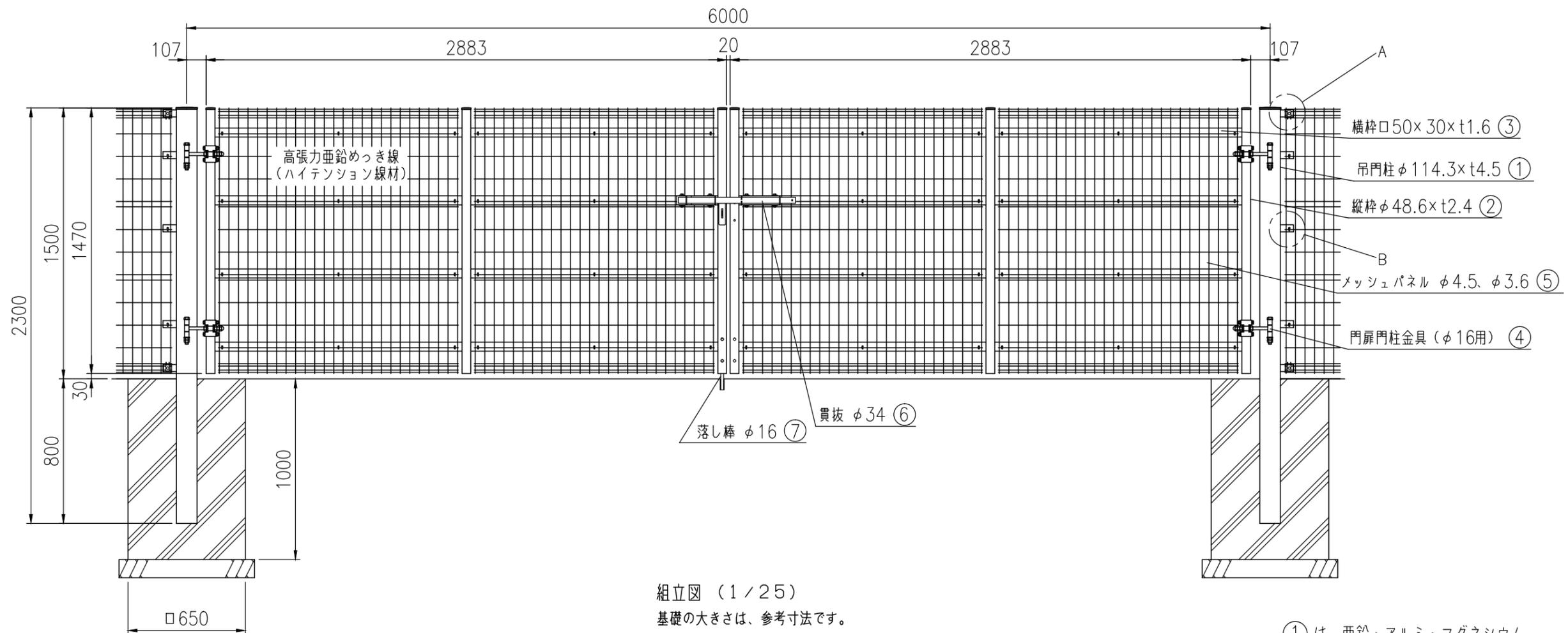
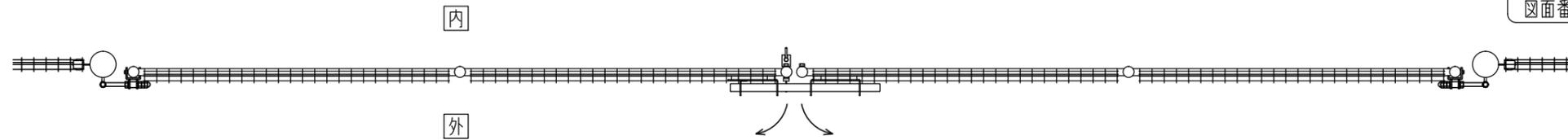


【特記事項】

- ※補強材の防食として亜鉛メッキ処理を以下の使用により行うこと。
- ナット : JIS H 8641, 2種HDZ35
- プレート、鉄筋 : JIS H 8641, 2種HDZ55
- ※スペーサー設置間隔は2.5mピッチとし、最低2箇所以上配置すること。
- ※補強材はネジ節異形棒鋼もしくは異形棒鋼と同等以上 (SD345以上) のものを使用すること。
- ※モルタル吹付には2~4mに1箇所、水抜きパイプ (φ40~50mm) を設置すること。
- ※コンクリート擁壁部はモルタル吹付を行わない。

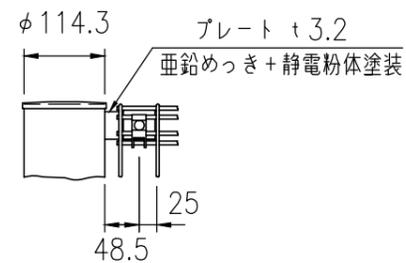
品 種	G0
タイプ	門扉 (両開)
品 番	#1500
幅	6000
図面番号	KEMH00678A

外開き、外貫抜、内落し棒

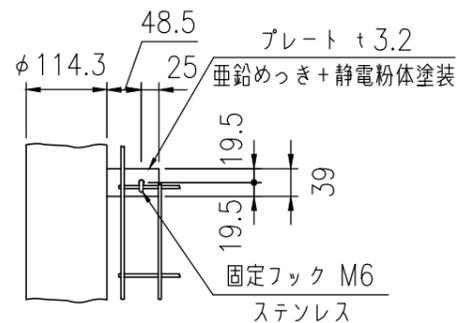


組立図 (1/25)

基礎の大きさは、参考寸法です。



A部詳細図 (1/10)



B部詳細図 (1/10)

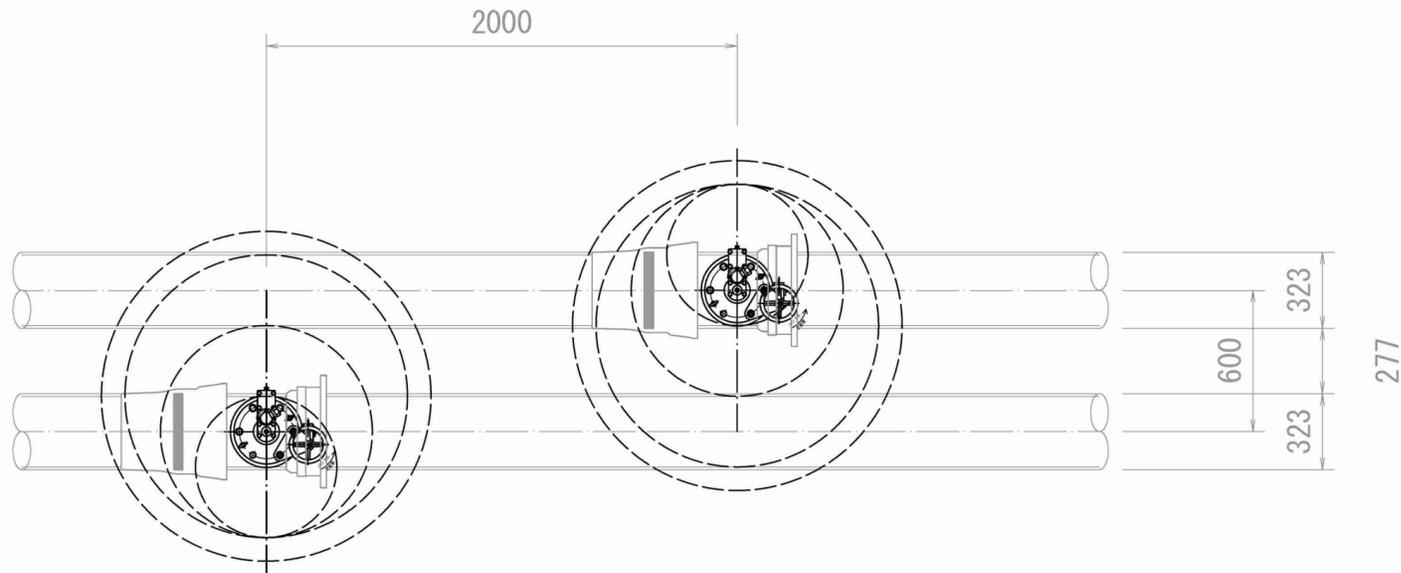
- ① は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき+静電粉体塗装
- ② ~ ④ は、亜鉛めっき+静電粉体塗装
- ⑤ は、亜鉛めっき+流動浸漬塗装
- ⑥ ~ ⑦ は、熔融亜鉛めっき

仕切弁室構造図

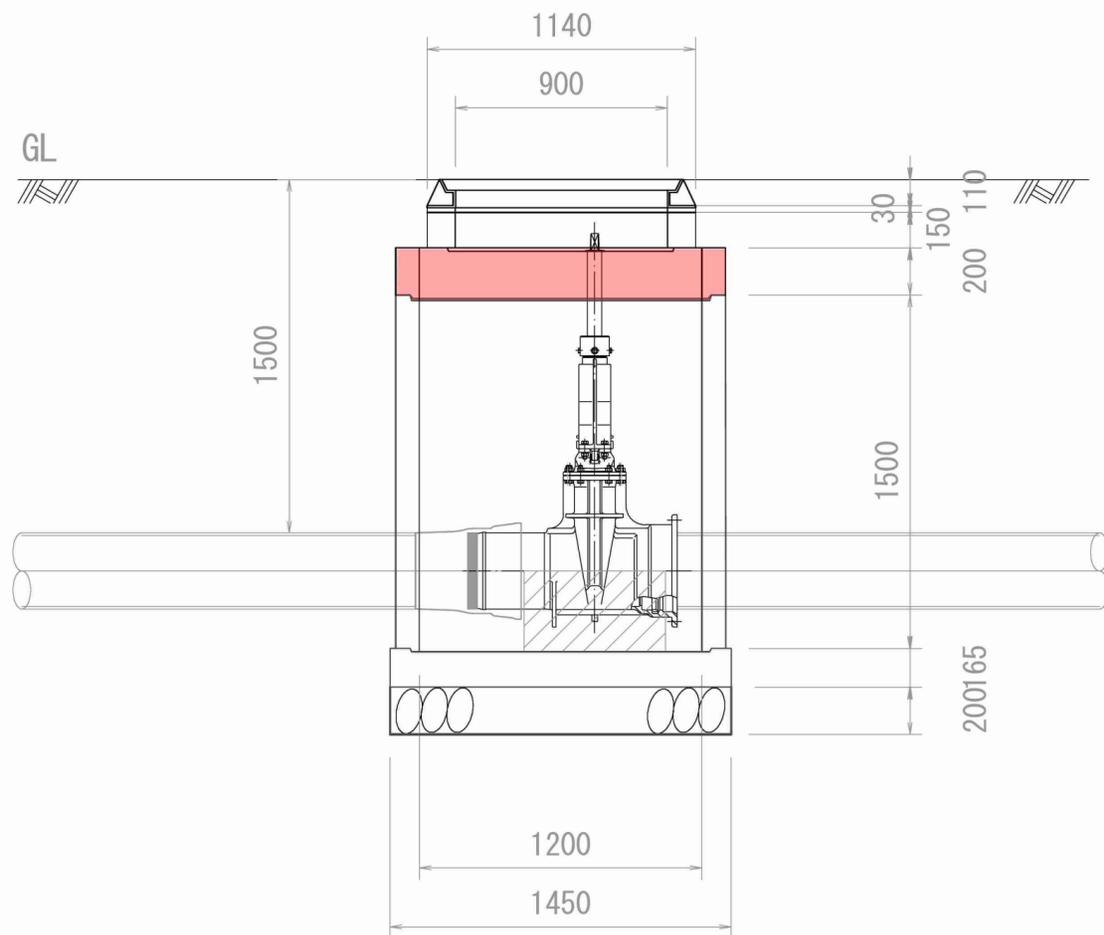
<2号組立人孔>
(親子蓋)

S=1:15

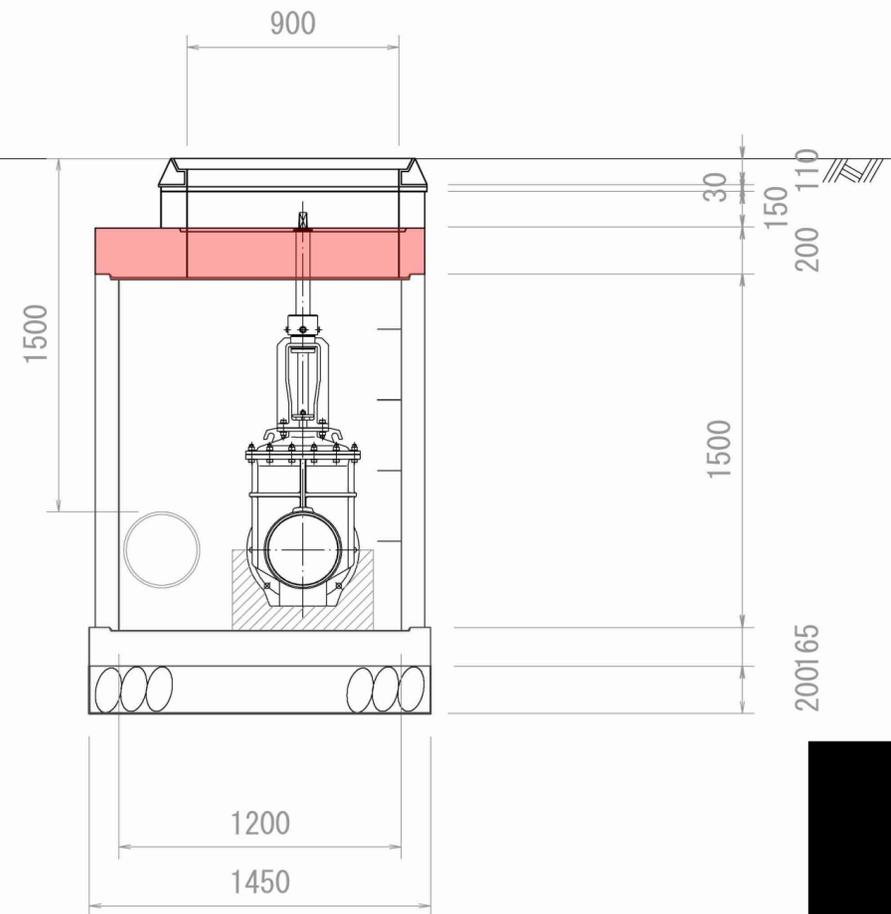
平面図



縦断面図



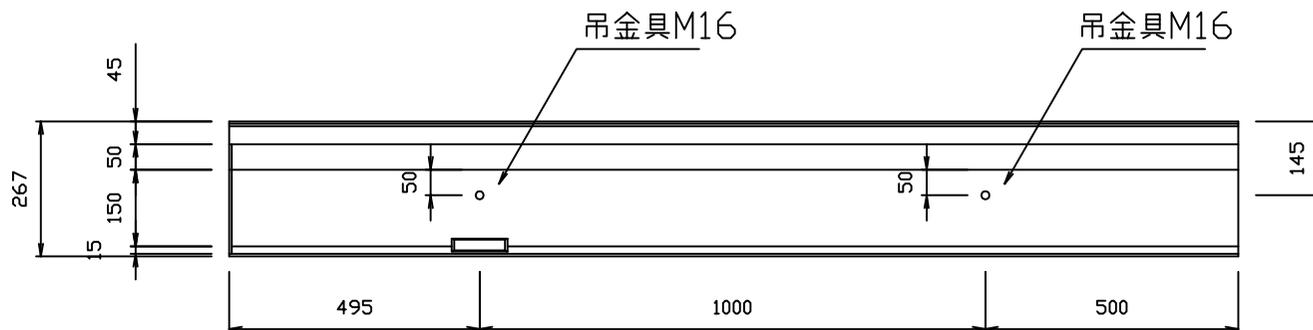
GL



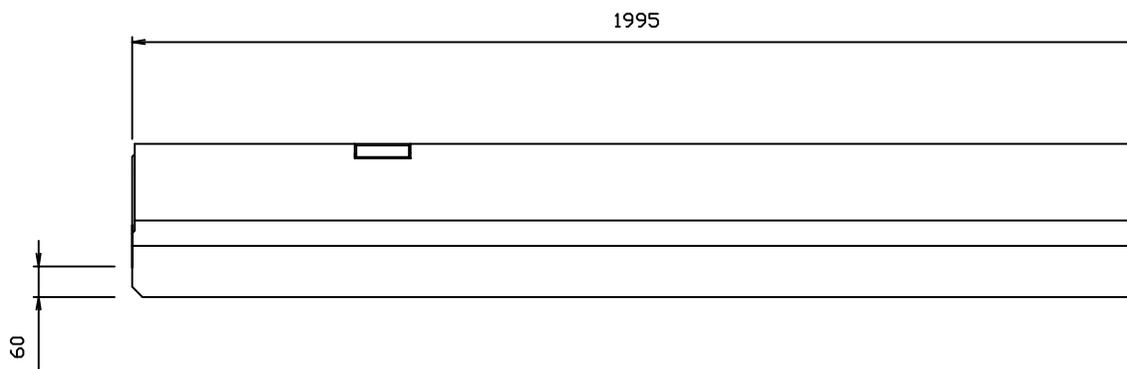
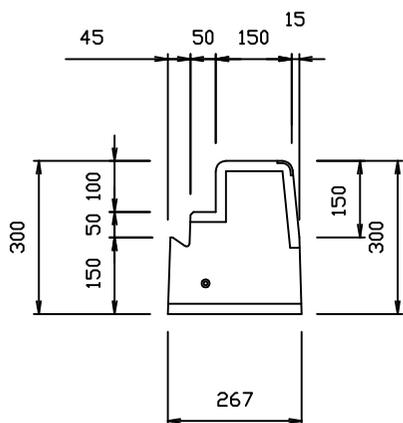
ワンタッチベース 茨木特殊

基本

KF-A 2M



縁石工 A-1型 150/267×300×2000



参考重量
294Kg

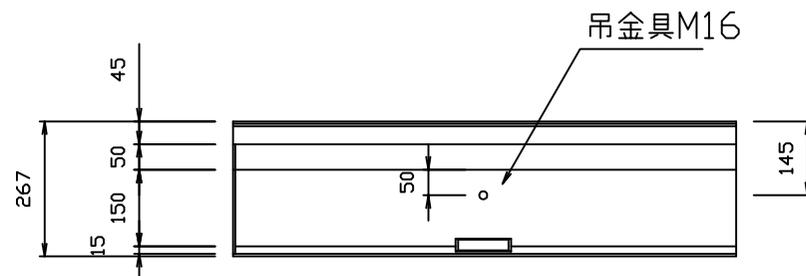
1. コンクリート強度

設計基準強度	$\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上
許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ck} = 8\text{N/mm}^2$ 以上

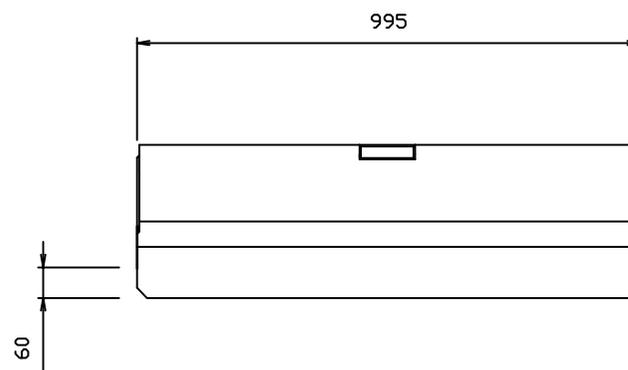
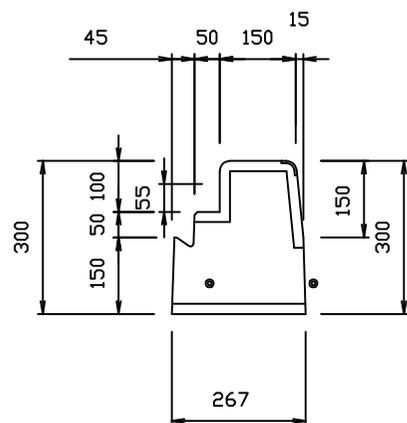
ワンタッチベース 茨木特殊

基本

KF-A 1M



縁石工 A-1型 150/267×300×1000



参考重量
147Kg

1. コンクリート強度

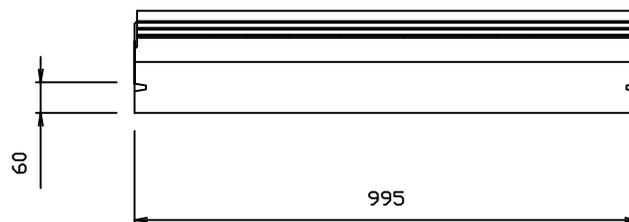
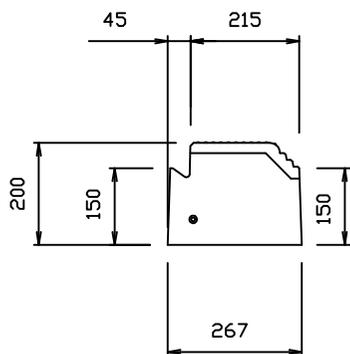
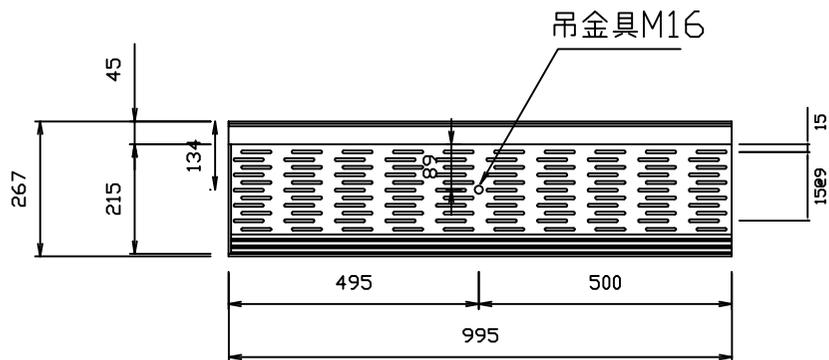
設計基準強度	$\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上
許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ck} = 8\text{N/mm}^2$ 以上

ワンタッチベース 茨木特殊

大阪府型乗入

KF-UDI 1M

縁石工 I 型 215/267×200×1000



参考重量
79Kg

滑り止め形状



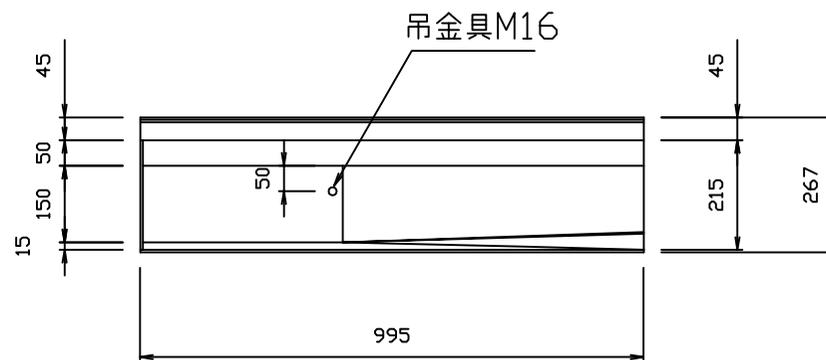
1. コンクリート強度

設計基準強度	$\sigma_{ck} = 24 \text{N/mm}^2$ 以上
許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ck} = 8 \text{N/mm}^2$ 以上

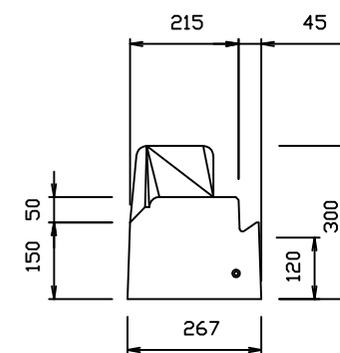
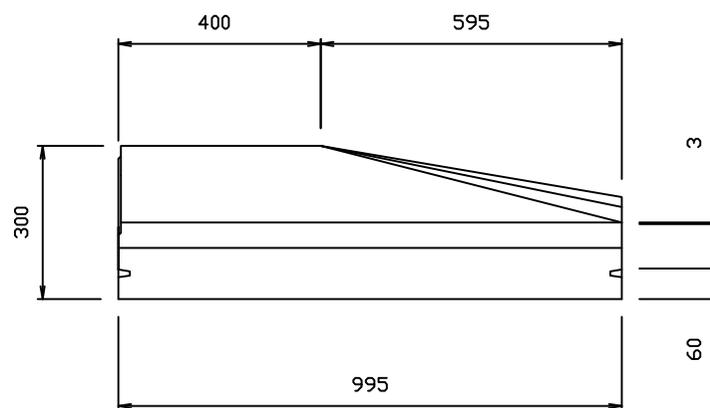
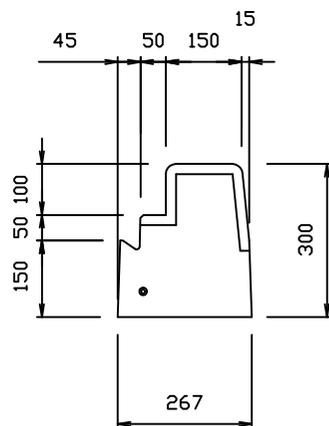
ワンタッチベース 茨木特殊

大阪府型斜用

KF-A-UDI-S 1M



縁石工 P-UDI 型 150/267×215/267×1000



※パッキン目地溝は正面から見て左側
(図面は斜用左)

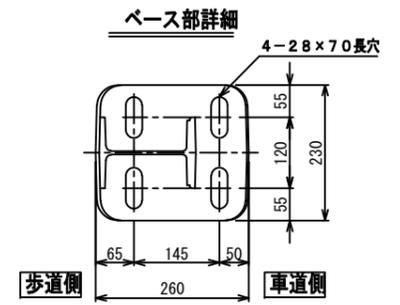
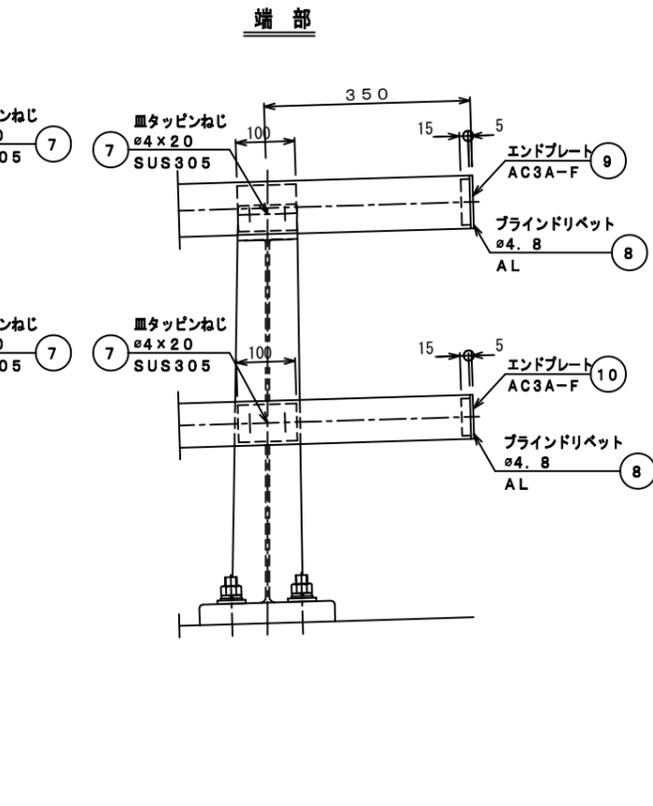
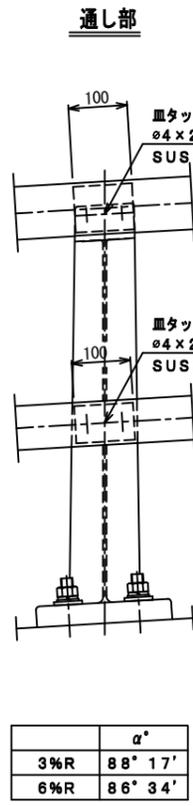
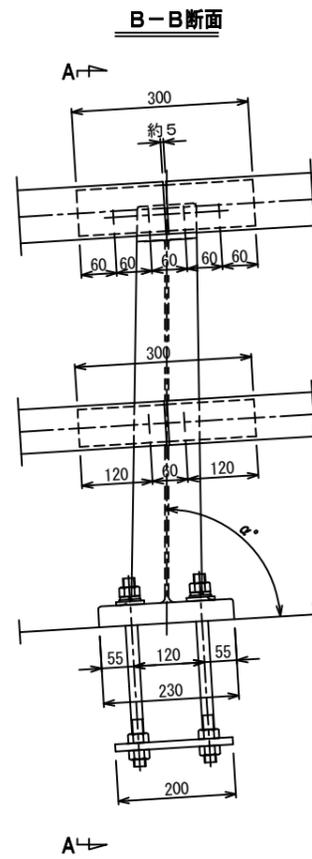
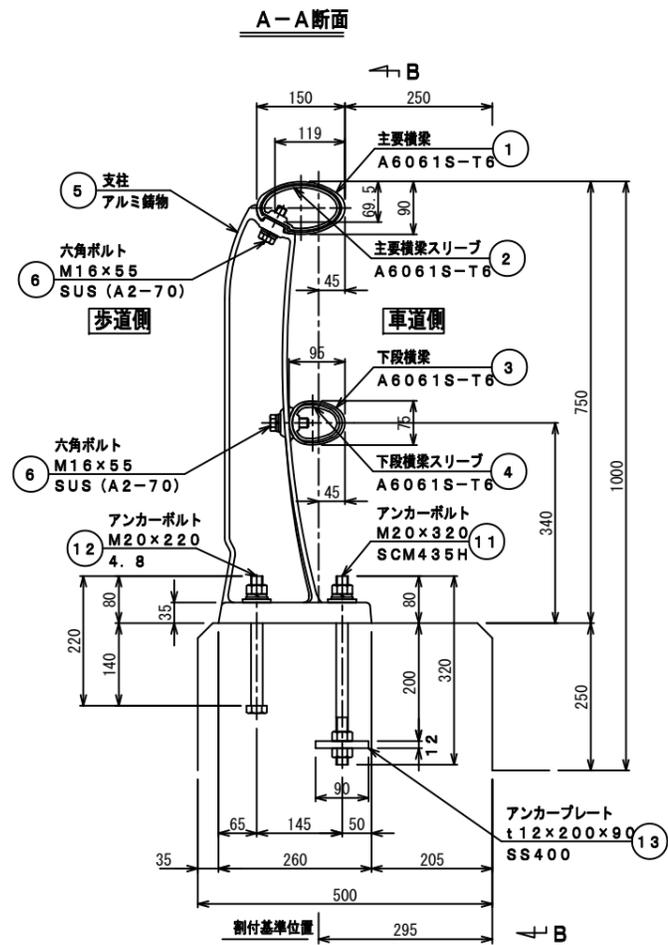
参考重量
106Kg

1. コンクリート強度

設計基準強度	$\sigma_{ck} = 24 \text{N/mm}^2$ 以上
許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ck} = 8 \text{N/mm}^2$ 以上

防護柵図

車両用防護柵取付詳細図 S=1/6
KSL-B-LBR2-75W2



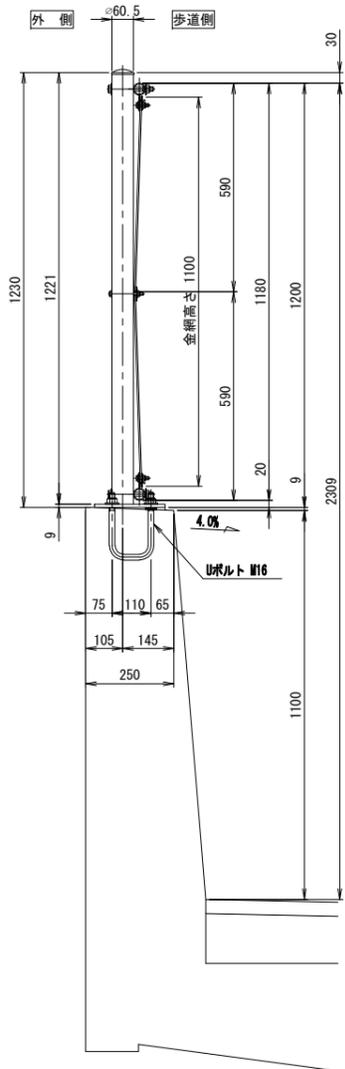
	α'
3%R	88° 17'
6%R	86° 34'

コンクリート設計基準強度 $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上

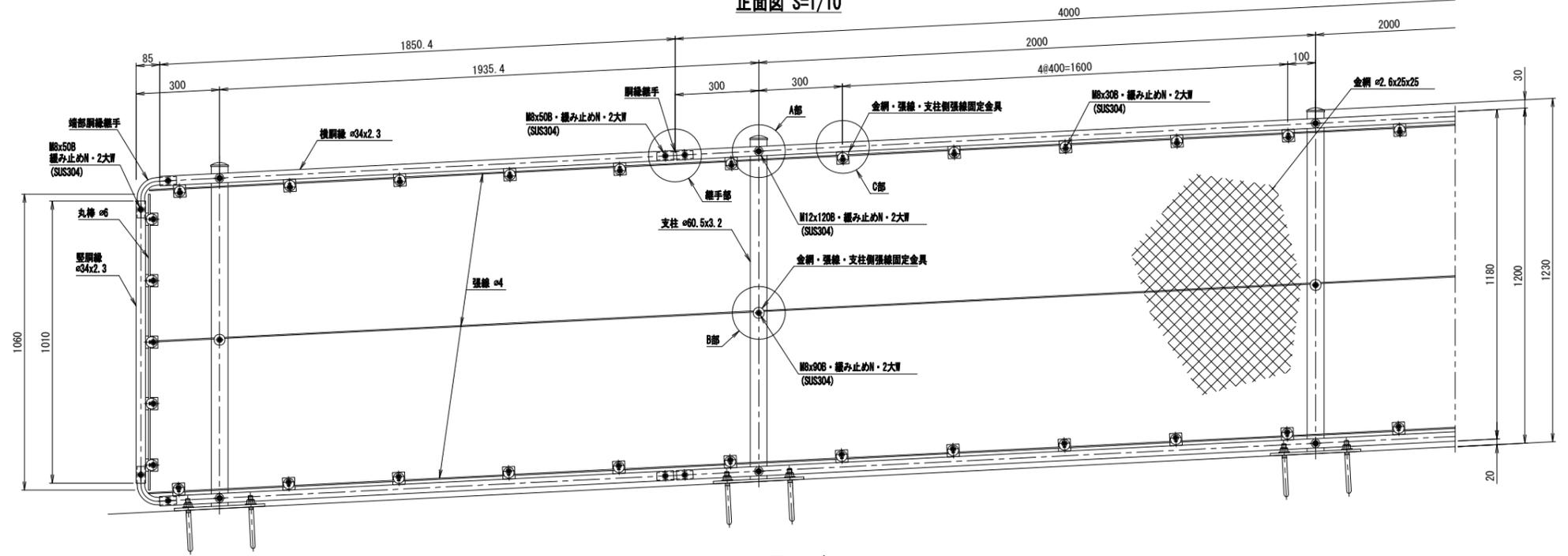
部材	表面仕上	仕上色	備考
防護柵	アルミニウム押出形材	陽極酸化塗装複合皮膜 (A2)	AM-18089
	アルミニウム合金鋳物	アクリル樹脂焼付塗装 (20 μm 以上)	C-4
	アンカーボルト類	HDZ35	—

落下物防止柵図

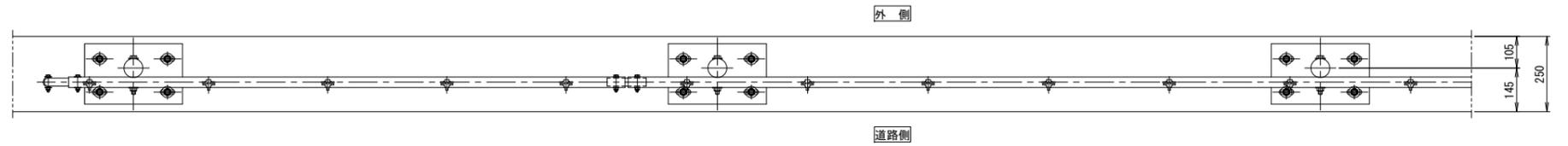
断面図 (L1側) S=1/10



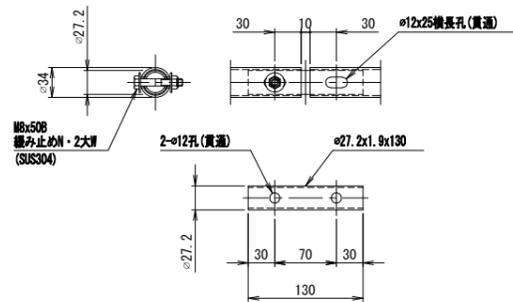
正面図 S=1/10



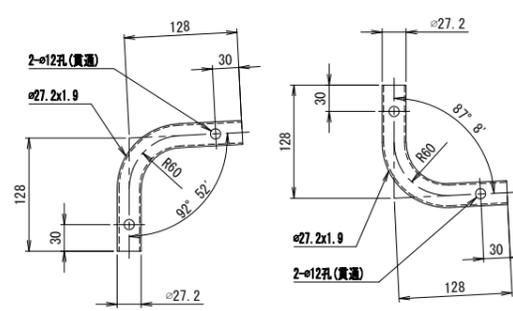
平面図 S=1/10



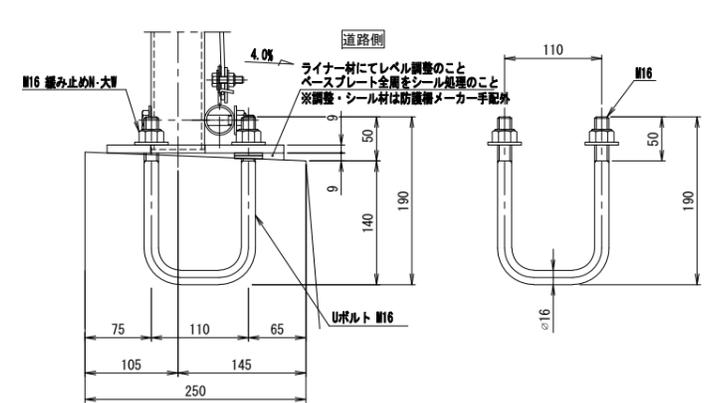
継手部詳細図 S=1/4



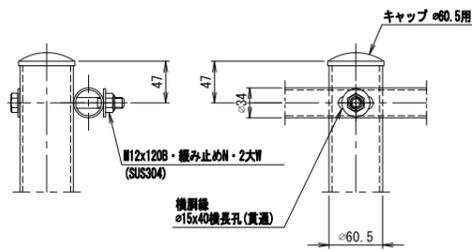
端部胴縁継手 S=1/4



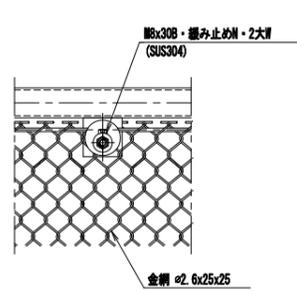
支柱取付部詳細図 S=1/4



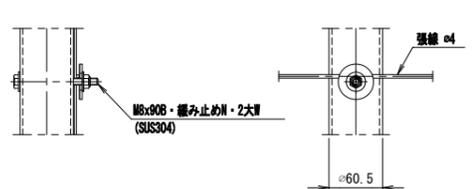
A部詳細図 S=1/4



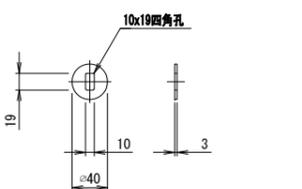
C部詳細図 S=1/4



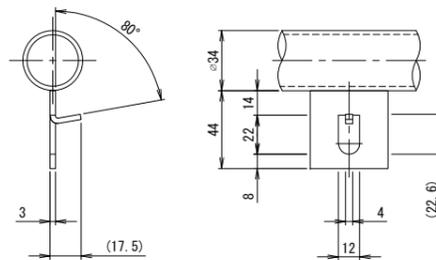
B部詳細図 S=1/4



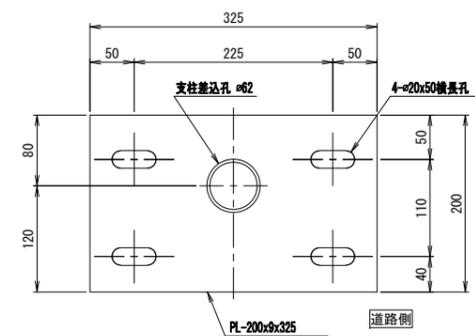
金網・張線・支柱側張線固定金具 S=1/4



胴縁側金具詳細図 S=1/2

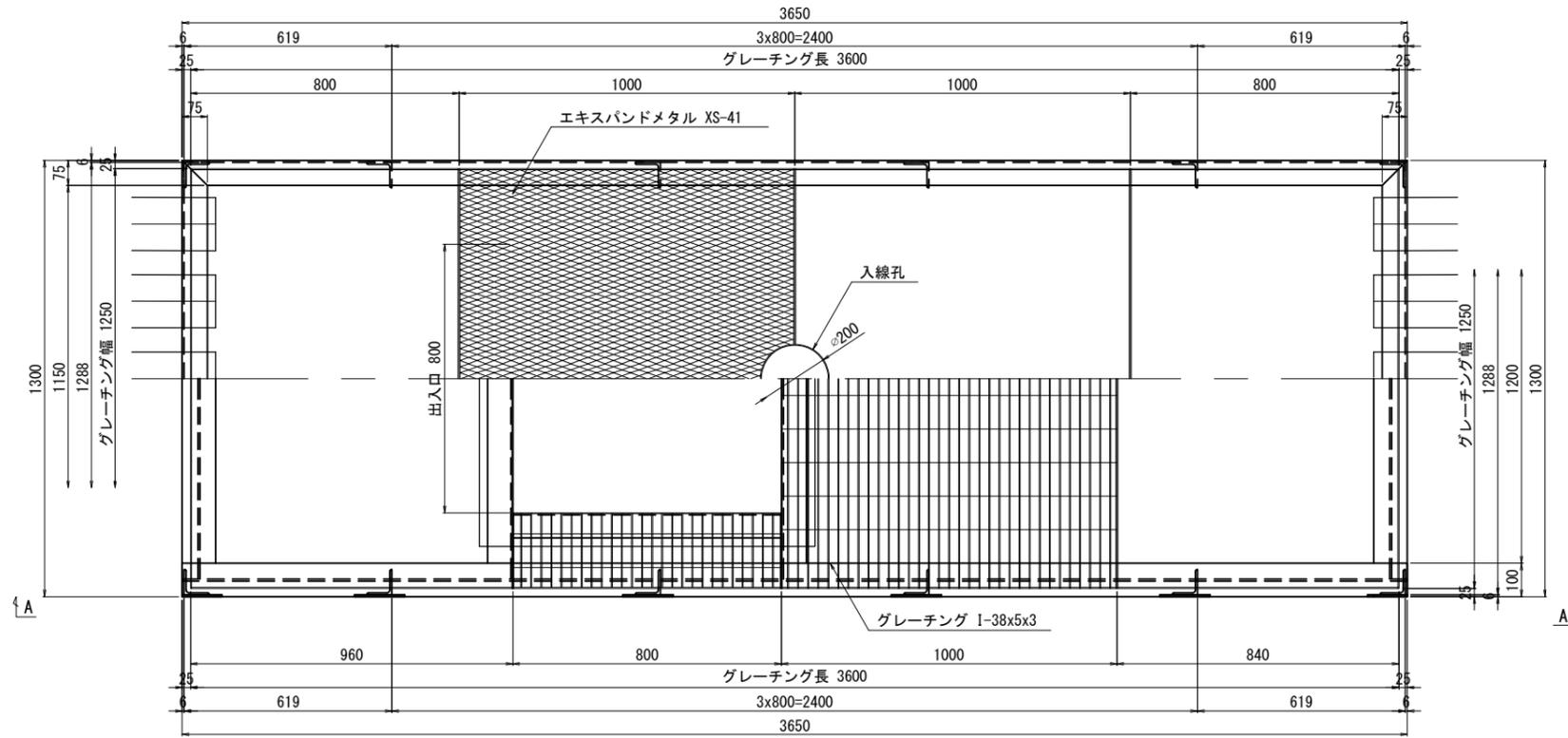


ベースプレート詳細図 S=1/4



配電用プルボックス詳細図

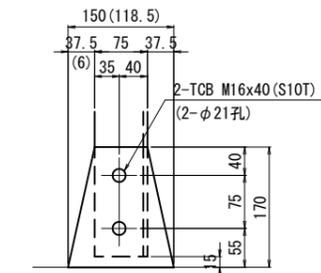
S=1:10



上面

下面

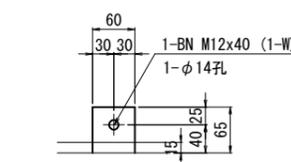
“a”部詳細図 S=1:5



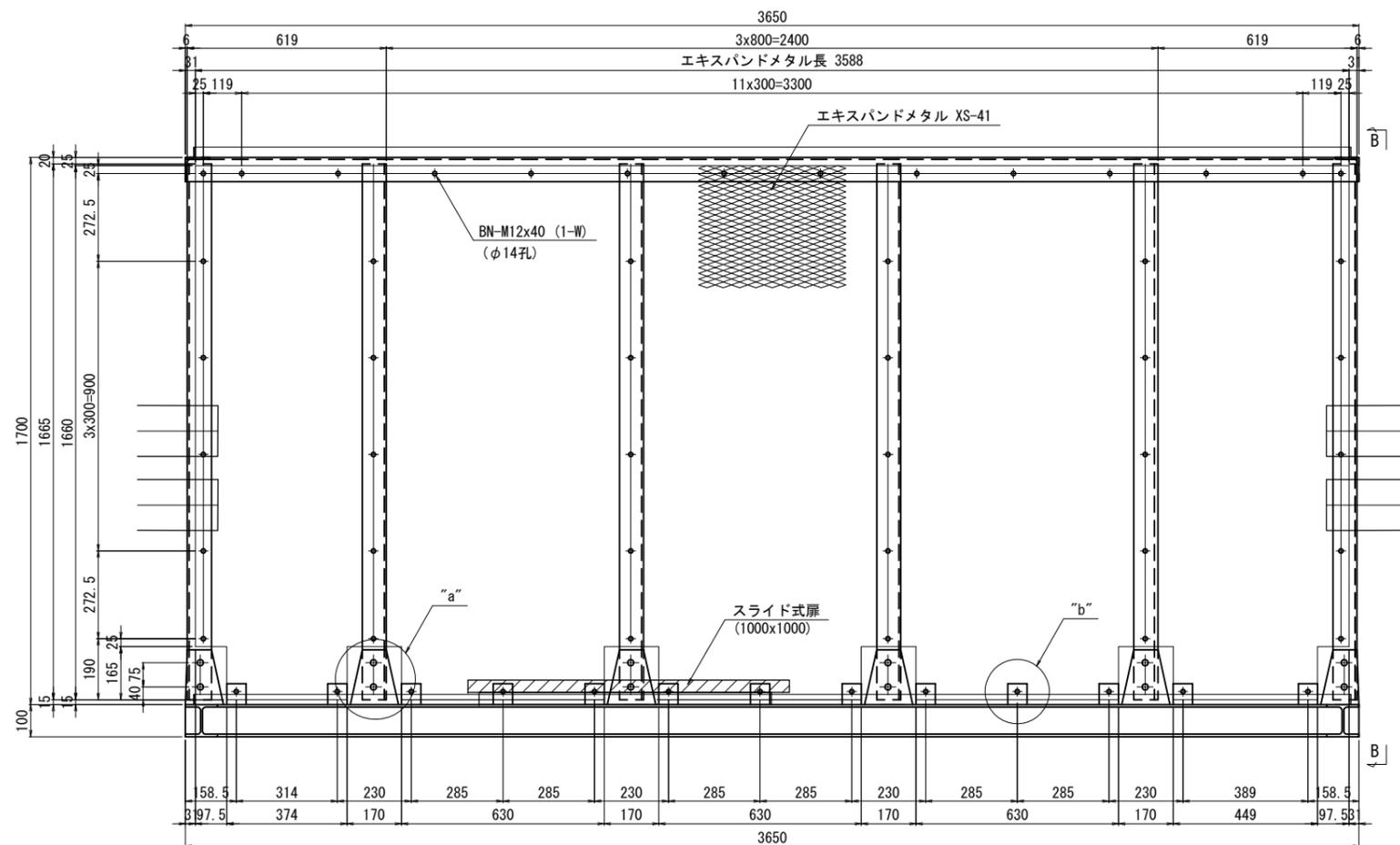
- 1基当たり材料
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 3650
 - 2 - L 75 x 75 x 6 x 1300
 - 12 - L 75 x 75 x 6 x 1665
 - 24 - TCB M16 x 40 (S10T)
 - 1 - エキスパンドメタル 1250 x 3600 (XS-41)
 - 2 - エキスパンドメタル 1660 x 3588 (XS-41)
 - 2 - エキスパンドメタル 1660 x 1238 (XS-41)
 - 162 - BN M12 x 40 (1-W)

- 2 - H 100 x 100 x 6 x 8 x 3600
- 2 - H 100 x 100 x 6 x 8 x 1194
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 1194
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 800
- 1 - グレーチング 1250 x 3600 (I-38x5x3)
- 8 - PL 150 x 6 x 170
- 4 - PL 119 x 6 x 170
- 16 - PL 60 x 6 x 65

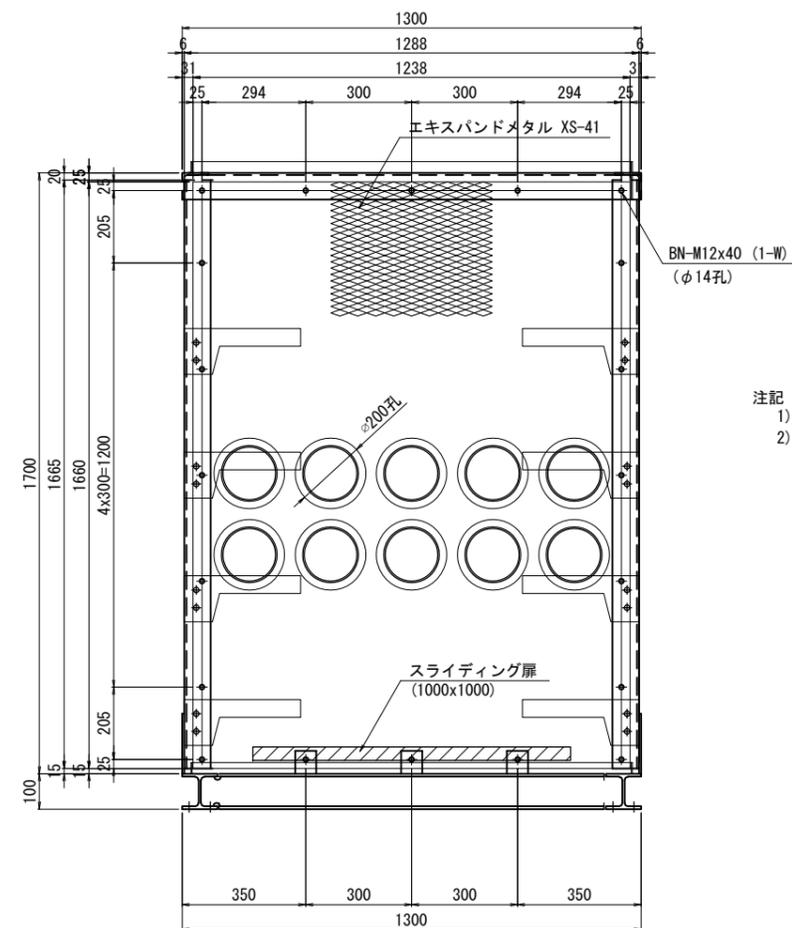
“b”部詳細図 S=1:5



A - A



B - B

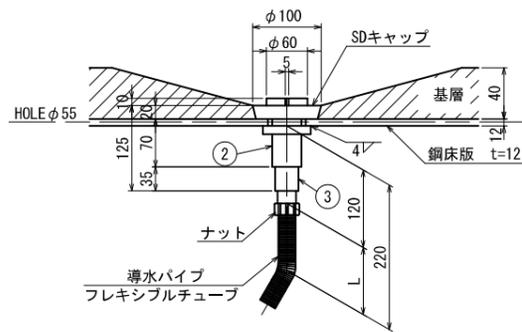


- 注記
- 1) 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 2) 部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

上部工排水装置 (その12) S=1:5

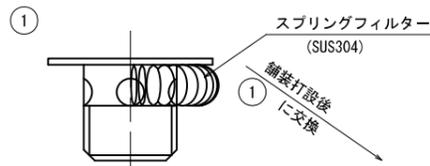
スラブドレイン詳細

製作数:36組



注記

- 施工時は、SDキャップを舗装打設後①に交換する。
- ②は工場溶接とし、③を現場で接続とする。
- 路肩部については、直接①を接続する。



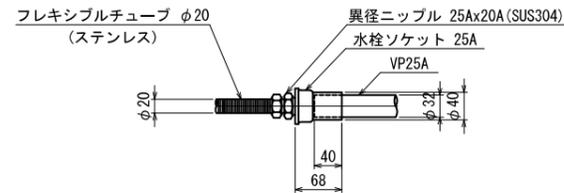
スラブドレイン部材表

部材名	寸法	備考
本体構成部品 ①	φ34.0 x 35	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)キャップ付(2.3txφ60)
本体構成部品 ②	φ42.7 x 70	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)つば付(12txφ70)
本体構成部品 ③	φ40.0 x 80	樹脂性
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター (SUS304)
SDキャップ (耐熱用)	φ100 x 45	66ナイロン 34ガラスファイバー

ソケット詳細図

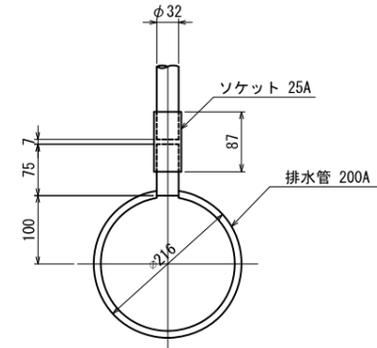
異径ニップル+水栓ソケット 25A

製作数:8組



排水管接続部

製作数:12組

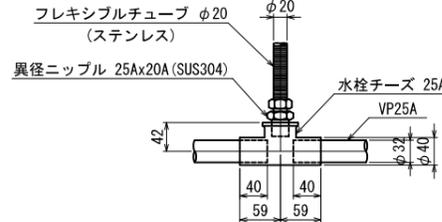


橋面排水管接続部詳細

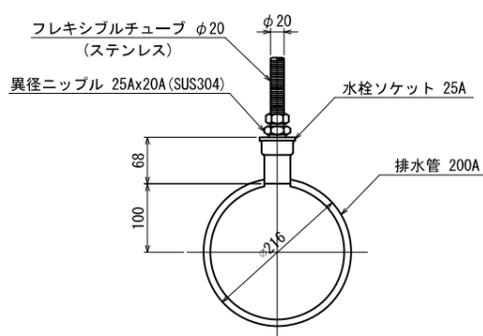
Tチーズ詳細図

異径ニップル+水栓チーズ 25A

製作数:20組

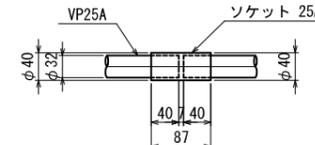


製作数:8組



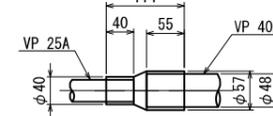
ソケット 25A

製作数:50組



径違いソケット VP 40x25

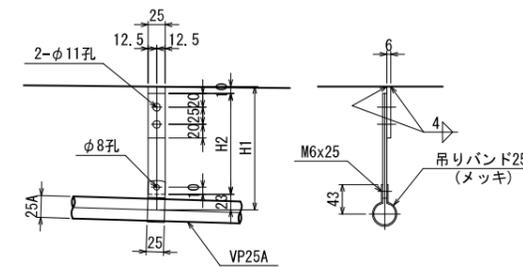
製作数:4個



取付金具詳細図 (VP25A)

(SBn)

製作数:n個



1組当り

1-PL 25x6x 75 (SM400A)

1-PL 25x6x H2

2-BN M8x25 (1-W付)

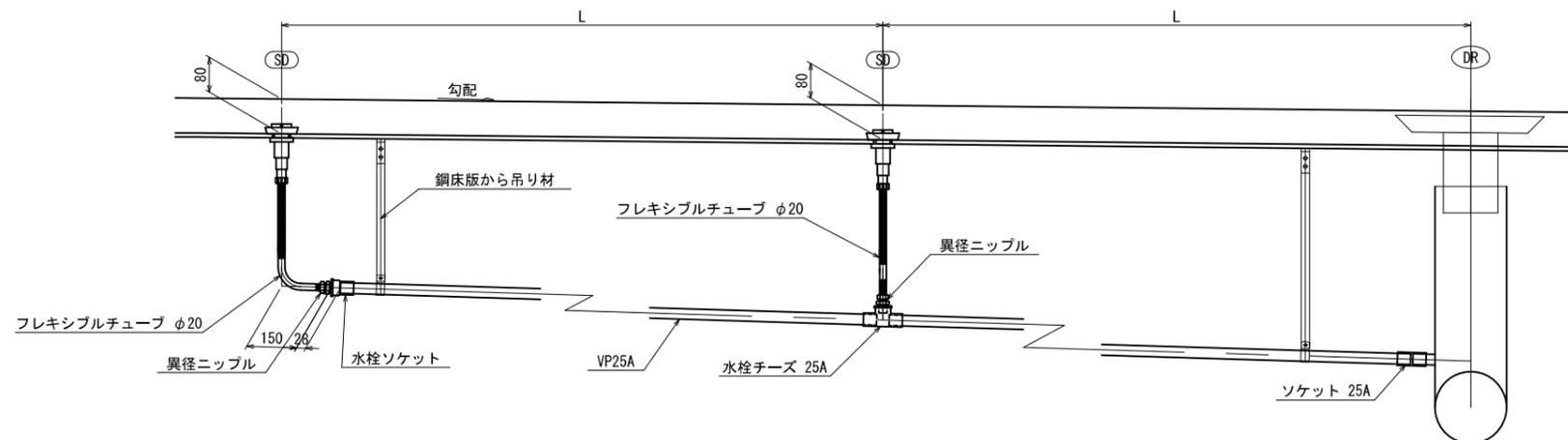
1-吊バンド25A (A10157同等品) (メッキ) (M6x25付き)

(SBn)	H1	H2	n
(SB1)	688	655	104
(SB2)	686	653	40
(SB3)	683	650	22
(SB4)	684	651	6
(SB5)	685	652	6
(SB6)	681	648	2
(SB7)	678	645	2
(SB8)	682	649	2
(SB9)	795	762	4
(SB10)	818	785	4
(SB11)	963	930	4
(SB12)	981	948	4

注)

- 1. 特記なき材質は全てSS400とする。
- 2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35~HDZ55とする。但し、鋼材については、板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等はHDZ55板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45板厚 3.2mm未満の部材及びボルトナット類はHDZ35とする。
- 3. ナットは、全て緩み止めナットを使用すること。

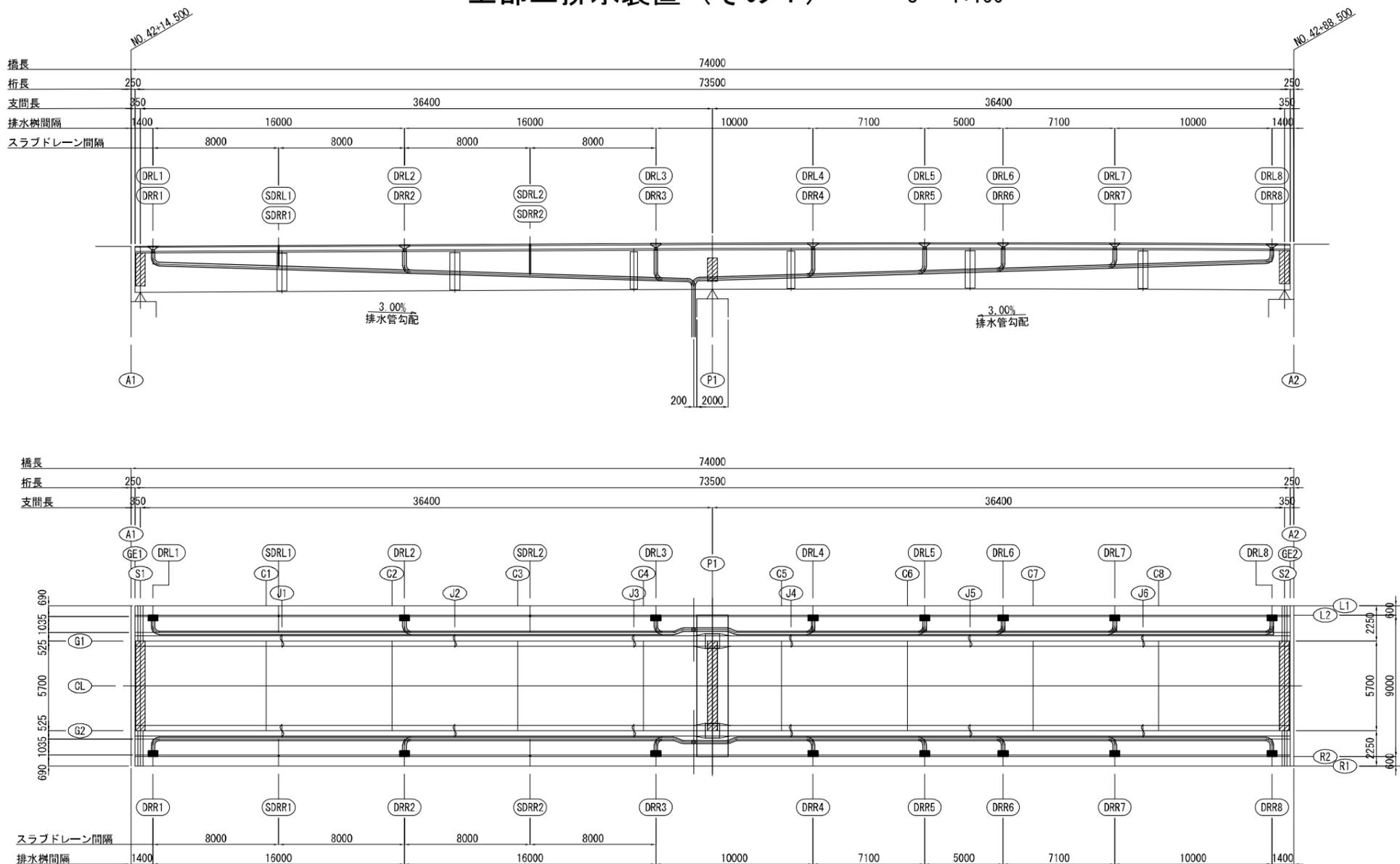
水抜き管接続詳細 (標準部) S=1:10



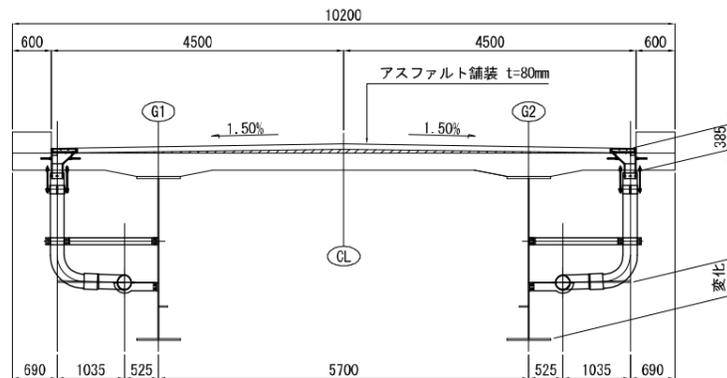
平成27年度	図面番号	79 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	上部工排水装置 (その12) 縮尺 S=1:5	
大阪府茨木土木事務所		

上部工排水装置 (その1)

S = 1:150



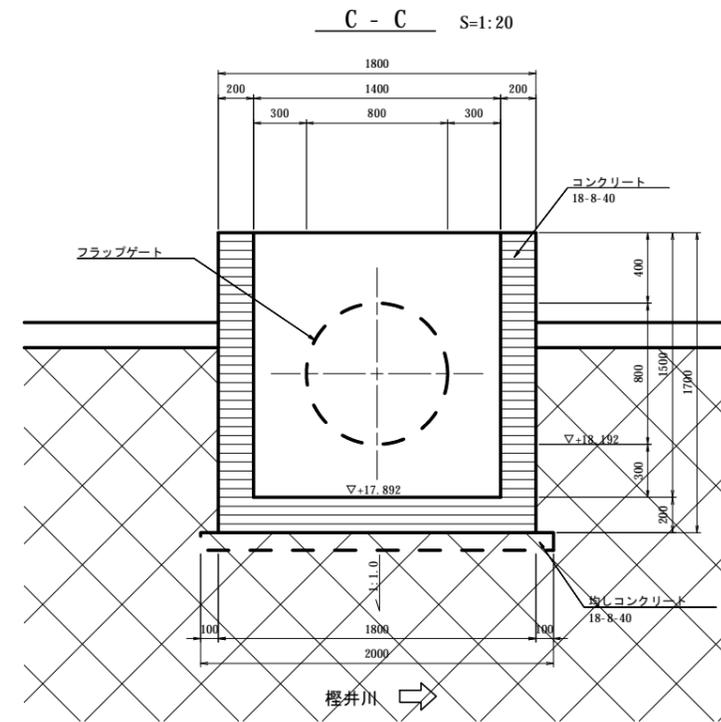
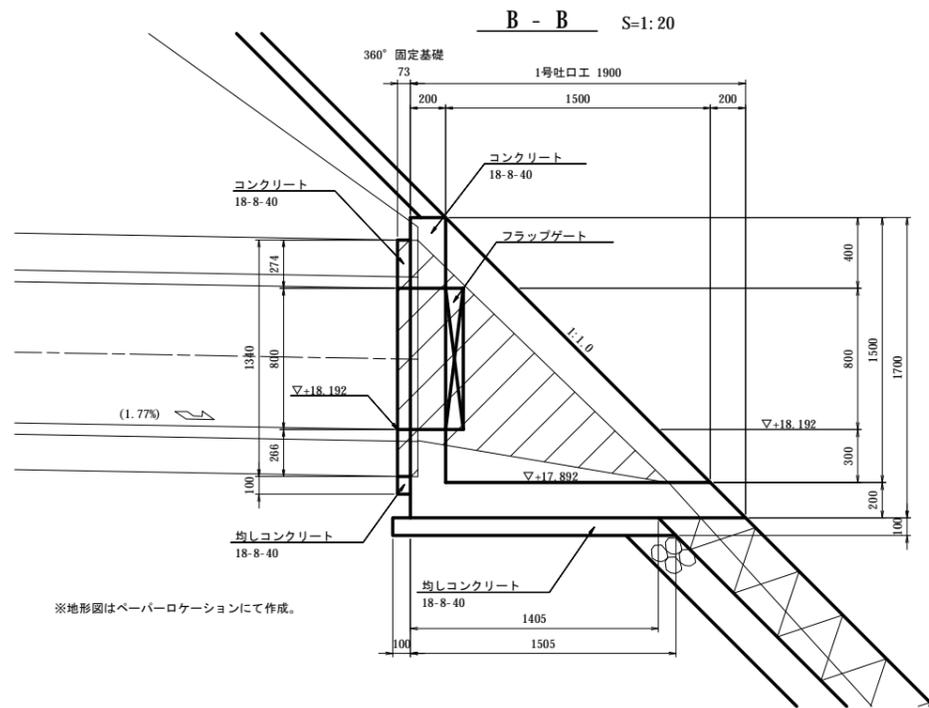
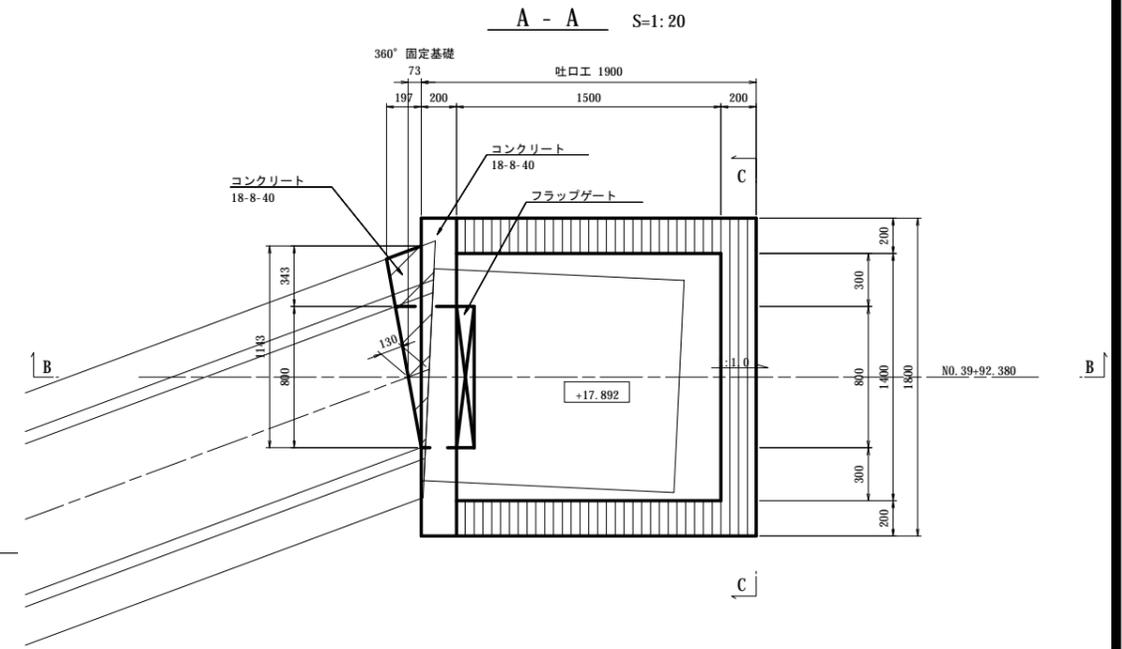
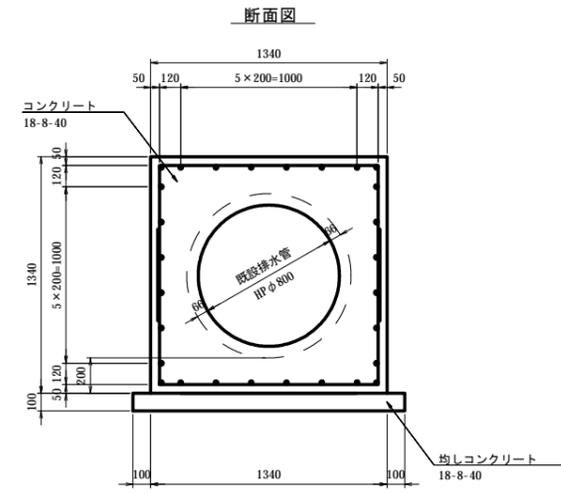
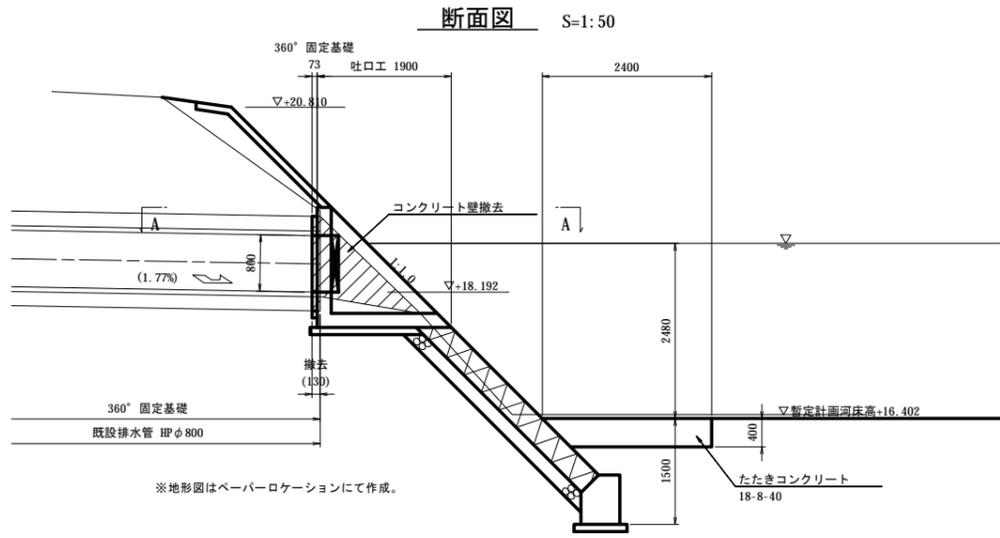
断面図 S=1:50



注記
 1. G2桁は、CLに線対称とする。

年度	平成27年	番号	38/153
路線名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	上部工排水装置 (その1)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

フラップゲートΦ800 参考図

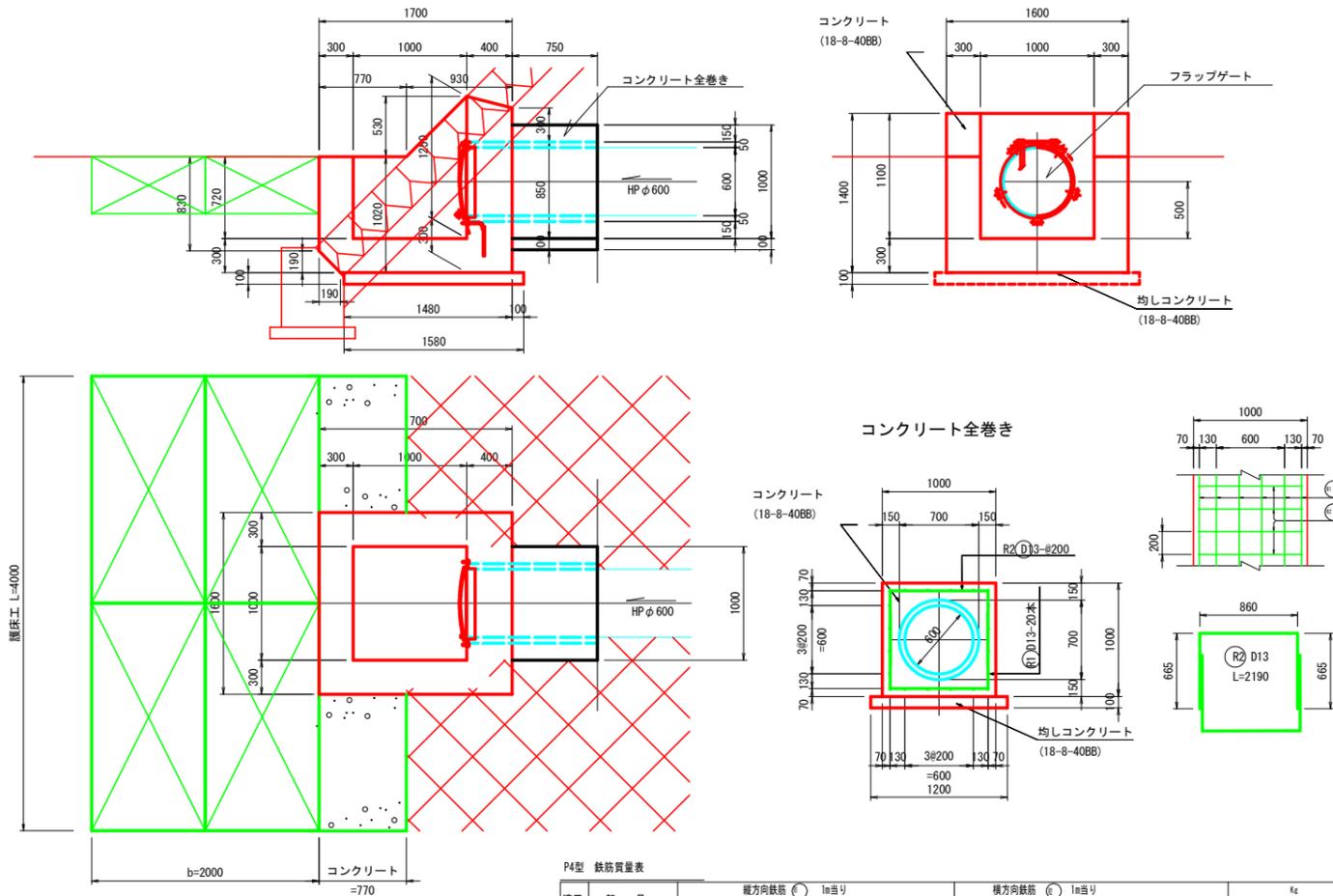


流入管吐口処理図

S=1:30

流入工断面図 4

流出管径φ600 4



P4型 鉄筋質量表

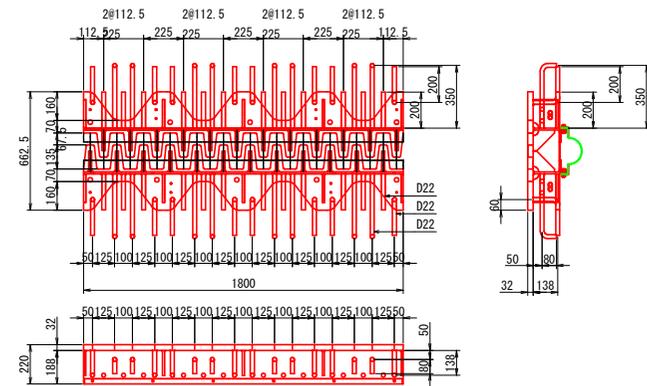
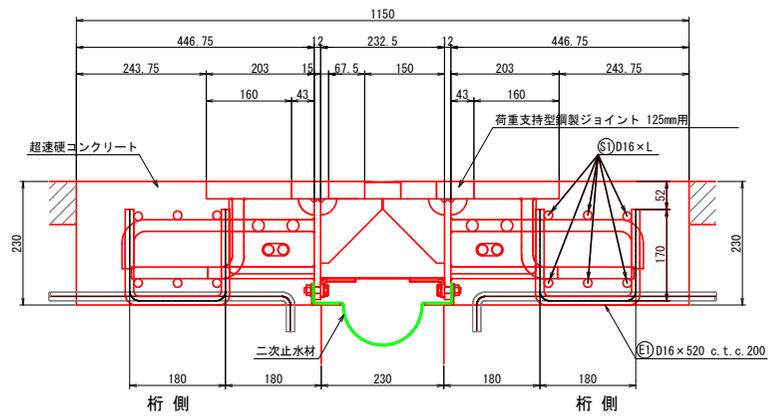
適用記号	縦方向鉄筋 (1m当り)				横方向鉄筋 (1m当り)				鉄筋総質量
	鉄筋径	本数	kg/m 単位質量	kg 質量	鉄筋径	本数	kg/m 単位質量	kg 質量	
P4-φ600	D13	20	0.995	19.900	D13	10	2.190	21.781	(D13) 41.69

既設管調査

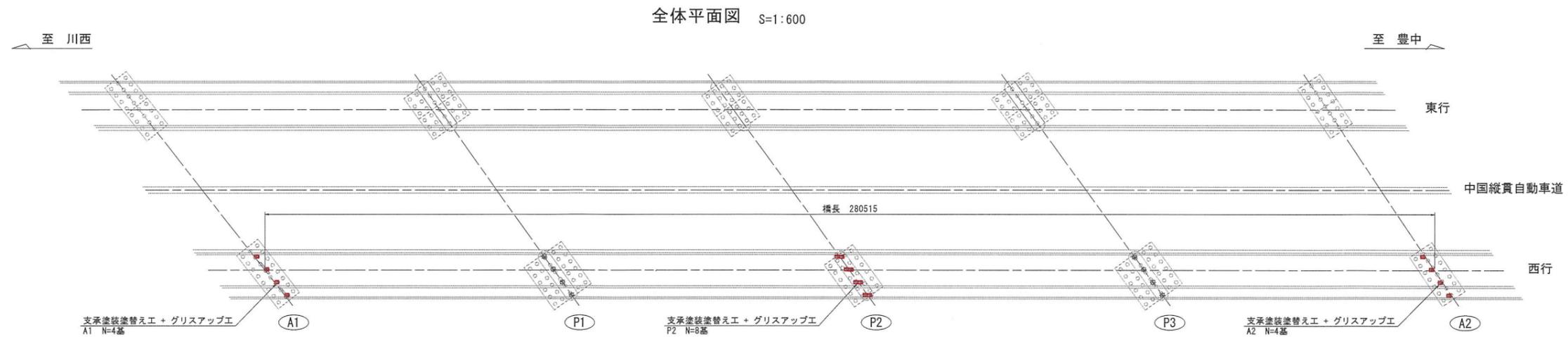
管所	測点	管(渠)種	管(渠)径(mm)	底高(m) (△H)	高水位 (計測河床高)	対象護岸	流入管下高	備考	
4	No.6+11.08	右岸	ヒューム管	φ600	33.18	37.07 (33.59)	ブロック護堤岸 (1:1.0)	H=0.19	3工区 (フラップゲート)

平成29~30年度	図面番号	79 / 124
事業名	一級河川 余野川	
河川名	一級河川 余野川	
工事名	一級河川 余野川 護岸等設計委託(H29)	
工事場所	池田市木部町地内 外	
図面名	流入管吐口処理図	縮尺 S=1/30
大阪府池田土木事務所		

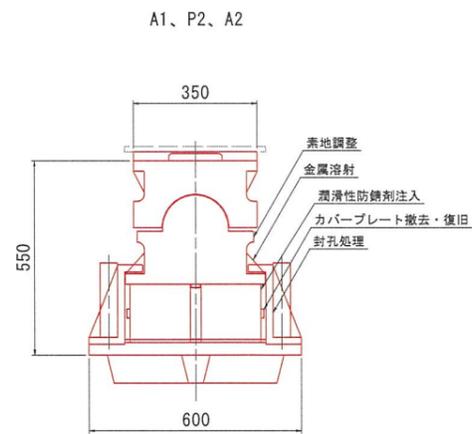
荷重支持型鋼製ジョイント 125mm用 製品図



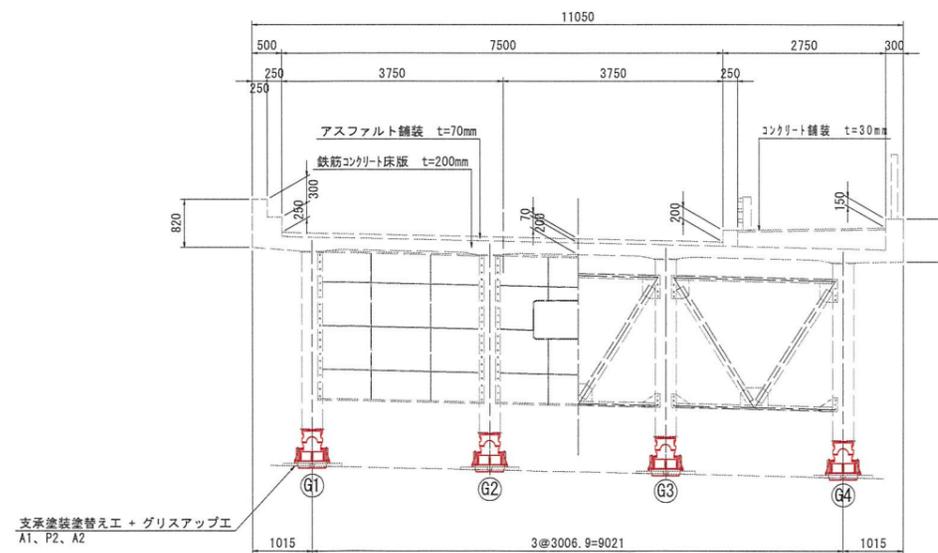
猪名川大橋(西行) 支承塗装塗替え工



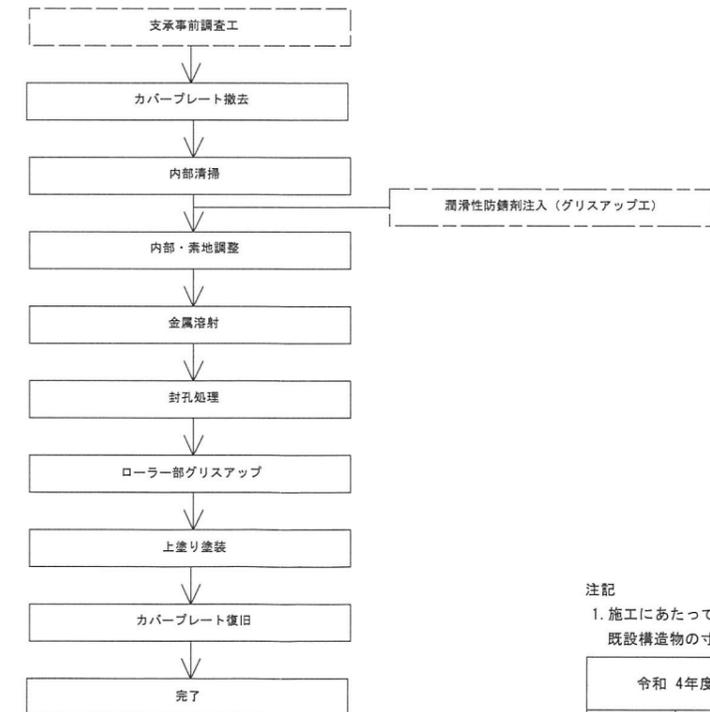
支承一般図 S=1:10



断面図 S=1:60



施工フロー



※実線枠内が、支承塗装塗替え工を示す。

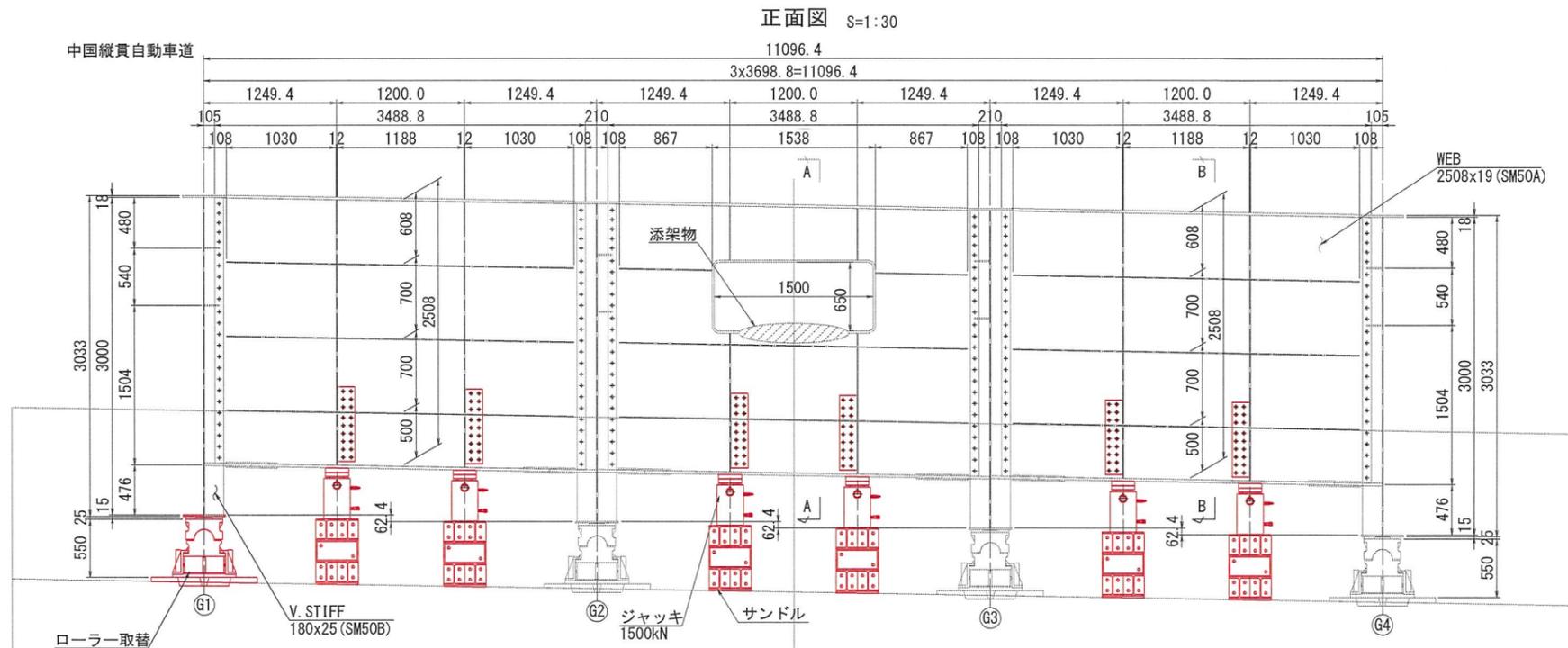
注記

1. 施工にあたっては、現場測量を行い、既設構造物の寸法等を確認すること。

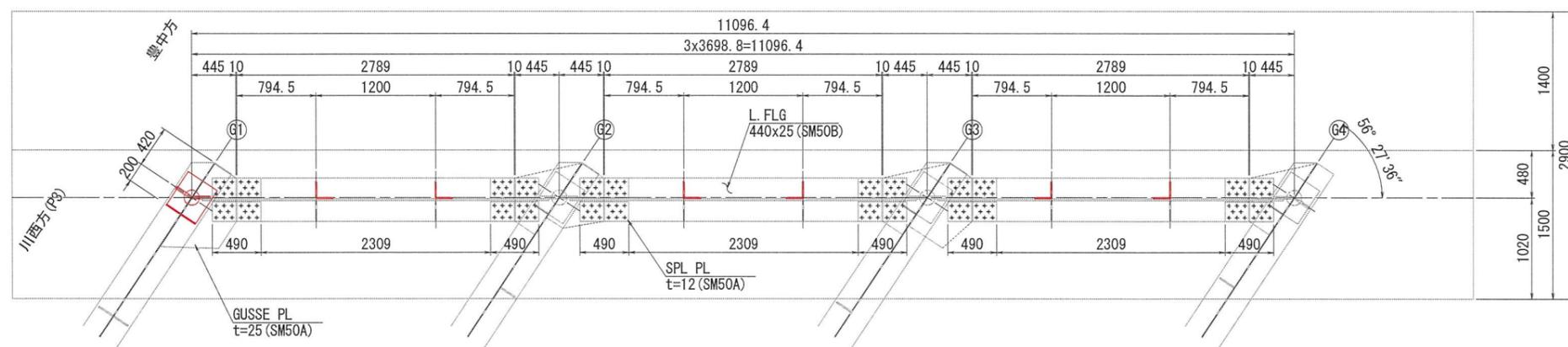
令和 4年度	図面番号	4 / 11
事業名	猪名川大橋(西行) 支承塗装塗替え工	
路線名	国道176号	
河川名	猪名川	
工事名	一般国道 176号外 猪名川大橋外 橋梁補修設計委託	
施工地名	池田市 神田	
図面名	猪名川大橋(西行) 支承塗装塗替え工	縮尺 図示
大阪府池田土木事務所		

猪名川大橋(西行) 支承ローラー取替工 S=1:30

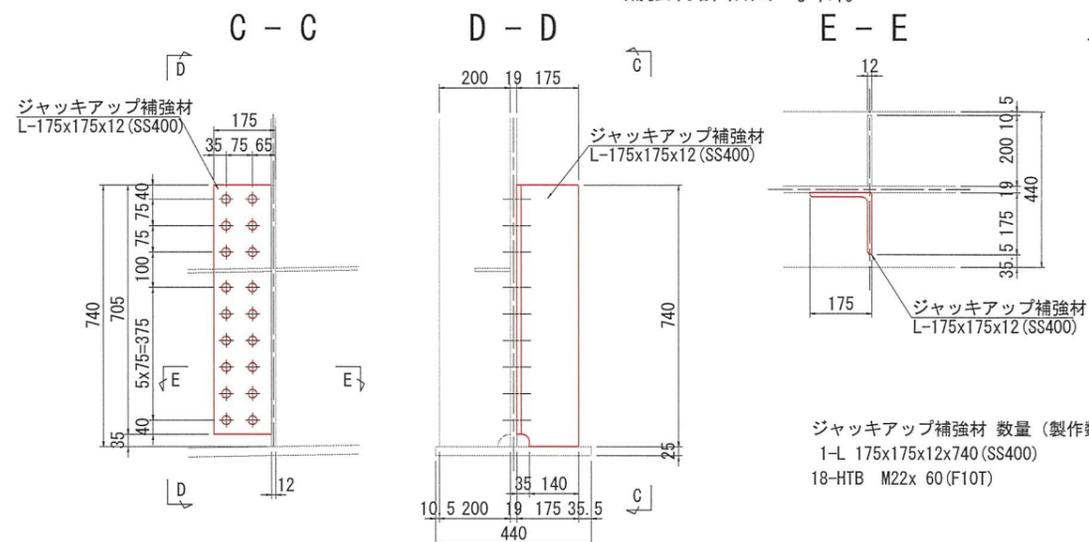
A2 G1 支承ローラー取替工



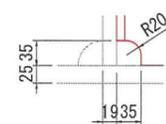
平面図 S=1:30



補強材詳細図 S=1:10

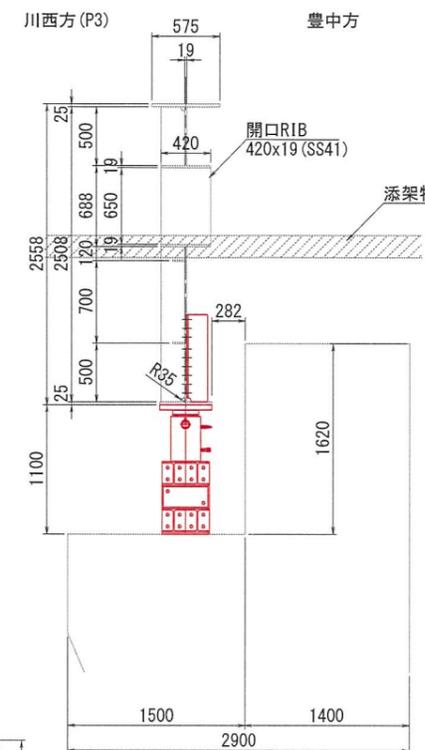


スカーラップ詳細 S=1:5

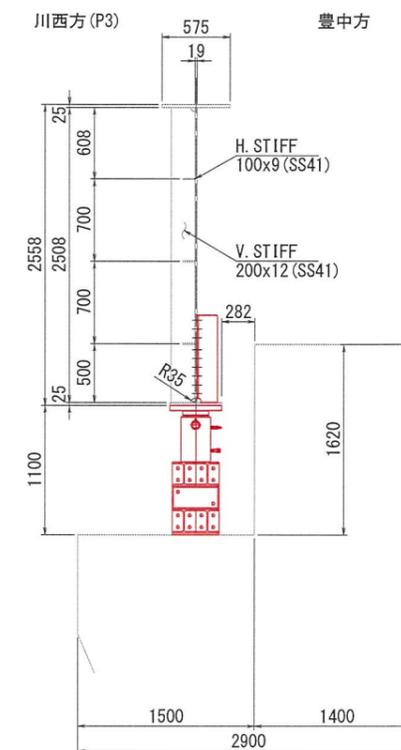


ジャッキアップ補強材 数量 (製作数: 6)
1-L 175x175x12x740 (SS400)
18-HTB M22x 60 (F10T)

A - A



B - B



注記

1. 施工にあたっては、現場測量を行い、既設構造物の寸法等を確認すること。

令和 4年度	図面番号	5 / 11
事業名	国道176号	
路線名	猪名川大橋(西行)	
河川名	猪名川	
工事名	一般国道 176号外 猪名川大橋外 橋梁補修設計委託	
施工地名	池田市 神田	
図面名	猪名川大橋(西行) 支承ローラー取替工	縮尺 図示
大阪府池田土木事務所		

E3柵構造図

S=1:20

(1500×4000×600)

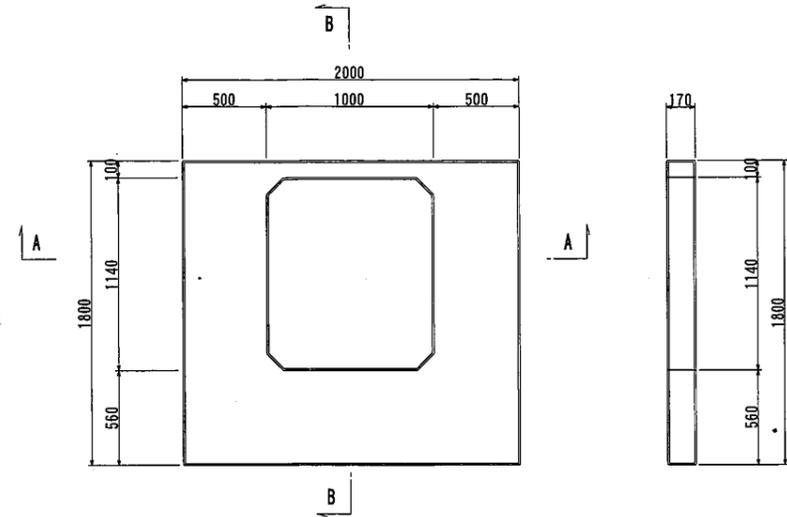
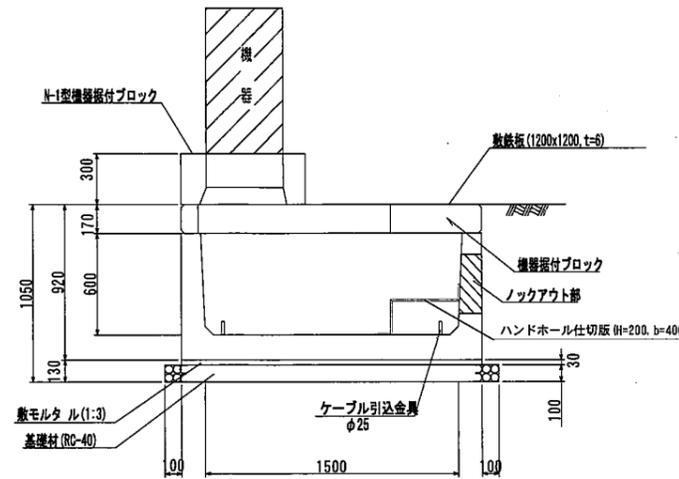
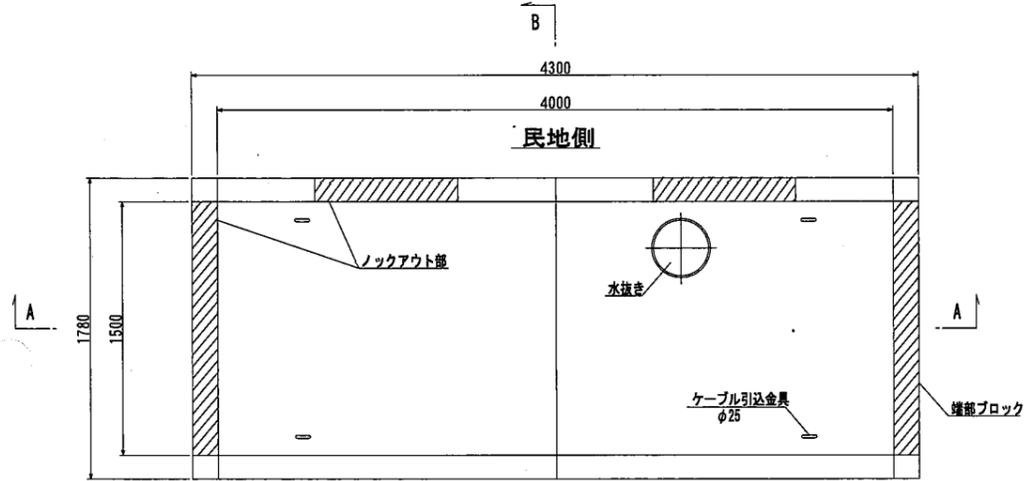
機器据付ブロック

平面図

B-B断面

平面図

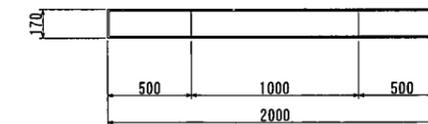
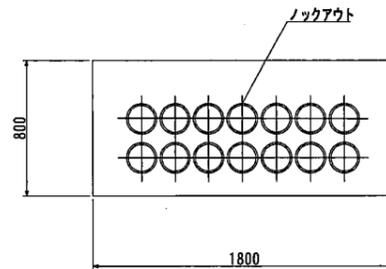
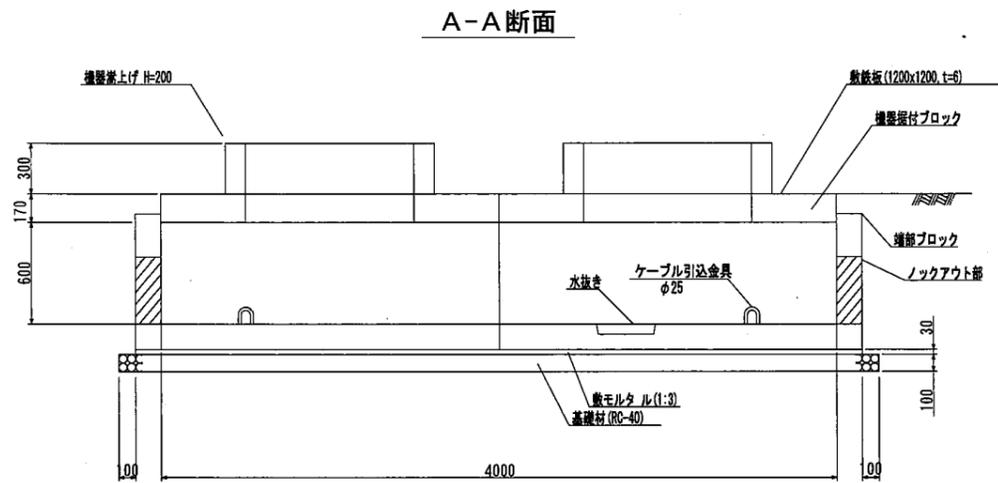
B-B断面



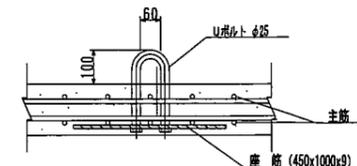
車道側

端部ブロック

A-A断面



ケーブル引込金具詳細図 1/5



※柵の内空寸法は、呼称寸法とする。

設計条件		
活荷重	T-25 (P=50kN)	
衝撃係数	i=0.1	
(許容応力度)		
コンクリート	設計基準強度	$\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$
	曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ca} = 11\text{N/mm}^2$
	せん断応力度	$\tau_a = 0.5\text{N/mm}^2$
鉄筋	引張応力度	$\sigma_{sa} = 180\text{N/mm}^2$

※小型BOX部に限り仕切りプレートを設置する。

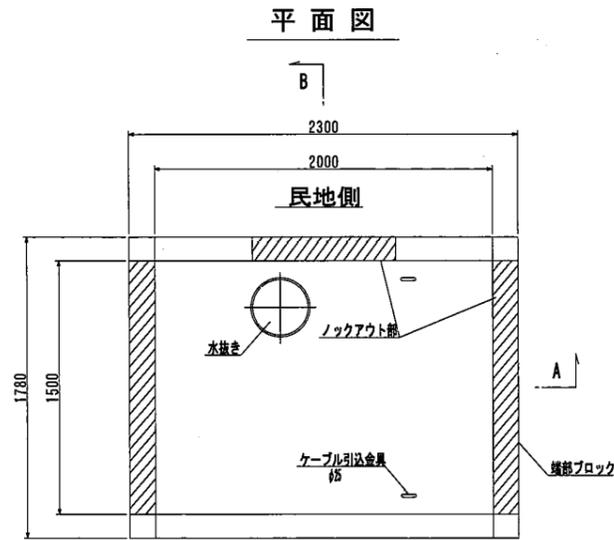
※仕切版 (E202) 以外のケーブル引込金具位置については、設置箇所 (9箇所) 入溝企業と調整して決定すること。

E4柵構造図

S=1:20

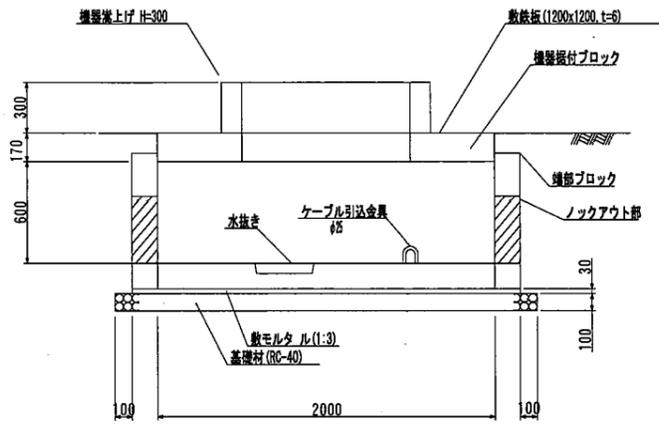
(1500×2000×600)

機器据付ブロック



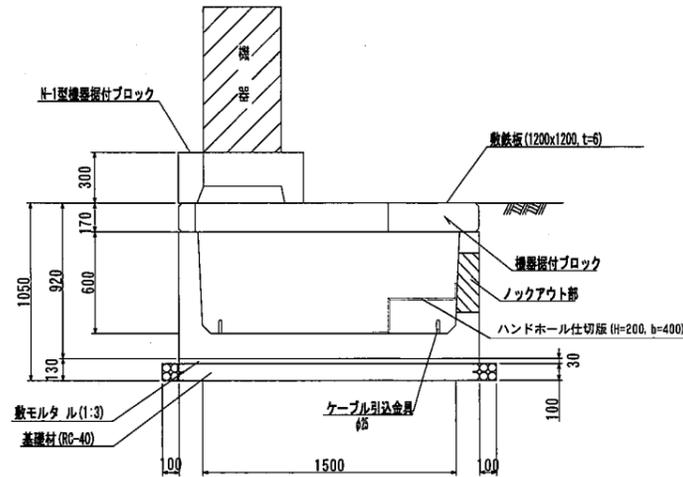
車道側

A-A断面

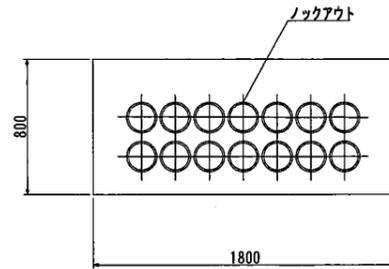


※柵の内寸寸法は、呼称寸法とする。

B-B断面

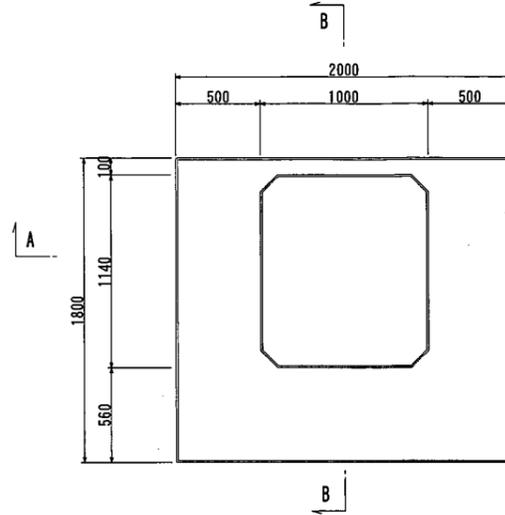


端部ブロック

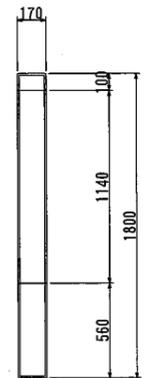


設計条件	
活荷重	T-25 (P=50kN)
衝撃係数	i=0.1
(許容応力度)	
設計基準強度	$\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$
コンクリート 曲げ圧縮応力度	$\sigma_{cd} = 11\text{N/mm}^2$
せん断応力度	$\tau_a = 0.5\text{N/mm}^2$
鉄筋 引張応力度	$\sigma_{sk} = 180\text{N/mm}^2$

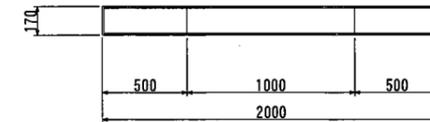
平面図



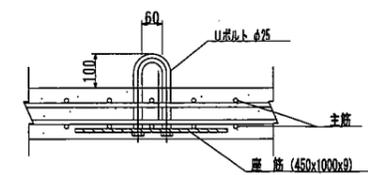
B-B断面



A-A断面



ケーブル引込金具詳細図 S=1/5



※小型BOX部に限り仕切りプレートを設置する。

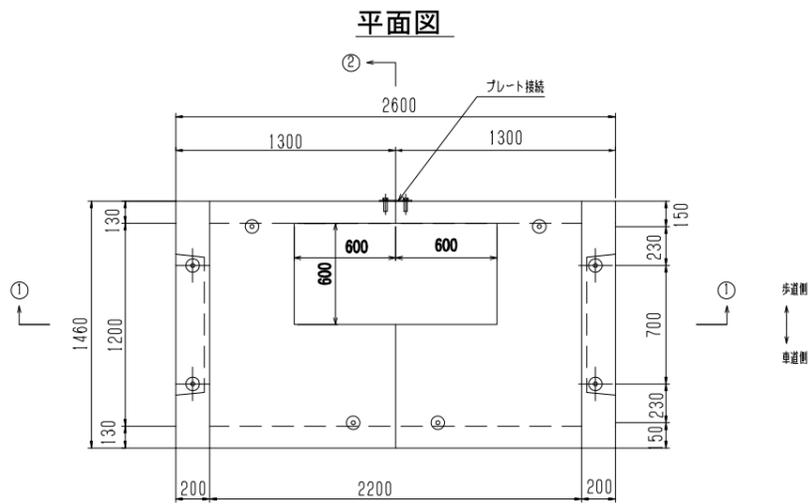
設置箇所 (8箇所)

E119, E201, E203, E211, E212, E213, E215, E219

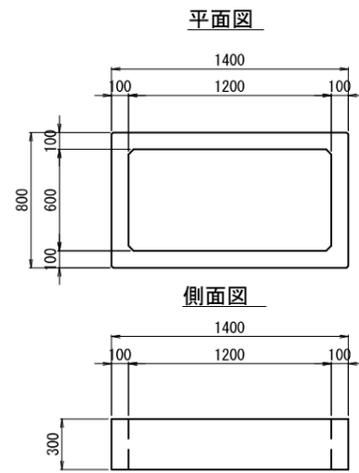
※仕切版内のケーブル引込金具位置については、入溝企業と調整して決定すること。

RT-A4樹 構造図 S=1:20
(1200×2200×1500 歩道用)

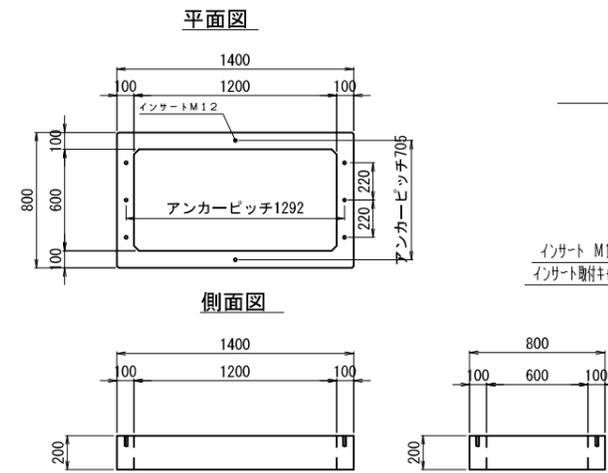
<参考図>



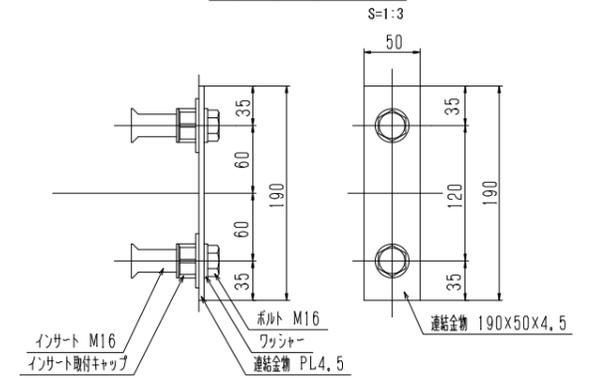
高さ調整ブロック



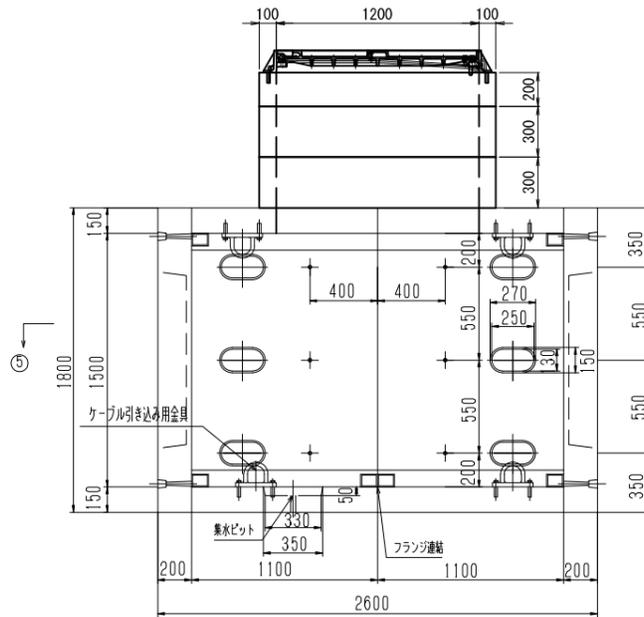
蓋据付用ブロック



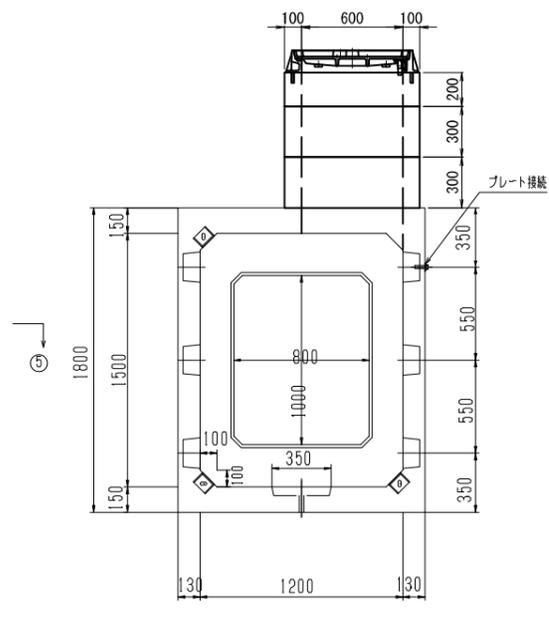
接続部詳細図 S=1:3



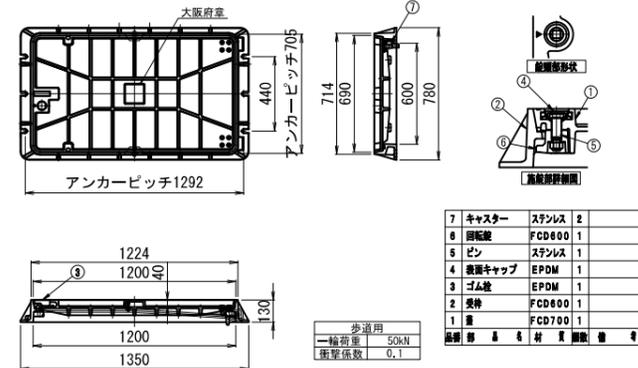
1-1 断面図



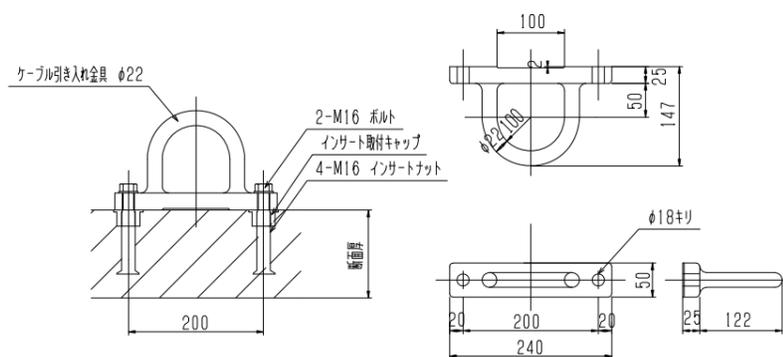
2-2 断面図



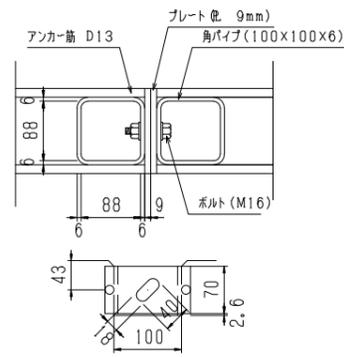
金蓋 1200×600



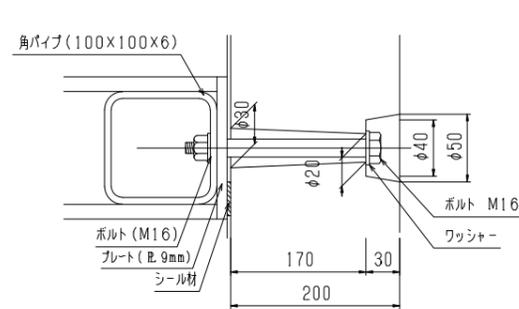
ケーブル引入金具取付詳細図 S=1:5



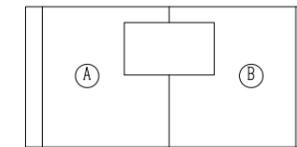
フランジ詳細図 S=1:5



端面版接続部詳細図 S=1:3



ブロック割付図



ブロック構成表

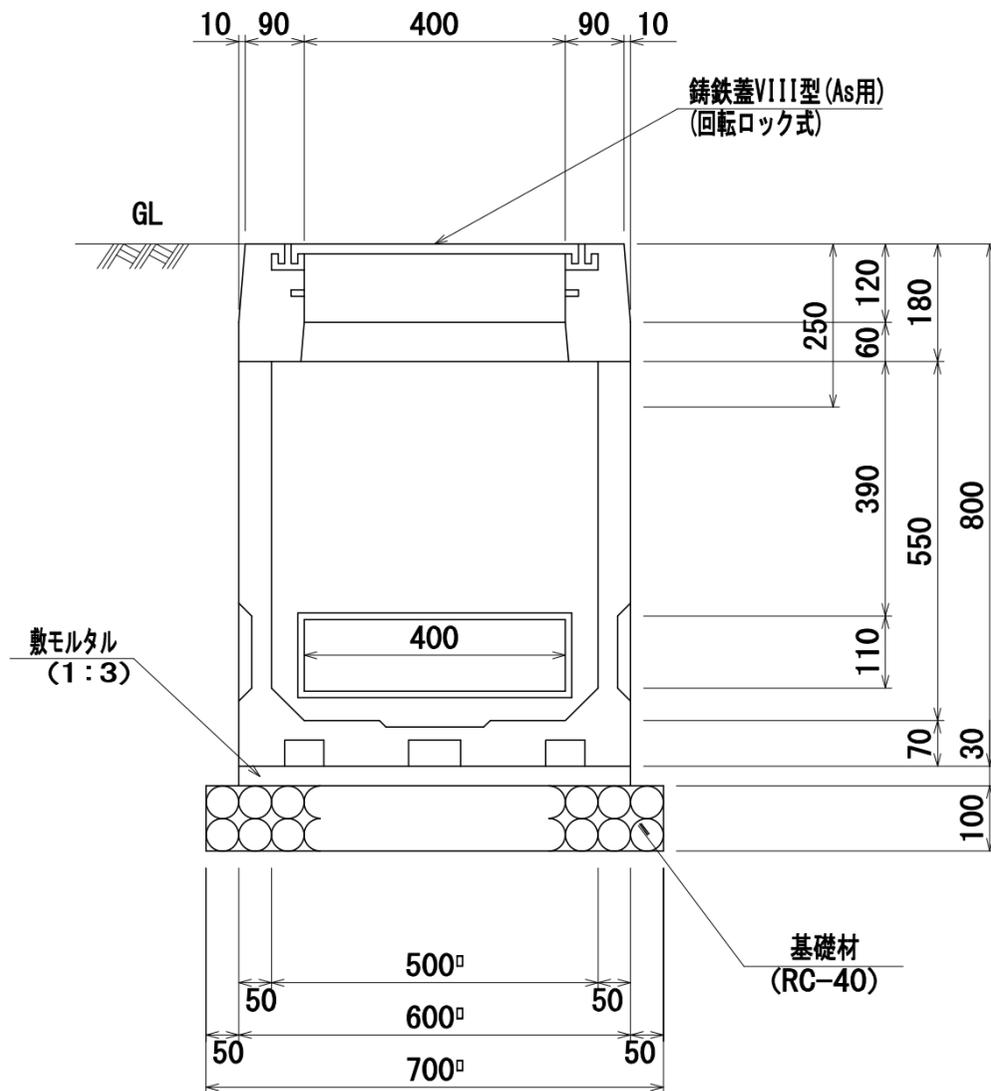
呼称	質量 (kg)	数量 (個)
Aブロック	2180	1
Bブロック	2190	1
端面版	965	2
合計	6300	

設計条件

設計荷重	活荷重	上下床版: T-25 P= 50kN/輪 側壁: T-25 P= 50kN/輪
	衝撃	上下床版: i=0.1 側壁: i=0.1
構造形式	鉄筋コンクリートBOX型構造	
内空寸法(幅×高)	1,200mm×2,200mm×1,500mm	
土の単位体積重量(地下水位以上)	γs=19kN/m ³	
使用材料	コンクリート	σck=35N/mm ²
	鉄筋	SD295A

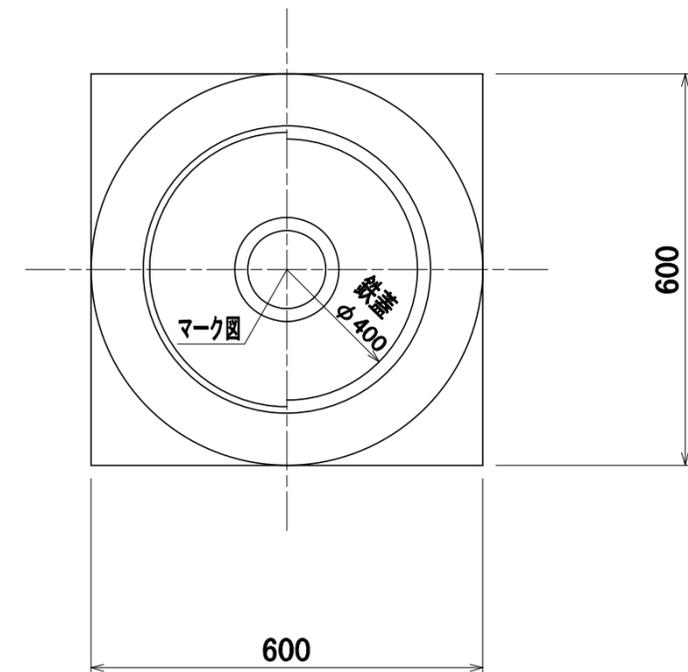
HH構造図

HH-B型

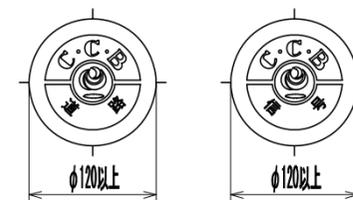


※樹の内空寸法は、呼称寸法とする。

铸铁盖VIII型 (As用)



マーク図



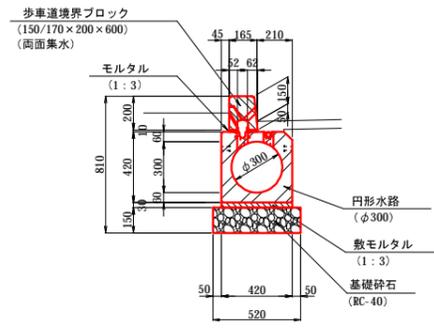
<参考図>



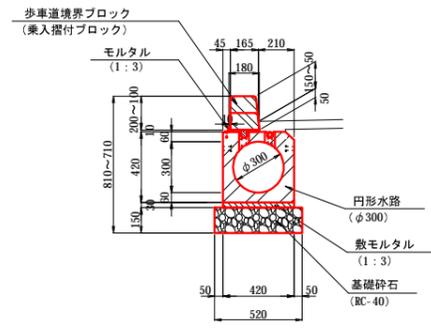
構造図(1)

S=1:20

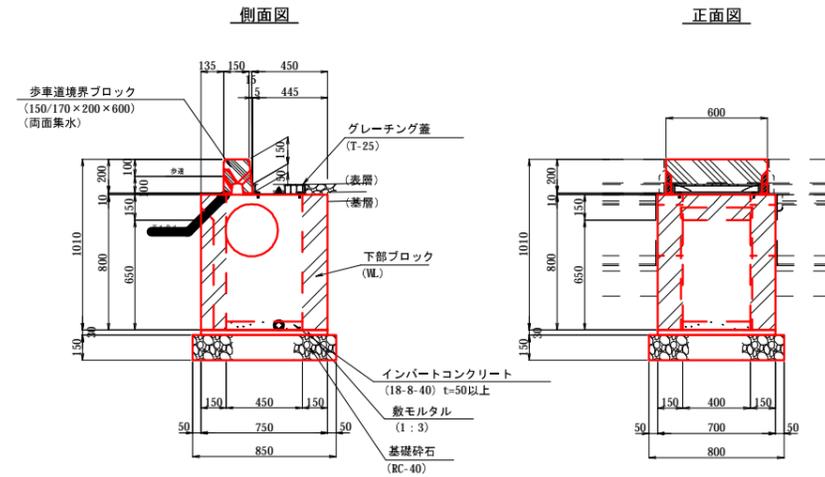
円形水路 A型



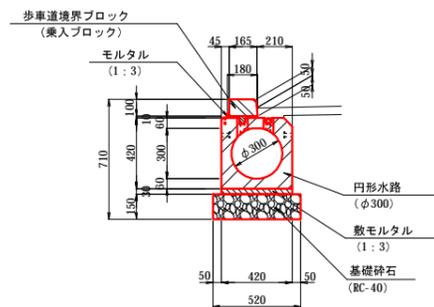
円形水路 D型



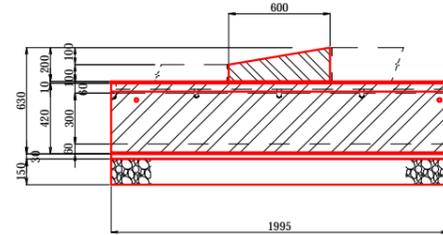
円形水路樹



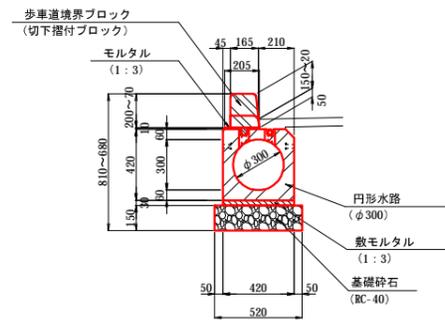
円形水路 B型



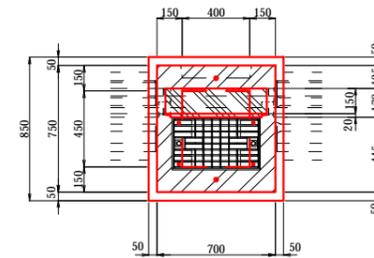
正面図 S=1/20



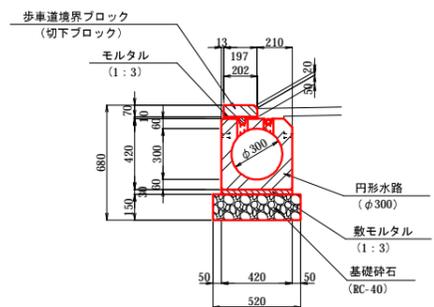
円形水路 E型



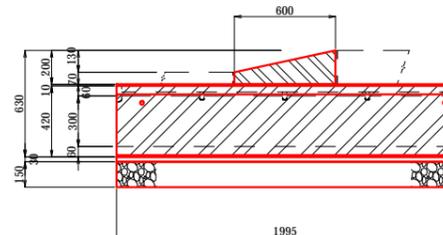
平面図



円形水路 C型

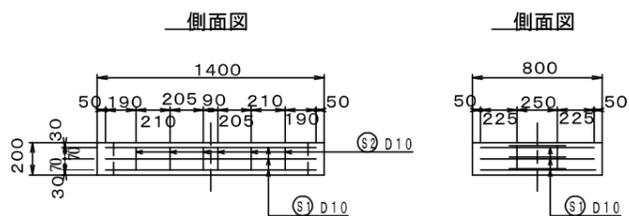
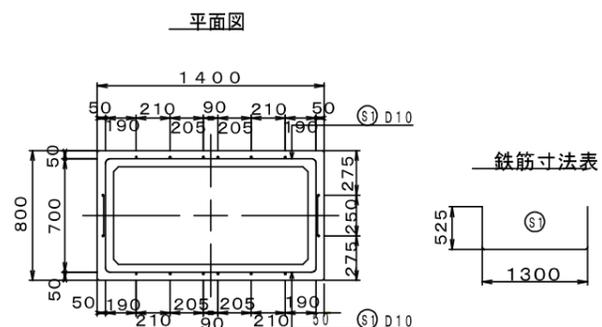


正面図

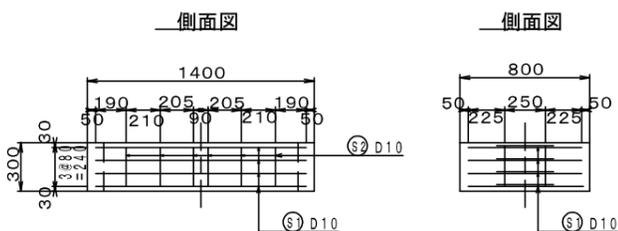
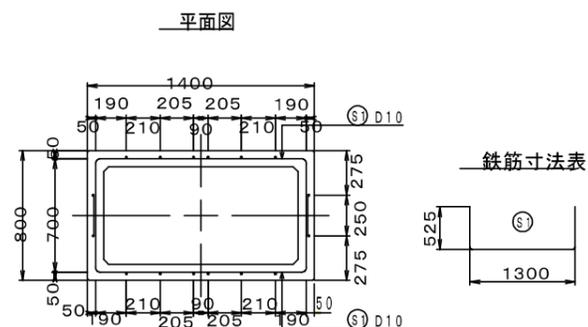


高さ調整ブロック 配筋図 S=1:20

600×1200×200



600×1200×300



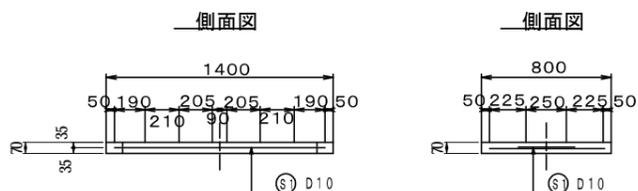
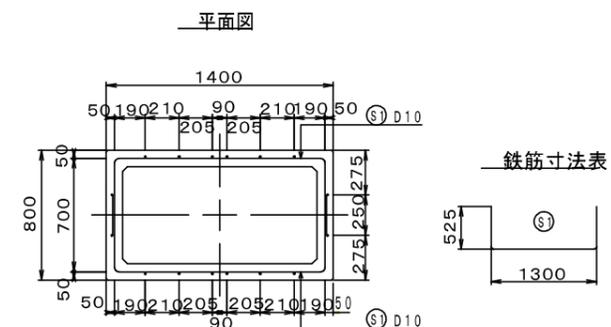
材料表 (H-200)

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当重量 (kg)	重量 (kg)
S1	D10	2325	6	0.560	1.302	7.812
S2	D10	150	16	0.560	0.084	1.344
合計						9.156
鉄筋重量						9.156 kg
D10=						9.156 kg
コンクリート量						0.080 m ³
参考重量						200 kg

材料表 (H-300)

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当重量 (kg)	重量 (kg)
S1	D10	2325	8	0.560	1.302	10.416
S2	D10	250	16	0.560	0.140	2.240
合計						12.656
鉄筋重量						12.656 kg
D10=						12.656 kg
コンクリート量						0.120 m ³
参考重量						300 kg

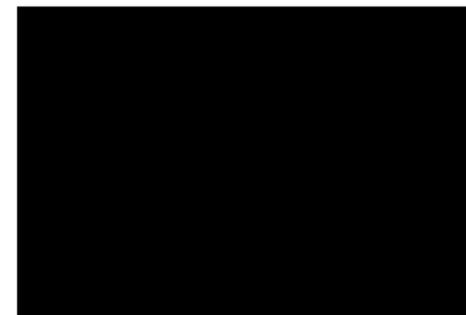
600×1200×70



材料表 (H-70)

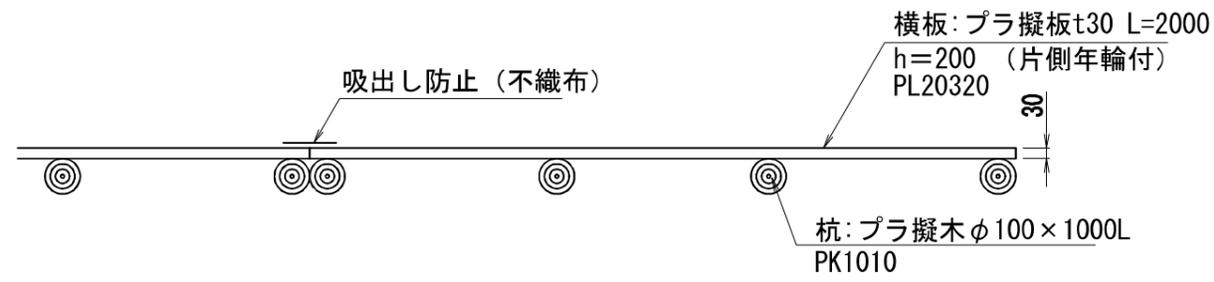
記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当重量 (kg)	重量 (kg)
S1	D10	2325	2	0.560	1.302	2.604
合計						2.604
鉄筋重量						2.604 kg
D10=						2.604 kg
コンクリート量						0.028 m ³
参考重量						70 kg

< 参考図 >

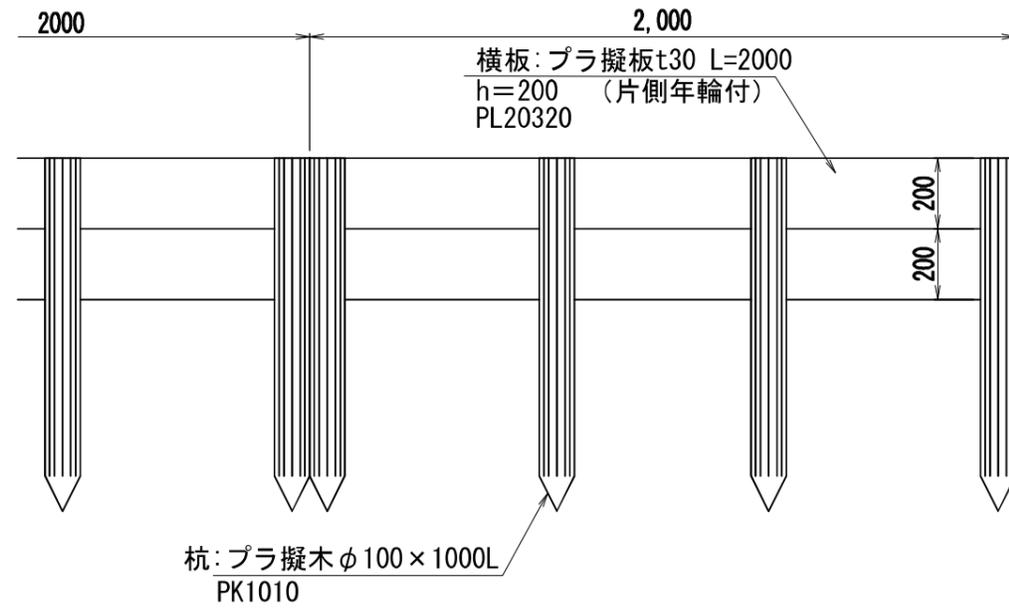


板柵構造図 S=1:10
(H=400) [参考図]

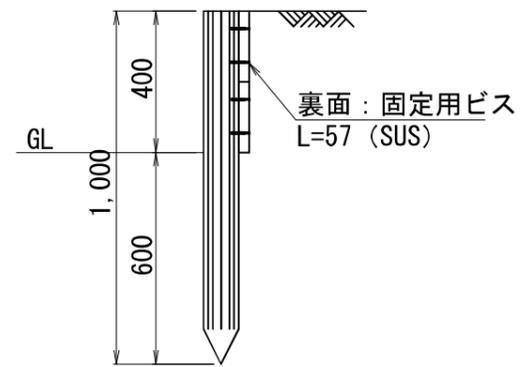
平面図



正面図



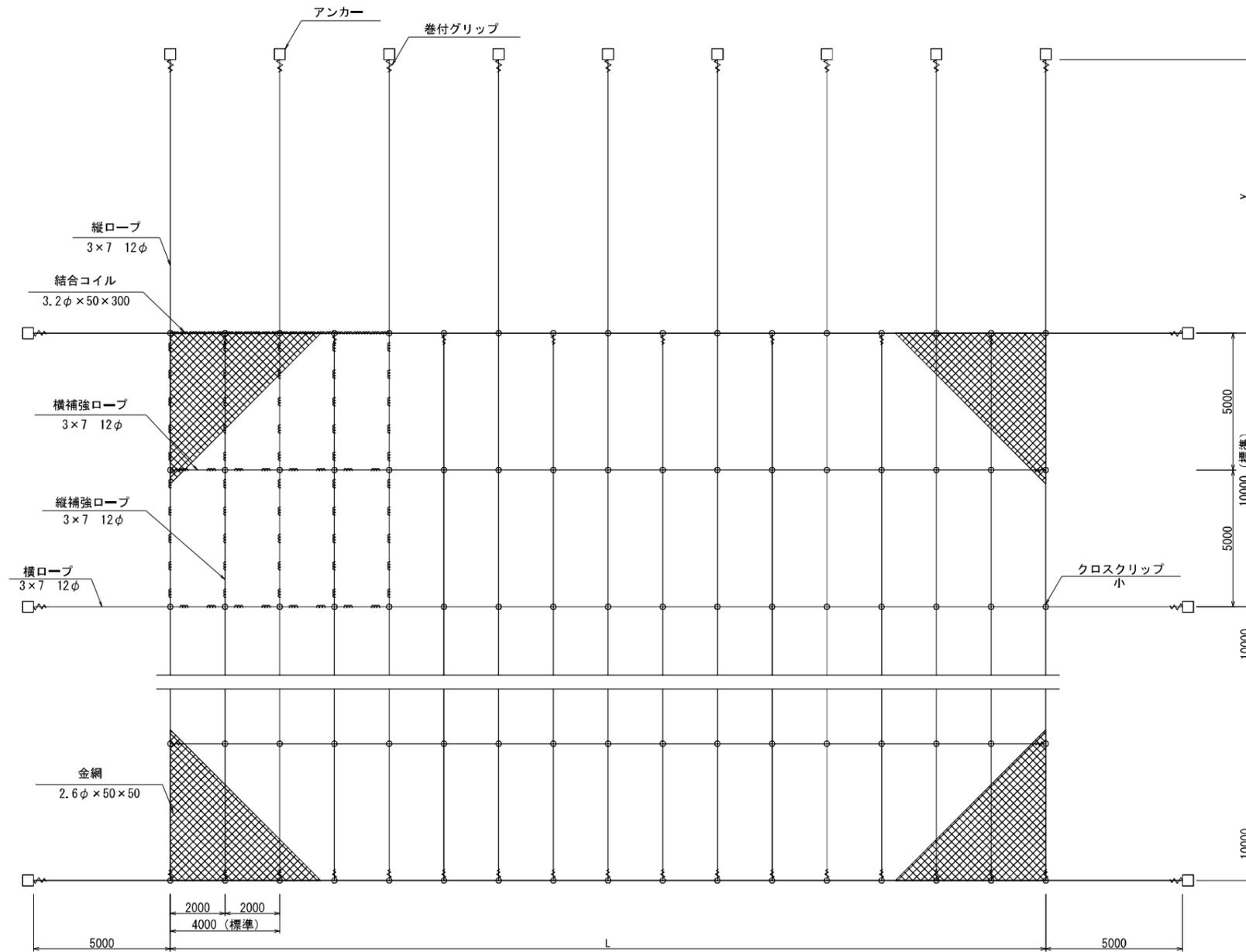
断面図



覆式落石防護網構造図 S=1:100

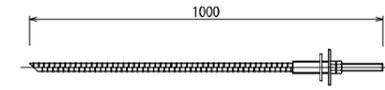
環境対策仕様（変性飽和ポリエステル樹脂塗装）

展開図



岩部用セメントアンカー

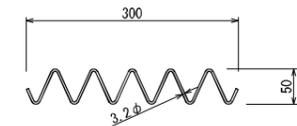
S=1/10



D25 (M24) x 1000

結合コイル 3.2φ

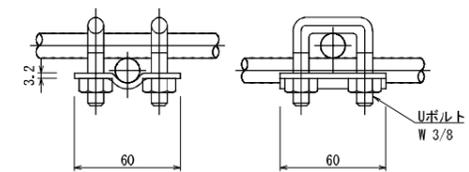
S=1/5



結合コイル使用数量	
最上段横ロープ	: 1mに3個
その他のロープ	: 1mに1個

クロスクリップ 小

S=1/2



巻付グリップ



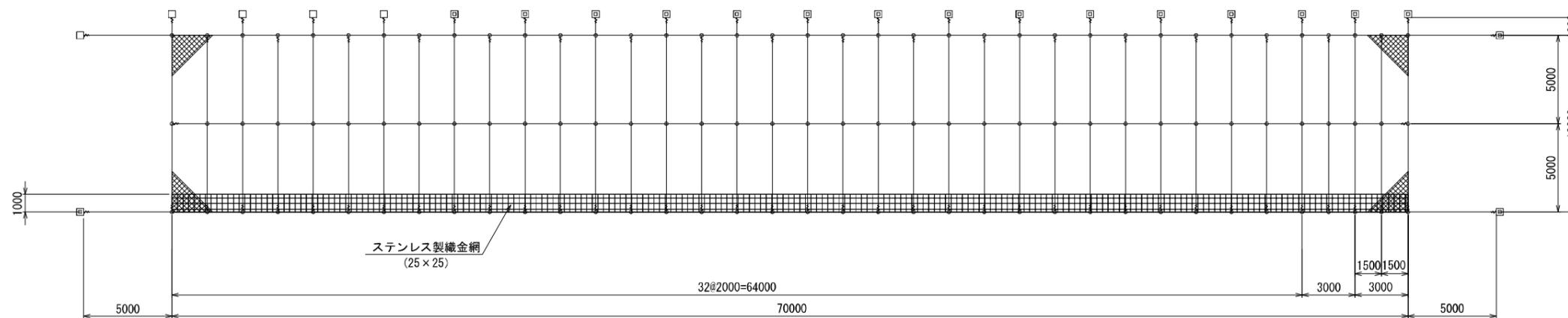
※図面は巻付長を途中までとしているが、必要巻付長はAすべてとする。

寸法表

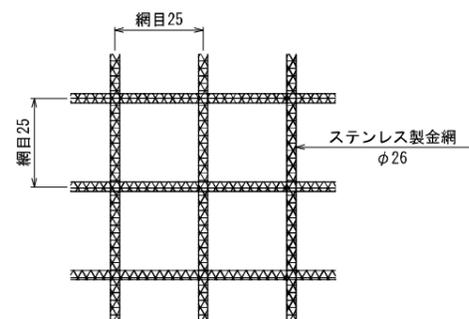
区別	寸法	呼称寸法	A
巻付グリップ (E型) : 端末用	12φ用	800	800
巻付グリップ (R型) : R17用	12φ用	975	975

覆式落石防護網展開図 S=1:150

環境対策仕様 (変性飽和ポリエステル樹脂塗装)



ステンレス製織金網 S=1:1 (25 x 25)



覆式ロックネット(環境対策仕様)材料表

名称	仕様・寸法 (mm)	数量	単位	記号
有効架設面積		700,0	m ²	
金網	2.6φ × 50 × 50-4.2軸 TF-GS3	777,0	m ²	■
縦ロープ	TF 3 × 7 G/0 12φ	TF 209,0	m	
縦補強ロープ	TF 3 × 7 G/0 12φ	TF 180,0	m	
横ロープ	TF 3 × 7 G/0 12φ	TF 160,0	m	—
横補強ロープ	TF 3 × 7 G/0 12φ	TF 70,0	m	—
クロスクリップ	(小) 3.2t × 60 × 60	TF 111	個	+
巻付グリップ (E型)	12φ用-1000	TF 80	本	→
結合コイル	3.2φ × 50 × 300	TF 720	個	—
岩部用TSKセメントアンカー	D25 (M24) × 1000	TF 5	本	□
岩部用TSKセメントアンカー	D25 (M24) × 1500	TF 18	本	⊗

結合コイル使用数量

最上段横ロープ 1mに3ヶ 210個

その他のロープ 1mに1ヶ 510個

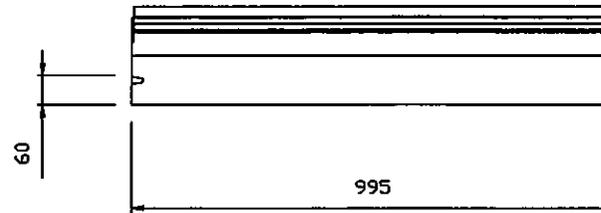
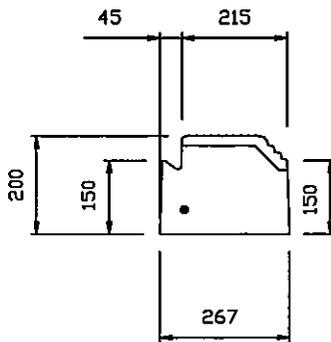
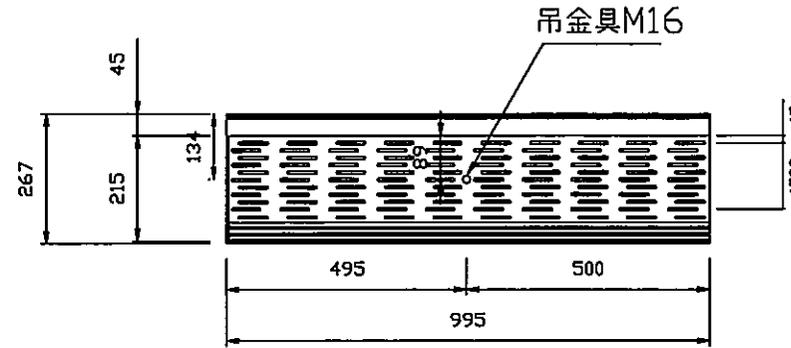
※ アンカー数量は、岩部用1000 : 岩部用1500 = 2 : 8で算出。

※ 設置範囲・アンカー種類等は、設置するアンカー位置において表層等確認後決定すること。

ベース付縁石 防草タイプ

大阪府型乗入
KF-UDI 1M

縁石工 I 型 215/267×200×1000



参考重量
79Kg

滑り止め形状

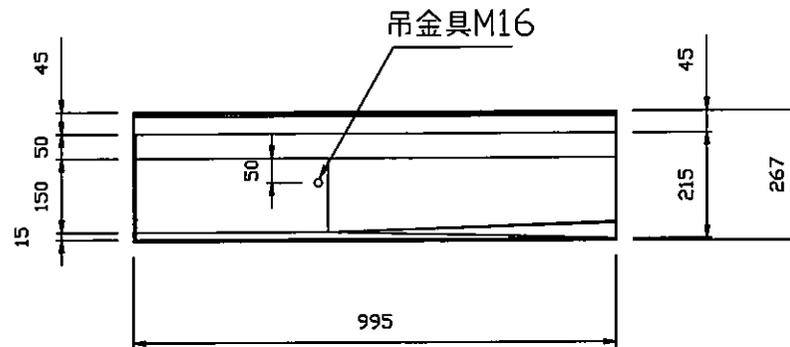


1. コンクリート強度

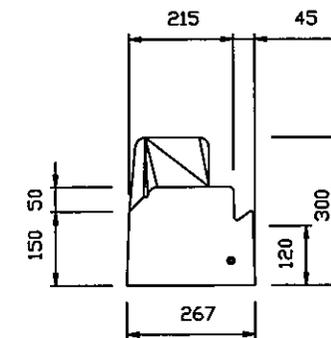
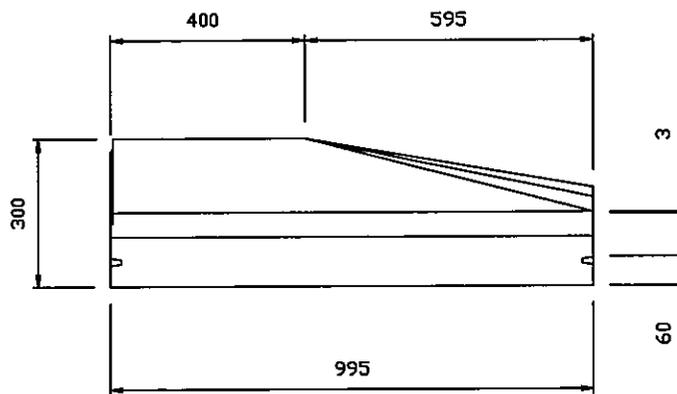
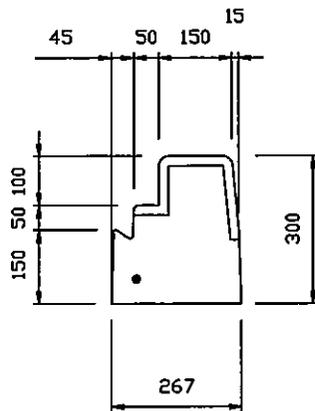
設計基準強度	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上
許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ck}=8\text{N/mm}^2$ 以上

ベース付縁石 防草タイプ

大阪府型斜用
KF-A-UDI-S 1M



縁石工 P-UDI 型 150/267×215/267×1000



※パッキン目地溝は正面から見て左側
(図面は斜用左)

参考重量
106Kg

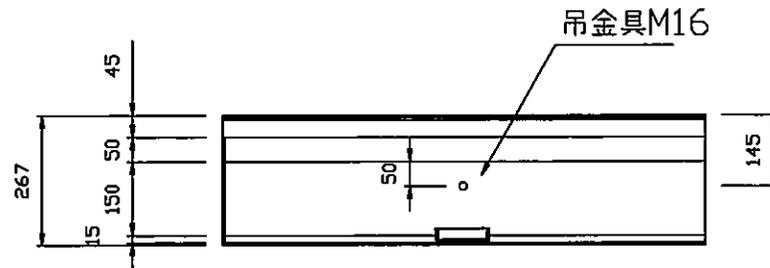
1. コンクリート強度

設計基準強度	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上
許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ck}=8\text{N/mm}^2$ 以上

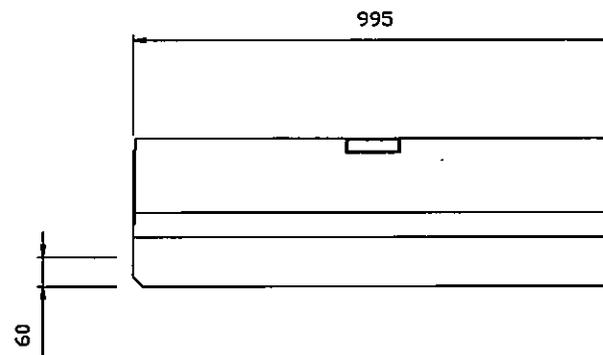
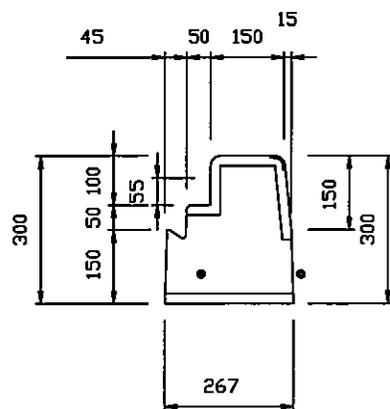
ベース付縁石 防草タイプ

基本

KF-A 1M



縁石工 A-1型 150/267×300×1000



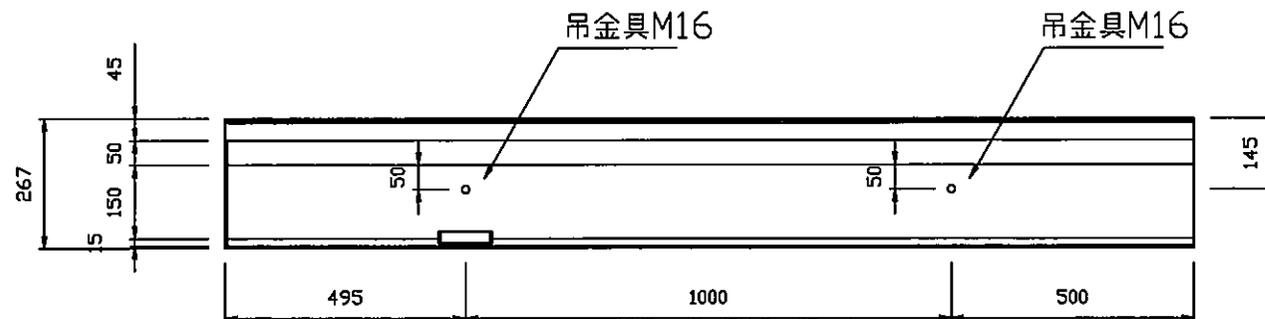
参考重量
147Kg

1. コンクリート強度

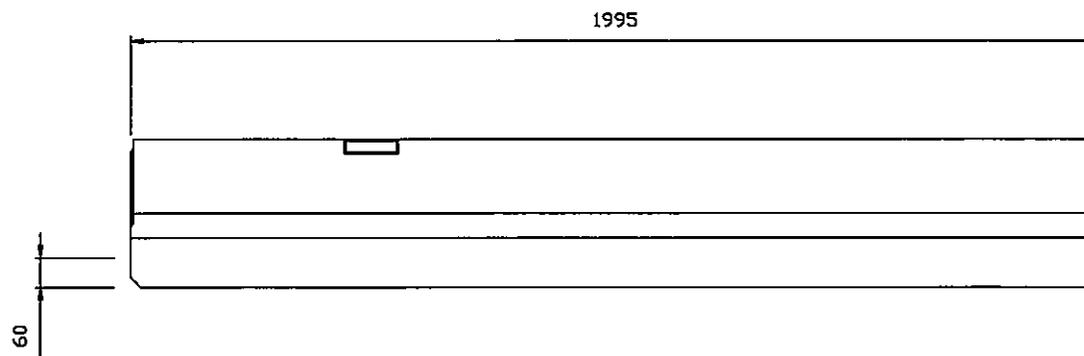
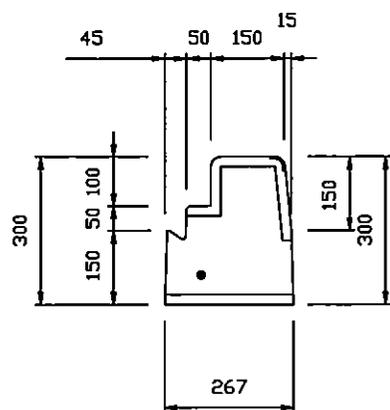
設計基準強度	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上
許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ck}=8\text{N/mm}^2$ 以上

ベース付縁石 防草タイプ

基本
KF-A 2M



縁石工 A-1型 150/267×300×2000



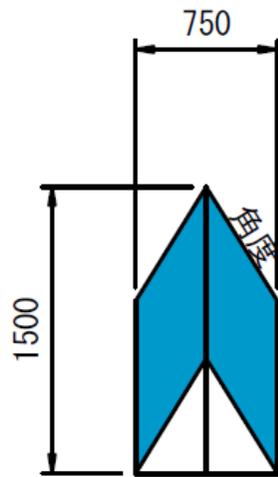
参考重量
294Kg

1. コンクリート強度

設計基準強度	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上
許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ck}=8\text{N/mm}^2$ 以上

矢羽根

S=1:50 (A1)

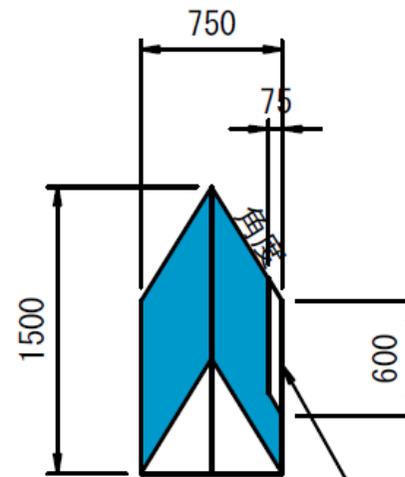


※角度=1:1.6

Lp=4.5m (15cm換算)

矢羽根 (夜間視認)

S=1:50 (A1)



※角度=1:1.6

白線 (高輝度タイプ)

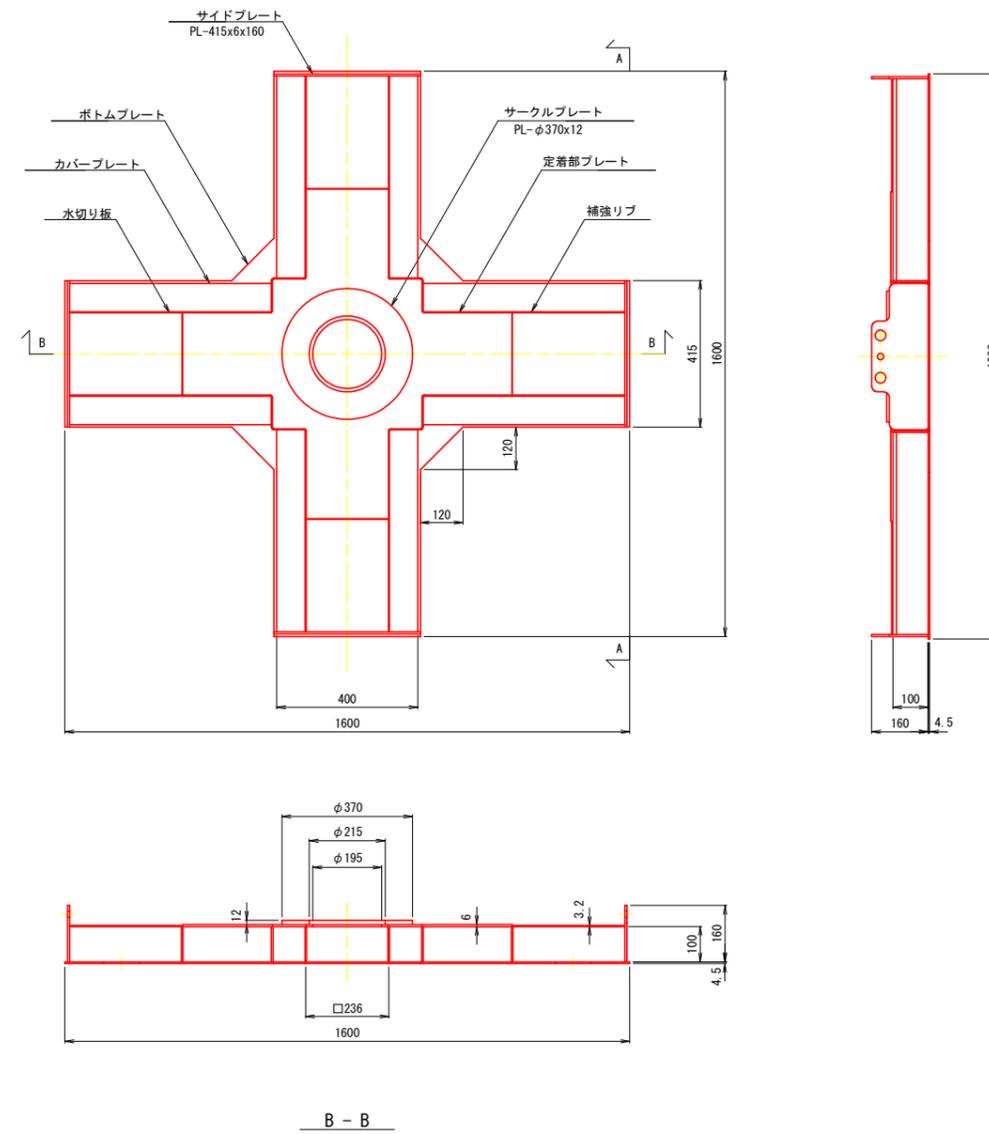
軽量鋼製受圧板構造図

S=1:10

クロスタイプ 1600×1600

KIT受圧板材料表

部品名称	材質	単位	数量	備考
KIT16C-230-C	SS400	式	-	垂鉛アルミ合金溶射

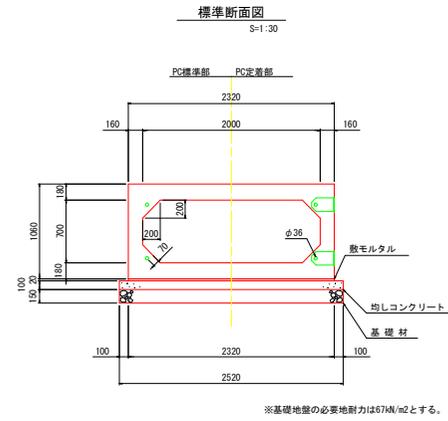
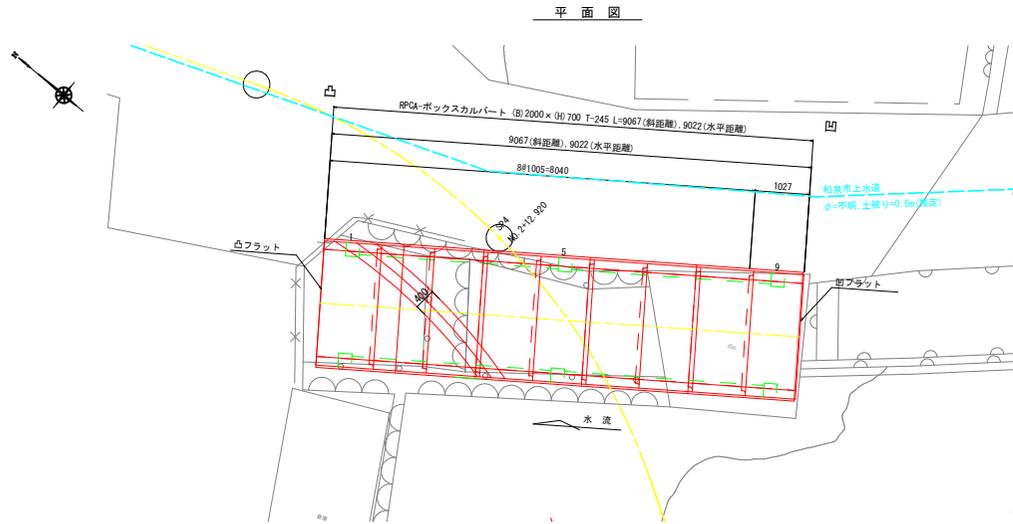


受圧面積 : 1.18 m²
 質量 : 138 kg

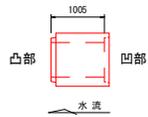
年度	R4	番号	15 / 24
路線名	父鬼(4)地区急傾斜地		
委託名	父鬼(4)地区急傾斜地詳細設計委託R4		
所属地名	和泉市父鬼地区		
図面名	軽量鋼製受圧板構造図		
縮尺	1:10	作成年月	令和5年1月
大阪府鳳土木事務所			

ボックスカルバート割付図(1)

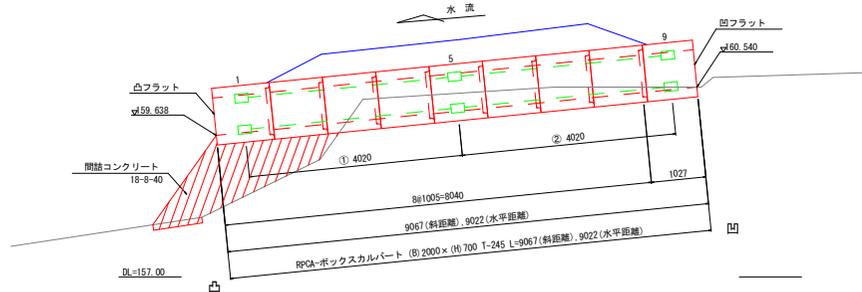
設計条件		
項目	単位	設計値
適用土被り	m	0.3~0.7
上載荷重	—	T-245
	—	横断
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m ³
	土	kN/m ³
土圧係数	—	0.5
外水位	—	なし



寸法旗揚げ位置図



側面図



※下流部の間詰コンクリートは現況と同程度の勾配で施工すること。

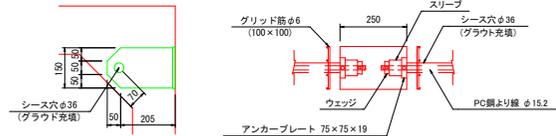
製品数量表

製品番号	サイズ		規格	数量	参考質量	摘要
	B × H × L					
RPCA-ボックスカルバート T-245 PC縦締め						
	2000 × 700 × 1000	標準		3 本	2850 kg	
5	× 1000	定着用		1 本	2850 kg	
2	× 1000	差筋		1 本	2850 kg	D13 L=550 n=4
3	× 1000	差筋		1 本	2850 kg	D13 L=550 n=5
4	× 1000	差筋		1 本	2850 kg	D13 L=550 n=1
1	× 1000	凸フラット 定着用 差筋		1 本	2850 kg	D13 L=550 n=1
9	× 1022	凹フラット 定着用 調整用		1 本	2910 kg	
合計				本		

※製品本につき伸びを5mm考慮。

433212010-C-20211216

定着部詳細図



PC縦締め材料表

縦締め区間	締め付力	区間数	延長	PC縦より線 SMPK7BL φ15.2	アンカープレート 75×75×19	ウェッジ スリーブ	グラウト
①	60.0 kN	1	4.020 m	5,000 m × 4 本	8 枚	8 組	0.015 m ³
②	60.0 kN	1	4.020 m	5,050 m × 4 本	8 枚	8 組	0.015 m ³
合計		2	40.200	40,200	16 枚	16 組	0.030 m ³

※縦締め数量表は、下流側より施工(上流側にて締付)した場合は示します。

※緊強作業のため、上流端及び側面に余部が必要となります。

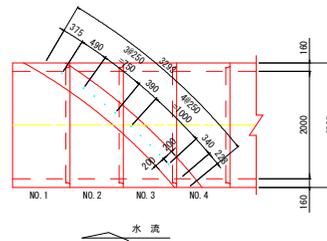
令和 3年度	図面番号	17/18
河川名	大津川水系 父鬼川右第一支川	
工事名		
施工地名	大阪府和泉市坪井町 地内	
図面名	ボックスカルバート割付図(1)	編 尺 図示
大阪府 鳳土 土木事務所		

ボックスカルバート割付図(2)

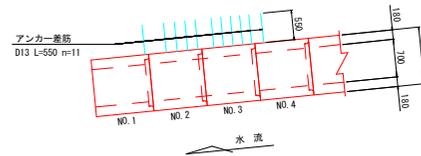
S=1:50

差筋位置図

平面図



側面図



※差筋長さは現地で調整する。

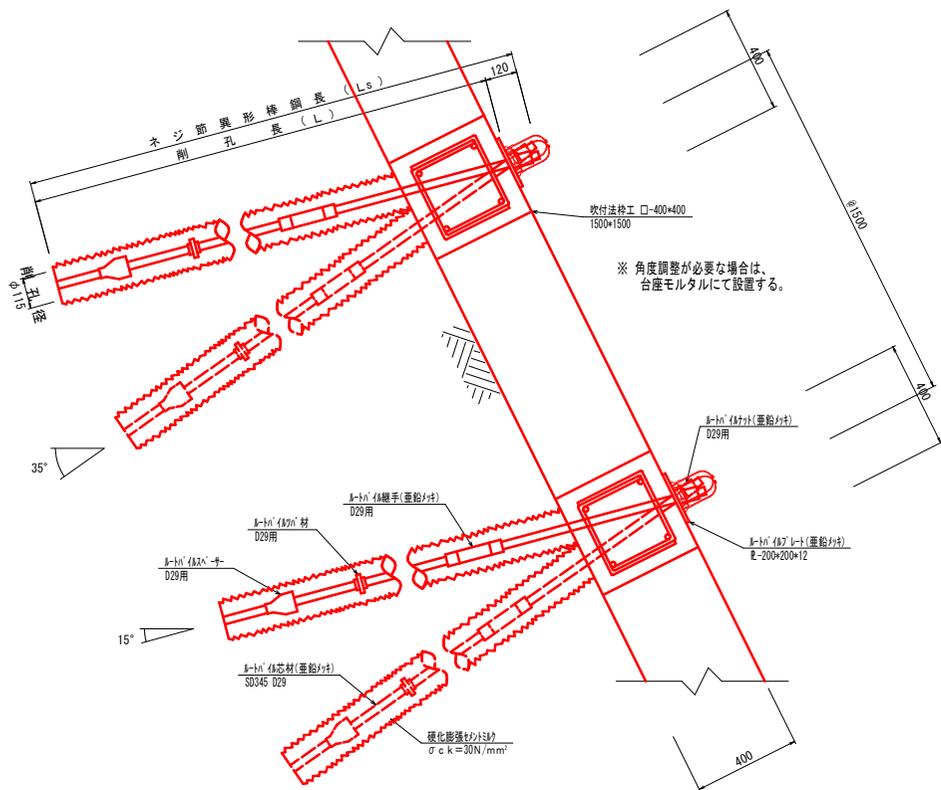
令和 3年度	図面番号	18/18
河川名	大津川水系 父鬼川右第一支川	
工事名		
施工地名	大阪府和泉市坪井町 地内	
図面名	ボックスカルバート割付図②	縮尺 1:50
大阪府 風土 木 事務所		

鉄筋挿入詳細図(2)

(EPルートパイプ工法)

取付詳細図

S=1:10



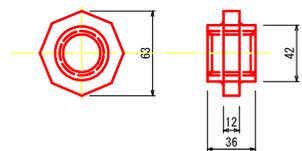
※ 角度調整が必要な場合は、台座モルタルにて設置する。

部品詳細図

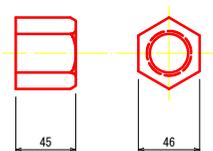
S=1:2

(D29mm 用)

ルートバールナット



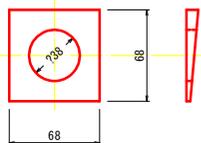
ルートバールナット (垂鉛付)



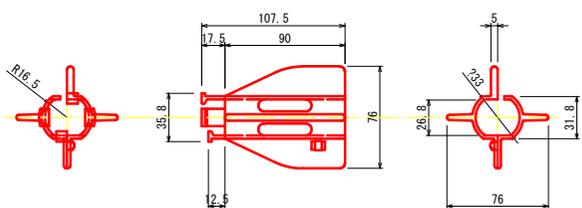
ルートバール継手 (垂鉛付)



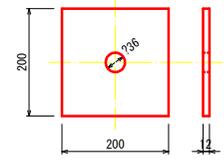
テーパワッシャー (垂鉛付)



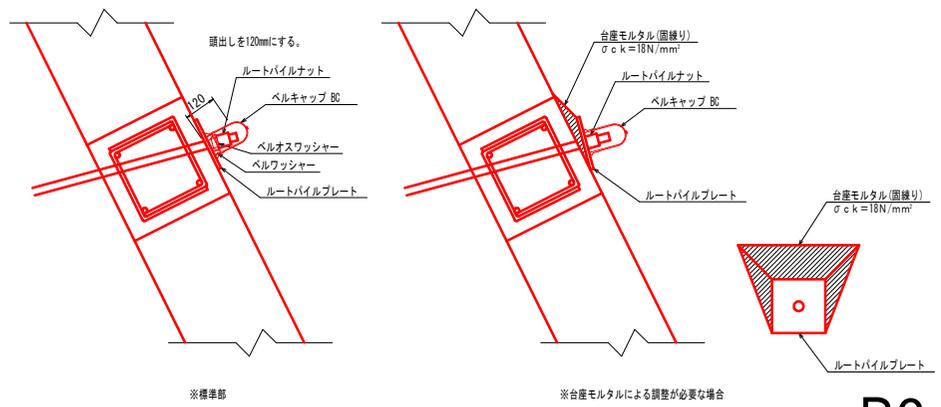
ルートバールスプーサー



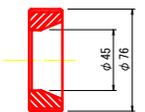
ルートバールプレート S=1:5



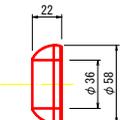
頭部取付図



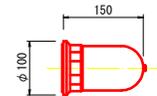
ベルワッシャー



ベルオスワッシャー



ベルキャップ (7尺製) S=1:5



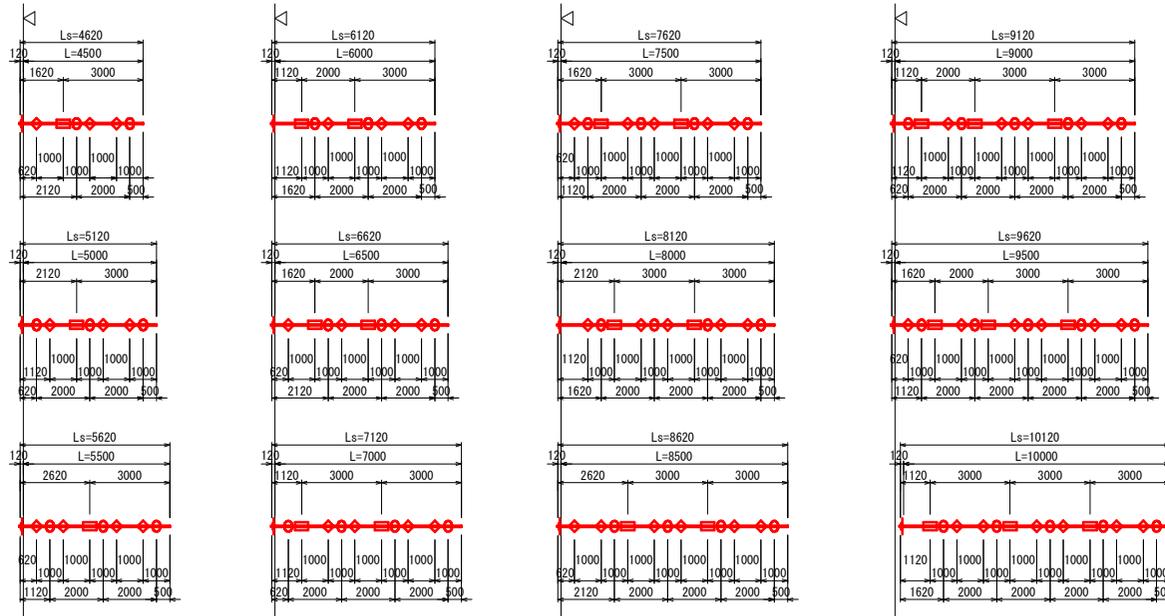
R6_33

年度	令和3年度	番号	28/31
箇所名	西野(1) 地区急傾斜地		
委託名	西野(1) 地区急傾斜地 詳細設計委託		
所属地名	堺市東区西野地内 外		
図面名	鉄筋挿入詳細図(2)		
縮尺	図示	作製年月	令和4年3月
大阪府風土土木事務所			

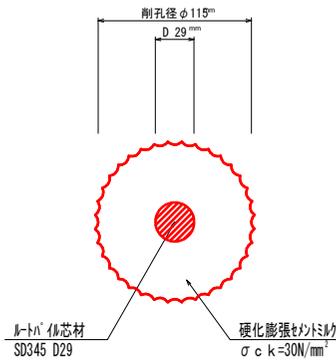
鉄筋挿入詳細図(3)

(EPルートパイル工法)

芯材組立図
S=1:100



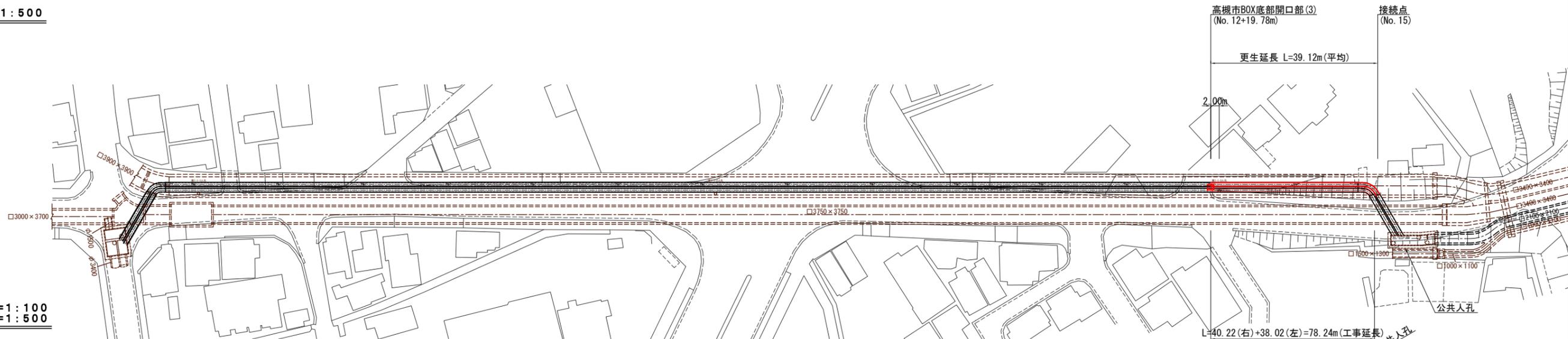
H°イル断面図
S=1:2



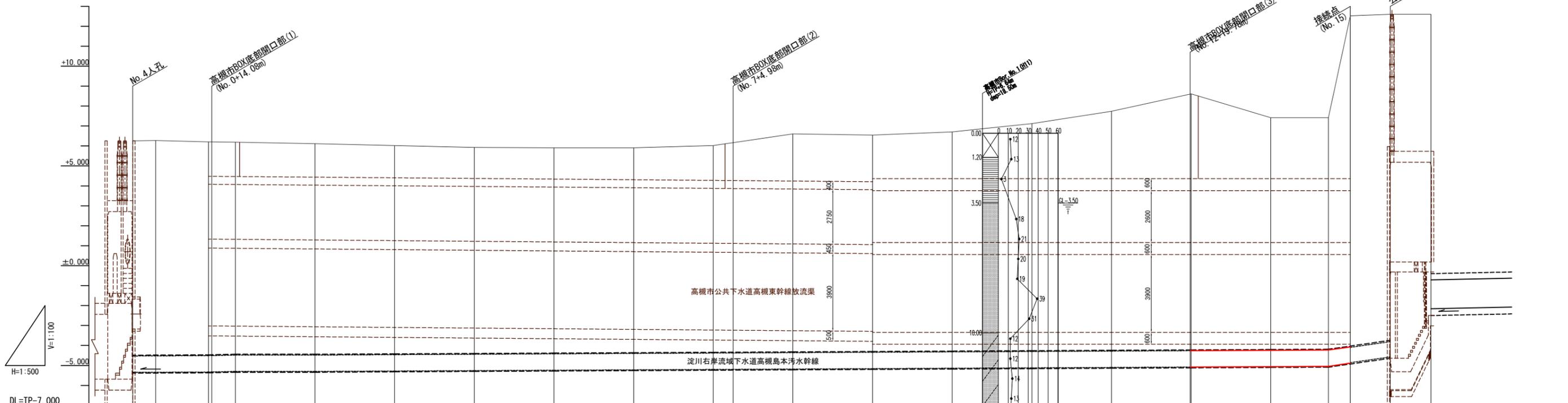
R6_34

年度	令和3年度	番号	29/31
箇所名	西野(1)地区急傾斜地		
委託名	西野(1)地区急傾斜地 詳細設計委託		
所属地名	堺市東区西野地内 外		
図面名	鉄筋挿入詳細図(3)		
縮尺	図示	作製年月	令和4年3月
大阪府風土土木事務所			

平面図 S=1:500



縦断図 V=1:100
H=1:500



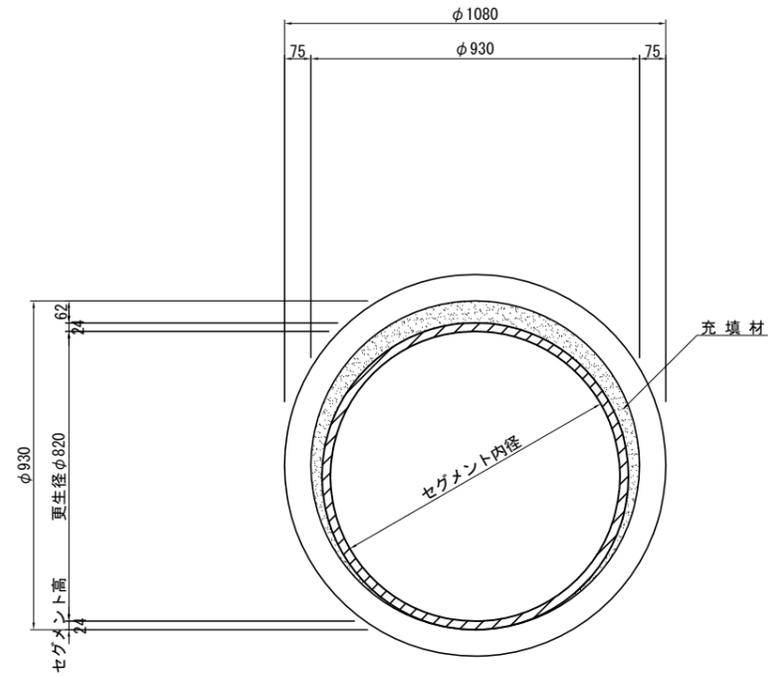
土被		10.666 10.599	10.553	10.476	10.366	10.255	10.213	10.201	10.282	10.849	10.768	10.912	11.505	11.909	12.759	11.542	11.538 11.595	12.521		
管径																				
勾配		0.89‰	4.3‰	0.0‰					1.0‰							0.97‰	28.77‰			
管底高		-5.387 (-5.387)	-5.370 (-5.370)	-5.341 (-5.341)	-5.342 (-5.342)	-5.321 (-5.321)	-5.301 (-5.301)	-5.281 (-5.281)	-5.243 (-5.243)	-5.221 (-5.221)	-5.201 (-5.202)	-5.181 (-5.181)	-5.161 (-5.161)	-5.141 (-5.141)	-5.121 (-5.121)	-5.101 (-5.102)	-5.087 (-5.088)			
管番号																				
地盤高		6.254	6.276	6.204	6.110	6.020	5.929	5.907	5.915	6.016	6.003	6.706	7.119	7.743	8.013	7.416	7.416	12.521		
追加距離		0.000	5.765	19.025	45.765	65.765	85.765	105.765	125.765	145.765	150.745	165.765	185.765	205.765	245.765	265.545	265.765	300.265	305.265	
単距離		0.000	5.765	13.260	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	4.986	15.020	20.000	20.000	20.000	20.000	19.780	0.220	14.500	5.500	
測点		No.0 -5.765	No.0	No.0 +13.260 +14.000	No.1 5.925	No.2 20.000	No.3 20.000	No.4 20.000	No.5 20.000	No.6 20.000	No.7 20.000	No.7 +4.980	No.8 15.020	No.9 20.000	No.10 20.000	No.11 20.000	No.12 19.780	No.13 0.220	No.14 14.500	No.15 +4.500
曲線																				

図番	2	4	施工年度	R6~R7	縮尺	1:500 1:100
事業名	淀川右岸流域下水道事業					
工事名	高槻島本汚水幹線 管渠改良工事 (R6-1)					
図面名	平面図・縦断図					
施工位置	高槻市 須賀町 地内					

大阪府北部流域下水道事務所

管更生工法別構造図 s=1:10
 (3Sセグメント工法)

既設HPφ900 (更生径φ820)



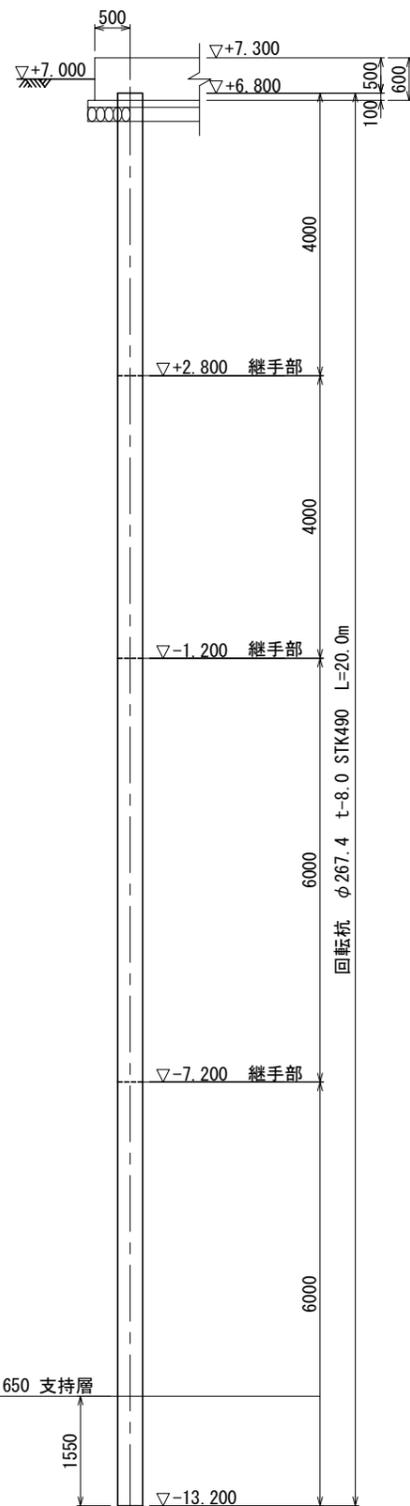
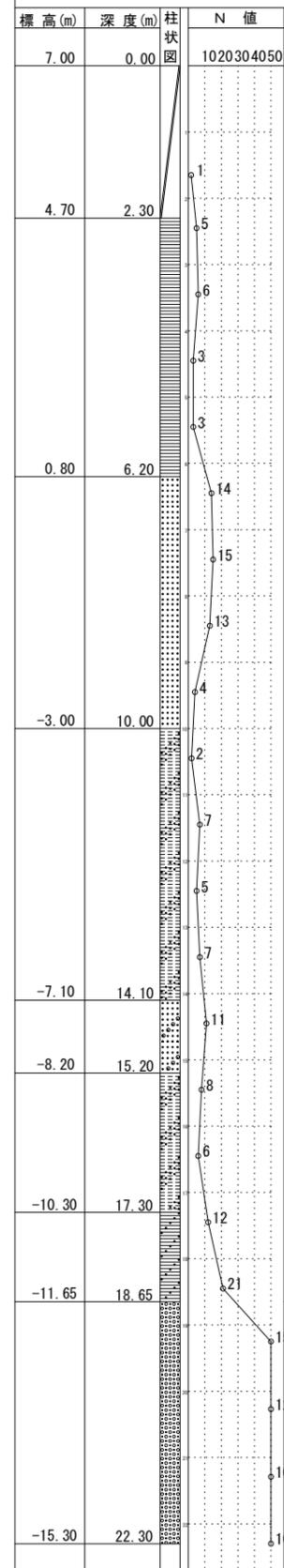
図番	3 6	施工年度	R6~R7	縮尺	1:10
事業名	淀川右岸流域下水道				
工事名	高槻島本汚水幹線 管渠改良工事 (R6-1)				
図面名	管更生工法別構造図 (3Sセグメント工法)				
施工位置	高槻市須賀町地内				
大阪府北部流域下水道事務所					

杭詳細図

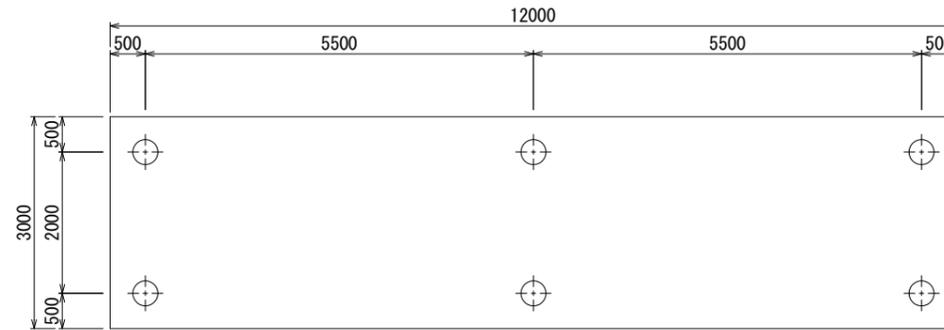
S=図示

杭断面図
S=1/50

Bor No. 3
GH=6.70, dep=22.30



杭伏図
S=1/50

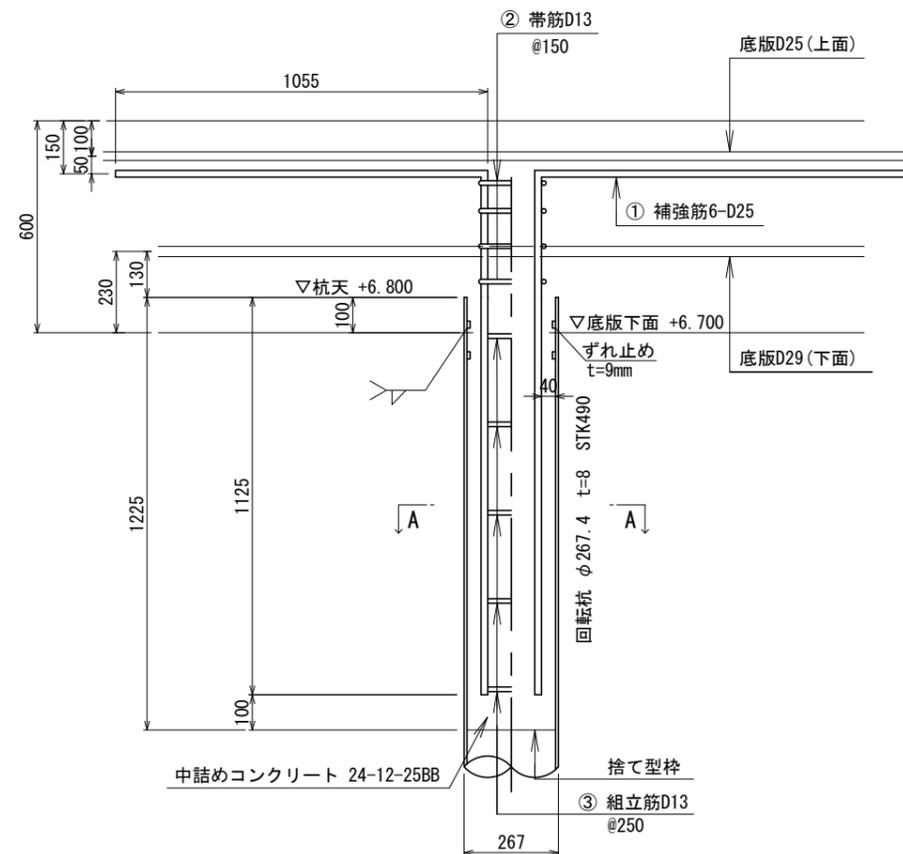


杭リスト

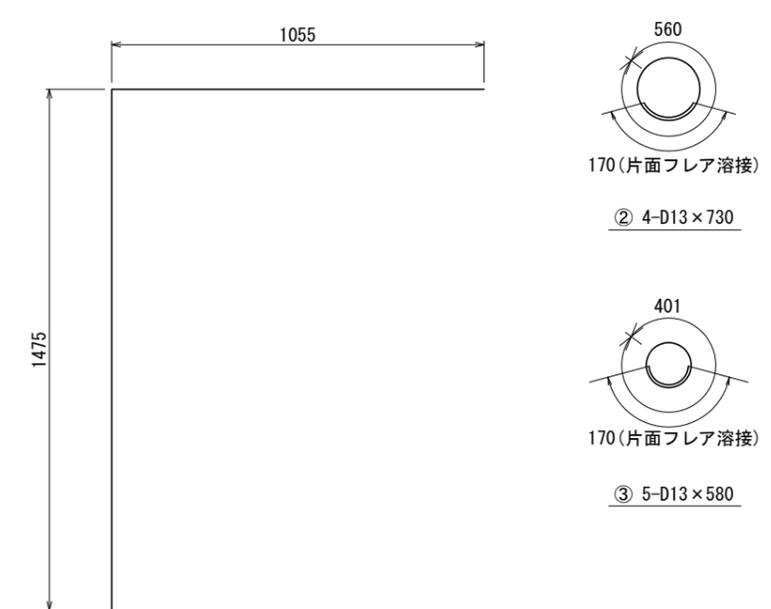
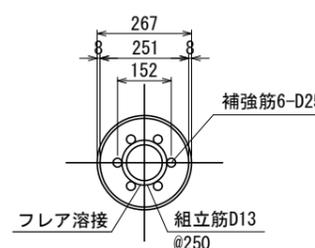
杭種	杭径	杭長(m)	杭本数	備考
鋼管杭	φ267.4	20.0	6	

杭工法：回転杭工法

杭頭詳細図
S=1/10



A-A断面図



① 6-D25 x 2530

杭一本当り材料表

種別	単位	数量
中詰めコンクリート	m ³	0.061
捨て型枠	m ²	0.050
鉄筋	D25 ①	kg 60.4
	D13 ②	" 2.9
	D13 ③	" 2.9
計	"	66.2

図名	C-5	施工年度	縮尺	図示
工事名	淀川右岸流域下水道 高槻水みらいセンター			
図面名	杭詳細図			
施工位置	高槻市南大樋町			
大阪府北部流域下水道事務所				

(参考図) EAZET (イーゼット) 工法設計施工標準

【許容支持力および適用範囲】

先端羽根付き鋼管杭 スクリューパイルE A Z E T工法

1) 適用する地盤の種類

基礎ぐいの先端付近の地盤の種類:

砂質地盤 (礫質地盤含む) 国住指第3242-1号 TACP-0399

粘土質地盤 国住指第1616-1号 TACP-0351

基礎ぐいの周囲の地盤の種類: 砂質地盤、粘土質地盤

2) 最大施工深さ (m)

くい本体部径	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6
砂質地盤 (礫質地盤)	14.8	18.1	21.4	24.7	28.1	34.7	36.7	41.0
粘土質地盤	14.8	18.1	21.4	24.7	28.1	34.7	41.0	45.8

3) 適用する建築物の規模

延べ面積が500,000m²以下の建築物

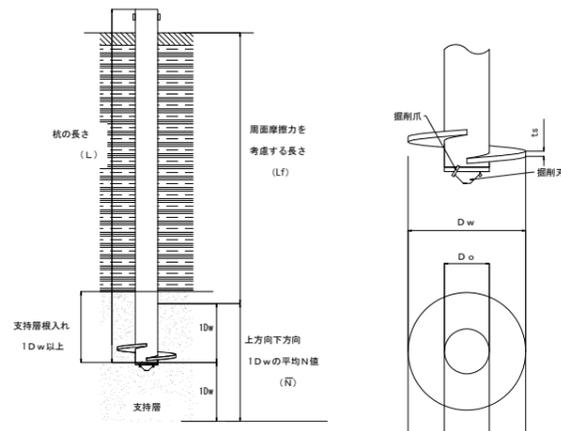
【イーゼットの構造・規格】

1. 杭材仕様

杭本体部		杭先端羽根部	
杭本体径 D _o (mm)	厚さ t (mm)	羽根部径 D _w (mm)	厚さ t _s (mm)
114.3	6.0 (STK400)	250	12 (SS400)
		300	16 (SS400)
139.8	6.6 (STK400, 490)	300	16 (SS400)
		350	19 (SS400)
165.2	7.1 (STK400, 490)	350	16 (SS400)
		500	22 (SM490A)
190.7	7.0 (STK400, 490)	400	19 (SS400)
		550	22 (SM490A)
216.3	8.2 (STK400, 490) 12.7 (STK400, 490)	570	25 (SM490A)
		500	22 (SM490A)
267.4	8.0 (STK400, 490) 9.3 (STK400, 490) 12.7 (STK400, 490)	550	22 (SM490A)
		600	25 (SM490A)
318.5	6.9 (STK490) 10.3 (STK400) 10.3 (STK490) 12.7 (STK400) 12.7 (STK490)	650	28 (SM490A)
		500	19 (SM490A)
355.6	9.5 (STK490) 12.7 (STK490)	550	22 (SM490A)
		600	25 (SM490A)

部材	規格
杭本体部	JIS G3444 一般構造用炭素鋼鋼管 STK400、STK490
杭先端部	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 SS400、SS490
	JIS G3106 溶接構造用圧延鋼材 SM490A

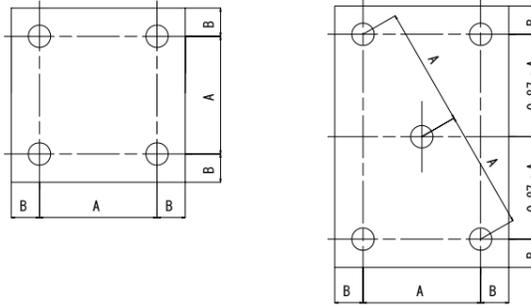
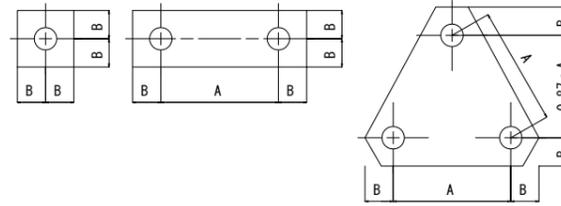
※地盤条件により翼部径、翼部の材質や厚みは変更することがあります



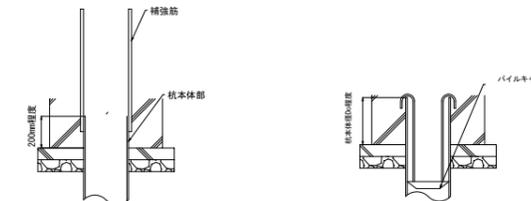
【基礎とフーチング形状例】

A: 杭心間隔	B: ヘリあき
$2 \times Dw$	$1.25 \times Do$

※D_w: 杭先端羽根部径 Do: 杭本体径

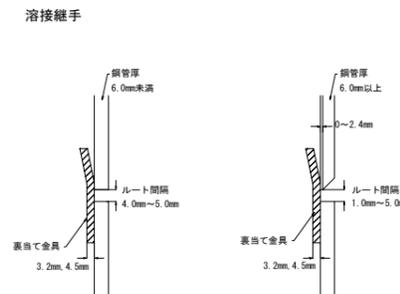


【杭頭接合例】



※杭頭接合は認定で定められているわけではございませんので参考例となります。

【継手接続例】



【施工管理方法】

工程	管理項目	管理方法	管理値
杭材の受け入れ	杭径、杭長、肉厚	搬入時に測定検査	・杭径、杭長、肉厚、羽根部径、羽根厚に誤りがないこと
回転埋設	杭芯のずれ	逃げ芯棒にて測定	・偏差量±20mm以内
	杭の鉛直性	水準器で確認	・傾斜 1/100以内 (気泡が中央にあること)
	回転トルク	機械のトルク計	・杭体のねじり強さ以内
溶接継手	杭の鉛直度	水準器で確認	・傾斜 1/100以内
	接続状況	目視により確認	・異常なアンダーカット、ビット等がないこと
支持地盤の確認	埋設深さ	機械の深度計	・支持層に1Dw以上
	回転トルク	機械のトルク計	・施工管理トルク表による
	回転貫入量	専用紙に記録する	・回転貫入量の管理値による
杭頭のずれ	偏差量	通り芯から測定	・±100mm以内

【イーゼット取得済認定、公的評価】

国土交通大臣認定

名称	認定番号	認定書	取得年月日
先端羽根付き鋼管杭 (名称: スクリューパイルE A Z E T) (先端地盤: 砂質地盤 (礫質地盤を含む))	TACP-0399	国住指第3242-1号	平成24年3月19日
先端羽根付き鋼管杭 (名称: スクリューパイルE A Z E T) (先端地盤: 粘土質地盤)	TACP-0351	国住指第1616-1号	平成23年12月8日

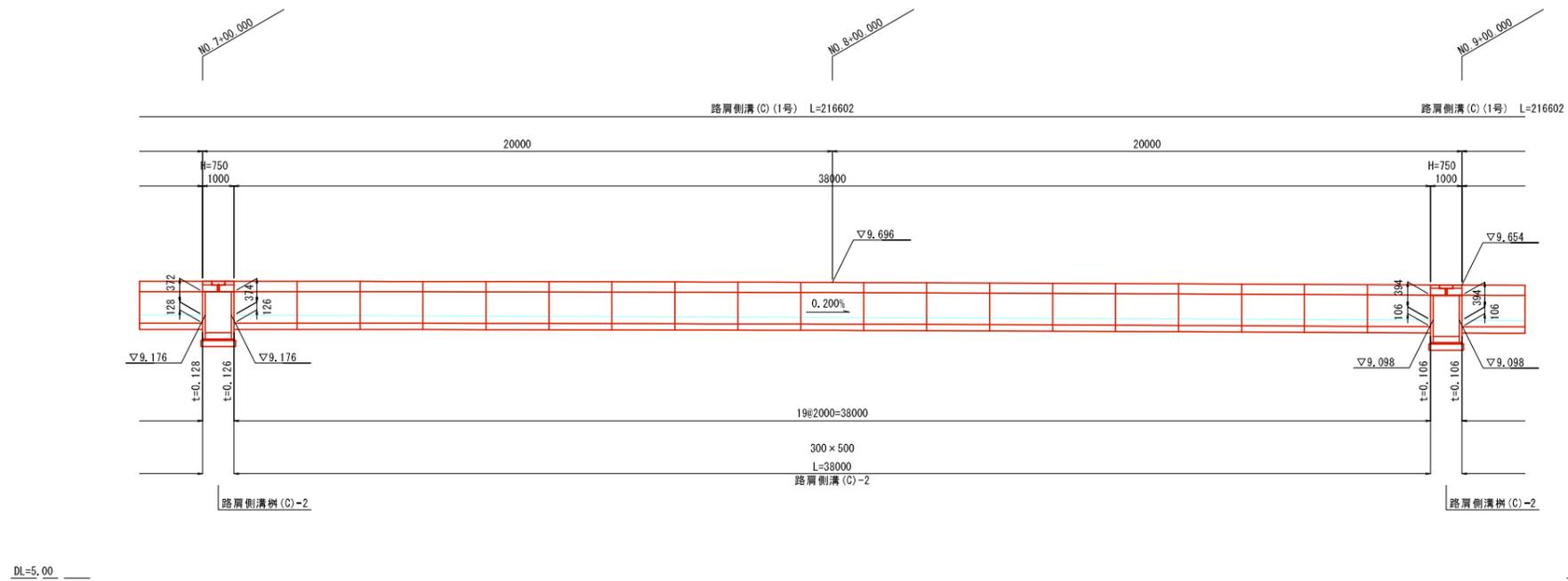
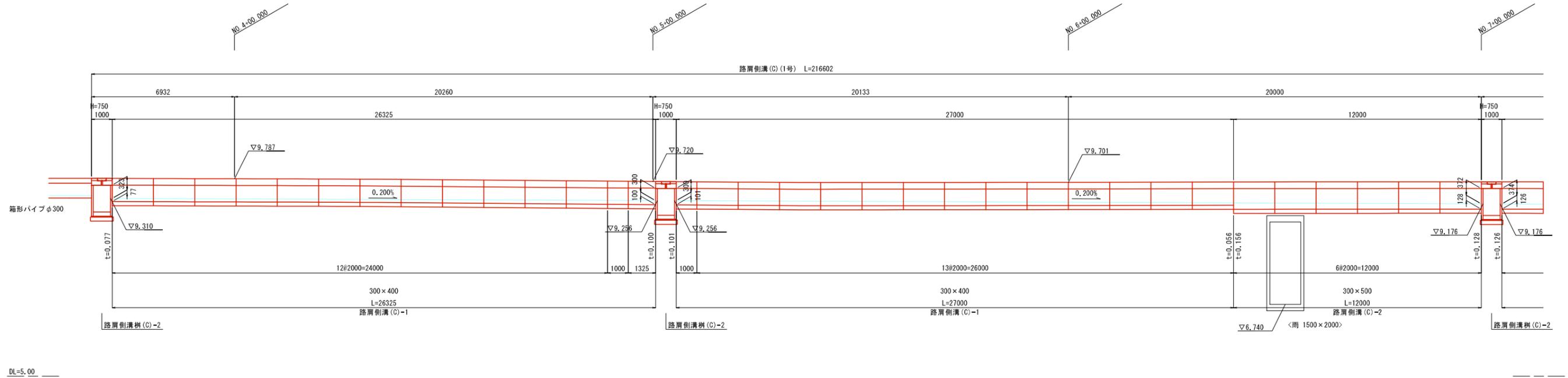
財団法人 ベターリビング 認定

名称	認定区分	番号	取得年月日
スクリューパイルE A Z E T (イーゼット) 工法における引抜き方向の許容支持力	一般認定	CSL FP005-07号	平成25年7月29日

図名	参C-1	施工年度		縮尺	NONE
工事名	淀川右岸流域下水道 高槻水みらいセンター				
図面名	(参考図) EAZET (イーゼット) 工法設計施工標準				
施工位置	高槻市南大樋町				
大阪府北部流域下水道事務所					

小構造物構造図(7)

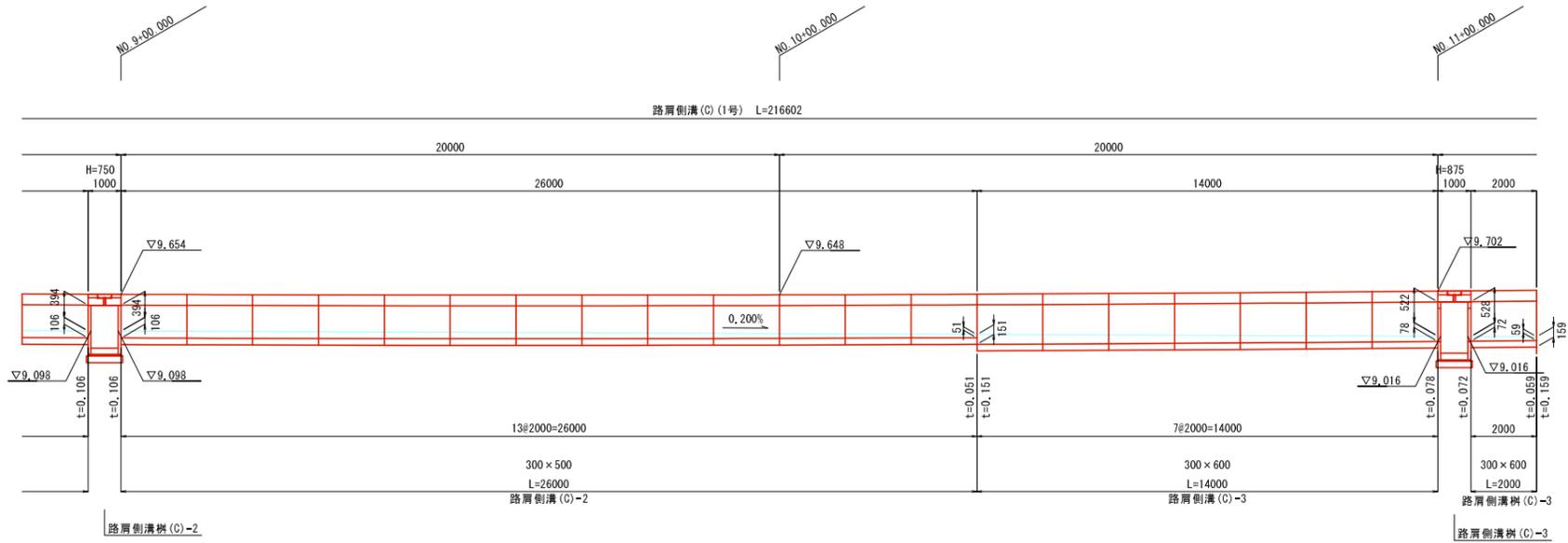
路肩側溝(C) 1号展開図 V=1:50
H=1:100
NO. 3+13.1~NO. 14+9.3付近 右側



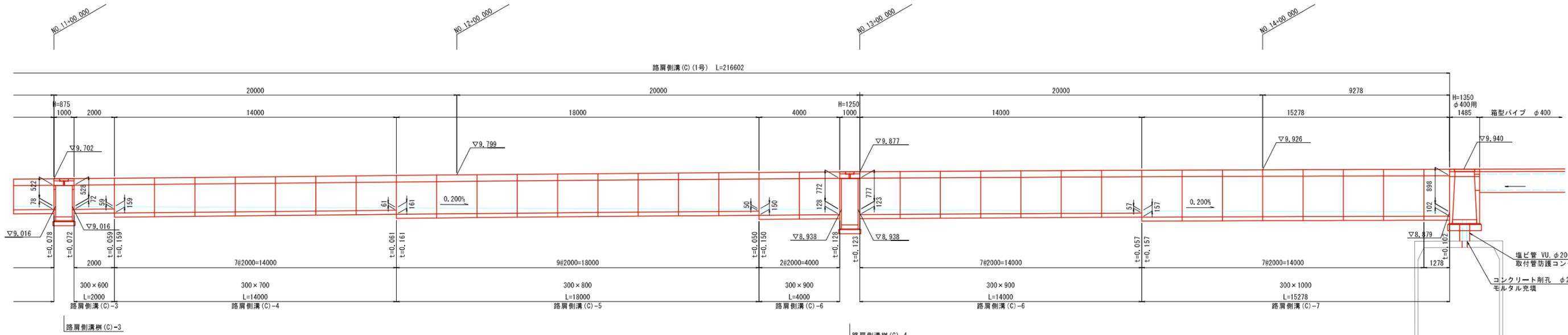
小構造物構造図(8)

路肩側溝(C) 1号展開図
NO. 3+13.1~NO. 14+9.3付近 右側

V=1:50
H=1:100



DL=5.00



DL=5.00

路肩側溝(C) (1号) 数量表 (メーカー割付参考)

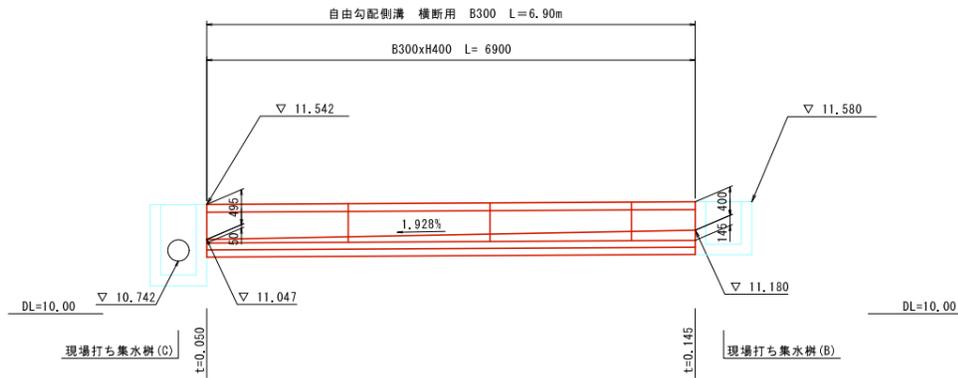
一式当り

名称	規格	単位	数量	換要	
自由勾配側溝	側溝本体	B300 × H400 × L2000	本	25	標準
		B300 × H400 × L1000	本	2	半丁
		B300 × H400 × L1325	本	1	切断品
		B300 × H500 × L2000	本	38	標準
		B300 × H600 × L2000	本	8	標準
		B300 × H700 × L2000	本	7	標準
		B300 × H800 × L2000	本	9	標準
		B300 × H900 × L2000	本	9	標準
		B300 × H1000 × L2000	本	7	標準
		B300 × H1000 × L1278	本	1	切断品
合計		本	107		
側溝蓋	側溝蓋	B300用 L2000	枚	103	標準
		B300用 L1000	枚	2	半丁
		B300用 L1325	枚	1	切断品
		B300用 L1278	枚	1	切断品
合計		枚	107		
集水井	集水井	樹本体 H=750	個	4	
		樹本体 H=875	個	1	
		樹本体 H=1250	個	1	
		樹蓋 滑り止め仕様 グレーチング	枚	6	

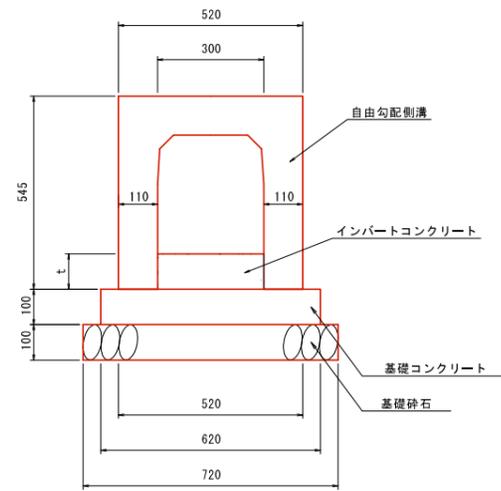
【施工注記】
 ・地下埋設物は管理者より入手した資料および平面図の単点によるベロケで設計図に図示しているが、現地と整合していない可能性があるため、事前に管理者立会のもと試掘等により確認を行うこと。
 試掘結果から埋設管と計画構造物が接触する場合は、関係機関との移設協議または計画構造物の変更を検討すること。

小構造物構造図(13)

自由勾配側溝
横断用, NO. 24~NO. 24+6.9付近, 右側



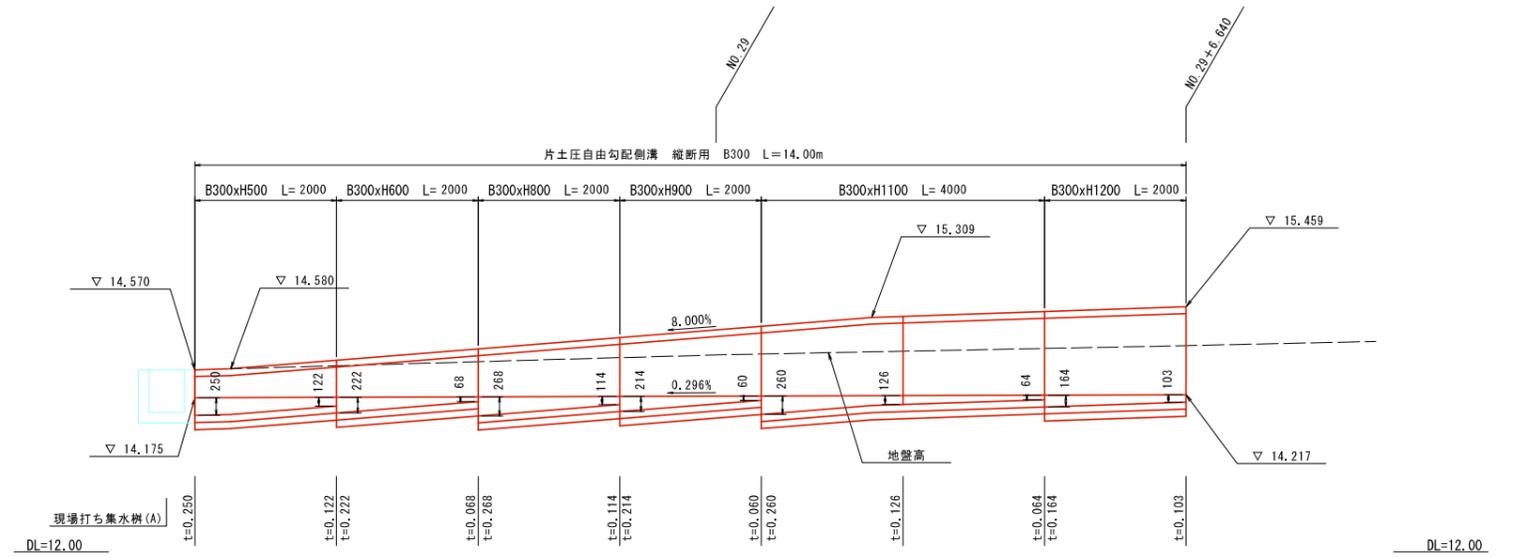
自由勾配側溝断面図
横断用



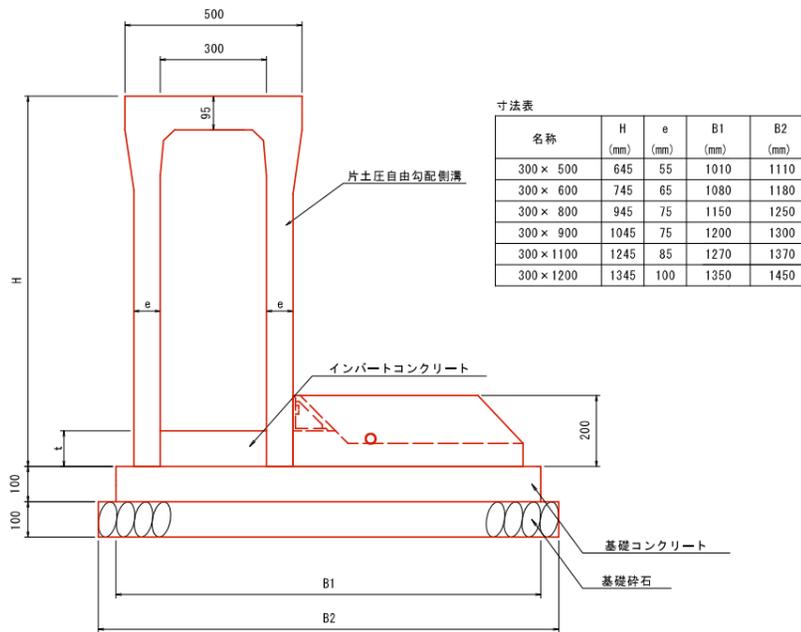
数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
自由勾配側溝	300×400, T-25, 横断用	個	5
基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.620
同上型枠	小型構造物	m ²	2.000
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m ²	7.200
グレーチング蓋	φ114固定式	枚	5

自由勾配側溝
片土圧用, NO. 28+12.6~NO. 29+6.6付近



自由勾配側溝断面図
片土圧用



寸法表

名称	H (mm)	e (mm)	B1 (mm)	B2 (mm)
300 × 500	645	55	1010	1110
300 × 600	745	65	1080	1180
300 × 800	945	75	1150	1250
300 × 900	1045	75	1200	1300
300 × 1100	1245	85	1270	1370
300 × 1200	1345	100	1350	1450

数量表 10m当り

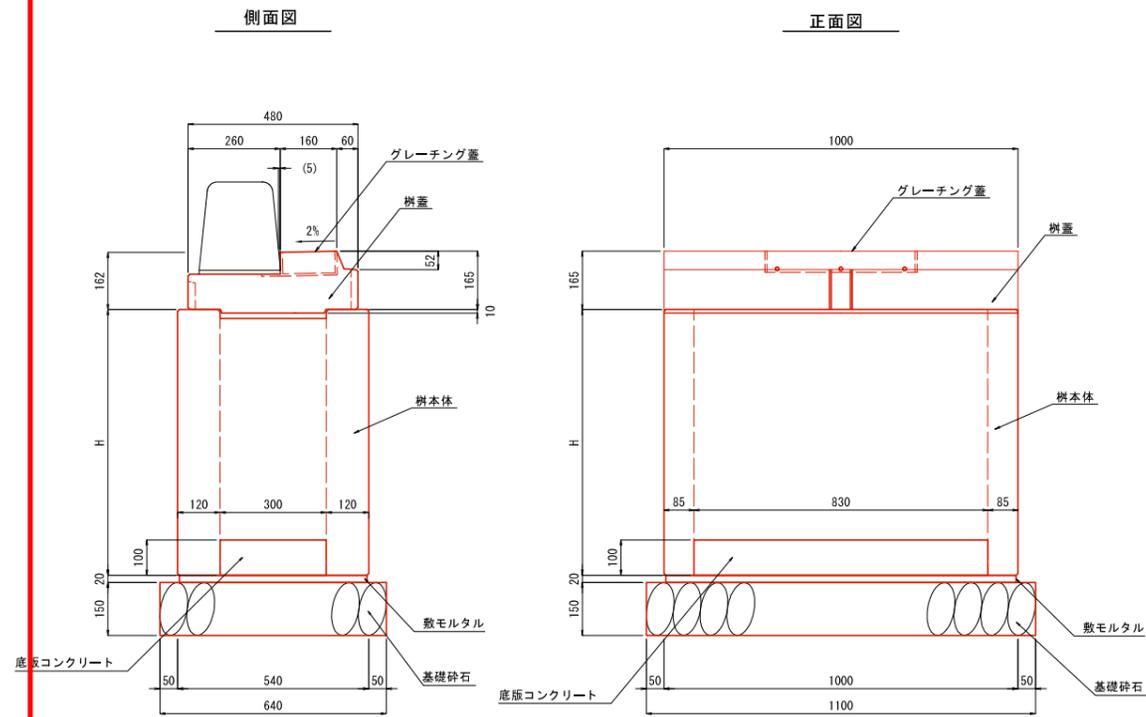
名称	規格	単位	数量						
			300 × 500	300 × 600	300 × 800	300 × 900	300 × 1100	300 × 1200	
自由勾配側溝	T-25, 片土圧用	個	5	5	5	5	5	5	
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m ²	11,100	11,800	12,500	13,000	13,700	14,500	
基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.010	1.080	1.150	1.200	1.270	1.350	
同上型枠	小型構造物	m ²	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
コンクリート蓋		枚	9	9	9	9	9	9	
グレーチング蓋		枚	1	1	1	1	1	1	

数量表 (メーカー割付参考) 1式当り

名称	規格	単位	数量
自由勾配側溝	300 × 400, T-25, 横断用	m	5
インバートコンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.30
片土圧自由勾配側溝	300 × 500, T-25, 縦断用	m	2.00
	300 × 600, T-25, 縦断用	m	2.00
	300 × 800, T-25, 縦断用	m	2.00
	300 × 900, T-25, 縦断用	m	2.00
	300 × 1100, T-25, 縦断用	m	4.00
	300 × 1200, T-25, 縦断用	m	2.00
インバートコンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.65

小構造物構造図(4)

路肩側溝柵(C) S=1:10

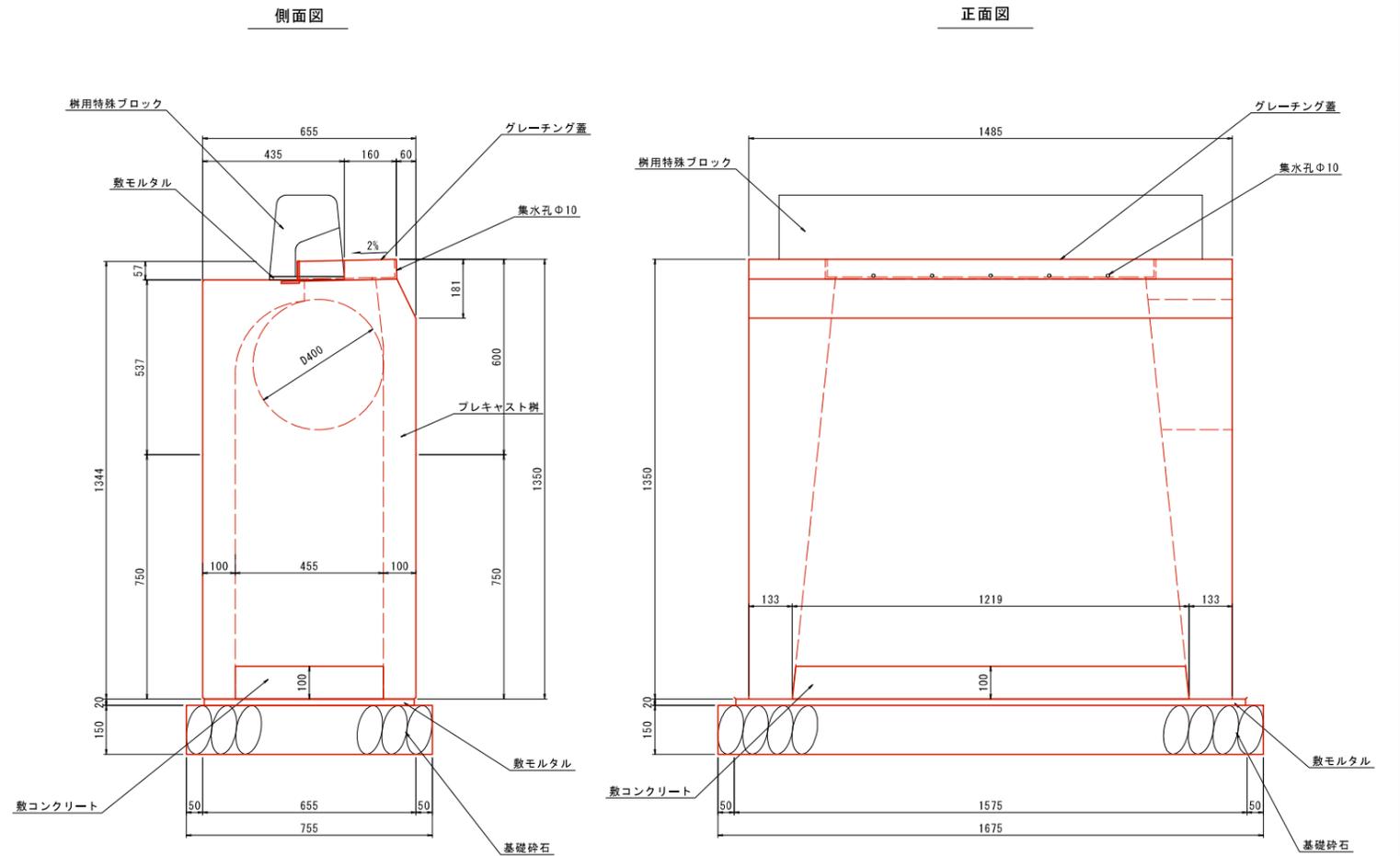


名称	規格	単位	一箇所当たり (Per location)			
			(C)-1	(C)-2	(C)-3	(C)-4
樹本体	B300	個	1	1	1	1
樹蓋	B300用	個	1	1	1	1
グレーチング蓋	滑り止め仕様, T-25	枚	1	1	1	1
底版コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.025	0.025	0.025	0.025

※()内は目地幅を示す。

記号	規格	H
(C)-1	H600	600
(C)-2	H750	750
(C)-3	H875	875
(C)-4	H1250	1250

路肩側溝柵(D) S=1:10

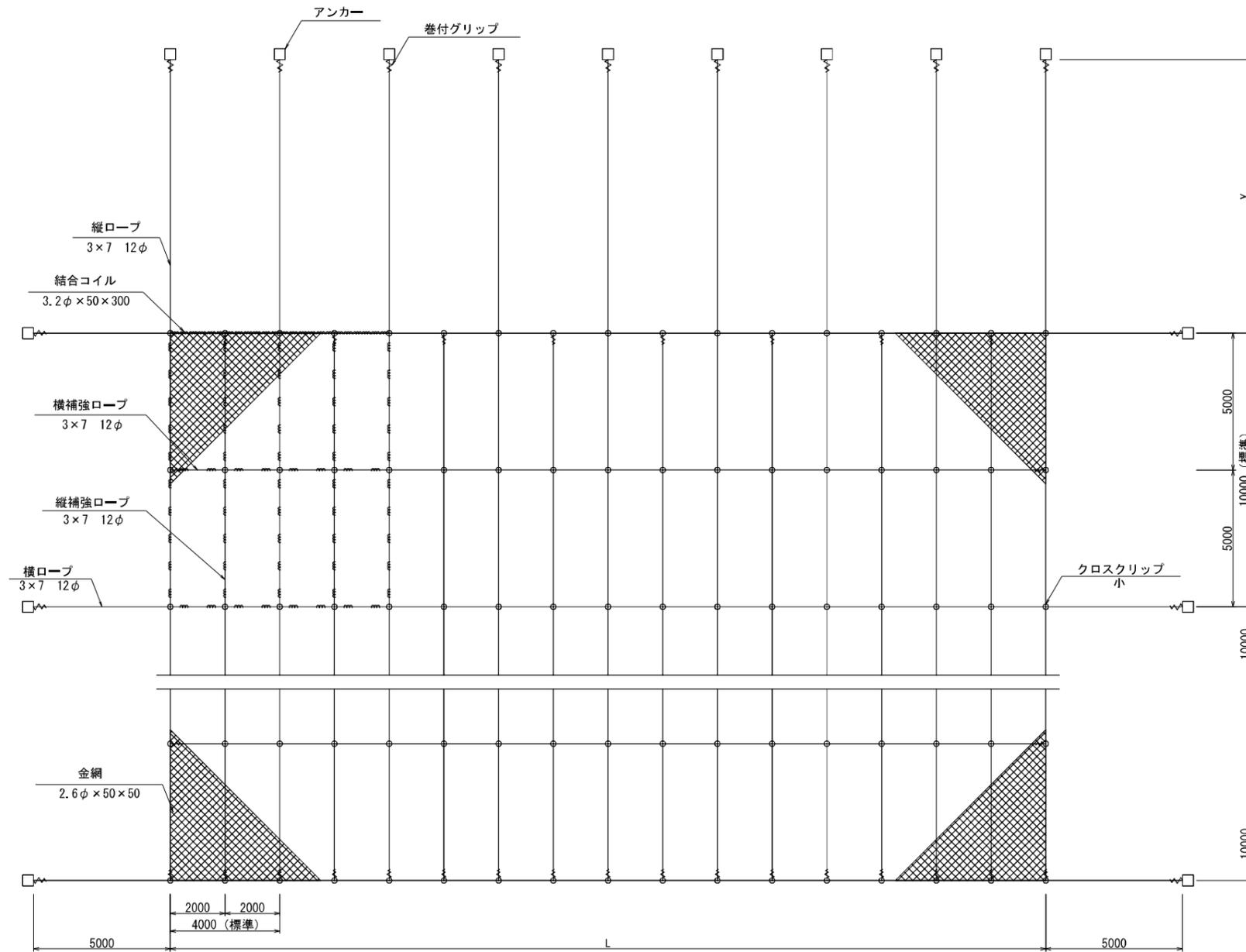


名称	規格	単位	一箇所当たり (Per location)
			数量
プレキャスト樹	D400	個	1
グレーチング蓋	滑り止め仕様, T-25	枚	1
敷コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.055

覆式落石防護網構造図 S=1:100

環境対策仕様（変性飽和ポリエステル樹脂塗装）

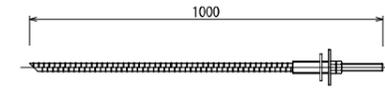
展開図



□— アンカー 〰— 結合コイル ⊕— クロスクリップ 〰— 巻付グリッ

岩部用セメントアンカー

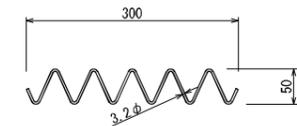
S=1/10



D25 (M24) × 1000

結合コイル 3.2φ

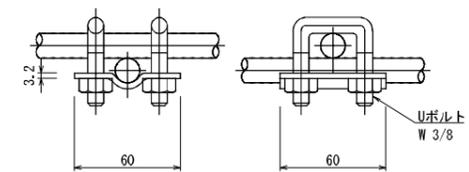
S=1/5



結合コイル使用数量
 最上段横ローブ : 1mに3個
 その他のローブ : 1mに1個

クロスクリップ 小

S=1/2



巻付グリッ



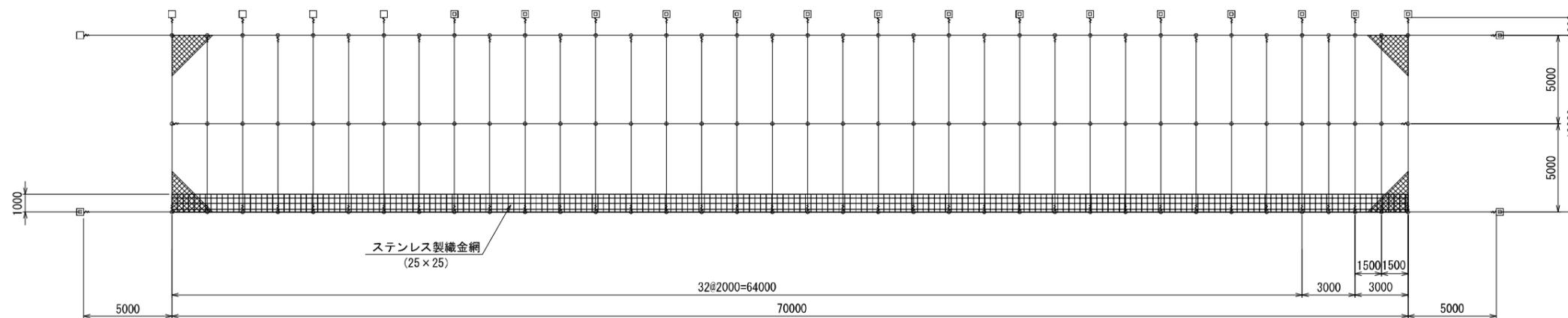
※図面は巻付長を途中までとしているが、必要巻付長はAすべてとする。

寸法表

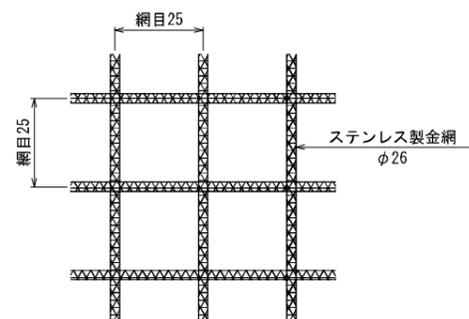
区別	寸法	呼称寸法	A
巻付グリッ (E型) : 端末用	12φ用	800	800
巻付グリッ (R型) : R17用	12φ用	975	975

覆式落石防護網展開図 S=1:150

環境対策仕様 (変性飽和ポリエステル樹脂塗装)



ステンレス製織金網 S=1:1 (25×25)



覆式ロックネット(環境対策仕様)材料表

名称	仕様・寸法(mm)	数量	単位	記号
有効架設面積		700,0	m ²	
金網	2.6φ×50×50-4.2軸 TF-GS3	777,0	m ²	■
縦ロープ	TF 3×7 G/O 12φ	TF 209,0	m	
縦補強ロープ	TF 3×7 G/O 12φ	TF 180,0	m	
横ロープ	TF 3×7 G/O 12φ	TF 160,0	m	—
横補強ロープ	TF 3×7 G/O 12φ	TF 70,0	m	—
クロスクリップ	(小) 3.2t×60×60	TF 111	個	+
巻付グリップ (E型)	12φ用-1000	TF 80	本	→
結合コイル	3.2φ×50×300	TF 720	個	—
岩部用TSKセメントアンカー	D25 (M24) ×1000	TF 5	本	□
岩部用TSKセメントアンカー	D25 (M24) ×1500	TF 18	本	⊗

結合コイル使用数量

最上段横ロープ 1mに3ヶ 210個

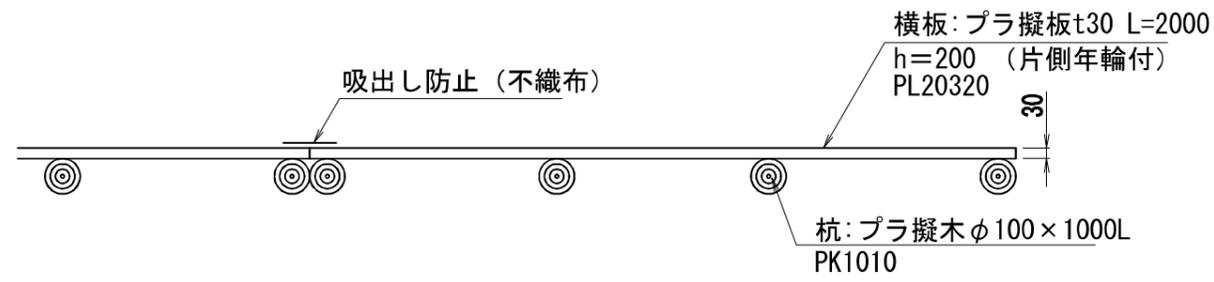
その他のロープ 1mに1ヶ 510個

※ アンカー数量は、岩部用1000：岩部用1500=2：8で算出。

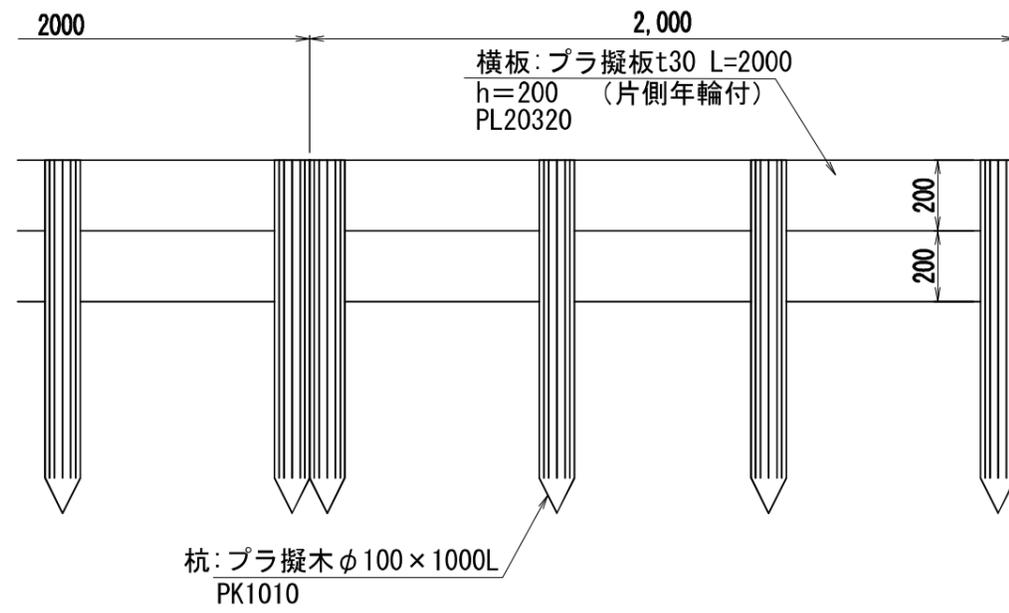
※ 設置範囲・アンカー種類等は、設置するアンカー位置において表層等確認後決定すること。

板柵構造図 S=1:10
(H=400) [参考図]

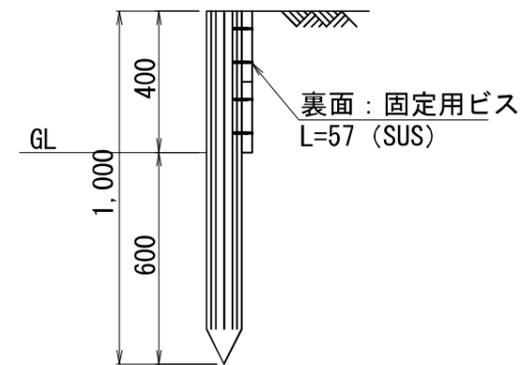
平面図



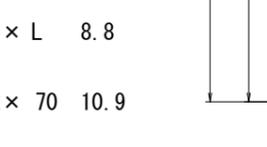
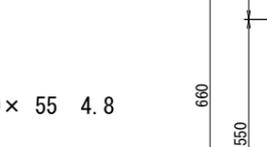
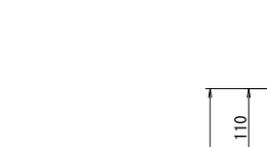
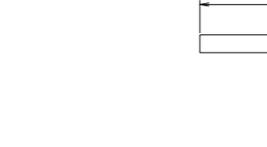
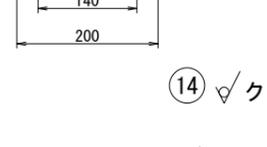
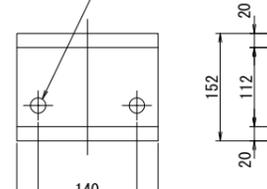
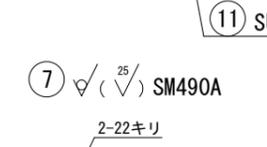
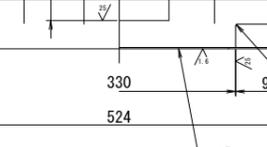
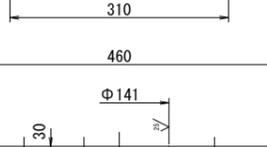
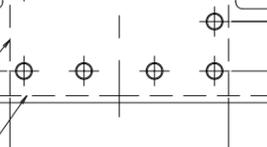
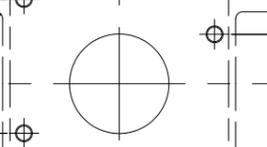
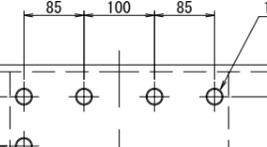
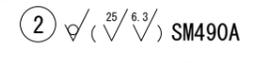
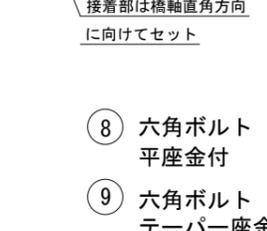
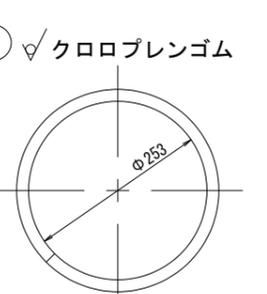
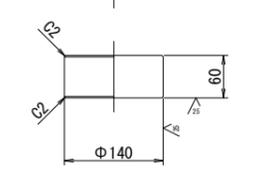
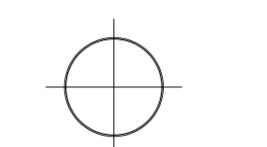
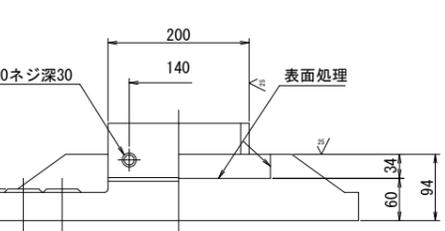
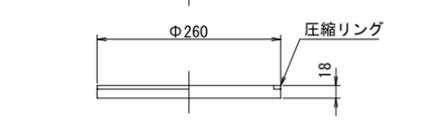
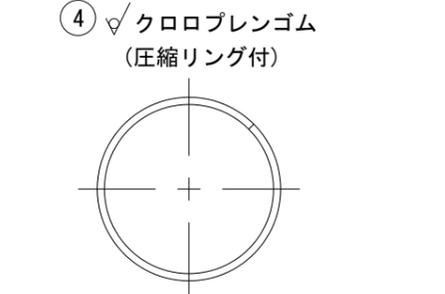
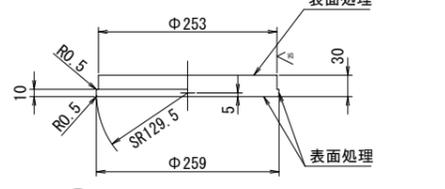
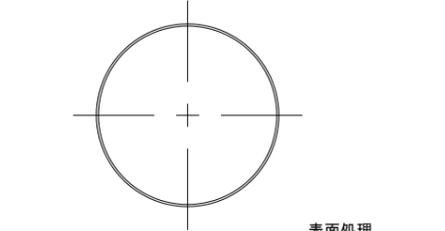
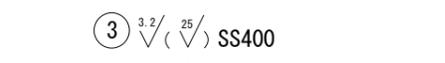
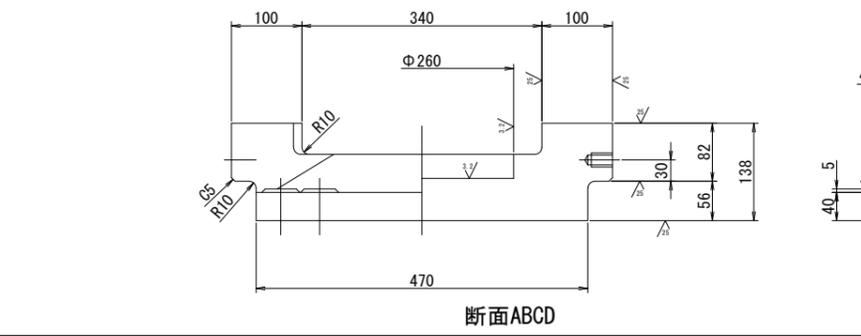
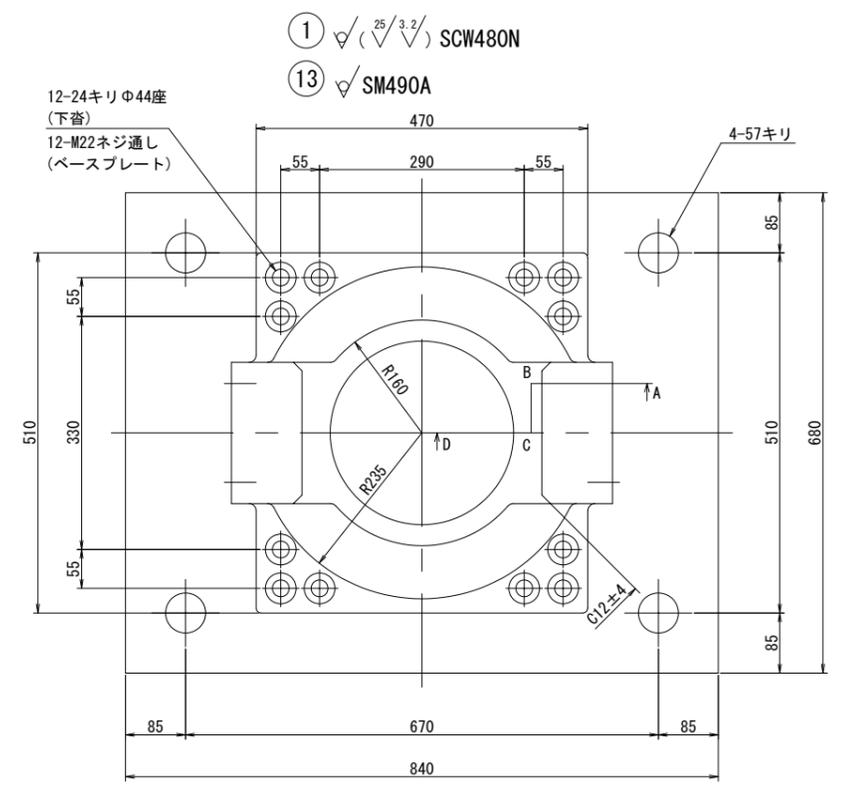
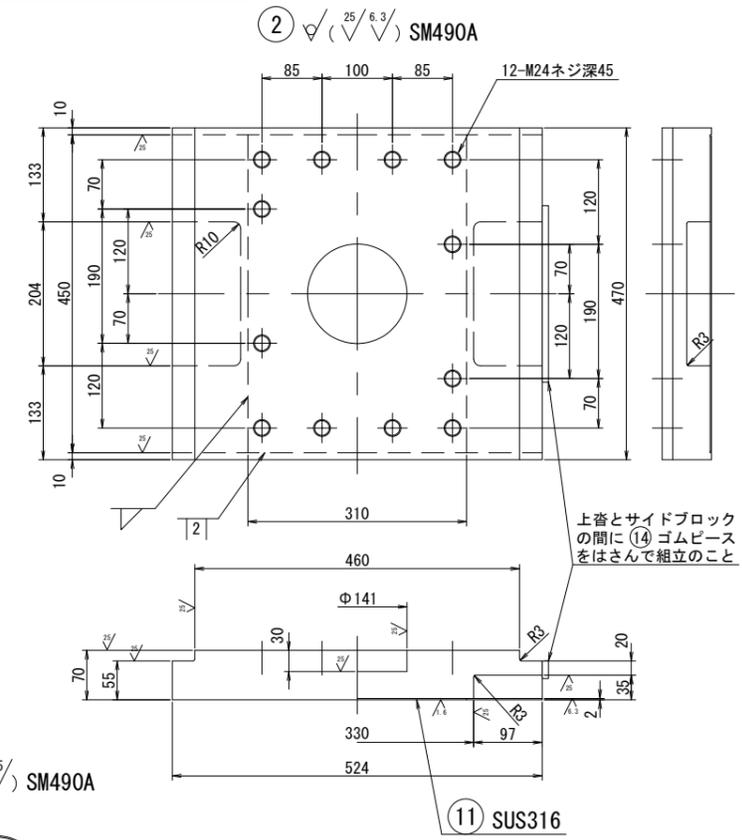
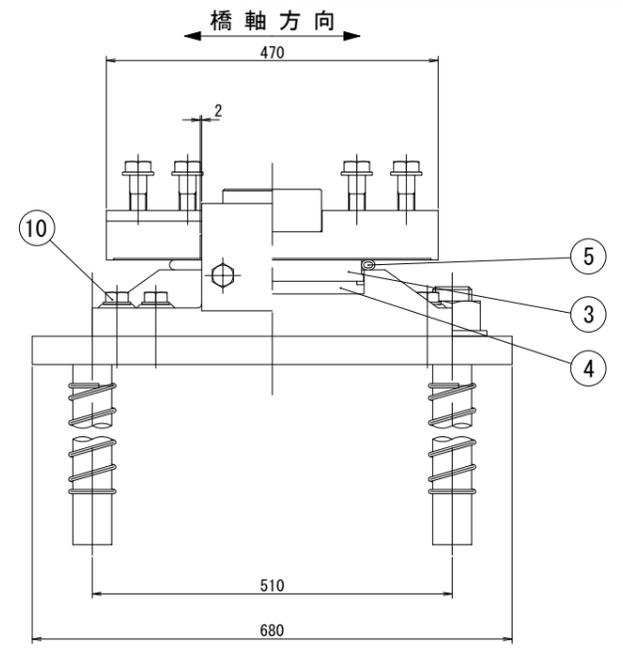
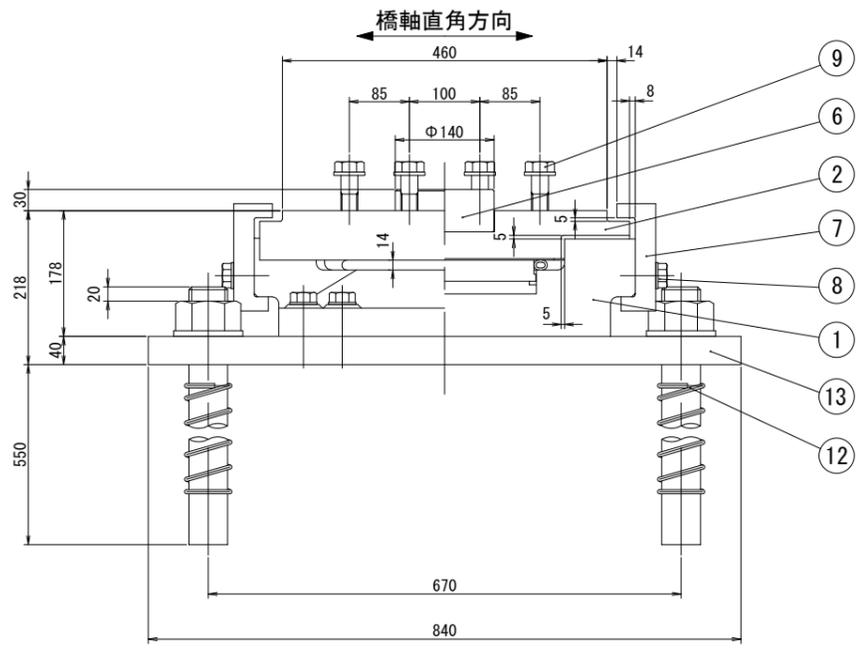
正面図



断面図



新前川橋 支承 (その1) S=1:5



設計条件

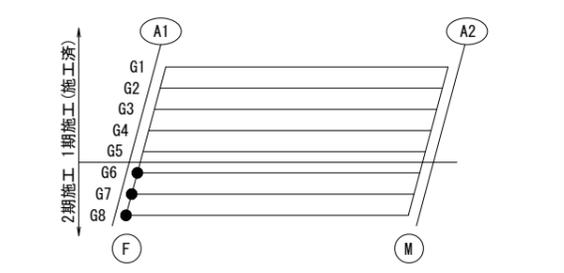
反		力	
全反力 (変動作用)	R	1376.9	kN
死荷重反力 (永続作用)	Rd	777.3	kN
橋軸方向水平力 (偶発作用)	R _{H1e}	1381.0	kN
橋軸直角方向水平力 (偶発作用)	R _{H2e}	699.6	kN
上揚力 (偶発作用)	V	233.2	kN
水平震度			
設計水平震度 (レベル2)	Khc	0.90	
許容支圧強度			
下部工との許容支圧強度	σ _{ba}	12.2	N/mm ²
上部工との許容支圧強度	σ _{ba}	295	N/mm ²

材料表

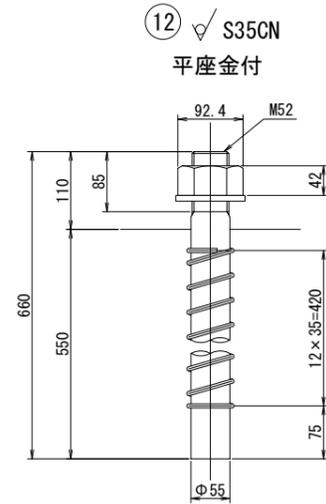
部番	品名	材質	個数	質量 (Kg)	備考
①	下巻	SCW480N	1	137.5	
②	上巻	SM490A	1	114.2	
③	中間プレート	SS400	1	12.0	
④	ゴムプレート	クロロプレンゴム	1	1.2	圧縮リング付
⑤	シールリング	クロロプレンゴム	1	0.1	
⑥	せん断キー	SM490A	1	7.3	
⑦	サイドブロック	SM490A	2	16.4	
⑧	六角ボルト・座金	—	4	0.9	JIS B 1180 JIS B 1256
⑨	六角ボルト・座金	—	12	—	JIS B 1180 JIS B 1256
⑩	六角ボルト・座金	—	12	3.7	JIS B 1180 JIS B 1256
⑪	ステンレス板	SUS316	1	2.2	310X2X446
⑫	アンカーボルト・ナット・座金	S35CN	4	54.0	JIS B 1181 JIS B 1256
⑬	ベースプレート	SM490A	1	176.2	
⑭	ゴムピース	クロロプレンゴム	2	—	架設部材
全重量				525.7 (Kg)	
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき膜厚 HDZT77, HDZT49 (ボルト類)					

注記1) ゴムピース ⑭ は架設完了後、撤去のこと。
 注記2) ○印は、溶融亜鉛めっき仕様の場合のめっき施工部材を示す。
 注記3) せん断キーとそのはめ合い部は、有機ジンクリッチ塗装とする。
 注記4) 部番 ⑩ のボルトはめめつきとし、高濃度亜鉛末塗装とする。

配置図



- ⑧ 六角ボルト 中 M20 × 55 4.8
平座金付
- ⑨ 六角ボルト 中 M27 × L 8.8
テーパ座金付
- ⑩ 六角ボルト 中 M22 × 70 10.9
平座金付

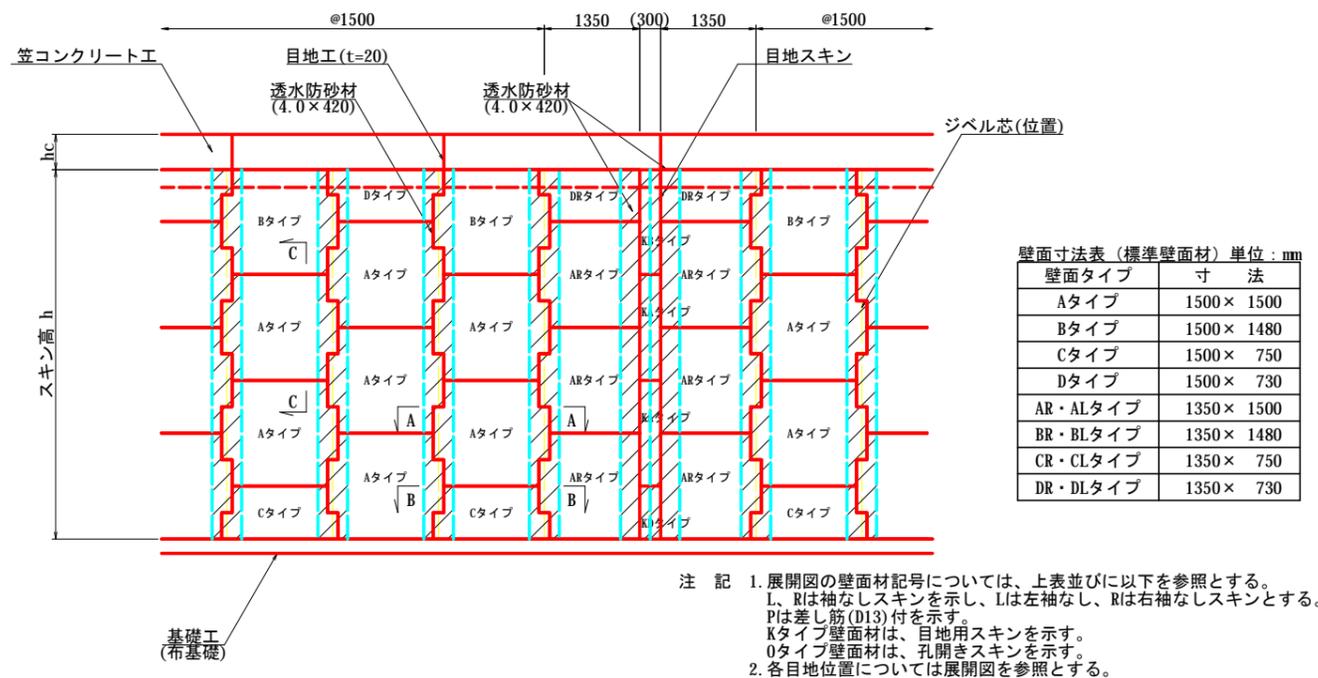


年度	令和5年度	番号	/
路線名	主要地方道 泉佐野岩出線		
工事名	新前川橋 橋梁詳細設計委託		
施工地名	泉南市信達童子畑地内		
図面名	新前川橋 支承 (その1)		
縮尺	1:5	作成年月	令和6年2月
大阪府岸和田土木事務所			

補強土（テールアルメ）壁工 詳細図

構造一般図(1)

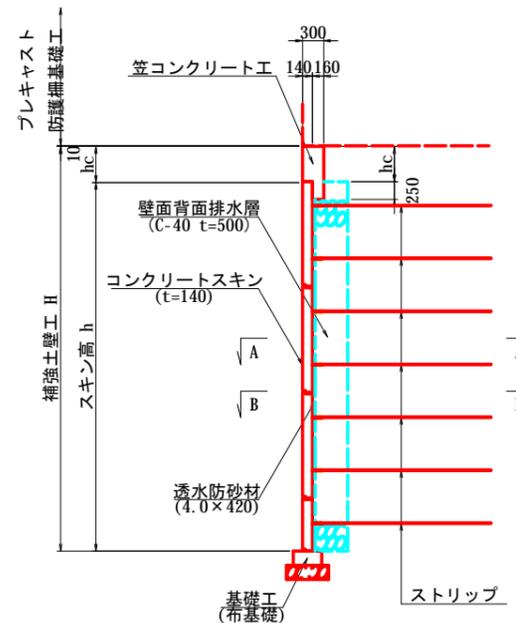
組立一般正面図 S=1:50



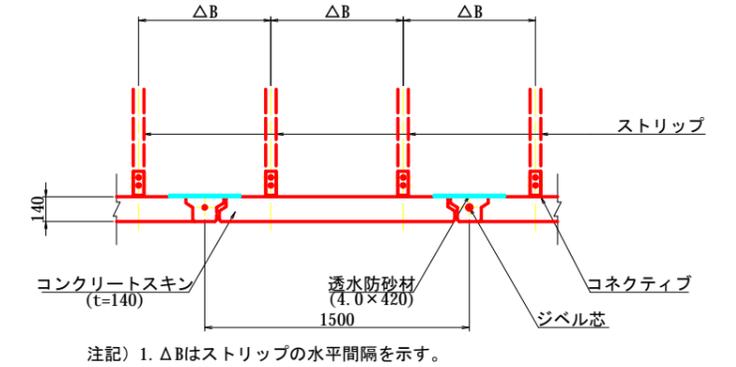
壁面タイプ	寸法
Aタイプ	1500 × 1500
Bタイプ	1500 × 1480
Cタイプ	1500 × 750
Dタイプ	1500 × 730
AR・ALタイプ	1350 × 1500
BR・BLタイプ	1350 × 1480
CR・CLタイプ	1350 × 750
DR・DLタイプ	1350 × 730

注記 1. 展開図の壁面材記号については、上表並びに以下を参照とする。
 L、Rは袖なしスキンを示し、Lは左袖なし、Rは右袖なしスキンとする。
 Pは差し筋(D13)付を示す。
 Kタイプ壁面材は、目地用スキンを示す。
 Oタイプ壁面材は、孔開きスキンを示す。
 2. 各目地位置については展開図を参照とする。

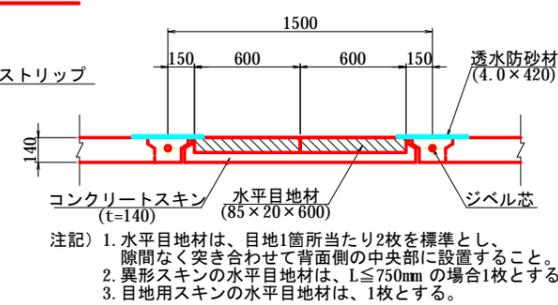
組立一般断面図 S=1:50



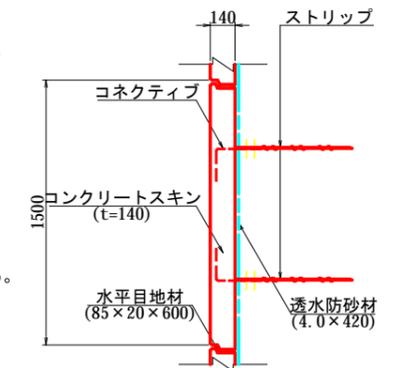
A-A断面 S=1:20



B-B断面 S=1:20

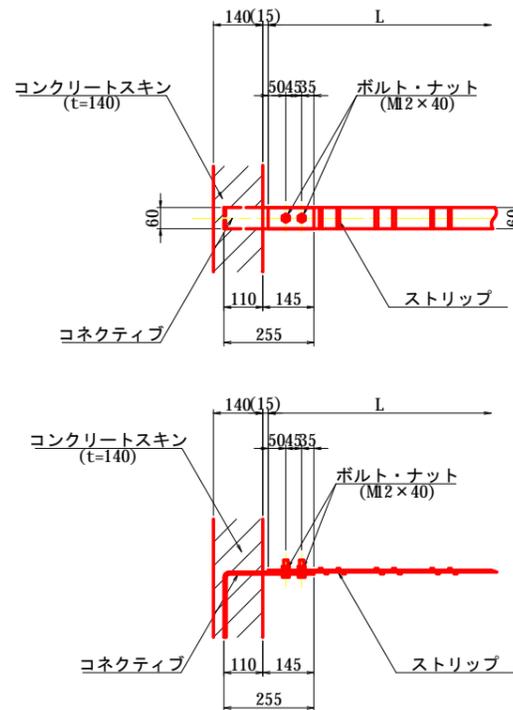


C-C断面 S=1:20

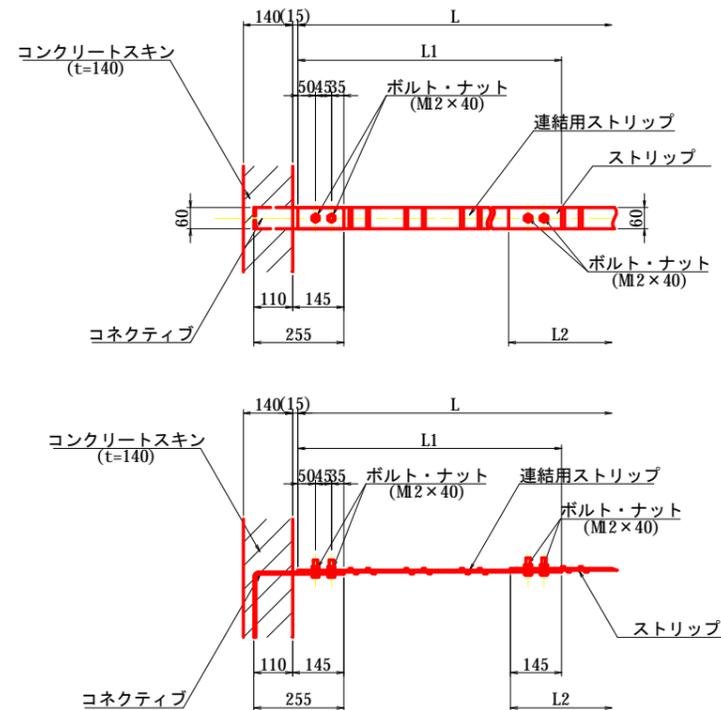


補強材取付詳細図 S=1:10

一般部 (L < 8.50m)

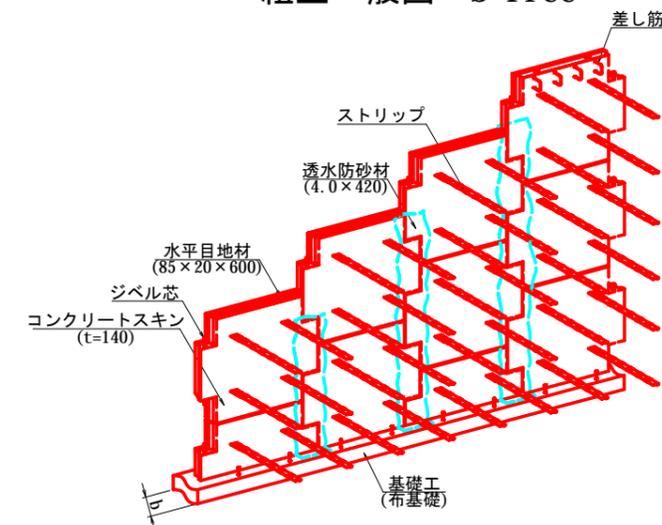


一般部 (L ≥ 8.50m)



注記) 1. L < 10.50mとなる場合は、連結用ストリップ(L1=6.15m)+L2の組合せとする。

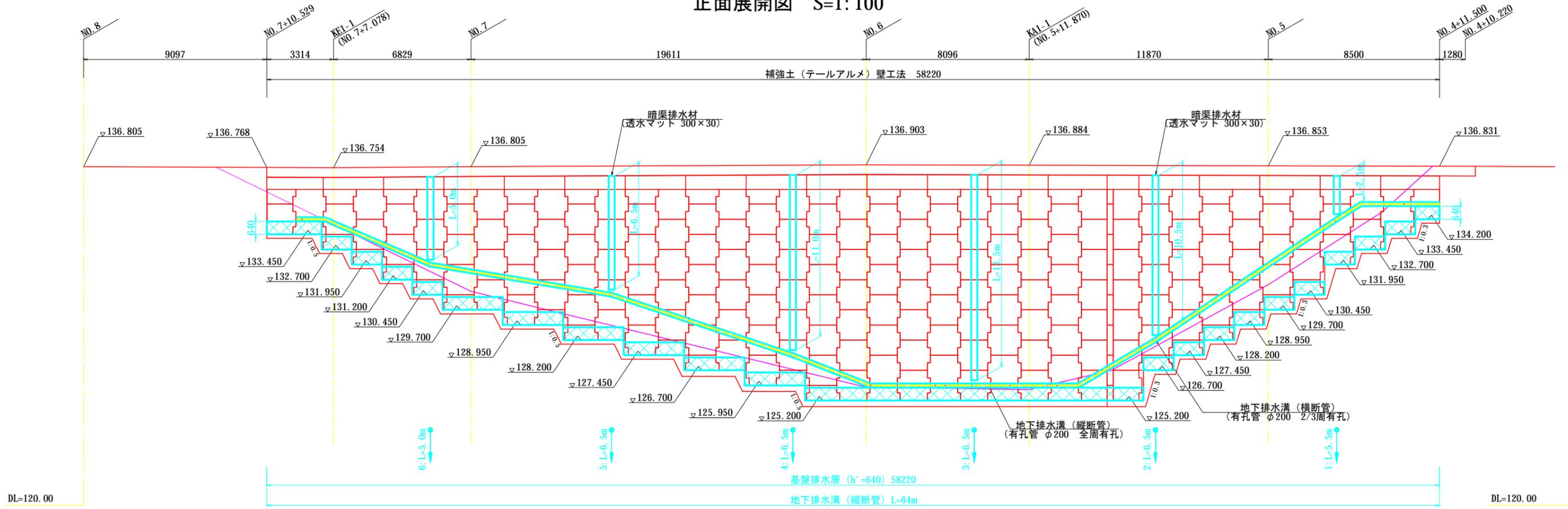
組立一般図 S=Free



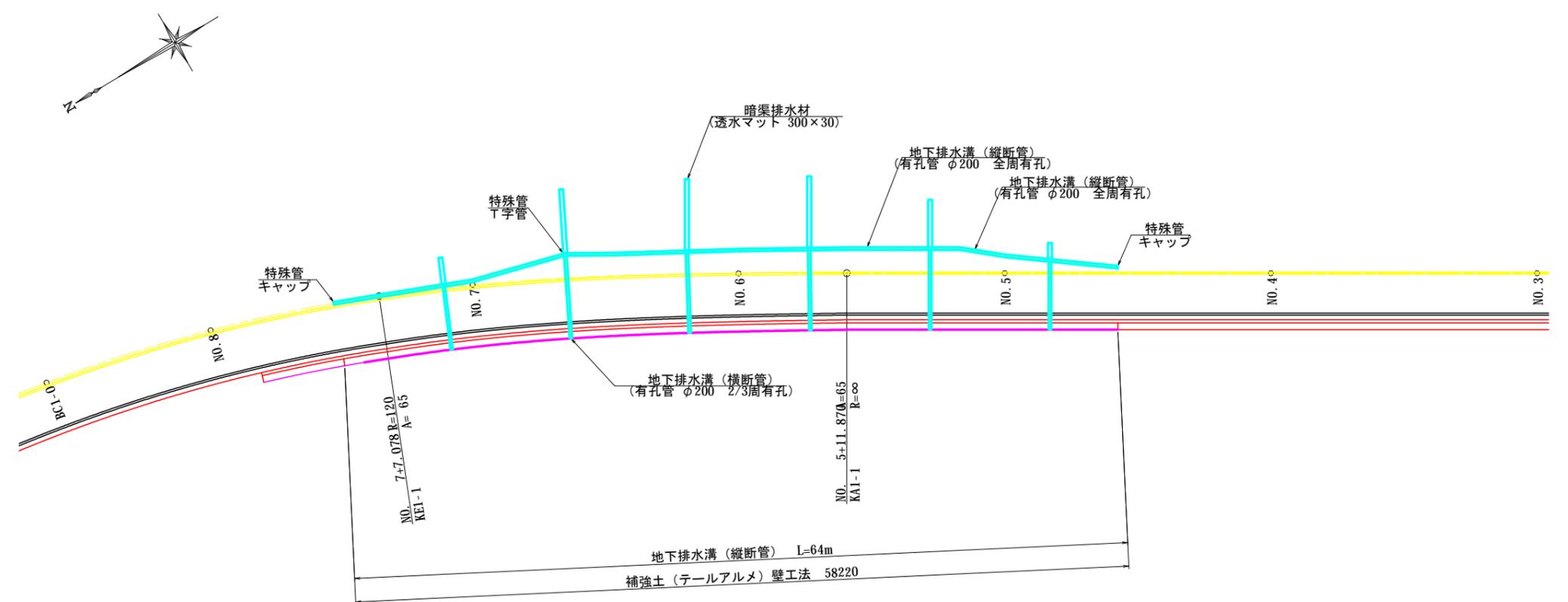
年度	令和3年度	図面番号	14/28
委託名称	一般国道423号道路詳細設計等委託		
委託場所	箕面市下止々呂美 地内		
図面名	補強土壁工詳細図(1)		
縮尺	図示		
大阪府池田土木事務所			

補強土（テールアルメ）壁工 排水工一般図（1）

正面展開図 S=1:100

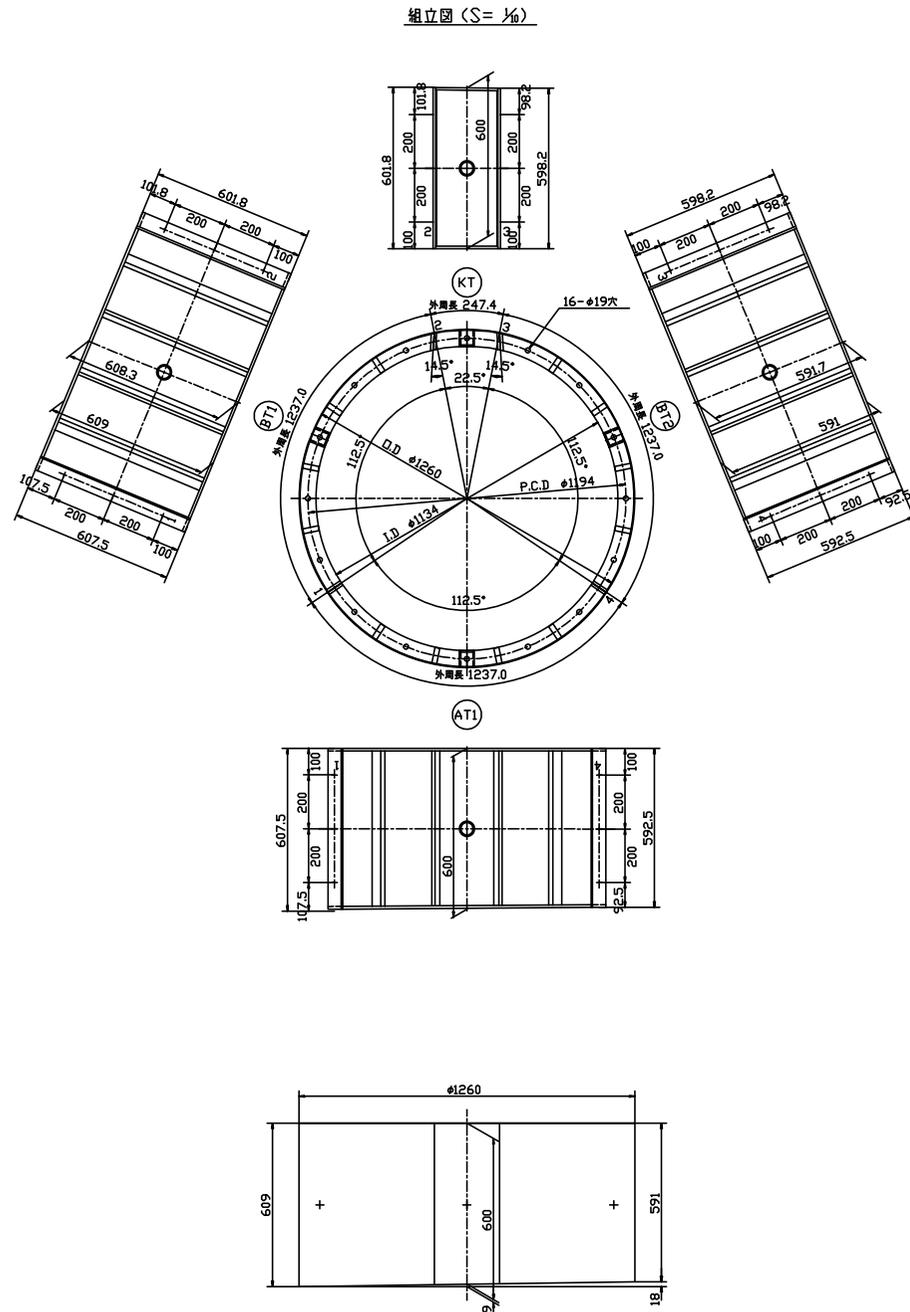


平面図 S=1:200

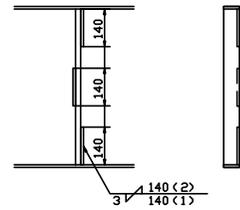


年度	令和3年度	図面番号	19/28
委託名称	一般国道423号道路詳細設計等委託		
委託場所	箕面市下止々呂美 地内		
図面名	補強土壁工排水工一般図(1)		
縮尺	図示		
大阪府池田土木事務所			

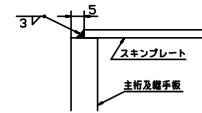
スチールセグメント(R=50_補強19タイプ) φ1260X600X63 18テーパ



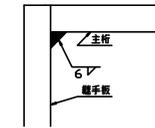
縦リブ-スキムプレート 溶接



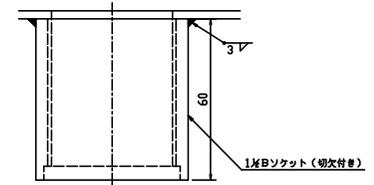
スキムプレート-主桁及継手板 溶接



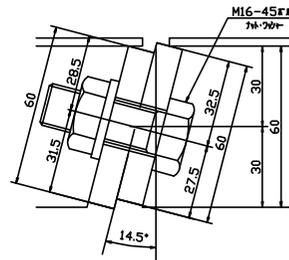
主桁-継手板 溶接



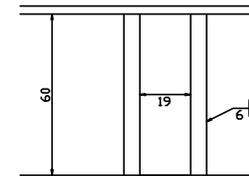
注入孔 詳細 (S=1/6)



B・K継手部 詳細 (S=1/4)



縦リブ 詳細 (S=1/4)



材料仕様

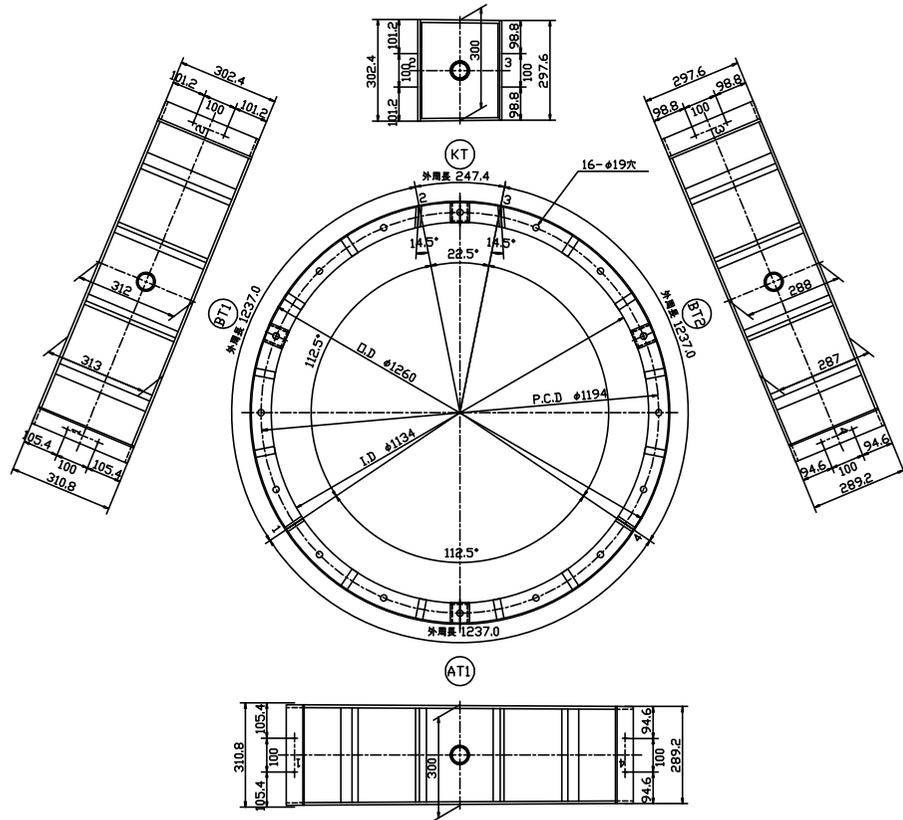
- スキムプレート R-3
- 主桁 R-10 X60
- 縦リブ R-19 X60
- 継手板 A R-10 X60
- 継手板 BK R-10 X60

仕様

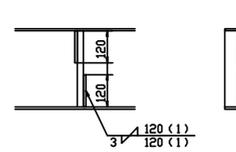
- 外径 φ1260
- 幅 609-591(テーパ量18)
- 高さ 63
- 分割数 4分割
- 付属品 注入孔 1/6Bソケット (切欠付)
- ボルト (M16-45)(8.8)
- 材質 SM490A
- 塗装 外面サビ止1回

スチールセグメント(R=17補強22タイプ) φ1260X300X63 26テーパー

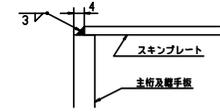
組立図 (S=1/6)



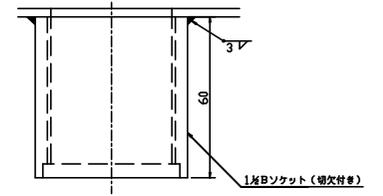
縦リブ-スキムプレート 溶接



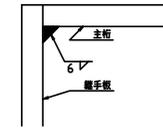
スキムプレート-主桁及継手板 溶接



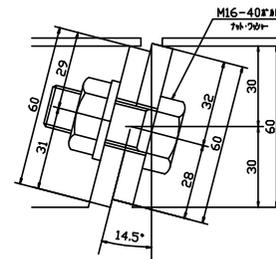
注入孔 詳細 (S=1/6)



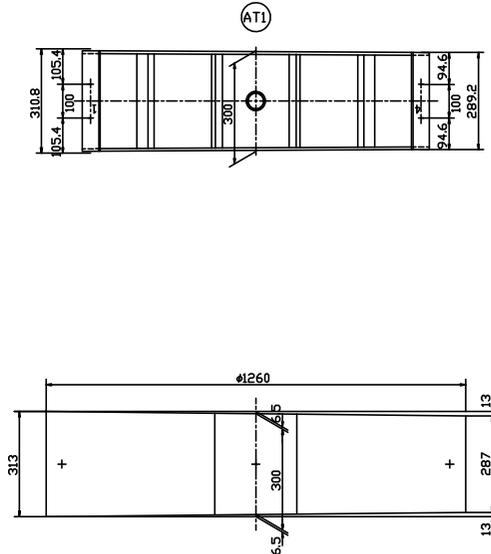
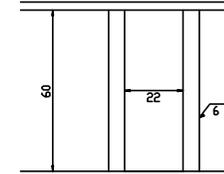
主桁-継手板 溶接



B・K継手部 詳細 (S=1/6)



縦リブ 詳細 (S=1/6)



材料仕様

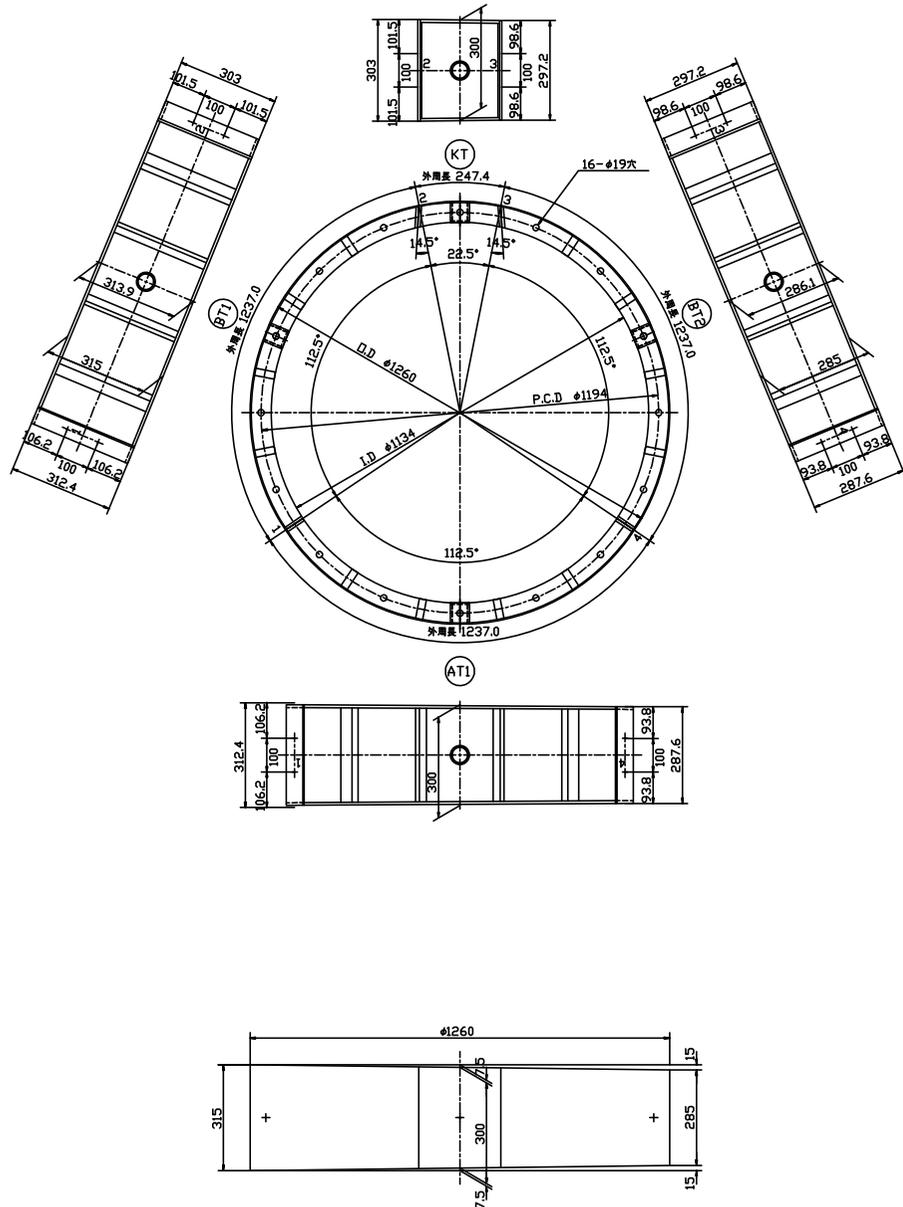
- スキムプレート R-3
- 主桁 R-8X60
- 縦リブ R-22X60
- 継手板 A R-8X60
- 継手板 BK R-8X60

仕様

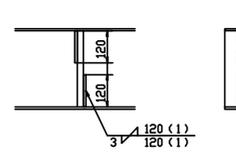
- 外径 φ1260
- 幅 313-287 (テーパー量26)
- 高さ 63
- 分割数 4分割
- 付属品 注入孔 1/8インチソケット (切欠付)
- ボルト (M16-40) (8.8)
- 材質 SM490A
- 塗装 外面サビ止1回

スチールセグメント(R=15補強22タイプ) φ1260X300X63 30テーパ

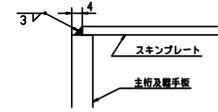
組立図 (S=1/6)



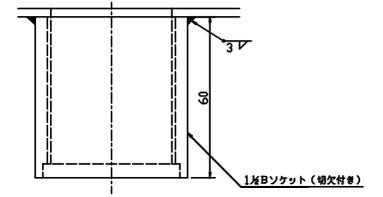
縦リブ-スキムプレート 溶接



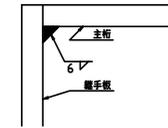
スキムプレート-主桁及継手板 溶接



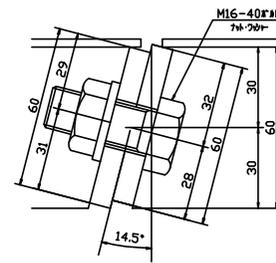
注入孔 詳細 (S=1/6)



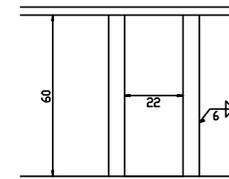
主桁-継手板 溶接



B・K継手部 詳細 (S=1/6)



縦リブ 詳細 (S=1/6)



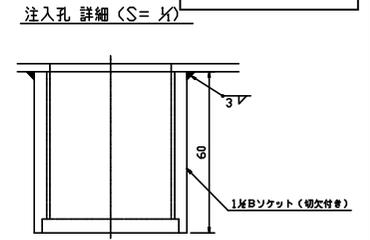
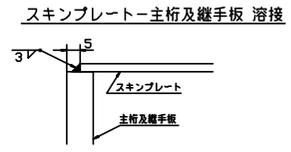
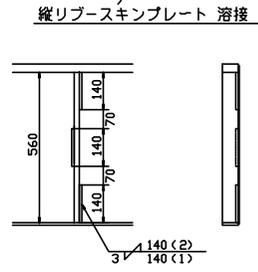
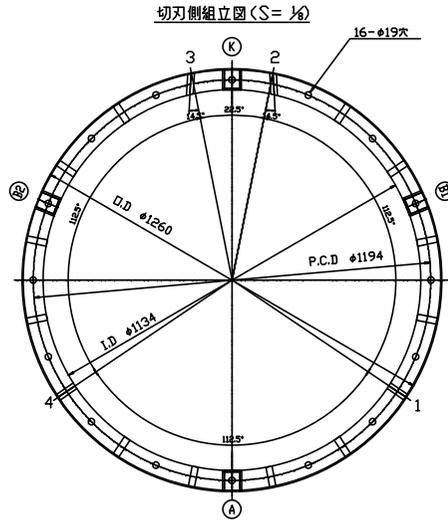
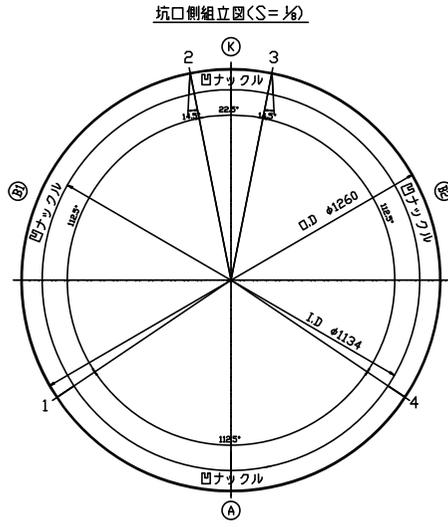
材料仕様

- スキムプレート R-3
- 主桁 R-8X60
- 縦リブ R-22X60
- 継手板 A R-8X60
- 継手板 BK R-8X60

仕様

- 外径 φ1260
- 幅 315-285(テーパ量30)
- 高さ 63
- 分割数 4分割
- 付属品 注入孔 1/8"ソケット(別欠付#)
- ボルト(M16-40)(8.8)
- 材質 SM490A
- 塗装 外面サビ止1回

スチールセグメント(ナックル凹_補強19タイプ) φ1260X600X63

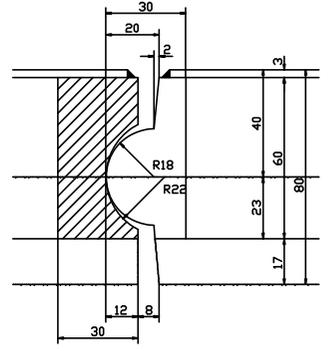


主桁-継手板 溶接

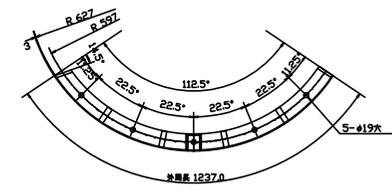
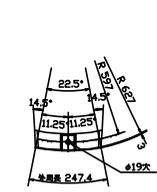
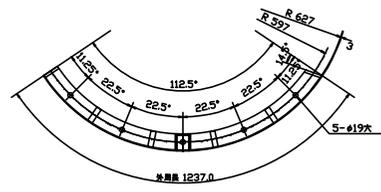
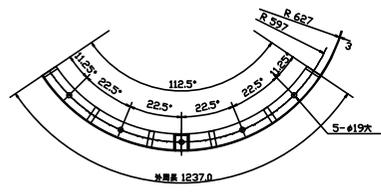
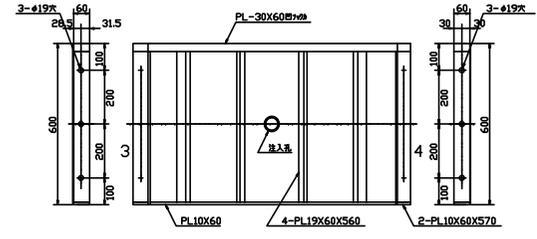
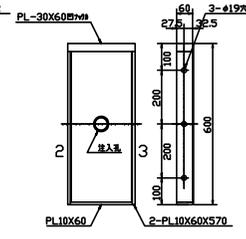
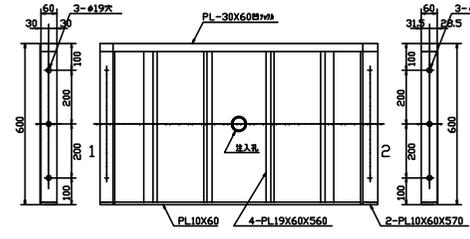
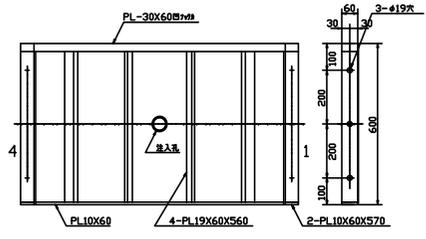
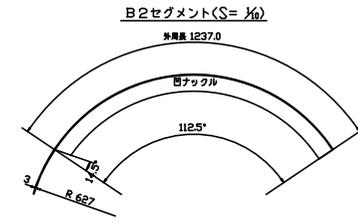
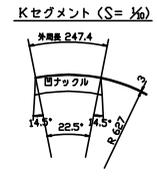
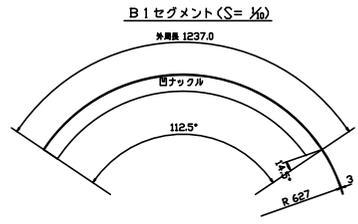
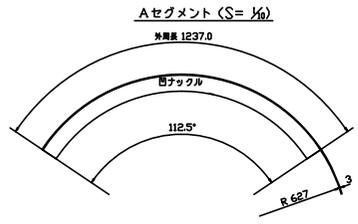
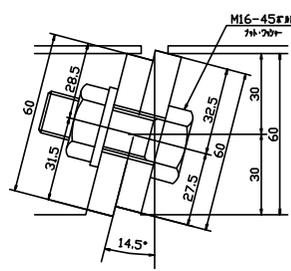


縦リブ 詳細(S=1/6)

ナックル部詳細(S=1/6)



B・K継手部 詳細(S=1/6)



- 仕様
- 外径 φ1260
 - 幅 600
 - 高さ 63
 - 分割数 4分割
 - 付属品 注入孔 1/8ソケット(切欠付)
 - ボルト(M16-45)(8.8)
 - 材質 SM490A
 - 塗装 外面サビ止1回

スチールセグメント(ナックル凹補強22タイプ) φ1260X300X63

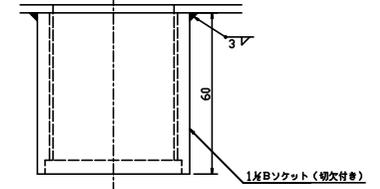
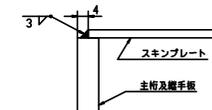
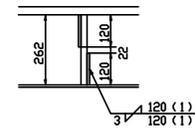
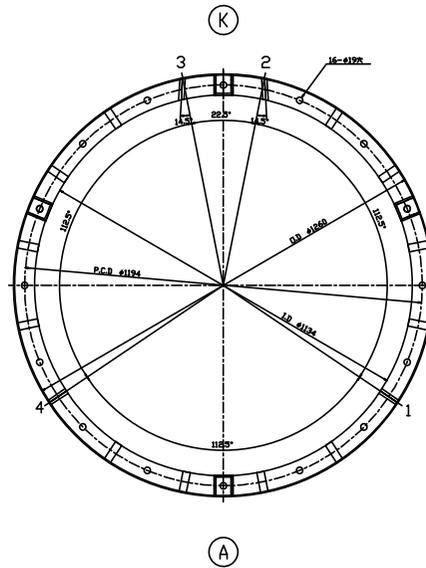
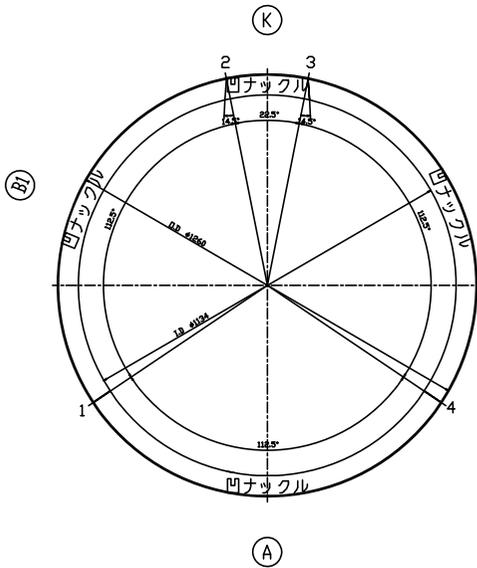
坑口側組立図(S=1/6)

切刃側組立図(S=1/6)

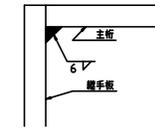
縦リブスキムプレート 溶接

スキムプレート-主桁及継手板 溶接

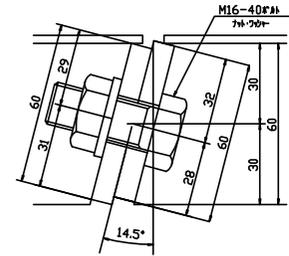
注入孔 詳細(S=1/4)



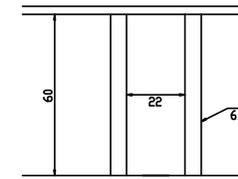
主桁-継手板 溶接



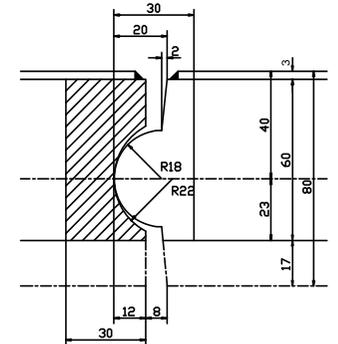
B・K継手部 詳細(S=1/4)



縦リブ 詳細(S=1/4)



ナックル部詳細(S=1/4)

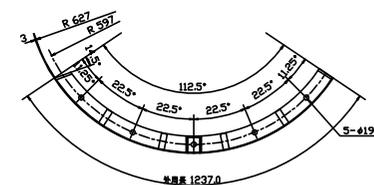
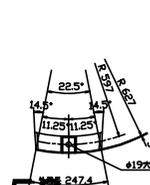
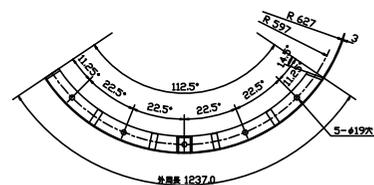
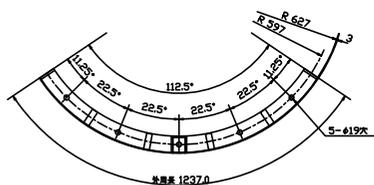
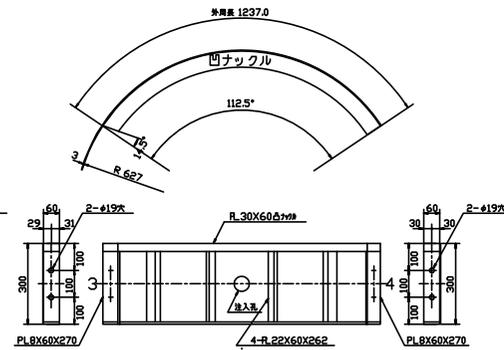
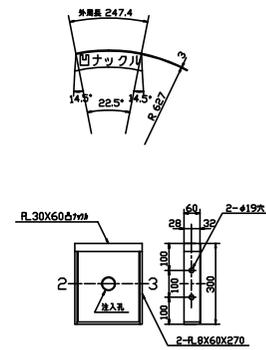
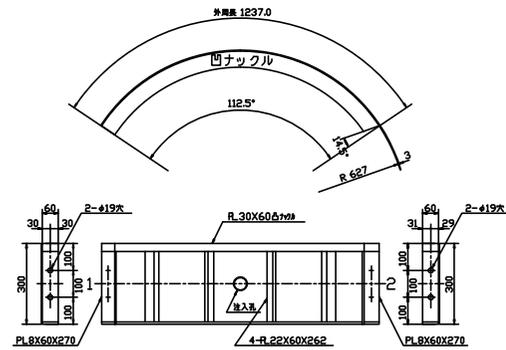
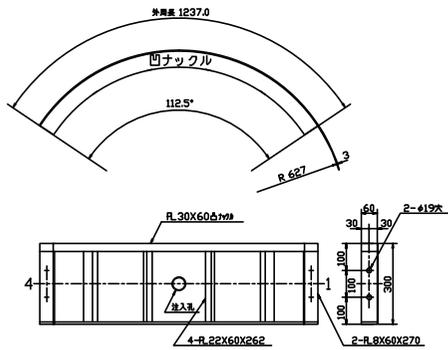


Aセグメント(S=1/6)

B1セグメント(S=1/6)

Kセグメント(S=1/6)

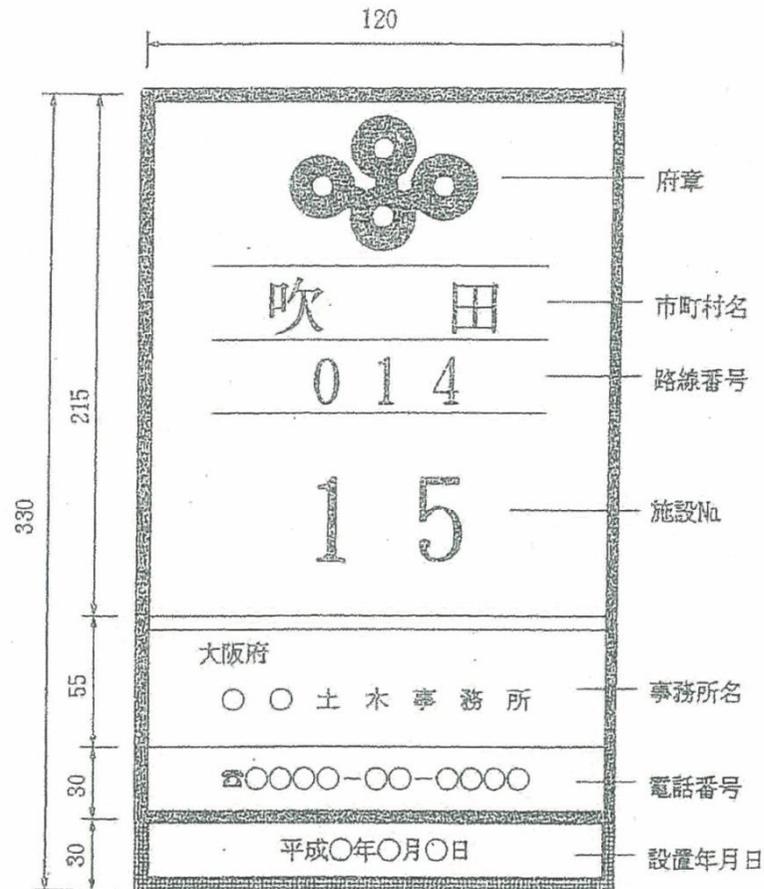
B2セグメント(S=1/6)



仕様

- 外径 φ1260
- 幅 300
- 高さ 63
- 分割数 4分割
- 付属品 注入孔 1/4Bソケット(切欠付)
- ボルト(M16-40)(8.8)
- 材質 SM490A
- 塗装 外面サビ止1回

照明柱管理番号表



仕様

- ・基板は、ビニールテープ製、長さ330mm巾120mmとし、白地に縁は青色、文字は青
- ・数字は、反射シート（JIS29117-1級）の抜形数字を貼付する。

R6_60